

全国初！ スマホで見る新感覚大学案内

SAGA UNIVERSITY
The Guide to Saga University in

佐賀大学案内

2013

個性が輝く 発見と創造の学舎。

今しかない、輝かしい青春のときを、

豊かな自然と歴史の中で、師と語り、友と交わり、地域で活動し、

ひとり一人のかけがえのない個性を磨く。

このおおらかで人間味あふれる教育環境こそ、佐賀大学の魅力のひとつです。

ここで育まれる知性と感性、人間性は、未来への大きな糧となるでしょう。

さあ、あなたも佐賀大学でまだ見ぬ自分、


そして心躍る未来に、出会ってみませんか？




スマホをかざすと写真の学生が
授業や研究室を案内



まずは1ページ(右のページ)で試してみよう!

- 1 「junaio」のアプリ(無料)をダウンロードする。
- 2 「junaio」を起動し、画面右上のスキャンボタンをタップ。
- 3 QRコード[佐賀大学1]を読む。
- 4 1ページの学生(ページ全体が入るように)にスマホをかざすと佐賀大学の紹介が始まります。

同様の手順で「学生からのメッセージ」(26~111ページ)の学生(マーク付)にスマホをかざすと授業や研究室を案内します。

ただし、QRコードは学部によって違います。学部を変える時はQRコード([佐賀大学1]または[佐賀大学2])を再読み込んでください。

「junaio」がうまく利用できない場合は、1ページ右下のQRコード[junaio Q&A]を読み込んでください。

創造性あふれる環境、
先進的な講義と研究。
夢中になれる学びが
佐賀大学にあった。



このマークのある
学生が授業や
研究室を
案内します。



CONTENTS

- 002 | 大学の理念
- 004 | 最近の話題
- 008 | 卒業生からのメッセージ
- 012 | 佐賀大学の研究
- 017 | 佐賀大学の教育
- 020 | 学生生活く4年間の流れ
- 022 | 学科・課程インデックス
- 024 | 文化教育学部
- 026 | 学校教育課程
- 032 | 国際文化課程
- 036 | 人間環境課程
- 040 | 美術・工芸課程
- 044 | 経済学部
- 046 | 経済システム課程
- 050 | 経営・法律課程
- 058 | 医学部
- 060 | 医学科
- 066 | 看護学科
- 070 | 理工学部
- 072 | 数理科学科
- 076 | 物理科学科
- 080 | 知能情報システム学科
- 084 | 機能物質化学科
- 088 | 機械システム工学科
- 092 | 電気電子工学科
- 096 | 都市工学科
- 100 | 農学部
- 102 | 応用生物科学科
- 106 | 生物環境科学科
- 110 | 生命機能科学科
- 114 | 大学院
- 116 | キャンパスマップ
- 120 | 国際交流
- 124 | キャリア支援
- 126 | 就職実績
- 128 | キャンパスカレンダー
- 130 | サークル活動
- 132 | 学生の活躍
- 136 | 学生の1日
- 138 | 学生生活支援
- 140 | 相談窓口
- 141 | 佐賀大学 生協
- 142 | 入試情報
- 146 | 大学基本用語辞典
- 148 | Q&A
- 152 | ロケーション
- 154 | 入試日程等のお知らせ

【佐賀大学1】



文化教育学部
医学部

【佐賀大学2】



理工学部
農学部

【Juniao Q&A】



地域と共に未来へ成長し続ける、
教育先導大学として社会の発展に貢献します。



佐賀大学は、これまでに培った文、教、経、理、医、工、農等の諸分野にわたる教育研究を礎にし、豊かな自然溢れる風土や諸国との交流を通して育んできた独自の文化や伝統を背景に、地域と共に未来に向けて発展し続ける大学を目指して、ここに佐賀大学憲章を宣言します。



学長メッセージ



『それぞれの可能性を広げたい。』

ほとけ ぶち たか お
佐賀大学長 佛淵 孝夫

「可能性」、それは、みなさんに最もふさわしい言葉でしょう。
豊かな創造性と躍動する若さをもつみなさんには、急速に変化し多様化する現代を支え、未来を切り拓く多くの可能性が秘められています。

佐賀大学は旧佐賀大学と旧佐賀医科大学の長い歴史に培われた高度な教育・研究の成果を基盤に、一人ひとりの可能性の扉を開いてきました。

また、大学の精神を受け継いだ卒業生の温かなネットワークも厳しい時代を生きていくうえで力強い励みとなっています。

「歴史と伝統」というこの聞き慣れた言葉を、佐賀大学はそれぞれの可能性を大きく広げるための新たなキーワードに変えて一人ひとりの学生に贈ります。

未来への貢献を目指す。

入学者受入れの方針

佐賀大学の求める入学者

佐賀大学は、学生と緊密にコミュニケーションできる総合大学として、人格形成、専門知識・技術の修得、そして基礎から実用開発にいたるまで、能力を最大限に伸ばすことを目標に人材育成と研究活動を展開します。

佐賀大学の教育目標は、高度情報化社会で活躍できる情報基礎と専門知識を修得させること、地域文化を理解し地域に根ざした活動を行うための素養を持たせること、国際化時代にふさわしい異文化理解とコミュニケーション能力を修得させることです。

佐賀大学は、チャレンジ精神を持ち、問題を自発的に探求・解明し、社会に貢献できることを人生目標とする学生を求めています。

佐賀大学は 大学機関別認証評価の 全基準を満たしています



佐賀大学は、平成21年度に大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価を受審し、教育研究活動などに関する11の基準全てを満たしていると認定されました。また、“教育先導大学”という目標を掲げて大学の方向性を鮮明に示していることなど、14項目が優れているという高い評価を受けました。これからも、教育や研究のクオリティのさらなる向上をはかり、学生に選ばれる大学を目指します。

認証評価と教育研究に関するホームページはコチラ

認証評価について

特色ある教育研究内容について

佐賀大学ホームページ <http://www.saga-u.ac.jp/>

大学案内

注目情報 特色ある教育と研究

中期目標・計画・評価 大学評価について

機関別認証評価 評価結果について

国立大学法人佐賀大学

学部等

文化教育学部

学校教育課程
国際文化課程
人間環境課程
美術・工芸課程
附属幼稚園
附属小学校
附属中学校
附属特別支援学校
附属教育実践総合センター

経済学部

経済システム課程
経営・法律課程
地域経済研究センター

医学部

医学科
看護学科
附属病院
附属地域医療科学
教育研究センター
附属先端医学研究
推進支援センター

理工学部

数理科学科
物理科学科
知能情報システム学科
機能物質化学科
機械システム工学科
電気電子工学科
都市工学科

農学部

応用生物科学科
生物環境科学科
生命機能科学科
附属資源循環フィールド
科学教育研究センター

全学教育機構

教養教育運営機構

附属・センター等

産学・地域連携機構
アドミッションセンター
キャリアセンター
国際交流推進センター
附属図書館
保健管理センター
海洋エネルギー
研究センター
総合分析実験
センター
総合情報基盤
センター
低平地沿岸海域
研究センター
海浜台地生物環境
研究センター
シンクロトン光応用
研究センター
地域学歴史文化
研究センター

大学院

教育学研究科
経済学研究科
医学系研究科
工学系研究科
農学研究科
鹿児島大学大学院
連合農学研究科

佐賀大学の最近の話題



TOPICS BEST 4



佐賀大学初のJ1リーガー

黒木 晃平 Kohei Kuroki

>>> 2012シーズンからサガン鳥栖へ加入

ス ットのびた手足に焼けた肌。笑うと少年の笑顔がこぼれ、真剣な表情となると鋭い目ヂカラが印象的な黒木晃平選手。2012年に佐賀大学文化教育学部を卒業後、現在J1リーグ・サガン鳥栖所属のプロサッカー選手として注目を集めています。

在学中よりサッカーの話題づくりには事欠かなかった黒木選手。サッカー部では1年からレギュラーを獲得し、2年時にはサガン鳥栖の申請によりJリーグの特別指定選手に内定。2010、2011シーズンにおいては、サガン鳥栖のトップチームの選手としてJ2リーグ戦に出場しました。「初出場は2010年5月のギラヴァンツ北九州戦。もう無我夢中でアドレナリンがずっと出っぱなしでした(笑)。頭は真っ白でしたが、戦った充実感は大きかったです。」と当時を振り返る黒木選手。豊富な運動量とスピードを武器に攻守で着実に実力をつけ、2012年4月に念願のJ1リーグデビュー。サッカーを始めた10歳の頃に「サッカーでごはんを食べていき

たい」と願った、夢の第一歩を踏み出しました。「J1はJ2とは全く違うことを実感します。個々人の能力が高く、シュートやドリブル一つがハイレベル。そんな環境の中でサッカーができるのは本当に幸せです。」

高校、大学と強化指定選手に選ばれてからほぼ休みがないという黒木選手ですが、「休むと逆に不安になる」と実にストイック。サッカー部に所属していた中学・高校時代から練習熱は熱く、毎日5時起きで朝練習後に授業を受け、放課後も練習に明け暮れた青春時代でした。「学生時代の服装といえば制服かジャージしか着いていませんね(笑)。」今も「自分の強みを伸ばしていきたい」と強化メニューを自分で組み立て、練習に余年がありません。「練習は本当にハードですが、苦ではないです。懸命にやった分の自信は持っています。大学時代と違って今は、一つ一つのプレーに対する責任感も重くなりました。食事や睡眠もすべてがサッカーのための生活です。自分からサッカーをとったら空っ

ぽですよ。」

そんなサッカー一筋の黒木選手ですが、大学時代は文武両道タイプで、「勉強も楽しみました」とさり。卒業論文では「サッカー選手のランニングスピード改善のためのトレーニングに関する一考察」と題し、大学生以上でもランニングスピードは向上するのかというテーマについて研究。自身のトレーニングや画期的な練習内容が評価され、「最優秀インプレッション賞」受賞を果たしています。そんな黒木選手の大学時代をひと言で言うと「充実」、そしてサッカーは「生きがい」そのものだそう。「大学時代は楽しかったらどれだけでもできる。でも、本当にやりたいことを自分で見つけて、そのために過ごすという大学生活が送れると思います」と語る黒木選手が描く将来像は、子供たちの憧れになるような選手。そして目下の目標はスタメン出場です。今後黒木選手がどんな活躍を見せてくれるのか、目が離せません。





 Profile

◇黒木晃平 (くろきこうへい) 選手
 【ポジション】 MF
 【生年月日】 1989年7月31日生(22歳)
 【身長/体重】 175cm/70kg
 【血液型】 B型
 【出身地】 熊本県
 【経歴】 ウィングス、エフシー、クマモト→大津中
 →大津高校→佐賀大学(2012年卒業)
 【プレースタイル】豊富な運動量を生かし、攻
 守に貢献出来る選手。特に中盤でボールを
 奪って、ゴール前までいける選手である。



「悠々知酔」

>>> 佐賀大学生が醸す、佐賀大学オリジナル清酒

佐賀大学では平成18年から佐賀大学オリジナル清酒と銘打った「悠々知酔」という日本酒を製造しています。その「悠々知酔」は農学部の附属資源循環フィールド科学教育研究センターにて栽培された減農薬「ヒノヒカリ」を原料として、農学部生命機能科学科応用微生物学研究室保有のオリジナル酵母にて製造することから「佐賀大学オリジナル」という冠を戴いています。

「ヒノヒカリ」というお米は皆さんが普通に食べる飯米であり、酒造好適米と呼ばれる山田錦や五百万石と言ったお米とは大きさや食味が大きく異なります。その飯米を敢えて原料として美味しい日本酒を造ろうではないかという試みを佐賀大学では行ってきています。ところで、お酒造りは酒税法という法律に基づき、製造免許を有していないと製造できません。そこで、実際の悠々知酔の製造では佐賀県内の酒造メーカー(蔵元)に依頼しています。過去5回の製造では、味や香りなどの酒質は全て蔵元にお任せしていましたが、平成23年からは「真の佐賀大学オリジナル清酒」を目指して、農学部や農学研究科の学生が主体となった酒造りを始めました。佐賀大学では、農学部応用微生物学研究室の神田康三教授や小林元太准

教授による、微生物学や応用微生物学、微生物学実験などが開講されており、在学生(特に生命機能科学科生)は微生物を利用した発酵や醸造等に関する知識を習得し、微生物の取扱法や遺伝子組み換え技術等を修得できます。つまり、座学における知識としてはお酒の作り方も原理も分かっている、それをさらに実学として経験することを試んでいます。

平成23年の造りでは、担当蔵元の天山酒造の杜氏(お酒造りの責任者)と悠々知酔製造担当の小林准教授が相談して、「どんなお酒を飲みたいのか、飲みたい酒を造るにはどうしたら良いのか」を学生に考えてもらって実践するということを試みました。白羽の矢が立ったのは、小林准教授の指導を受けている応用微生物学研究室の平地藍さん(学部3年生)、的場仁志くん(学部4年生)、渡辺真理さん(修士課程1年)の3人です。「悠々知酔」の目標酒質を決めるために彼ら3人は利き酒を何度も繰り返し行い、その結果、「後口スツキリの辛口ではのかな香り」というコンセプトを決定しました。さらに、麴や酒母等の仕込み配合も決定し、洗米・麴造り・酛造り・仕込み・搾り・ラベル貼りと全ての工程を行いました。12月のクリスマス時期も極寒の酒蔵でお米を洗い、麴室で

麴を造り、酒母を仕込み、卒論・修論研究、就職活動、講義等々の隙間をぬうように時間をやりくりしながら、やっと平成24年2月6日に搾りの日を迎えることができました。搾りたての原酒はアルコール17.4%、日本酒度+2.3であり、味わいもほぼ目的を達成したと言える出来栄でした。試飲会でも佛淵学長や天山酒造の社長さんから褒めの言葉をいただき、学生諸君も大満足でした。

座学では分からない製造現場の様々なことを学ぶ機会を今回の悠々知酔製造では体験できました。平成24年度からは天吹酒造に造りをお願いすることになっています。平成23年度までは特別純米酒を製造していましたが、天吹酒造の社長や杜氏の勧めもあって、日本酒の最高峰とも言える純米大吟醸の造りにチャレンジすることになりました。これまでとは全く異なる酒造りになりそうですが、昨年同様に農学部学生が目標酒質を決め、蔵元に泊まり込んで醸す予定です。未来の佐賀生の皆さん、日本の伝統文化である日本酒造りに興味がある人は是非農学部に来てください。造りの詳細は本学ホームページのブログ「悠々知酔～只今「醸し中」～」をご覧ください。





タニタと佐賀大学との コラボレーション企画

>>> 『タニタ』が佐賀大学に来る！』を開催



講演される谷田社長

佐賀大学において、「タニタと佐賀大学とのコラボレーション企画～『タニタ』が佐賀大学に来る!』を開催しました。

平成23年6月18日のオープニングイベントでは、本学理工学部を卒業されたタニタ代表取締役社長の谷田千里氏を迎え、「世界を健康にする企業を目指して」と題した講演会を開催し、200名を超える地域の方々の参加がありました。

講演では、健康的な生活を送る上でのアドバイスなど興味深い話が多く、参加されたみな

さんは熱心に聞き入り、時折笑いもこぼれる和やかな講演会となりました。

講演会終了後には、タニタの社員食堂のレシピを集めた料理本『体脂肪計タニタの社員食堂500kcalのまんぶく定食』（1,200円、大和書房）を活用したヘルシーメニューの昼食を参加者全員で味わいました。

試食した方々からはカロリーを抑えながらも満腹感が得られるヘルシーメニューに「カロリーが控えめと聞いていたのもっと薄味だと思っていたが、これで500kcal以下とは思えないくらい

美味しかった」などといった声が寄せられました。

また、平成23年6月20日から7月29日まで、学内2か所の学生食堂では、週替わりでそのヘルシーメニューを生協で調理、販売し学生、教職員だけでなく、地域の方々など多くの方が訪れました。



講演会終了後、佐賀大学学食で昼食中の参加者



大学生活で得たもの

>>> 第7回学生国際ショートムービー
映画祭監督賞受賞

「大学生活で頑張ったことはなんですか？」就職活動などでよく耳にする質問ではないでしょうか？ 私は「映像制作を頑張りました」と胸を張って答える事ができます。

私が映像制作を始めたのは、大学入学後にデジタル表現技術者養成プログラムという、学部学科を問わず受講できる講義を受講したことがきっかけとなっています。デジタル表現なので、映像に限らずプログラミングや画像処理、3Dアニメーションなど多岐にわたって学ぶことができます。その講義の中で映画評論家の西村雄一郎さんが講義されている“映画の作り方”という講義に最も影響を受けました。その講義では、シナリオの書き方から始まり、カメラのアングルの違いや、照明、音声、編集に至るまで、実際の映画の具体的な作例を上げながら学んでいきます。その講義で使用した教科書の名前が“一人でもできる映画の撮り方”というもので

した。これは、もう映画をつくるしかないだろう、と私の中に稲妻が落ちました。

それから、アルバイトで稼いだお金でビデオカメラを買って、撮影を始めました。制作はもちろん1人ではなく、友達などにスタッフ・役者をしてもらい、音声機材や編集機材などは、そのプログラムのものを使用してもらいました。最初の作品は10分程度で、ラブストーリーものでした。作品の出来は、言うまでもなく駄作で、今でも恥ずかしくて見る事ができません。それからは試行錯誤を重ねながら制作を続け、気がつけば2年間で40本という作品数を制作していました。もちろん全て短編の映画ではなく他にミュージックビデオやPV、CMなども制作しました。その中で全国の映画祭で賞を2ついただいたり、地元のテレビ局であるサガテレビのCMコンテストでグランプリをいただき、そのCMをテレビ放送までしていただいたりしました。また、その様な

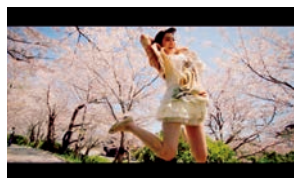
賞をいただいたことにより、佐賀市からの委託で佐賀市のCMも制作させていただきました。

私の最終的な目標は映画を監督することです。大学を卒業したら東京で映像関係の仕事に就きます。ここまで私が熱中できることを見つけるきっかけになったのが大学の講義からということが面白いのではないのでしょうか？高校生の皆さんは、大学でこれを学びたいと思って入ってくる人もいますが、多くは深く考えて入ってくる人は少ないかと思いますが、私もそれでも良いと思います。大学で本当に自分がやりたいことを見つければ良いんですよ。一度しかない人生です。思い切って、今より一歩踏み出して、本当の自分を佐賀大学で見つけましょう。

Profile

下津 優太 しもつゆうた
理工学部機械システム工学科4年
1990年生まれ 福岡県北九州市出身
佐賀大学入学後、短編映画の制作を始める。
—2011年—

- 第7回学生国際ショートムービー映画祭
「JTBガイアアック 地球倶楽部事業部 監督賞」
- 北信濃小布施映画祭
「田中要次特別賞」
(stsサガテレビにてテレビ放送)
—2012年—
- 第1回サガテレビCMコンテスト
「グランプリ」
- 佐賀市CM制作



卒業生からの Message

佐賀大学での学びを活かし、様々な分野で活躍する卒業生たち。そんな先輩方の現在の思いや大学生活の過ごし方など、皆さんへのアドバイスを熱く語って頂きました。

株式会社タニタ

谷田 千里 社長

理工学部化学科 1997年3月卒

健康をはかり、世界の
日本から



タニタの社員食堂にて昼食



本社社屋

日本から世界の健康をはかるとい理念のタニタの社長に就任して、もうすぐ5年目になります。タニタは、病気にならないように少しでも皆さんの健康増進に寄与できるような商品やサービスを開発しています。また就任後は、特に「体脂肪計タニタの社員食堂」という書籍や、「丸の内タニタ食堂」というレストラン事業を展開し、ブランド価値を高めることができました。ハードとソフトということに境界を引くことなく、新しい試みを日々行っております。お客様の健康を守る、病気にならないようにする、そのお手伝いをしたいという理念がある限り、これからも様々な新商品やサービスを出し続けることができるでしょう。これらの商品やサービスを通じて、皆様にお役にたてればと願っております。また、あえて日本からということを強調しているのは、日本の企業として日本国内の雇用の維持や税務での協力をしていきたいという考えからです。現在の市場では、「高価格」と「低価格」の二極化が進んでおり、安いものは大半が輸入品です。製造業で言えば、国産ではありません。多少の価格差はあるにせよ国産品を買うということは、その会社の収益の一助となり、日本国内の雇いを維持することにつながるようになります。多くの中小企業でも日本国内で頑張っているところがたくさんあります。ぜひ、皆様には、そういう目線で、日頃からご購入される商品を選んでいただきたいです。社会への貢献や環境への配慮だけでなく、雇用を守るという視点での購買判断は、長い目で見れば、日本国内の企業の成長に結びつき、結果として学生の皆様の雇用の確保にもつながるからです。

さて、タニタでの新しい試みということでは、初のインターンを昨年度行わせていただきました。初めてということと拙い部分もあったと思いますが、佐賀大学の学生にご協力いただきました。我々も良い刺激となり、こういうお互いの刺激になり有益なことは、継続して続けていきたいと考えております。

ご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、私と佐賀大学との出会いは、理工学部化学科への編入で始まりました。編入先から単位の読み換えがない語学などの講義を受けると同時に、研究を行うという変則的な生活を送りました。

佐賀での生活は、編入前を含めて丸4年間となり、その間、念願だったアルバイトも経験できましたし、学食や大学周辺の学生向けの食堂など食生活にも恵まれ、健康的で有意義な生活を送ることができました。佐賀にいた時間が長かったためか、佐賀は私の第二の故郷になっています。佐賀出身、九州出身ということを生かし、活躍していきます。ソフトバンクの孫さんも佐賀にお住まいだったということですし、将来は佐賀・九州出身者が世界を動かす時代が来るかもしれません。アジアの展開でも良い立地条件に恵まれておりますので、色々なところに出かけられ経験を増やすことには適した土地であると思います。このような場所とご縁ができたことは、今後生きていくと感じています。そのような強みのある佐賀大学の出身者が活躍されることを期待しています。

私は学生時代、あまり勉強をする方ではありませんでした。勉強することの意義が見出せなかったのです。月並みな「将来に役に立つ」という言葉では私の心には遠い未来の事であり響かなかったようです。勉強であれ、遊びであれ、やっておいて損をすることは一つありません。安定した日々の生活を繰り返すことも重要ですが、ぜひとも冒険心をもって、色々なことに挑戦し、多くの失敗も経験されることをお勧めします。失敗をどのようにリカバリーするかというスキルが社会では大変重要であり、そういうときに生きてくる貴重な経験となります。もちろん、社会人になってからも失敗はできますが、若ければ若い方が社会は寛容ですので、その利点を生かすべきです。最後になりましたが、東日本大震災の被災地の一日も早い復興を願いつつ、タニタとしても精いっぱいお手伝いしていきます。

文部科学省 高等教育局医学教育課 勤務

林田 智史 さん
農学部応用生物科学科 2007年3月卒

佐賀大学からスタートし、 国レベルの教育制度に携わっています。

佐賀大学職員として医学部学生サービス課を3年間経験した後、入課課に1年間勤めました。その間に「国全体の教育制度や他大学の取組はどうなんだろう」と興味が湧き、文部科学省の行政実務研修生を希望しました。1年間研修を受けた後、転任試験に合格し現職に至ります。文部科学省では、大学の医学部・歯学部に関するとりまとめや医師・歯科医師の養成に関する業務を行っています。また、仕事として国会の質問対応や議員の方へ説明する際に使う資料作成業務もあります。

大学の3年・4年生のときは卒業研究と公務員試験を同時進行で進めなければならず大変でしたが、そのときに培った忍耐力や諦めない姿勢が今の仕事を行う上で役に立っていると感じます。

大学生活の自由な時間をどう使うかによって今後の人生が大きく変わってくると思います。早い段階で目指すべき方向性を決めることも選択肢の1つですし、多くのことを経験することも大切です。このときの経験は人生の栄養になりますよ。

卒業生メッセージ



卒業生メッセージ



ヤマト運輸株式会社 佐賀主管支店 勤務

大石 麻美 さん
文化教育学部国際文化課程 2009年3月卒

人と人をつなぐ仕事。荷物一つひとつに 多くの人の想いがつまっています。

ヤマト運輸に勤めて3年、現在は新サービスの開拓・提案などを行っています。その一つが、買い物に困難を感じる方々に対して、弊社の宅配ネットワークを活かした買い物支援を行うこと。単なる配送だけでなく、高齢者の安否確認などを含めた取り組みで、県内の役場や商工会・社会福祉協議会などに提案を行っています。職場は、年齢の近い同僚や女性の先輩社員も多く、とても働きやすい環境です。企画提案があれば、どんどんチャレンジさせてくれるので、やりがいを持ってスキルアップにもつながります。また、有給休暇がとりやすく、毎年海外旅行へ行くなどプライベートも充実しています。入学当時は世界史の教師を目指していましたが、学生時代に接客業のアルバイトを経験し、お客様の一番近くで喜ばれる仕事がしたいと、この会社を選びました。佐賀大学は色々な経験が出来る場所です。やりたいと思ったことはぜひチャレンジして、大学ライフを楽しんでください。

株式会社福岡銀行 那珂川支店 勤務

水間 雄基 さん

経済学部経済システム課程 2010年3月卒

**多種多様なお客様のニーズに対応するため
色々な物事にアンテナを立てています。**

現在、福岡銀行の那珂川支店に勤務し、主に外回りを担当。個人のお客様に対するローンや資産運用などの営業、個人事業主や法人会社に対する営業を行っています。福岡銀行は、ブランドスローガンに「あなたのいちばんに。」を掲げ、お客さまにとって、いちばん身近な、いちばん頼れる、いちばん先に行く金融機関を目指しています。自分自身もお客様に信頼され、選ばれる行員になれるよう常に自己研鑽に努めています。職場は風通しのよい環境で、自分の意見や考えを尊重してくれるので、仕事において多くのチャンスと挑戦を与えられています。私にとって大学生活は、勉強だけでなく、さまざまな経験を積み重ねて人間として成長できた4年間でした。たくさんの学友と繋がりが持つことができ、多くの挑戦と勉学を学べた環境は、佐賀大学の卒業生として感謝と誇りを持っています。受験生の皆さんにも、佐賀大学の魅力を感じていただきたいと思います。

卒業生メッセージ



卒業生メッセージ



独立行政法人国立病院機構 佐賀病院 勤務

中村 美佳 さん

医学部看護学科 2010年3月卒

**大切な命の場面に立ち会い、
お手伝いできるありがたい仕事です。**

社会人を経て、助産師になりたいという強い意志を持って佐賀大学へ入学しました。実は8歳になる子どももがいて、子育てをしながらの大学生活でした。女性にとって出産は、人生最大の苦しみと喜びを一度に体験する貴重な場面で、自分自身がその経験をしたからこそ助産師になりたいと思いました。現在、産婦人科を中心としたレディース病棟に勤務し、外来では助産師外来や母親学級を通して妊娠中の皆さんをサポートしています。総合周産期母子医療センターとしての機能上、緊急の母体搬送が多く職場全体が緊張に包まれる場面も多々あります。だからこそ一番不安に思うお母さんに寄り添い、安心して治療にのぞんでいただける雰囲気作りを心がけています。大学時代に出会った人たちのご縁は私の宝物であり、今の私の支えになっています。看護は健康で豊かに生きるためのヒントを得られる学問であり、佐賀大学は自分の意思でさまざまなことにチャレンジできる学びの場です。

株式会社ミソタ 勤務

濱地 秀作 さん

理工学部機械システム工学科 2010年3月卒

水門設備の設計業務を通じて、 ものづくりの責任と喜びを実感しています。

昔からものづくりに興味があり、大学でさまざまなことを学んでいくうちに治水への関心が高まり、水門・ポンプメーカーである現場を選びました。担当は水門設備の設計業務です。水門の強度検討や施工方法の検討を経て作図を行なっています。大学時代は材料力学を得意としていましたので、それが今、材料の強度検討を行う上で役立っていることを実感します。

また、設計はものづくりの出発点であり、工事終了までが仕事。ただ図面を描けばいいというのではなく、製造や施工との連携を図りながら進めていかなければなりません。なので上司への報告、連絡、相談の徹底や、現場との意見交換はいつも心がけています。一番の喜びは、ものが出来上がったときに尽きますね。

大学生と社会人では責任感が違いますが、大学時代にしかできない経験、そして出会いがたくさんあります。専門知識だけでなく、そういった経験値が自分の人生に大きく影響すると思うんです。チャレンジ精神を持って学生生活を謳歌してほしいですね。

卒業生メッセージ



卒業生メッセージ



長崎県農林技術 開発センター 勤務

中山 久之 さん

農学部応用生物科学科 2007年3月卒

農産物の新しい付加価値を見出し 新たな技術開発で地域貢献を目指す。

長崎県農林技術開発センターに勤務して6年になります。私の職場は地元の農産物を材料とした消費者および生産者ニーズに対応する優良品種の開発や高度な栽培技術の開発に携わっています。農学部卒業後は果樹研究部門で主にピワをテーマに開発業務にあたりましたが、今年から食品加工研究室に属して、馬鈴薯など地元特産農産物や未利用資源の持つ生体調節の機能性に着目した加工品の開発を目指して、食品産業分野および大学と一緒に共同研究しています。

農学部の実験で得た知識や経験は、今の仕事にも十分応用できていると実感しています。研究の難しさ、幾度となく失敗した実験が成功したときの喜びを学んだからこそ、現在の仕事を楽しく続けているのだと思います。

大学生活は自由であるがゆえ、一人ひとりの自主性が重んじられます。限られた大学生活の中で多くの人と出会い、今しかできないことを体験し、その経験を大切にしながら大学生活を楽しんで欲しいですね。



佐賀大学
の研究

あなたも佐賀大学農学部で夢の作物を創り出す研究に携わってみませんか？

特色ある遺伝資源とゲノム情報を活用した次世代の作物育種技術の開発を目指して

皆さんは我々が毎日食べている食料が、農業に従事している方々の手によって生産されていることは良くご存じだと思います。しかし、その農業現場で生産されている作物が、どの様にして品種改良されて来たものかを考えたことがありますか？古代人が野生の植物を栽培しはじめて、以来1万5千年以上もの長い年月をかけて利用しやすく改良されてきたものが現代の作物なのです。例えば、皆さんが知っているトウモロコシは大体30cm程の大きさに数百粒の種子が付いていますが、遺跡から出土したトウモロコシはわずか5cm足らずの大きさに、種子もせいぜい20粒位しか付いていない小さなものだったのです。私たちのグループでは、長年にわたって本学農学部で開発・蓄積されてきた特色ある遺伝資源と、近年急激に発展している作物ゲノム研究の成果を融合することにより、食料・環境・健康等の我々の生活に直結した重要課題の解決につながる新たな作物の品種改良を目指して研究プロジェクトを進めています。このプロジェクトでは、本学農学部の誇る33属203種のミカン亜科のうち22属50種以上をカバーする柑橘類の保存系統や、4万点を超えるダイズ突然変異系統、紋枯病抵抗性イネ系統といった世界的にも貴重なコレクションの中から、種々の農業形質や有用成分の合成等に関わる遺伝子を同定し、新たな分子マーカーを開発することで、より高品質で性能の良い作物を創り出すことを目的として

います。そのため、これらの植物に含まれる数千にも及ぶ代謝産物を一斉解析するためのCE(LC)/TOF-MS装置や数万個の遺伝子の発現を同時に解析することが可能なDNAマイクロアレイシステム、多数の遺伝子マーカーを自動的に解析することが可能なマイクロチップ電気泳動装置等の最新の分析機器類も導入して研究環境を整えました。また、近年次々と公開されている作物ゲノム情報をフル活用するため、特定の遺伝子に突然変異を生じた系統を素早く探出すことが可能な方法を使って、これまでに報告のなかった新たな有用形質を持つダイズ突然変異体も次々と単離しています。その結果、遺伝子組換え技術に頼ることなく、ダイズ油脂中には元々20%程度しか含まれていないオレイン酸の含量をオリーブオイル並の80%にまで引き上げることも世界で初めて成功しました。この他にも種子中のイソフラボンや糖、タンパク質などの合成に関与する遺伝子、植物の形や開花時期等を制御している遺伝子についての研究も進めており、近い将来には、本研究で得られた様々な遺伝資源を組み合わせて自在に作物の性質を操ることが出来るシステムを開発したいと考えています。



早咲きの突然変異体



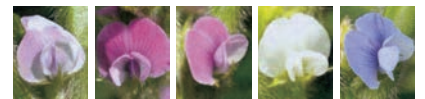
突然変異体



原品種



矮性の突然変異体



花色突然変異体



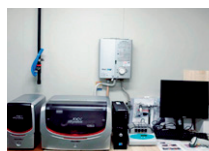
ダイズ突然変異体の栽培風景



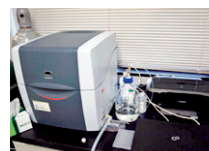
多様な柑橘類の果実たち



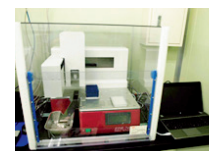
CE(LC)/TOF-MS装置



DNAマイクロアレイシステム



マイクロチップ電気泳動装置



自動分注ロボット

（受験生へのメッセージ）

我々の研究に興味を持ったら、是非、農学部の門をたたいてみてください。大学で植物の遺伝子についての研究をやりたい方は、応用生物科学科に来てください。高校の生物や化学の内容と関連性はありますが、これらの科目を履修していなくても入学してからしっかり勉強すれば問題ありません。また、英語で書かれた文献を読む機会も出てきますので、英語については高校時代からしっかり勉強しておいた方がよいでしょう。最後に、大学ではサークル活動やアルバイトも良いのですが、これを勉強したと自信を持って言えるもの一つは作って卒業してください。

海洋エネルギー研究センター



1. センターの概要

地球表面の約70%を占める海洋には、波浪、潮流、潮汐、海流、表層海水と深層海水間の温度差が存在します。これらの持つエネルギーは、海洋エネルギーと称され、その量は膨大で、かつ、再生可能であるため、化石燃料の枯渇や地球の温暖化が危惧されている今日、人類の未来にとって有用なエネルギーと認識され、世界各所で、その利用技術の研究開発が進んでいます。

海洋エネルギー研究センターは、平成14年に佐賀大学の全学共同利用研究センターとして改組され、平成19年度からの全国共同利用研究センターとしての正式運用を経て、平成22年度から、我が国の共同利用・共同研究拠点として運用を開始しています。当センターの目的は、海洋エネルギーに関する研究教育とその科学技術を戦略的に推進する国際的な先導的中核研究拠点として、海洋エネルギーに関する研究教育を総合的かつ学術的に行い、その研究基盤を確立するとともにその利用促進に貢献することにより、21世紀の地球規模でのエネルギー問題と環境問題の解決に寄与することです。特に、新しい概念を導入した海洋温度差発電システムと波力発電システムを中心に、「海洋に賦存する膨大な種々のエネルギー及びエネルギー物質の回収とその複合的高度利用法」、「海洋エネルギー利用に関連する海洋環境への影響の解明」などに関して、基礎と応用、更には実証を目指した研究を行う全国で唯一の研究教育拠点です。また、海洋エネルギーに関する全国の研究者及び学協会等の要望に対応して、研究施設及び設備を開放するとともに、国内及び海外の研究者とともに、我が国の海洋エネルギーの学術研究を推進することを目的とする共同利用・共同研究拠点です。

2. 研究内容・特色

研究分野は、『基幹部門』と『利用・開発部門』の2部門で、『基幹部門』は、海洋温度差エネルギー分野と海洋流体エネルギー分野の2分野で構成され、海洋エネルギーを創造するための基礎的応用的研究を主目的としています。『利用・開

発分野』は、海洋エネルギーシステム分野、海洋エネルギー物質創生分野、海水淡水化分野、海洋エネルギー環境情報分野、海洋深層水利用科学技術分野、海洋エネルギー利用推進分野の6分野で海洋エネルギーの利用などの研究・開発を行っています。

2.1 基幹部門の研究開発

(1) 海洋温度差エネルギー分野

本学において約30年間、海洋温度差発電の基礎と応用に関する研究・教育を行い、海洋温度差発電に関する中核的な研究施設として実績を上げてきました。全国で唯一、海洋温度差発電実験研究装置を有し、海洋温度差発電に関する学術研究で多くの学術論文を発表するとともに学術賞を多数受賞してきました。インドやパラオ共和国などと、学術協定を締結し、海洋温度差発電に関する研究・教育で国際的な連携を推進しています。

海洋温度差発電(Ocean Thermal Energy Conversion, 通称OTEC)は、表層海水と深層海水の間の温度差を利用して発電するシステムです。OTECは、蒸発器、凝縮器、タービン、発電機、ポンプで構成され、これらはパイプで連結され、作動流体としてアンモニア(または、アンモニアと水の混合物)が封入されています(図2)。液体のアンモニアは、ポンプにより蒸発器に送られ、蒸発器の中で表

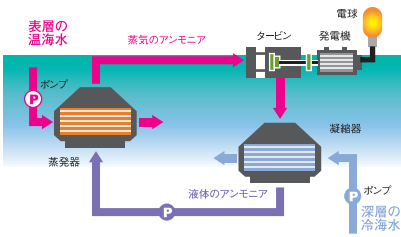


図2/海洋温度差発電の原理

層の温かい海水で温められ蒸気になり、この蒸気でタービンを回し発電機で発電します。タービンを出たアンモニア蒸気は凝縮器に入り、深海から汲み上げられた冷たい海水で冷やされ、液体に戻ります。これを繰り返すことにより、化石燃料やウランを使わずに発電することができます。近年の

成果としては、30kW海洋温度差発電装置(図3)を用いて、主要な要素機器の改善を行い、99%以上の純アンモニアを作動流体として、熱源間温度差23℃、温水流量83kg/s、冷水流量11kg/sの条件下で最大正味出力20.5kWを得ることができました。また、ハイブリッド型海水淡水化装置の開発を行い、効率的に淡水化ができることを実証しました。

(2) 海洋流体エネルギー分野

平成17年度にスタートしたこの分野では、波浪エネルギーを利用した波力発電システムの開発を行っています。波力発電には、さまざまなコンセプトに基づく装置がありますが、佐賀大学で開発中の装置は、浮力体、L型的水中ダクト、空気室、タービン・発電機で構成される浮体式の振動水柱型装置“後ろ曲げダクトブイ”です(図4)。波浪エネルギーから空気のエ

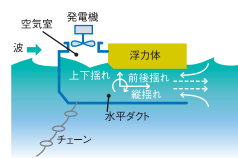


図4/浮体式波力発電装置BBDB

ネルギーへの変換効率を上げるために、造波水槽での模型実験や数値シミュレーションによる高効率浮体の開発を、また、タービンの効率を上げるために、高い変換効率と低速化を実現する新型の衝動型空気タービンの開発を行っています。佐賀大で開発した衝動型空気タービンを搭載した“後ろ曲げダクトブイ(Backward Bent Duct Buoy, 通称BBDB)”の模型(長さ2.5m, 幅2.3m, 高さ1.76m)を製作し、大型水槽で波浪中発電性能実験を行って、最大発電効率約30%という従来にない高効率を得ることができました。同じ模型を用いた実海域実験も行っています(図5)。また、この分野では、浮体式の振り子式波力発電装置の開発や海洋温度差発電等の海洋エネルギー施設を洋上に設置する場合の基盤となる低動揺の浮体構造物の開発も行っています。

2.2 利用・開発部門の研究開発

利用・開発部門では、海洋に賦存している有用な資源の回収やエネルギー貯蔵、あるいは海水淡水化や深層水の利用科学技術など幅広い研究・教育に取り組んでいます。



図3/30kW海洋温度差発電装置



図5/博多湾でのBBDBの実験



図6/淡水化プラント(フラッシュ蒸発)



図7/リチウム回収装置

地域学歴史文化研究センター

◎研究概要 平成18年(2006)に、地域住民と大学と連携して地域学を創出するという目的で、地域学歴史文化研究センターが創設されました。国立大学法人で、全国唯一、地域学の名前のついている全学共同研究施設です。地域学とは、たとえば、佐賀地域の歴史・文化・環境を総合的に研究して、その特徴を明らかにする学問です。

センターに、考古学、地域史・史料学、国文・文献学、洋学・思想史研究4部門において、歴史文化を軸とする地域研究や歴史資料調査研究をしています。歴史資料とは、昔の出来事を書いた古文書、吉野ヶ里遺跡や出土物、佐賀城下町絵図、役場で作成された行政文書など、人々が生活したあかしを示す資料をい

す。こうした資料を保存し、探しやすい活用するための作業が、目録化やデータベース化です。

また研究紀要や資料集などを刊行して研究成果を公開したり、佐賀市や小城市などの地域自治体と世界遺産に関して共同調査をしたり、企画展を開催したりなどの文化交流事業をすすめています。

こうした研究や事業により、佐賀地域は、大陸文化や西洋文化を我が国で最も早くに、受容し、我が国へ発信してきた先進地であることがわかってきました。

◎研究と教育 佐賀大学の本庄キャンパスの地域学歴史文化研究センターで、こ



地域学歴史文化研究センター



古文書を整理しているところ



センター所蔵「解体新書」

のような先進地佐賀の歴史を知ることができません。正門をまっすぐ進んだところの木造建物で、郷土の歴史書などを読むことができ、歴史のことでわからないことがあれば質問できます。また、入学後は、歴史関係やチャレンジ佐賀学などの授業で、佐賀の歴史研究を深めることができます。



(受験生へのメッセージ)

高校では日本史の授業は、大きな歴史の流れの研究を学びますが、大学では、地域の歴史や古文書の読み方とか、吉野ヶ里遺跡などの考古学研究、佐賀藩の科学技術史、佐賀の近現代史などを学びます。そして、学べば学ぶほど、佐賀の先進性や魅力を再発見できるものです。受験生の皆さんは、佐賀大学生になって、「佐賀」の魅力をたくさん再発見できることを期待しています。

有明海の姿を探る

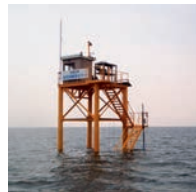
～有明海地域のワイズユースにむけて～

有明海は潮位差が大きく広大な干潟が広がっているなど他にはない特徴を持ち、その環境に適応したムソゴロウやワラスボ、シオマネキのようなユニークで珍しい生物の宝庫となっています。また、海苔の一大産地であるなど水産業の場としても大変重要な海であると言えます。しかしながら、近年では赤潮(植物プランクトンが大増殖する現象)が発生したり、大規模な貧酸素水塊(溶存酸素が非常に少なくなった水)が形成するなどの環境問題が起こるようになってきました。それに加えて、諫早湾干拓問題に代表されるような海や土地利用を巡る社会的な紛争を抱えています。有明海地域のもつこのような様々な問題を解決していくためには、より一層「有明海の生態系」を理解し、ワイズユース(生態系を持続的に維持した賢明な利用)方法を探る必要があります。

佐賀大学では、有明海に棲息する植物プランクトン、底棲生物の性質や生息環境を理解するため調査を実施したり、有明海のなかに観測タワーを設置してリアルタイムなモニタリングを行っています。これらは「有明海の今の姿」を

理解するための研究と言えるでしょう。また、これまでの研究で理解出来た有明海の特徴・性質をパソコン上に再現し、有明海で起こりうる様々な問題に関してシミュレーションを試みたりしています。更に、有明海および沿岸を利用して暮らしてきた人々の生活感やその変化を研究することによって紛争処理等の解決アプローチにむけた研究も推進しています。このように「有明海の姿を探る」ためには自然科学的な研究だけでなく社会科学的な面での研究も含んでいます。

以上の「有明海地域研究」ような地域・環境問題の解決にむけた研究をするためには、総合的な学習が必要となります。もちろん生物学や物理学は基礎的な知識ではありますが、より広い見識をつけることが大切です。いわゆる「理科」のような科目だけを学習するためには不十分といえます。文系分野の教科では、年号やデータを「記憶」することではなく、文章を読み解く、情報を整理・解読するといった学習(訓練といったほうが良いかもしれませんが…)を行っているといいでしょう。また、有明海地域



有明海観測タワー



シオマネキ



ムソゴロウ

研究は「海」を扱う分野なので「海洋学」を学んで頂くほうが良いのですが、残念ながら小・中・高等学校において「海洋」を取り上げた科目は非常に少ない状況にあります。したがって、この分野においてはどうしても独学して頂く必要があります。多くの本が出版されていますのでそれらを読んで頂くことにより一層知識がふかまるように思います。

このように「有明海地域研究」は多方面分野の研究者が丸となって推進している研究プロジェクトです。したがって、有明海を研究する学部・学科はひとつだけというわけではありません。佐賀地域に特徴的な低平地を研究している理工学部、紛争処理等社会科学的な研究をしている経済学部を目指してみるのが良いかもしれません。中心となっているのは低平地沿岸海域研究センターという部門ですので、お問合せ願えればと思います。



(受験生へのメッセージ)

「有明海」は佐賀だけでなく日本の宝です。有明海の言葉を理解しに来ませんか?

難病に挑む! ～ナノ医工学に基づく新たな治療法の確立～

近年、分子生物学を基盤とした生命科学、遺伝子技術を駆使したゲノム治療や再生医学など、医療技術の革新は目覚ましい。先端医療の可能性は時代と共に広がりを見せ、その発展には国民から大きな期待が寄せられています。

医学は大別すると基礎系と臨床系の2つの分野に分けられます。基礎系は身体の仕組みや病態について分子および細胞レベルで解明する学問領域で、一方の臨床系は患者様と直接、向かい合い、「身体」のみならず「心」の病を治し、病因究明を行い、新たな治療法を確立する学問領域です。佐賀大学医学部では「免疫」、「アレルギー」、「がん」および「生活習慣病」の4大疾患を研究テーマに積極的に推進しております。

我が国において国民生活(特に食生活)の欧米化に伴い、生活習慣が要因で発症する糖尿病、脳卒中、心臓病、脂質異常症、高血圧や肥満等の疾病は「生活習慣病」と呼ばれ、成人の罹患数が急増し、一方でその若年化も進み、国民の健康維持という観点でとても深刻な問題となっています。

生活習慣病の一つ、「動脈硬化症」が原因で主に下肢の血管が狭くなったり塞がったりして末梢の血流障害を起こす「閉塞性動脈硬化症(ASO: arteriosclerosis obliterans)」と呼ばれる疾患があります。この疾患は軽症の場合、冷感を呈します。症状が進むと間歇性跛行(かんけつせいはこう)や安静時でも痛みを感じ、さらに血流循環が悪くなると下肢に皮膚潰瘍が生じ、下肢の壊死・壊疽をもたらします。この段階に陥ると下肢の温存は厳しくなり、下肢切断の適応となる場合も多く、患者個人のQOL(Quality of Life)は著しく低下します。ASOの治療法は軽度の場合、食餌療法や運動療法が施され、血管を拡げる薬物療法も行われます。さらに血行障害が進むと血流を確保する目的で血管内に細い管(カテーテル)を挿入し、血管が狭くなっている部位で血管内側から小さな風船(バルーン)を一時的に膨らませ、血管内部から機械的に押し拡げ、血流の確保を行います。またステンレス製の小さな網目筒状の医療機器(ステント)を血管狭窄部に留置し、内腔側から血管を持続的に押し拡げ、血流

の確保を行います。さらに重篤な場合、外科的に血管バイパス手術を施行し、血行再建を行っています。このようにASO治療に対してこれまで主に侵襲性(身体に対して外科的な負担)の極めて大きな処置が施されてきましたが、今後、最先端の医療技術を駆使し、画期的な低侵襲性治療法が待ち望まれています。

現在、佐賀大学医学部ではASO治療に対して内閣府主導の研究プロジェクト(最先端・次世代研究開発支援プログラム「研究代表者:薬理学・教授 寺本憲功」)を展開中です。本プロジェクトの目標は低侵襲性で「安心かつ安全」な血流障害を改善する革新的な治療法を確立し、早期に臨床応用の糸口を探ることで、具体的には超音波およびナノサイズの気泡(数百ナノメートルの微小気泡)を組み合わせ、細胞外の物質を低侵襲的に細胞内へ導入する、ナノ医工学に基づいた音響穿孔法(ソノポレーション法)を用います。さらに新生微小血管の誘導効果を有する核酸(DNAやRNAの構成成分)から成る医薬品を独自で開発し、これら両者を組み合わせて微小血管を誘導・新生する核酸医薬とナノバブルを混和した溶液を筋肉へ注射し、音響穿孔法にて筋肉細胞内へ導入し、筋層中で微小血管を誘導・新生し、網状の網状副側血行路を介して血流状態を改善し、次世代の血流障害の低侵襲性治療法を創出します。また本法はASO以外にも難病に指定されている「閉塞性血栓血管炎(バージャー病)」にもこの技術が転用可能と考えられます。さらに新生微小血管にて末梢へ栄養や酸素の供給が行えるため、傷が治る期間を大幅に短縮出来ると考えられ、臓器移植や再生医療等の多くの次世代の最先端医療で補助的療法としても広く転用可能であると確信しています。

佐賀大学医学部は地域医療への貢献はもとより、数多くの世界標準レベルの研究を展開しており、国民生活の福祉向上を目標に研究領域でもたゆまぬ「努力」と「挑戦」を続けて参ります。

注釈 ○ 間歇性跛行(かんけつせいはこう)／数十から数百メートル歩くと痛みのため歩行継続不可能になり、一定時間経過すると再度、歩行可能になる症状。



図1/佐賀大学医学部の構成

ソノポレーション法による導入



図2/閉塞性動脈硬化症(ASO)の新規治療法の概要

(受験生へのメッセージ)

まずは鍋島キャンパスにある医学部の門を叩いて下さい。本格的に医学研究を始めるには医学部での医学教育期間(6年間)および国家試験合格後、医師になってからの初期研修期間(2年間)を終えてからになります。しかし学部在籍中でも薬理学分野をはじめ、多くの研究室で学生諸君を受け入れるシステムもありますのでどうぞ活用して下さい。

高校で学んでいる全てのことが将来、医師や医学研究者になることに役立つと思います。ものごとを理論立てて系統的に考える能力を養う「数学」、自然科学の楽しさ・面白さに触れることの出来る「理科」、他国の文化や最新の情報を自由自在に掘め、海外の人々とのコミュニケーション能力を鍛える「英語」です。また学園生活やクラブ活動等の団体生活を通して社会性や豊かな人間性を身に付け、体力も付けることも大切です。

医学部へ入学することは、医師に成るための「ほんのスタート」にしか過ぎません。医師には「他人の生命に対し、責任を持つ」という崇高な倫理観が求められます。卒業後も「一生勉強・一生奉仕」という強い覚悟も生涯、必要です。自己の「高い志」が「医師への道」を拓きます。佐賀大学医学部は佐賀県およびその周辺の地域包括医療の拠点として地域医療に貢献しており、高次医療の遂行はもとより、患者様に信頼される質の高い医師を育成しております。

佐賀大学の教育

■ 大学・大学院における教育
(一般的なイメージ図)

高校

入学

《学部》学士課程教育

1年次
2年次
3年次
4年次

学位: 学士

進学

《大学院》修士課程教育

1年次
2年次

学位: 修士

進学

《大学院》博士課程教育

1年次
2年次
3年次

学位: 博士

佐賀大学の教育 1

学士課程教育の重要性 ～大学の教育に求められているもの～

大学では、4年間の修学期間が設けられています(医学科は6年)。さらに専門的な知識や技術を求めたり、専門分野の研究を希望する人は大学院に進学するのが一般的です。右図に示すように各課程を卒業および修了すると「学位 (degree)」が授けられます。これは資格ではなく世界共通の学術的な称号であり、卒業に必要な単位を取得したり、論文執筆などの研究成果が評価された場合に大学から授与されます。

近年、特に大学に求められているのは、「学士」の質を保証することです。学士課程で身につけるべき能力は「学士力」とも呼ばれています。この「学士力」を保証する教育課程が「学士課程教育」であり、我が国の高等教育の重要な考え方の1つになっています。



佐賀大学の学士課程で身につけさせるべき能力は、「佐賀大学学士力」として定められています。卒業時に、「佐賀大学学士力」が身につくように、学士課程教育のカリキュラムが組まれています。

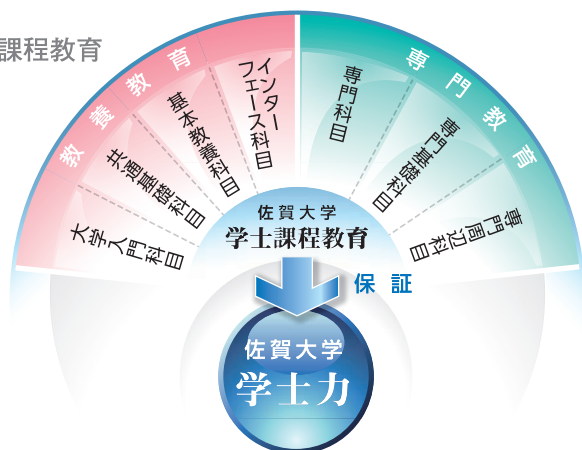


「佐賀大学 学士力」

佐賀大学では、基礎的及び専門的な知識と技能に基づいて課題を発見し解決する能力を培い、個人として生涯にわたって成長し、社会の持続的発展を支える人材を養成します。そのために、佐賀大学の学士力を次のとおり位置づけます。

項目	観点	身につけるべき力
基礎的な知識と技能	文化と自然	世界を認識するための幅広い知識を有機的に関連づけて修得し、文化(芸術及びスポーツを含む)的素養を身につけている。
	現代社会と生活	健全な社会や健康な生活に関する種々の知識を修得し、生活の質の向上に役立てることができる。
	言語・情報・科学リテラシー	①日本語による文書と会話で他者の意思を的確に理解できるとともに、自らの意思を表現し他者の理解を得ることができる。英語を用いて、専門分野の知識を修得でき、自己の考えを発信できる。初修外国語を用いて、簡単な会話ができ平易な文章を読み書きできる。 ②情報を収集し、その適正を判断でき、適切に活用・管理できる。 ③科学的素養を有し、合理的及び論理的な判断ができる。
	専門分野の基礎的な知識と技法	専門分野において、基本概念や原理を理解して説明でき、一般的に用いられている重要な技法に習熟している。
課題発見・解決能力	現代的課題を見出し、解決の方法を探る能力	現代社会における諸問題を多面的に考察し、その解決に役立つ情報を収集し分析できる。
	プロフェッショナルとして課題を発見し解決する能力	専門分野の課題を発見し、その解決に向けて専門分野の基礎的な知識と技法を応用することができる。
	課題解決につながる協調性と指導力	課題解決のために、他者と協調・協働して行動でき、また、他者に方向性を示すことができる。
個人と社会の持続的発展を支える力	多様な文化と価値観を理解し共生に向かう力	文化や伝統などの違いを踏まえて、平和な社会の実現のために他者の立場で物事を考えることができる。また、自然環境や社会的弱者に配慮することができる。
	持続的な学習力と社会への参画力	様々な問題に積極的に関心を持ち、自主的・自律的に学習を続けることができる。自己の生き方を考察し、主体的に社会的役割を選択・決定し、生涯にわたり自己を活かす意欲がある。
	高い倫理観と社会的責任感	高い倫理観を身につけ社会生活で守るべき規範を遵守し、自己の能力を社会の健全な発展に寄与しうる姿勢を身につけている。

■ 佐賀大学学士課程教育のイメージ



(ここがポイント)

従来の教育カリキュラムとの違いを分かりやすく言えば、「佐賀大学学士力」を想定したカリキュラムになっているかどうかということです。従来は、教養教育と専門教育の融合という観点からカリキュラム設計がなされていましたが、現在のカリキュラムは、「佐賀大学学士力」を学生に身につけさせることを目的として、学士課程教育のカリキュラム設計がなされています。つまり、カリキュラム設計の基本コンセプトが大きく異なっているのがポイントです。

教養教育は卒業に必要な単位数のおよそ3分の1程度を占め、「佐賀大学学士力」を構成する重要な要素となっています。逆に言えば、教養教育が不十分であると、「佐賀大学学士力」は保証できません。そのため、体系的な全学カリキュラムの編成と質の高い教育を実施するための新たな組織として全学教育機構を設立し、教養教育の充実化が図られています。教養教育は、「大学入門科目」、「共通基礎科目」、「基本教養科目」、「インターフェース科目」に分かれます。特に、「インターフェース科目」は、佐賀大学の新しい教養教育の取り組みとして平成25年度から開講される予定です。

■ 教養教育の全体像

教養教育			
大学 入門科目	共通基礎科目	基本教養科目	インターフェース 科目
	外国語	自然科学と技術の分野	
	健康・スポーツ	文化の分野	
	情報リテラシー	現代社会の分野	

※ 専門教育については、各学科・課程のページを参照ください。

✓ 佐賀大学の「インターフェース科目」とは…

インターフェース科目は、学生が将来にわたり「個人と社会との持続的発展を支える力」を培うことを目的としたものです。インターフェース科目では、現代社会が抱える諸問題に目を向けて課題を発見し、解決に向けて取り組む姿勢を養うことにより、学生が学士課程教育で身につけた知識・技能を社会において十分に生かすための力を身につけます。

インターフェース科目とは、「環境」「異文化理解」「生活と科学」「医療・福祉と社会」「地域・佐賀学」の5つのコースに設けられたプログラムから1つを選択し、それぞれのプログラムが設定する”現代的課題”に沿って、ディスカッションや実習、演習を通じて学生自らが課題を発見し問題解決の方法を探っていくというものです。



✓ 具体的なインターフェース科目 (イメージ)

「環境」コース

プログラム名 「エネルギーと環境」

Pick Up!!

【現代的課題】 エネルギーと環境とは、現代における世界規模での懸案事項です。このプログラムでは、問題の背景を見つめるとともに、対策技術の最近の動向や熱エネルギー機械、海洋エネルギー技術について考えることを通じて、エネルギーと環境とのあるべき姿に迫ります。

「異文化理解」コース

プログラム名 「異文化交流」

Pick Up!!

【現代的課題】 日本人はコミュニケーション力が低いと言われています。しかしグローバル化が進むなかで、私たちは否応なく、異文化と交流する力を求められています。このプログラムでは、異文化交流の在り方を考えるとともに、ネイティブスピーカー教員との交流体験などを通じて、海外へ留学しても困らない異文化交流力を身につけます。

「生活と科学」コース

プログラム名 「食料と生活」

Pick Up!!

【現代的課題】 人類生存の基本である食料問題は、現代社会喫緊の課

題です。このプログラムでは、食料獲得の歴史、現代の食糧生産、健康問題に通じる食品機能性などを体系的に考えることで、現代における食料問題の解決方法や今後の食糧の在り方に迫ります。

「医療・福祉と社会」コース

プログラム名 「子供の発達支援」

Pick Up!!

【現代的課題】 現代日本の教育においては、発達障害や不登校問題が重点的課題となっています。この問題は、子どもの支援や子育て支援といったより広い視野から取り組まなくてはなりません。このプログラムでは、発達障害、不登校、子育て支援の問題を、医療、福祉、心理学、教育など様々な側面から考えていきます。

「地域・佐賀学」コース

プログラム名 「佐賀の歴史文化」

Pick Up!!

【現代的課題】 近年、近代的な中央主権の国家観への反省から、地域へ注がれるまなざしが強くなっています。このプログラムでは、佐賀の歴史、佐賀に蓄積された古文書、佐賀に根付いた文化などを題材に、地域から世界を見る力を培っていきます。

※ ここで示す内容は、実際に行われる講義とは必ずしも一致しません。

1年生

大学の授業がスタート。 4月は決めることがたくさん!

授業には必修と選択の科目がいっぱい。シラバスを見ながら履修登録を行います。

体育や語学等の授業が含まれる教養教育の授業が中心。

他学部学生と一緒に授業も多く、交流できるのも魅力。

4月はサークルや部活の勧誘活動が活発。課外活動は

充実した大学生生活を送るための1つのきっかけです。



2年生

大学生生活にも慣れる頃。 将来を見据えて実力をつけよう。

大学生生活の中でも最も時間的に恵まれるとき。大学生だからこそできる新しいことにチャレンジしましょう。

授業も専門的な内容が入ってきます。学部によってはコース選択もあります。

経済学部では、2年生の後半からゼミが始まります。

卒業後のことについてもそろそろ考え始めましょう。



有意義な4年間を 過ごせるかは自分次第!

大学生生活の4年間(医学科は6年間)。この期間を「長い」と感じるのか「短い」と感じるのか。それは皆さんがどのような学生生活を送るかによって変わってきます。大学を卒業すると大半の人が社会に出て働くことになります。その意味で、「学生」という立場は、社会に出る前に許された最後の時間とも言えるでしょう。大学は高校までと異なり、授業時間以外はほぼ自分の時間です。この時間をどのように使うかは自分で考えなければいけません。自分が勇気を持って動けば、それだけ視野も人間関係も広がります。この期間に得られた経験や人脈こそ、あなたの将来の糧になるものです。「大学生生活は4年間しかない」。この想いを胸に、挑戦に満ちた大学生生活を送ってみませんか。

高校と大学の違い

大学の先生は、教授、准教授、講師、助教に分かれます。

大学の授業では、教科書があるとは限りません。先生が教材を決めます。

佐賀大学の授業時間は1校時90分です。実験や演習などは2校時を続けて使うこともあります。授業の選び方や授業への出席も自分次第。怠っていると留年して卒業できない場合があります。すべて自己責任です。

大学の休みは長いので何もせずに過ごすにはもったいない期間です。大学時代にしかできない新しいことに挑戦しましょう。

あなたの行動すべてが未来につながる。

3年生

卒業後の進路を決める。 就職活動の準備開始!

就職活動を開始するのか? 公務員試験の勉強を始めるのか? 大学院に進学するのか?
卒業後の進路を夏までに決めましょう。
より専門的な授業や演習が多くなってきます。
学部によってはゼミナールが始まり、合宿などが行われる場合もあります。



4年生

4年間の総仕上げ。 卒業論文や卒業研究で大忙し!

就職活動と卒業研究の両立は大変ですが、ここががんばりどきです。
大学院進学を希望する人は、大学院入試に向けて、猛勉強して合格を勝ち取りましょう。
看護学科では、国家試験に向けて最後の仕上げ。これまでの勉強の成果が発揮できるよう頑張りましょう。



5~6年生

医学部 医学科

医師国家試験に向けて、 最終段階へ!

医師国家試験に向けて猛勉強が必要です。



卒業

進学

大学院・修士課程(2年間)

さらに専門性を深め、
未来を担うスペシャリストへ!

大学院では「研究」が重視されます。学部で学んだことをさらに発展させて、自分の専門性を深めよう。将来、専門性を活かした職業に就くために必要です。

就職

新社会人として新たにスタート!
大学で学んだことを活かそう。

学生時代に様々なことにチャレンジし、悔いのない14年間を送ることが、希望に満ちた社会人生活につながります。

学部

学科・課程

学科・課程等の紹介

文化教育学部

学校教育課程

主として小学校教員の養成を行います。同時に幼稚園、中学校、高等学校、特別支援(養護)学校教諭の免許も取得できます。また「教育学」「教育心理学」「障害児教育」「教科教育」「理科」「数学」「音楽」の各選修にて教育学一般や各教科指導法に関するきめ細やかな教育を行います。なお、本課程は小学校教諭一種免許状の取得を卒業要件としています。

国際文化課程

「日本・アジア文化」と「欧米文化」の2選修で構成されています。英語の他に独仏中韓のうちから専門外国語を選択し、高度の外国語運用能力の涵養に努めます。また、世界各国の思想、文化、歴史等に関する多種多様な講義を通して、グローバルな視点を有する教養人の育成を行います。

人間環境課程

「生活・環境・技術」と「健康福祉・スポーツ」の2選修で構成されています。高齢化、少子化、情報化といった急激な社会の変化に即応できる介護福祉、スポーツ指導、地域貢献等を通じた専門職能人を養成し、また、地球温暖化等の環境問題に関しても深い知識を有する人材を育てます。

美術・工芸課程

絵画(日本画、西洋画)、彫刻、デザイン、工芸(窯芸、木工工芸、染織工芸、金工工芸)といった実技科目もさることながら、高度の美術理論に裏付けられた総合的な芸術学を学ぶことにより、真・善・美の探求を行えるトータルな芸術専門家の養成を目指します。

経済学部

経済システム課程

グローバル化を深める国際社会および現代経済社会の構造について、幅広い視野と専門的知識を修得します。この課程は、豊富な国際的知識とシャープな感性を身につけ、的確な判断力や行動力を養う国際経済社会コースと、地域政策、福祉政策、産業政策を3本の柱として、国際社会における地域社会の暮らしと個性を高める政策を学ぶ総合政策コースにより構成されています。

経営・法律課程

企業の経営・会計および経済社会の規範である法律を学び、企業経営と法政策について幅広い視野と専門的知識を修得します。この課程は、企業や公益法人、地方自治体など、「ミクロの経済システム」に関する経営、会計、情報処理を学ぶ企業経営コースと、経済問題を立体的に理解するのに欠かせない法律の専門知識を学ぶ法務管理コースにより構成されています。

医学部

医学科

6年間の一貫教育です。実践的な学習を重視し、臨床医学教育を低学年から導入するとともに、PBL(問題解決型学習: Problem Based Learning)による教育を実施しています。5年次からの臨床実習は、附属病院の他に学外臨床実習病院でも実施しています。「自己学習と自己評価」をモットーとしており、チューター(指導教員)制度による学修・生活指導を行っています。

看護学科

看護師教育を基盤に保健師教育や助産師教育を選択し学習する教育(学修)が行われています。病院などで実施する臨床看護実習と地域における看護を一つにした「臨地実習」を実施しています。「自己学習と自己評価」をモットーとしており、チューター(指導教員)制度による学修・生活指導を行っています。

理工学部

数理科学科

科学技術の基礎となる数学を、論理の積み重ねのほか計算機の力を借りながら学べる学科です。主な教育研究分野は、数や式の持つ魅力を追究する代数学、形や空間の性質を探索する幾何学、微分・積分を用いて現象の解明を目指す解析学です。数学及び数理科学の領域において、広く社会で活躍できる高度な専門的知識・能力を持つ教育者、技術者、研究者を養成しています。

物理科学科

宇宙から素粒子まで、あらゆる物質の現象について教育・研究する学科です。幅広く物理学の基礎を学び、興味ある物理現象を体験する実験授業や自ら問題を解く演習などによって、科学的な考え方や実証的な見方を身につけます。本学科は、素粒子論・素粒子実験から、固体などの凝縮系を扱うものまで、多様な研究グループで構成されています。

知能情報システム学科

高度情報社会を支える情報技術、情報基礎理論から応用技術までを学べる学科です。現在と将来のIT(情報技術)の発展に貢献できるようになるため、コンピュータ最適化、インターネット、情報認識などの情報基礎、計算システム、高次元情報処理を身につけられます。

機能物質化学科

科学技術の先端を担う、幅広い知識を備えた科学・技術者の育成をめざす学科です。化学の基礎から応用まで広範囲な教育研究を行っています。本学科のコースでは日本技術者教育認定機構により認定された教育プログラムを行っています。新しい機能を持つ生体材料、高分子材料、セラミックスなどの合成と性質の解明、リサイクルや環境浄化などの研究を行っています。

機械システム工学科

新製品や先端技術の開発を支えている機械工学について基礎から応用までの幅広い内容が学べる学科であり、教育課程は、日本技術者教育認定機構(JABEE)の認定教育プログラムです。主な内容は、流体工学、熱エネルギー変換、先端材料、潤滑、機械設計、生産工学、ロボティクスなどです。

電気電子工学科

今日のICT(情報通信技術)などの高度科学技術の発展に不可欠な電気・電子回路、電磁気学などの基礎科目から、計測、制御、情報、通信などの応用技術まで幅広く学べます。主な内容は、電子システム工学、知能計測制御工学、電子情報工学、情報通信工学などです。

都市工学科

数理的能力、コミュニケーション能力、美的感性といった基礎学力を学び、社会基盤、都市環境、土木、建築などのあり方について考えることができる都市工学分野の専門家の育成を目的としています。主な内容は、水環境、地盤工学、建設材料学、構造工学、建築や都市の計画とデザインなどです。

農学部

応用生物科学科

植物、動物及び微生物についての生命現象及び生物の諸特性の解明と、その成果を応用した有用動植物資源の開発・利用ならびに環境に配慮した保護について教育と研究を行う学科です。本学科は、生物資源開発学講座と生物資源制御学講座の2つの講座で構成されています。

生物環境科学科

環境の保全と再生、環境に優しい持続的な食料生産システム、環境を維持するための資源循環型社会の構築及び生活環境の向上に関わる教育と研究を行う学科です。本学科は、生物環境保全学講座、資源循環生産学講座と地域社会開発学講座の3つの講座で構成されています。

生命機能科学科

生化学や分子生物学を基礎として、微生物からヒトにわたる幅広い生物の生命現象のしくみや機能の解明を行うとともに、それらを応用した食品機能の追究と開発、食品の安全性、バイオマスの利用について教育と研究を行う学科です。本学科は、生命化学講座と食糧科学講座の2つの講座で構成されています。

課程から選ぶ、あなたの夢。

このインデックスからそれぞれの特性を調べ、
学科・課程選びの参考にしてください。

主な授業科目	取得できる主な資格	主な就職先等	
小学校英語活動、国語科教育学、身近な現象のサイエンス、身のまわりの数学、声楽、カウンセリング、算数科教育学、初等国語科教育学、初等社会科教育学、教育学研究法、心理学実験、障害児教育総論 など	小学校教諭一種、中学校教諭一種(各教科)、高等学校教諭一種(各教科) 特別支援学校教諭一種、幼稚園教諭一種 等(小学校教諭免許は必須)	国公私立学校教員(小学校・中学校・高等学校・養護学校・幼稚園) 佐賀県他官公庁、国家公務員(法務教官)、JA佐賀、ジェイアール九州ハウスステイション、警視庁、日本生命保険 など	詳しくは P.26
専門外国語(独語、仏語、中国語、韓国語)、英語オーラルコミュニケーション、日本・アジアの社会と文化、現代欧米の法と政治、欧米文化論演習、日本文学史、日本史上の市と都市、地域古典籍分析論、スピーチ・コミュニケーション論、日英文化コミュニケーション など	中学校教諭一種(国語、社会、英語)、高等学校教諭一種(国語、地理歴史、公民、英語、書道)、学芸員・社会教育主事 など	国公私立学校教員(中学校・高等学校)、佐賀県他官公庁、佐賀県立病院好生館、明治安田生命保険、アリコジャパン、第一生命保険、毎日コミュニケーションズ、ANAエアサービズ東京、JR九州 など	詳しくは P.32
日本の地理と風土、自然環境論、健康教育概論、ヘルスプロモーション実習、被服衛生学、地球環境科学、人体の構造と機能及び疾病、トレーニング科学、地理学フィールドワーク実習、住宅デザイン論、相談援助の理論と方法、フィットネス など	中学校教諭一種(保健体育、技術、家庭)、高等学校教諭一種(保健体育、工業、家庭)、社会福祉士受験資格 など	佐賀県他官公庁、佐賀共栄銀行、熊本赤十字病院、サガンドリームス、佐賀県警察、日本放送協会、佐賀銀行、JR西日本、鹿児島銀行、大塚製薬 など	詳しくは P.36
世界の美術、素描、日本画、西洋画、彫刻、デザイン、窯芸、木工工芸、染織工芸、基礎木工工芸、総合芸術学習 など	中学校教諭一種(美術)、高等学校教諭一種(美術、工芸) 学芸員 など	国公私立学校教員(中学校・高等学校)、法務省、熊本県庁、横浜市役所、レナウン、ゼンリン、鍋島織通吉島家、如水庵、平田ナーセリー、造形作家 など	詳しくは P.40
国際経済社会入門、経済学原論、国際交流実習、財政学総論、ビジネス基礎英語、ビジネス・コミュニケーション英語、マクロ経済学概論、国際金融論、現代政治論、社会政策、社会保障論、サービス産業論 など	中学校教諭一種(社会)、高等学校教諭一種(地理歴史、公民、商業)	国家公務員(国土交通省、法務省、国税専門官)、佐賀県庁、高等学校教諭、三菱東京UFJ銀行、佐賀銀行、佐賀共栄銀行、十八銀行、帝国データバンク、日本たばこ産業、日本通運、ヤマホーム、ミスターマックス など	詳しくは P.46
会計学原理、流通経済論、経営史、戦略経営論、企業論、経営分析、国際会計論、実践会計、人権論、民法総則、物権法、商法総則、環境法、社会保障法、法学概論、経済法 など	中学校教諭一種(社会)、高等学校教諭一種(公民、商業)	国家公務員(国土交通省、法務省、国税専門官)、佐賀県庁、高等学校教諭、佐賀銀行、福岡銀行、日興コーポリアル証券、かんば生命保険、日本年金機構、NTT西日本、大分キャンパリアリアル、明治安田生命保険 など	詳しくは P.50
専門基礎科目(医療人間学、医療心理学など)、基礎医学科目(細胞生物学、感染症・免疫学、人体発生学、組織学、肉眼解剖学など)、機能・系統別PBL科目(地域医療、呼吸器、循環器、消化器など)、臨床実習(臨床実習、地域医療実習など) など	医師国家試験受験資格	大学医学部附属病院(佐賀大、九州大、長崎大、熊本大)、県立病院好生館、九州医療センター、高木病院 など	詳しくは P.60
専門基礎科目(プレゼンテーション技法、解剖学、生理学など)、看護の機能と方法(基礎的看護技術など)、ライフサイクルと看護(発達看護論など)、地域における看護(地域看護学総論など)、臨床実習(基礎看護実習、成人看護実習など)、助産コース など	看護師国家試験受験資格、保健師国家試験受験資格(保健師免許取得後看護教諭二種免許及び第一種衛生管理者免許)、助産師国家試験受験資格	看護師: 大学医学部附属病院(佐賀大、九州大、福岡大、熊本大、長崎大)、保健師: 県庁、市役所。助産師: 大学附属病院、個人病院 など	詳しくは P.66
微分積分学基礎、数理科学英語、線形代数学、微分積分学、集合・位相、代数学、幾何学、解析学、複素関数論、プログラミング、確率解析学 など	中学校教諭一種(数学)、高等学校教諭一種(数学)	公務員、日本ビジネスエンジニアリング、ダイハツ長崎販売所、マルハン、ソフトジャパン、九州コーポレーション、英進館、島原市役所、大学院進学 など	詳しくは P.72
物理数学、力学、熱力学、電磁気学、物理学実験、波動、電磁気学、量子力学、統計力学、科学英語、宇宙物理学、計算機物理学、物性物理学、放射線物理学 など	中学校教諭一種(理科)、高等学校教諭一種(理科)	公務員、東京エレクトロン九州、イサハヤ電子、アイム電機工業、九州電力、アズマソーラー、佐世保通信システム、大学院進学 など	詳しくは P.76
情報数理、プログラミング概論、プログラミング演習、線形数学、基礎解析学、計算機アーキテクチャ、情報理論、データ構造とアルゴリズム、ソフトウェア工学、ハードウェア実験、コンピュータグラフィックス、情報ネットワーク、人工知能、画像情報処理 など	中学校教諭一種(数学)、高等学校教諭一種(数学、情報)、技術士補	NEC、アルプス技研、日立システムアンドサービス、コンピュータシステムエンジニアリング、システムサービス、三菱UFJインフォメーションテクノロジー、大学院進学 など	詳しくは P.80
基礎化学、錯体物性化学、量子化学、有機化学、分離分析化学、科学英語、セラミックス工学、高分子物性化学、構造化学、無機材料工学、応用物理化学、反応工学、環境化学、知的財産権法 など	中学校教諭一種(理科)、高等学校教諭一種(理科、工業)、技術士補(機能材料化学コースのみ) など	九州INAX、日本磁気選鉱、佐世保重工業、ダイワボウレヨン、ゼオライト、理工協産、九州テクニカルメンテナンス、NTTデータカスタマーサービス、大学院進学 など	詳しくは P.84
微分積分学、工業力学、線形代数学、材料力学、流体力学、熱力学、機械工作実習、機械要素設計製図、創造工学演習、伝熱工学、ロボット工学、自動車工学 など	高等学校教諭一種(工業)、技術士補、第一種ボイラー・タービン主任技術者受験資格	日立造船、きんでん、豊田合成、JR西日本、第一精工、NECエンジニアリング、唐津鉄工所、佐賀鉄工所、九州積水工業、大学院進学 など	詳しくは P.88
ベクトル解析論、信号解析論、エネルギーシステム工学、技術英語、放電工学、電気機器学、システム制御学、プログラミング論及び演習、LSI回路設計、オプトエレクトロニクス、プラズマエレクトロニクス、パワーエレクトロニクス など	高等学校教諭一種(工業)、電気主任技術者受験資格、電気通信主任技術者受験資格	九州電力、三菱電機、富士通、マツダ、ズスキ、ダイキン、豊田合成、戸上電機製作所、NECマイクロシステム、ドコモエンジニアリング九州、大学院進学 など	詳しくは P.92
測量学、構造力学基礎、都市工学概論、基礎設計製図演習、都市交通システム学、水環境システム工学、建築空間史、建築環境工学、都市防災工学、地震工学、基礎地盤設計演習、建築都市デザイン演習、アーバンデザイン、建築デザイン手法 など	高等学校教諭一種(工業)、測量士補、測量士(1年以上の実務経験が必要)、建築士や技術士補の受験資格など	北川ヒューテック、東急建設、戸田建設、松尾建設、日本上下水道設計、三井共同建設コンサルタント、セキスイハイム九州、佐世保重工業、佐電工、JR九州、JR西日本、大学院進学 など	詳しくは P.96
植物生理学、遺伝学、熱帯農業論、植物病理学、線虫学、動物行動生態学、システム生態学、蔬菜園芸学、植物病原学、昆虫学、動物繁殖生理学、植物工学、動物遺伝育種学、食用作物学、飼料資源学 など	中学校教諭一種(理科)、高等学校教諭一種(理科、農業)、農業改良普及指導員受験資格、家畜人工授精師受験資格	国家公務員、県庁、教諭、中原種苗、佐賀農業組合、ヨコオ、久留米農業共同組合、サンライフ、JAビバレッジ、大分県農業組合、鳥栖キュービー、やすや、大学院進学 など	詳しくは P.102
作物生産学、生物化学、土壌学、環境汚染化学、食料流通経済学、水環境学、栽培環境制御学、観光人類学、環境植物学、農業資源物質工学、土壌微生物学、アジア比較農業論、食料市場論、アジアフィールドワーク、遺伝子工学 など	中学校教諭一種(理科)、高等学校教諭一種(理科、農業)、農業改良普及指導員受験資格、家畜人工授精師受験資格、測量士補・測量士1級・2級、土木施工管理技士受験資格(生物環境保全学コース)	国家公務員、県庁、教諭、JA佐賀、JA福岡中央会、JA熊本、有明スカイパークふれあい園、森永乳業、コカ・コーラウェストプロダクト、日本配合飼料、久光製薬、アース環境サービス、大学院進学 など	詳しくは P.106
有機化学、分析化学、植物生理学、生物統計学、生化学、微生物学、食品衛生学、食品化学、食糧安全学、食品工学、食品機能化学、応用微生物学、分子細胞生物学、生物資源化学、遺伝子工学 など	中学校教諭一種(理科)、高等学校教諭一種(理科、農業)、農業改良普及指導員受験資格、食品衛生監視員、食品衛生管理者	国家公務員、県庁、教諭、キュービー、JA総合食品佐賀、明治チユーイングカム、九星飲料工業、佐々木食品工業、宇都宮化成工業、藤本製菓、JA福岡市、三菱オプティクス九州、大学院進学 など	詳しくは P.110



文化教育学部

Faculty of Culture and Education

学校教育
課程

P.026

国際文化
課程

P.032

人間環境
課程

P.036

美術・工芸
課程

P.040



人間・社会・文化の総合知による 新たな文化価値を創造する人材を育成。

バランスを欠いた物質文明の肥大化や価値観の多様化の中で、現在われわれは社会的、精神的混迷の中に置かれています。今や、人間、社会、自然の全体的理解に基づく「総合知」による新しい文化価値理念の樹立と創造的人材の育成という問題が緊急の課題となってきています。

新しい文化価値理念の樹立とは、国際化、情報化、高齢化の進む社会状況の中で、人間、社会、自然が調和した社会と文化

を探究・創造することであり、その実現に向けた創造的な人間をどのように育成するかという教育と表裏一体のものです。

文化教育学部は、新しい社会と文化の創造、そしてそれを担う人材の育成、教育を総合的に取り上げ、21世紀における人間と社会と文化の総合知を目指し、意欲的な研究、教育、地域貢献を展開する学部です。

教育とは、次世代を担う
子どもたちの育成。
つまり、未来を
創造することだ。



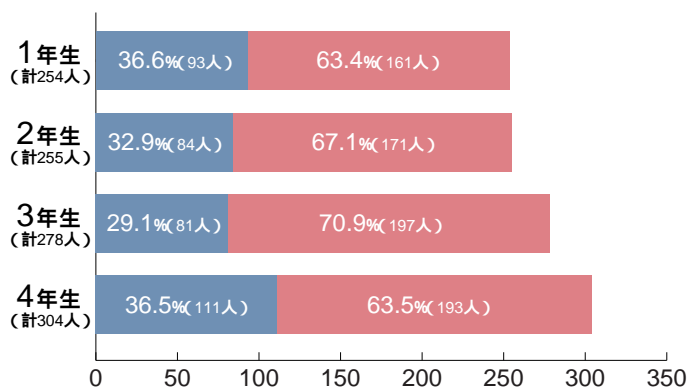
文化教育学部の特徴

教育と文化を融合した4課程

文化教育学部は、教員養成系の課程と文系を主とした3課程を併設し、教育分野に文化的要素を取り入れ、文系の分野に教育的視点を取り込むことによって両者を融合させ、教育と文化の両面を基盤とした教育・研究体制を確立し、新しい時代の求める教育者や、行政、民間企業等において創造的能力を発揮し、建設的な活躍のできる有為な人材を育成します。

学年別男女比率(平成24年度)

男 女



文化教育学部 学校教育課程

教育のさまざまな現代的課題に対する
理解と対応能力を備え
社会的・国際的に広い視野と教養をもち
判断力・行動力・心の豊かさ・
市民的資質を備えた教員の養成

学校教育課程には7つの選修(教育学選修、教育心理学選修、障害児教育選修、教科教育選修、理科選修、数学選修、音楽選修)があります。学生はいずれかの選修に所属します。教科教育選修は教科ごとにさらに10の分野(国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、造形教育、体育教育、家政教育、情報技術教育、英語教育)に分かれています。最近の理数離れや情操教育の問題に対応できるように、理科選修、数学選修、音楽選修を設けたことに本課程の大きな特徴があります。以下の教育目標を定めています。

1 基礎的な知識・技能

①現代社会の諸問題を文化・自然・人間生活と関連付けて理解できる能力、②日本語と英語を用いたコミュニケーション・スキルを持ち、情報通信技術(ICT)などをモラルに則って効果的・適正に活用する能力、③学校教育のしくみ、児童・生徒のこころと発達、障害のある児童等への支援、教科内容、教育方法等についての幅広く体系的な知識と技能を身につけさせる。

2 課題発見・解決能力

実践演習型学習や問題解決型学習、教育実習等の実践経験を通じて、①現代の学校教育の諸問題に関心を持ち、多面的な理解と考察を通じて解決に必要な情報を収集し分析する能力、②学校・教室において課題を発見し、専門分野の知識と技法を応用して課題の解決に取り組める能力、③他の教員と協調して子どもたちに対応できる指導力や実践力を身につけさせる。

3 学校教育を担う社会人

①学校教育の様々な問題に積極的に関心を持ち、目標を持って主体的に学習する習慣や、学校教育の諸問題に的確に対応できるよう、継続的に自己研鑽に励む意欲と態度、②学校教員としての責務を自覚して自己の能力を社会に還元する強い志や、社会人としての規範に従って行動できる高い倫理観と豊かな人間性を身につけさせる。

カリキュラムの特色

学校教育課程は、卒業にあたって小学校教諭一種免許状取得の要件を完全に満たす必要があります。

したがって、すべての選修において小学校の全教科に関する学習、教職に関連する基礎的教養に関する学習、実習・演習が共通科目として設定されており、これらの履修を通して教育的な素養を身につけます。

また、こうした基礎的・共通的な素養に加えて、各専門分野(教育学、教育心理学、障害児教育、教科教育、理科、数学、音楽)に関する科目を選択・履修することで、目指す

能力を高めてゆくことができます。

4年次には、学修の集大成にあたる卒業研究(論文、制作、演奏など)を行います。3年次の後半にテーマと指導教員を決め、教員の指導の下、計画的に進めてゆきます。

将来の目標のために今できること

文化教育学部学校教育課程は多くの選修に分かれており、様々な専門分野から教育にアプローチしています。

私は教育学選修に所属しており、いじめ問題の解決、教育法の在り方、海外の教育など、様々な教育事象を幅広く学んでいます。私の目標は、そんな教育学を専門とした小学校の先生になることです。

先生は教科を教えることはもちろんですが、それだけでは先生の仕事は務まりません。教科を教える以外の仕事が教育現場ではとても重要になります。

それができる立派な先生になるためには、学生時代に勉強を頑張ったり、勉強以外に様々な体験をして、教養を深めていくことが私は大切だと考えています。

学校教育課程は教育ボランティアも盛んであったり、多くの学生がサークル活動に参加し、それぞれ課外活動を行っています。私も、サークル活動を行ったり、海外で教育実習を体験したりなど、積極的に様々な活動を行っています。

こうして学んだことが、将来先生になったとき、きっと役に立つはずですよ。

大学には私たちが様々な事に挑戦できるチャンスがたくさん転がっています。

みなさんもそのチャンスをつかんでいきましょう。

文化教育学部
学校教育課程 3年

龍 伸剛

福岡県 柳川高等学校出身

文化教育学部 / 学校教育課程



Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、卒業時に資格が得られるもの

- 小学校教諭一種免許状 (卒業要件)
- 特別支援学校教諭一種免許状
- 中学校教諭一種免許状 (各教科)
- 幼稚園教諭一種免許状
- 高等学校教諭一種免許状 (各教科)

試験に必要な科目の単位を取得し、卒業後の実務経験後、受験資格が得られるもの

- 学芸員
- 社会教育主事

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- 小学校教諭
- 中学校教諭
- 幼稚園教諭
- 特別支援学校教諭
- 高校教諭
- 学習支援員
- 生活支援員
- 国家公務員(法務教官)
- 財団法人 三瀬銀行記念館
- (株)トーハン
- 医療法人 親仁会
- JA 佐賀
- ジェイアール九州ハウステンボスホテル
- マックスバリュ
- ヤマト運輸
- (株) 英進館
- NPQ(福祉関係)
- (株)ブライセン
- 佐賀県黒髪少年自然の家
- 警視庁
- (株)学映システム
- (株)佐賀玉屋
- (株)肥後銀行
- 日本生命保険
- (株)キシヤ

主な進学先

- 佐賀大学大学院教育学研究科
- 九州大学大学院人間環境学府
- 皇學館大学大学院

1年次

2年次

3年次

4年次

一般教養科目

全学教育科目

専門科目	専門基礎科目	現代教育論 生活文化論 実践英語	教育心理学 国際文化論 教育臨床心理学	カウンセリング 算数科教育法 初等理科教育法	卒業研究
	課程共通科目	教職概説	授業実践論	小学図画・小学工作 生活科概説・生活科教育法 初等国語科教育法(2-3年次)	
	各選修共通	小学国語・小学書写 数学概説 小学音楽・小学ピアノ 小学体育 小学校英語活動	教育原論 小学社会 理科講義及び実験 小学家庭 道德教育の研究 特別活動の研究 初等音楽科教育法	小学国語・小学工作 生活科概説・生活科教育法 初等国語科教育法(2-3年次) 初等社会科教育法(2-3年次) 図工科教育法(2-3年次) 体育科教育法(2-3年次) 初等家庭科教育法(2-3年次)	
	学校教育科目			教育実践フィールド演習Ⅲ	臨床教育実習Ⅰ・Ⅱ(3-4年次) 教職実践演習
	実習・演習	教育実践フィールド演習Ⅰ	教育実践フィールド演習Ⅱ	小学校教育実習	社会教育実習
	教育学選修		教育学研究法 教育方法学概説 学校・学級経営論 社会教育概論	教育学講読演習 教育学課題研究 教育制度論 人権意識論	
	教育心理学選修	発達心理学ゼミナール 基礎心理学ゼミナール 心理学研究法 心の健康	心理学実験Ⅰ 教育統計Ⅰ 乳幼児心理学	心理学実験Ⅱ 教育評価 教育相談 教育心理学演習	
	障害児教育選修	障害児心理学 知的障害者の生理・病理 病弱者・情緒障害者の生理・病理 視覚障害者の生理・病理	障害児教育総論 知的障害児心理学 知的障害教育 障害児心理検査法	障害児学習指導法 障害者心理治療法 LD等教育指導論 障害児教育基礎実習	障害児心理学実験 障害児教育実習
	教科教育選修 (国語教育分野選択の場合)	国語科教育学 国語教育学演習 国語科書写教育学	日本語表現論 日本文学史Ⅰ 教科教育情報論	国語科教育課題研究Ⅰ 国語科教育課題研究Ⅱ 教科発達心理論 教科教育授業設計論	
	理科教育選修	身近な現象のサイエンス 化学通論Ⅰ 生物学通論Ⅰ 地学通論Ⅰ	物理学通論Ⅰ 物理学基礎実験Ⅰ 化学基礎実験Ⅰ 地学基礎実験Ⅰ	力学 無機化学 動物生理学 岩石鉱物学	
数学選修	解析学基礎Ⅰ 代数学基礎Ⅰ 幾何学基礎Ⅰ 身のまわりの数学	解析学Ⅰ 代数学Ⅰ 幾何学Ⅰ コンピュータⅠ	解析学研究基礎 代数学研究基礎 幾何学研究基礎 コンピュータ研究基礎	解析学領域研究Ⅰ 代数学領域研究Ⅰ 幾何学領域研究Ⅰ コンピュータ領域研究Ⅰ	
音楽選修	ソルフェージュ 音楽基礎理論 音楽(4年次まで開講) ピアノ(4年次まで開講)	ソルフェージュ 音楽史 音楽理論演習 合唱	指揮法 合奏 伴奏法 編曲法	作曲法	

体系的な教育実習の仕組み

豊かな人間性と高度な実践力を備えた教員の養成を目指して体系的な教育実習を重視している点に本課程の大きな特色があります。

【教育実践フィールド演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲおよび小学校教育実習】

1年次に実施される教育実践フィールド演習Ⅰは、学校の様子や子どもの理解、教職への意欲を高めることを目的にして、佐賀市内の小学校で参観実習(8回程度の体験活動)を行うとともに、附属幼稚園、附属中学校、佐賀市立城西中学校、附属特別支援学校において参観実習を行います。

2年次に実施される「教育実践フィールド演習Ⅱ」は、学習指導案の作成及び教材等の開発、模擬授業とその振り返り活動等の授業開発の基本的方法を理解するとともに、教職への意欲を一層高めることを目的にして、大学での演習と実習校での授業実習(1回)を行います。

3年次に実施される「教育実践フィールド演習Ⅲ」は、小学校における教科の単元授業及び学習評価の開発をテーマとして、学習指導案及び学習評価実施案、教材等を作成し、模擬授業を行うことを通して、小学校教育実習の準備を行います。

以上の教育実践フィールド演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを履修した後、4週間の「小学校教育実習(3年次)を附属小学校あるいは佐賀市立本庄小学校のいずれかにおいて行います。

【臨床教育実習】(3年生以上)

「臨床教育実習」は、発達障害や不登校の児童生徒への支援力を養うための実習です。1人の対象児に大学院生、学部学生、大学教員で1つの実習チームを編成し、実際に支援することを通して、特別な支援が必要な子どもたちへの深い理解力と対応・指導力を身につけることを目的に行います。

以上のような体系的な教育実習を行っています。

教育学研究法

「教育学研究法」は少人数班に分かれて教育に関する研究テーマを追求していきます。その後、全教員も臨席の上、卒論発表会のような、真剣な雰囲気でもプレゼンします。ここでは、教育学を研究する方法論や発表の仕方、及び共通目標に向かって達成感を学ぶこととなります。是非、受講してみてください。

初等国語科教育法

小学校における国語の授業方法について考える授業です。どうすれば学習者主体の言語活動が充実するのか、どうすればおもしろい国語の授業になるのかを考えるため、色々な作品を読んだり、色々な文章を書いたり、指導案を考えたり、模擬授業をしたりします。

理科教育学実験

児童・生徒実験の指導法や演示実験の方法の工夫に関して、学生自ら検討することを目的として、小・中・高等学校理科の観察・実験からいくつかを選び、実際に行います。それらを通して、実験機器の操作技能や物理・化学・生物・地学教材の取り扱い、身近な素材の活用、安全教育等についても学びます。

体育科教育法Ⅱ

小学校の先生になるために『楽しい体育の授業づくり』を学ぶ講義です。高学年を対象とした体育授業の『計画』『実践』『振り返り』『改善』（PDCA サイクル）を体験してもらいます。講義中は、学生連同士で先生役・子ども役・観察者役に分かれて模擬授業を行ったあとに、熱いディスカッションを行っています。

技術教育学

この授業では技術の授業を対象として、授業を設計するための基本的な理解を深めます。まず授業設計の手順をつかみ、授業における目標行動の明確化と妥当性を検討します。つぎに形成関係図とコースアウトラインを用いた目標行動の論理分析を行います。



心理学実験Ⅰ、Ⅱ

実験Ⅰの授業では、小グループに分かれて心理学の基礎的な実験を行い、結果を分析・考察し、レポートにまとめます。テーマとしては、学習（記憶）、性格、知能、態度などに関する実験・検査・調査です。実験Ⅱでは、アンケート調査データについて、因子分析や分散分析を用いた分析・考察の方法を学びます。

初等社会科教育法Ⅰ

この授業科目は、小学校教員を志望する者を対象とし、初等社会科教育の理論と実践、特に目標・内容・方法について詳しく解説します。この解説を通して、実践的知識・態度・能力を習得し、優れた小学校社会科の授業を構成し、展開していくことができるようになることをめざします。

初等音楽科教育法Ⅰ・Ⅱ

小学校学習指導要領に示された音楽科の目標・内容・指導計画の作成と対応させながら、従来の音楽科授業とは発想や視点を変えた授業を実際に行ってみます。そこから、子どもたちにとって楽しく実りある授業づくりをどうするかについて探求していきます。

家庭科教育学課題研究A

佐賀市内の小学校で「出張家庭科教室」を実施し、企画の立案、小学校の先生との打合せ、実施に至るすべてを受講生が自主的に行います。当日は、小学生たちと楽しく活動します。過去の企画内容は「寿司ケーキをつくらう」「手打ちうどん教室」「手作り豆腐に挑戦」「手織コースター作り」などです。

小学校英語活動

小学校に新設された「外国語活動」は、中学校の英語科の授業とは異なる位置づけを持っています。英語活動をどのように指導するか、どうしたら小学校にふさわしい授業になるかなど、理論と実践と演習の3つの視点から学習します。外国語コミュニケーションとは何かを考えるいい機会です。

身のまわりの数学

数学教育、代数、幾何、解析、確率、統計という数学の多様な領域に亘って、それぞれの分野における身近な話題を素材にして解説する。具体的な体験を通して、小学校や中学校で算数や数学の授業を行なう際に必要となる基礎を修得させる。

障害児教育総論

障害児教育の基礎を学ぶ授業です。日本の障害児の教育制度（特別支援教育）や障害児を取り巻く社会の動向、各種障害（視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱、自閉症等）、障害児を取り巻く家庭や地域社会における課題等を学びます。分かり易く満足のできる授業作りを心がけています。

算数科教育法

小学校において算数を教えるための知識や、数学的な考え方を学ぶ授業です。算数科の4つの領域「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の学習内容と、その指導法について学びます。子どもたちに興味を持って取り組んでもらえるような教材の研究や、学習指導案の書き方の演習も行います。



美術教育学演習

屋外の自然物へいろいろと造形的なはたらきかけを試みる活動、デジタルカメラでユニークな写真表現を展開する活動、紙粘土を主材料として本物そっくりな造形物を制作する活動などを通して、造形学習において表現することの意味や可能性を多面的に探っていきます。

理科講義及び実験概要

将来、小学校教員になった場合の一助になるよう、物理・化学・生物・地学の4分野の典型的な実験等を4人の教員によって概説及び実験を行う。実験では、台所などにある身近な道具を使うことで、理科に興味関心がたかまるように配慮している。

声楽

歌＝大声の思込みを排し「響く声」を基礎から目指す。発声を技術の基盤に呼吸、母音子音の発音、フレーズなども習得し、歌全体を作る。演奏に生かせる楽曲への感性も養う。表現することを通して実世界の諸事象への感性や思考力を高め、音楽教育における歌のあり方についての実践的教育力を養う。

教育学選修

上野 崇三 教授、黒田 眞章 教授、倉本 哲男 准教授、松下 一也 准教授、川上 泰浩 准教授

教育学選修では、子どもたちの教育をより良くするための学びを追求します。現代的・実践的な課題（たとえば不登校、いじめ、非行、学力問題、教室におけるさまざまな子どもへの対応、子育て支援など）について、学校教育や社会教育の側面から考えます。そのために、学級集団づくりや生徒指導、地域との連携といった課題や、これらの基礎となる教育の歴史、教育に関する思想や哲学、教育と社会の問題、教育の制度などについて学びます。



教科教育選修・数学教育分野

瀬川 真也 教授

数学教育分野では、まず、代数学、幾何学、解析学、統計学、コンピュータといった数学の内容に関する学習を行い、数学の理解を深めるとともに、数学的な思考力を身につけます。また、算数科や中学・高校の数学科の目的、教育内容、教材分析、授業方法、授業評価の研究など、数学教育に関する学習もあわせて行います。更に、各種の教育実習を行うことにより、算数・数学の実践的な授業力を養います。

教科教育選修・体育教育分野

福本 敏雄 教授、堤 公一 講師

「印象に残っている体育の授業は？」と質問された時、あなたがイメージする体育授業は、ポジティブ、それともネガティブな印象ですか？

私たち、通称「教科教育体育科」では、一人でも多くの学生が小学校の先生になることを願いながら、特に、子どもたちにとって「楽しい体育の授業」を提供できる先生をしっかりと育てていきたいと思っています。

教科教育選修・英語教育分野

田中 彰一 教授

英語教育分野は、小学校「外国語活動」の指導に強い小学校教員を目指す分野です。きちんとした英語力（特に発音能力）を身につけながら、小学校の全科の基礎知識と実践を学んでいきます。同時に中・高の英語教員免許取得を目指す人も多く、他選修の英語科目を履修し、中学校での英語教育実習にも取り組んでいます。留学や海外での英語研修を経験し、さらに英語力をつける人もいます。

理科選修

石原 秀太 教授、百脇 博巳 教授、角縁 進 教授、堀 正勝 准教授

理科選修ゼミは、化学、生物、地学の3分野あります。物理学は環境・技術選修の先生のゼミを取ることも出来ます。物性の特徴、植物の分類生態、動物生理学、火山岩石等の学習を通して理科に強い教員の養成を目指しています。

教育心理学選修

堀尾 知信 教授、池田 行伸 教授、大元 誠 教授、藤田 一郎 教授、網谷 綾香 准教授、中島 範子 講師、山口 玲子 講師

教育心理学選修が目指すのは、子どもの内面的問題について心理学的観点からアプローチし、支援することのできる教員の養成です。心理学実験や調査法など小グループでの演習を通して心理学的な分析法や考え方を学んだのち、4年次からは個人の興味関心に応じて各ゼミで研究を行います。子どもや青年の発達・性格に関すること、友人・家族関係、不登校やいじめ・非行などの教育問題、発達障害への支援など、テーマは多岐に及びます。

教科教育選修・国語教育分野

羽田 潤 准教授

国語分野では、多様化する社会に生きる子ども達に、どのような国語の力を、どのような方法で教えることが効果的なのか、また、小学校・中学校における書写指導についても考えていきます。卒業生の多くは、小学校教諭になりますが、中学校国語教諭免許、高等学校国語教諭免許、高等学校書道免許を取得した学生も多くいます。

教科教育選修・理科教育分野

世波 敬嗣 教授、佐藤 寛之 准教授

理科教育分野では物理学・化学・生物学・地学の内容を学びながら、自然の事象や現象を取り扱う際の、授業計画、教材・教具の使用法、実験・観察の指導法、コンピュータの活用、児童・生徒の自然認識、科学史、評価方法など、理科をよりよく教えるための基本を身につけることに重点を置き、小学校、中学校や高等学校での理科教育について学びます。さらに、理科教育史や諸外国での理科教育などについても学び、幅広い視野と深い知識、高い能力に支えられて授業ができるようになることをめざします。

教科教育選修・家政教育分野

中西 雪夫 教授

「出張！家庭科教室」教育ボランティア、など小・中学生と触れ合う活動を用意しています。卒業論文は調理や被服製作といった家庭科らしい内容の他にも、家族関係、保育といった心理学や社会学などの文系学問と関わる内容、繊維、栄養素といった化学や物理学などの理系学問と関わる内容もあります。また、インテリアやファッションなど、美的センスが発揮される内容もあります。卒業生の進路は小・中学校教員や幼稚園・保育園、教員以外では、公務員、警察官、アパレル関連企業など。

教科教育選修・造形教育分野

前村 晃 教授、栗山 裕至 准教授

造形教育分野では、造形表現学習や鑑賞学習について実践を通して学ぶことで、教材開発力や授業実践力を備えた教師の育成に取り組んでいます。様々な材料・道具や表し方を楽しく試しながら、自分の思いや願いなどを造形的に表現する学習活動や、作品の良さを互いに見つけたり、日本や世界の様々な造形美術の美しさや素晴らしさを味わったりする学習活動について学びます。また、美術・工芸課程の授業を受講することにより、専門性の高い力量を身につけることも可能です。

音楽選修

古員 雅子 教授、高野 茂 教授、橋本 正昭 教授、飯橋 江利也 准教授、今井 浩人 准教授

音楽選修では、児童に音楽の楽しさや、深遠さを感じさせる為に必要な発声・歌唱法（板橋ゼミ）ソルフェージュ（今井ゼミ）、楽典や音楽史（高野ゼミ）、和声法・対位法（橋本ゼミ）ピアノ奏法（古賀ゼミ）などで音楽の基礎的技術・知識を身につけます。さらに、合唱、合奏、指揮、伴奏、編曲、作曲など学校音楽科指導で不可欠な技術、また専門の楽器演奏の研究を深めることにより、説得力のある音楽教員養成を目指します。

障害児教育選修

眞田 英進 教授、久野 建夫 教授、芳野 正昭 教授

障害児教育選修は、知的障害や肢体不自由、病弱、自閉症、重複障害のある子どもの教育支援に関して理論と実践の両面から学ぶ「障害児教育研究室（芳野ゼミ）」障害児者への心理・行動を理解し、心理的支援や教育的支援の方法などに関して理論と実践の両面から学ぶ「障害児心理研究室（眞田ゼミ）」感覚情報処理と行動制御の観点に立ち、実践につながるテーマを重視して研究を進める「障害児病理研究室（久野ゼミ）」から構成されています。

教科教育選修・社会科教育分野

佐長 健司 教授、宇都宮 明子 講師

今日、私たちの社会は、多様な社会的問題に直面しています。社会科分野では、どうすれば社会問題を克服し、よりよい民主主義社会を形成しようとする子どもたちを育成することができるのか、そうした子どもたちを育成するためにはどのような授業を実践すればよいかを考えます。なお、教員免許状は、小学校教員免許状に加えて、中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科、及び幼稚園教諭等の免許の取得ができます。

教科教育選修・音楽教育分野

山田 潤次 教授、荒巻 治美 准教授

音楽は人間に固有の文化です。したがって、音楽を聴くこと、演奏すること、学ぶことは、人間とは何かを問う根源的な思索に結びついているのです。それゆえ、時代や地域を問わず、音楽は教育の対象となってきました。音楽教育分野では、社会文化と関連させながら音楽を考え、感じ、子どもたちに「学校で伝え教える」意味を具体的なかたちで学び、幅広い視野、知識、能力を自分のものにすることを目的としています。

教科教育選修・情報技術教育分野

角 和博 教授、中村 隆敏 准教授

情報技術教育分野は、ものづくりをイメージ制作と実物製作の2つから捉えて、この両方の基礎となる情報教育や技術教育について学ぶ分野です。中学校の技術の教員免許、高校の工業や情報の教員免許も取得できます。また情報デザインやデジタル表現を用いてICTを授業や教材開発に生かす力と情報モラルなど情報との正しい接し方を実践的に指導できる力が学べます。

数学選修

河合 茂生 教授、寺井 直樹 教授、藤田 景子 准教授、庄田 敏宏 准教授

数学選修のゼミは、大きく分けて解析学・代数学・幾何学・統計学の分野があり、ゼミごとに専門書を輪講形式で読み進めていく方式をとっております。教員としてもつべき教科の理解力や説明能力を育成するような指導を心がけております。



【附属教育実践総合センター～教育実習のサポート～】

附属教育実践総合センターは、昭和59年4月に開設された附属教育実践研究指導センター(平成8年10月、学部改組に伴い文化教育学部附属となる)を前身とし、平成14年4月に改組拡充された施設です。当センターは、「教育実践部門(学習開発分野・教育情報分野)と「教育臨床部門(学校臨床分野・発達臨床分野・学校教育相談分野)の2部門(5分野)から構成されています。

従来の「研究指導センター」では、教員の教育指導能力の開発、授業分析法の開発等を主な目的としていましたが、「総合センター」では、新たに教育臨床部門を加え、従来からの教員養成の重要性を認識しつつ、さらに地域との連携を図り、教育現場のいじめ、不登校をはじめさまざまな教育問題に積極的に取り組んでいます。

従来以上に開かれた大学を目指し、大学の蓄積した知識や地域の隠された知的財産を地域の人々とともに発掘し、次世代に継承する文化教育的な窓口、地域センターの役割を担っています。地域の教育のネットワークづくりへの貢献や学生ボランティア支援など明日の教育やそれを担う教員養成を支援するセンターを目指しています。

【附属学校(園)～教育実習の場～】

文化教育学部には、附属小学校、附属中学校、附属特別支援学校、附属幼稚園の四つの附属学校(園)が置かれています。これらの学校(園)では、所属の教員と大学の教員とが協力して、幼児・初等・中等教育及び障害児教育の理論と実践の研究に取り組んでいます。学校教育課程を始めとして、教員を目指す学生が教育実習を行なうのもこれらの施設です。各学校(園)では、一人ひとりの個性と能力を生かす教育が進められており、文化教育学部の学生も、実習を通じて、児童や生徒、園児たちと、ともに学び、触れ合うことができます。

附属学校(園)と学級数

附属学校(園)	学級数	
附属小学校	18	
附属中学校	12	
附属特別支援学校	小学校	3
	中学校	3
	高等部	3
附属幼稚園	3	

Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

- ひとり親家庭の支援に関する一考察
- 子どもたちの「生き生き感」をなくむ放課後児童クラブについて
- セルフ・エスティームを高める学級集団
- 兄弟姉妹間コンプレックスに関する心理学的研究
- 発達障害の子どもの支援 アスペルガー症候群を中心として
- 動物の感情を幼児はどう理解しているのか
- 学習困難児に対する心理教育的支援研究
- 映像作品に描かれた自閉症の特性に関する研究
- 交流教育に関する研究
- 「国語科教材の研究 マンガにおけるオノマトペ表現を中心に」
- 「書作品における墨色の研究」
- 社会科における法教育の研究
- 社会科における言語文化教育の授業開発

- 「分数のつまづき」に関する考察
- パソコンを用いた数学教材に関する研究
- 「義務教育段階の化学教育における溶解の取り扱いに関する研究」
- 「理科学習場面におけるコンピテンシーの熟達の要因に関する一考察」
- 「郷土の音楽」の教材化に関する研究 福岡県民謡「炭坑節」を中心に
- 障害のある子どものための音楽教育に関する研究
- 子どもの描画と心理
- 子どもと木製玩具について
- 体育科教育における技能向上についての一考察
- 学校体育からみた校庭の芝生化について
- キャラクター弁当による食生活教材の開発
- 現職教員と教育実習生の言語・非言語的行動分析
- 学校現場におけるICTを利活用した協働学習の研究

- 学内コミュニティ支援のためのキャンパス放送局の実践と研究
- 英語コミュニケーション能力の育成と小中連携
- 小学校英語活動と中学校英語科の接続 小中連携における課題
- 非ユークリッド幾何学の研究
- 初等整数論の研究
- 位相幾何学の研究
- イソジウム臭化物錯塩の核四極共鳴
- 身近な植物を使った環境調査
- 耶馬溪玄武岩類の岩石学的研究
- 小学校音楽科における合唱指導
- モーツァルトのウィーン時代の音楽活動
- ピアノ作品のオーケストラ編曲について

教 員 紹 介

- 上野 景三 教授
社会教育学・生涯学習論
- 園田 貴章 教授
学習支援論(読み書き等支援、授業構成論)
- 撫尾 知信 教授
教育心理学(教育測定、統計、評価)
- 池田 行伸 教授
神経心理学(神経系の発達、生物学的人間像)
- 大元 誠 教授
発達心理学(アニメイズム、日本語の表現の心理学)
- 藤田 一郎 教授
小児科学(心身症、不登校、子育て支援)
- 眞田 英進 教授
障害児心理学
- 久野 建夫 教授
障害児教育、慢性疾患の教育ニーズ
- 芳野 正昭 教授
障害児教育
- 倉本 哲男 准教授
学校/学級経営(レッスン・スタディー)
- 松下 一世 准教授
人権教育、教育方法(特別活動等)、学級づくり
- 川上 泰彦 准教授
教育制度、教育法規、教育行財政
- 網谷 綾香 准教授
臨床心理学(教育相談、スクールカウンセリング)
- 中島 範子 講師
発達障害心理学(LD、ADHD、ASD)
- 山口 玲子 講師
臨床心理学、発達臨床心理学(発達相談、児童福祉)

- 羽田 潤 准教授
国語教育(比較国語教育(イギリス)、メディア・リテラシー教育)
- 佐長 健司 教授
社会科教育学
- 宇都宮明子 講師
社会科教育学(日本及びドイツ歴史教育)
- 瀧川 真也 教授
数学教育学(数学教育におけるコンピュータの活用)
- 世波 敏嗣 教授
理科教育学(比較理科教育(イギリス))、科学教育
- 佐藤 寛之 准教授
理科教育学(理科の教授・学習論)、科学教育
- 山田 潤次 教授
音楽教育学
- 荒巻 治美 准教授
音楽教育学
- 前村 晃 教授
美術教育学
- 栗山 裕至 准教授
美術教育学
- 福本 敏雄 教授
保健体育教育学(器械運動)
- 堤 公一 講師
保健体育教育学(楽しい体育授業づくりの研究)
- 中西 雪夫 教授
家庭教育学、保育学
- 角 和博 教授
技術教育学、情報教育学
- 中村 隆敏 准教授
情報教育学(ICT活用教育)、技術教育学

- 田中 彰一 教授
英語教育学、英語学(第二言語教育、英文法)
- 河合 茂生 教授
幾何学 数学教育
- 寺井 直樹 教授
代数学 数学教育
- 藤田 景子 准教授
解析学 数学教育
- 庄田 敏宏 准教授
幾何学 数学教育
- 石原 秀太 教授
物理化学、化学教育
- 宮脇 博巳 教授
植物分類学、生物教育
- 角縁 進 教授
岩石学、地質学、火山学、地学教育
- 嬉 正勝 准教授
動物生理学、神経行動学、電気生理学、生物教育
- 古賀 雅子 教授
ピアノ
- 高野 茂 教授
音楽史、音楽理論
- 橋本 正昭 教授
作曲
- 板橋江利也 准教授
声楽、発声、合唱、オペラ
- 今井 治人 准教授
指揮、ソルフェージュ、器楽、合奏

文化教育学部 国際文化課程

広い国際的視野に立って
日本・アジアの文化と
欧米の文化を学際的な
システムの中で学ぶ



国際文化課程では、広い国際的視野に立って文化の価値を産み出していく力を身につけ、国内外で活躍できる人材を育成するため、1 ~ 3 の目標を定める。

教育目標

- 1 国際社会の理解能力を養成するための科目を設定し、国際人としての資質を形成する。
- 2 英語だけではなく、ドイツ語・フランス語・中国語・朝鮮語を選択履修させ、外国語運用能力を高める。
- 3 様々な場におけるコミュニケーション的指導能力、深い洞察と分析に基づいた企画力・実践力を養成する。

カリキュラムの特色

国際文化課程では、日本・アジアと欧米の文化を学際的なシステムの中で学ぶことができる多様な科目を用意しています。狭い意味での文化だけでなく、各国の思想・歴史・法体系に関する科目や、国際社会を支える政治・経済的基盤に関する科目も学ぶことができます。

国際文化課程のカリキュラムの特徴は、外国語とコミュニケーション能力の養成を重視している点にあります。専門科目として、欧米やアジアの言語の授業を設けており、教養教育科目の外国語の授業とあわせて二ヶ国語以上を

徹底的に学びます。選修の選択は2年次に希望によっておこなわれます。4年次にはそれまでの学びの成果を卒業研究にまとめます。

なお、必要な科目を履修することで、中学校、高等学校の各教科の教員免許状取得も可能です。

興味、実行、新しい視野

国際文化課程は主に文化、言語、文学、政治、思想、経済を学びます。2年次からは欧米文化選修、日本・アジア文化選修コースに分かれ専門的になります。私は日本・アジア文化選修に所属し、今学期はアジア国際経済の演習を取りました。留学生と共に学ぶため刺激的です!また、この課程は外国語修得に熱心で、私自身、中国語の音の美しさに魅了され中国留学を決意しました。国内での国際交流と異なり自分が留学生として異国に飛び込む、楽しみです。

私は大学入学後、視野が一気に広がりました。理由は高校時代と比べ時間に余裕ができ行動範囲が拡大し、なにより活動しやすい環境に恵まれたからです。佐賀大学に「頑張りたい」という人に協力してくれる人が大勢いるのです。

大学生生活の4年間は、日々夢中になれる事を見つけても、ただ漠然と過ごしても、同様にあっという間に過ぎていきます。

感謝の心を忘れず今後も有意義な毎日にしたしたいと思います。



文化教育学部
国際文化課程 3年
酒谷 佳絵
佐賀県立佐賀西高等学校出身

文化教育学部 / 国際文化課程

Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、卒業時に資格が得られるもの

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 中学校教諭一種免許状(国語) | 高等学校教諭一種免許状(書道) |
| 中学校教諭一種免許状(社会) | 高等学校教諭一種免許状(地理歴史) |
| 中学校教諭一種免許状(英語) | 高等学校教諭一種免許状(公民) |
| 高等学校教諭一種免許状(国語) | 高等学校教諭一種免許状(英語) |

試験に必要な科目の単位を取得し卒業後の実務経験後、受験資格が得られるもの

- | | |
|-----|--------|
| 学芸員 | 社会教育主事 |
|-----|--------|

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 福岡市役所 筑後市役所 大村市役所 さつま町役場 福岡県立福岡高等学校 沖縄県立糸満市潮平中学校 佐賀県学校事務(2名) 郵便局 JA 佐賀(3名) 佐賀県立病院好生館 地方独立行政法人 大牟田市立病院 明治安田生命保険 アリコジャパン 第一生命保険 | <ul style="list-style-type: none"> 三洋ホームズ 毎日コミュニケーションズ 富士通エフ・アイ・ピー九州株式会社 ANA エアサービス東京 JR 九州 リビングハウス イービーエム(2名) 佐賀新聞文化センター 英進館 コトブキ製紙株式会社 コスモス薬品 エバーライフ(2名) パンナ |
|--|---|

主な進学先

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 九州大学大学院人文科学府(1名) | 佐賀大学大学院教育学研究科(1名) |
| 山口大学大学院人文科学研究科(1名) | |



Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

パリをめぐる歴史的考察 ~失われた楽園とオランダ人~
 荘子の研究
 韓国の経済発展過程におけるキリスト教の与えた影響
 肥後藩の成立と加藤清正
 満州移民と農村社会
 在原業平研究

吉本ばなな論
 佐賀方言の研究
 三国志演義について 孫呉の描写
 The African American's History to get an Educational Equality
 The History and Development of English Plurals
 エリザベス1世の外交政策

ロートレックに見られる浮世絵の影響
 『カラー・パブル』におけるアメリカの歴史・文化とフェミニズム
 聖書における女性観
 競馬場に行ってみよう! 苦境に立たされた公営ギャンブル復活への提案
 メディアは世界を平和に出来るか
 フランスの移民問題について

1年次

2年次

3年次

4年次

教養教育科目

全学教育科目

日本・アジア文化選修

日本・アジアの社会と文化
中国文学講義
アジア経済論
日本近世文学論
日本語要説
朝鮮史
東洋史要説
欧米の社会と文化
現代欧米の法と政治
芸術文化論
近代西洋思想
国際文化学概論
美学外書講読
英語オーラルコミュニケーション
現代ドイツ事情
文化とジェンダー
社会とジェンダー
西洋史要説
欧米文化論演習

欧米文化選修

日本語文法論
日本古典文学論
日本文学史Ⅰ・Ⅱ
日本語史
日本史要説
日本史上の市と都市
日本近現代史
日中交渉史
国際文化論
国際経済論
中国思想史

英米文学講読
イギリス文学
アメリカ文学
ドイツ文学
フランス文学史
国際社会の正義と秩序
法学要論
経済学要論
国際文化論
倫理学要論

中国語文章論
韓国・朝鮮社会文化史論
東南アジアの国家と社会
地域古典籍分析論
英語
中国語
朝鮮語
ドイツ語
フランス語
専門教育外国語

哲学要論
英語音声学演習
英作文演習
資格英語
スピーチ・コミュニケーション論
英語
中国語
朝鮮語
ドイツ語
フランス語
専門教育外国語

日本語学演習
日本語史演習
日本古典文学演習
日本近代文学演習
日本前近代史演習
日本近現代史演習
中国思想史演習
中国文学演習
中国語学演習
日中比較文化演習
東洋史演習

英文学演習
西洋中世史演習
倫理学演習
美学演習
法学演習
国際関係論演習
欧米社会経済思想史演習
西洋古代哲学演習
英語学演習
フランス文学

国際政治学演習
韓国・朝鮮学演習
東南アジア学演習
国際経済論演習
世界地誌
日本語教育実習
英語
中国語
朝鮮語
ドイツ語
フランス語

フランス文学理論演習
日英異文化コミュニケーション
英語論文構成
英語
中国語
朝鮮語
ドイツ語
フランス語

卒業研究

卒業研究
英語パブリックスピーキング

専門教育科目

注目の授業・講義

日本文学史

日本近現代における災害と文学の関わりについて、災害を単なる天災のみでなく、人災という観点から、近代現代の戦争と文学、関東大震災と文学、原爆と文学、沖縄戦と文学、公害と文学、そして今回の東日本大震災と文学について、歴史的視点で学ぶ。

日本史上の市と都市

日本史上著名な都市。京都や博多・鎌倉などの他に、室町時代に各地に市場・中小都市が成立・発展した。その根底には、流通・商業・金融などあらゆる分野での経済成長が不可欠であり、そつした視点をもって地域の発展と都市の成立を探っていききたい。

地域古典籍分析論

古典籍とは、近代以前に作られた書物をいう。古くは書写されて読まれ伝わり、江戸時代には印刷出版されても伝播した。和紙に書かれ刷られたそれらは、俗に「和本」といわれ、日本全土の図書館や旧家や寺院・神社に伝存している。それらを手にとって分析して、モノとしての書物とそれを取り巻く文化を知る。

欧米文化論演習

我々多くの日本人にとって、日本の次によく知っている国といえば、おそらくアメリカであろう。実際、ニュース、新聞、雑誌、テレビ、映画等を通じて、我々は日本にいながらにして、日々アメリカと接している。にも拘わらず、我々の知るアメリカは多くの場合、公式的あるいは建前としてのアメリカでしかなく、我々は実はアメリカを知らない。そこで、この授業では、虚像としてのアメリカを突き抜けて、その特徴的な文化的側面を掘り下げることで、少しでも真のアメリカの姿に迫ってみたい。

スピーチ・コミュニケーション論

コミュニケーションにおける話し手の意図、聞き手の解釈を様々な角度から考察する。なぜ、われわれは伝えたいことを言わないのか、それなのになぜ、お互いに理解できるのか。実際の言語使用における「意味」を問題にする言語学の一分野「語用論」の入門であり、基本的な諸概念の理解と修得を目標とする。

現代欧米の法と政治

(以下は平成23年度の事例です)いのち(生死)をめぐる法・倫理・政治について、日本と欧米を比較しながら検討します。学期全体のテーマを「いのちをめぐる法と政治」と定めます。妊娠中絶や代理出産、出生前診断などリプロダクティブ・ライツをめぐる諸問題、安楽死・尊厳死など「死の自己決定権」にまつわる問題、さらに死刑制度や食肉生産(屠畜)といった具体例をいくつか取り上げて検討します。

教員紹介

日本・アジア文化選修

佐々木 揚 教授
東アジア近代史、外交史
宮島 敦子 教授
日本中世流通・経済史、商業史
浦田 義和 教授
日本近代現代文学、冲縄文学、近代文学とアジア
近藤 則之 教授
中国思想、儒教、老荘思想
古川 末喜 教授
中国語、中国文学、杜甫
今野 厚子 教授
日本の中古文学、平安時代の和歌文学、勅撰和歌集

藤田 勝良 教授
現代日本語学、意味論、文法論、方言学
白石 良夫 教授
近世文学、古典学の歴史、考証随筆
森 善宣 准教授
北東アジア国際政治、朝鮮半島をめぐる国際関係、朝鮮現代政治史、南北朝鮮現況分析
張 韓模 准教授
アジア経済、貨幣、為替レート
山崎 功 准教授
東南アジア国際関係、日本=東南アジア関係史、インドネシア現代史
永島 広紀 准教授
韓国・朝鮮史、日韓関係史、近代の日本とアジア

土屋 育子 准教授
中国文学、中国演劇・小説、中国語
鬼嶋 淳 准教授
日本近現代史、地域史、社会運動史
中尾友香梨 准教授
日中比較文化、日中文化交流史、中国語
山本志帆子 講師
日本語学、日本語史、社会言語学

鍋島ルネサンス構想『文化創成コーディネーター・プログラム』

木原 誠 教授(プロジェクト・リーダー) 文化創成、現場力、地域貢献

平成23年度から新教育研究プロジェクト『鍋島ルネサンス構想』を開始しました。本プロジェクトの『文化創成コーディネーター・プログラム』では、教養と専門知識に裏打ちされた柔軟かつ豊かな発想で自主的に目的を設定し、それを達成する力(《現場力》)で、地域社会をリードし、文化を創成・発信していく人材の育成を目指しています。1～2年次には文化創成に関する基礎科目や関連科目を受講します。2～3年次には、【文化とコミュニティ】【ジェンダーとマイノリティ】【市民社会と国際協力】の中から一分野を選択し、各分野でチームに分かれ、学外のエキストラキャンパスの企画・運営や学内外での実地調査等を通じて、自分で知識を発見・編集・発信する能力を付けます。コース修了に際して、これまでに培った知識と《現場力》の集大成として、修了研究を行います。規定単位を取得した者には『文化創成コーディネーター・プログラム』修了証が授与され、その中でも成績優秀者には、外部審査を経て『文化創成コーディネーター資格』が認定されます。



中国語・文学・思想ゼミ

古川 実憲(代表) 教授

古川ゼミは、中国の古典詩を訓読し、さらに中国音で読んで解読し、世界文学の一つとして鑑賞し、土屋ゼミは、14世紀以降の中国の演劇を、中国語で台本を読みながら、演劇の性格などを研究し、中尾ゼミは、中国の音楽・文化が日本の江戸時代にもたらした影響を中心に、広く日中文化交流を、近藤ゼミは、春秋戦国から漢代の儒教を中心に、中国思想の日本への影響、さらに老荘思想などを研究しています。以上の専門以外でも中国の言葉、文学、文化、思想などを幅広く研究しています。

日本近代文学ゼミ

浦田 義和 教授

明治時代の夏目漱石や森鴎外から大正時代の芥川龍之介、昭和の太宰治や中島敦、戦後の島尾敏雄や現代作家まで、幅広い時代と作家を取り扱って、作品を觀賞し研究のいるはを学ぶとともに、日本近代作家のアジア・沖縄との関わりについても学ぶ。

日本語史ゼミ

山本 志帆子 講師

『源氏物語』や『枕草子』のごとばと私たちが話すことばは、異なるところが多くあります。私たちが現在話していることばは、歴史のなかでどのように移り変わってきたのでしょうか。日本語史ゼミでは、さまざまな文献にみられることばを丁寧に読み解きながら、日本語の歴史を明らかにしていきます。そして、ことばの歴史とともに、日本の社会や文化の移り変わりについても考えていきます。

東南アジア学ゼミ

山崎 功 准教授

一般にはあまり知られていない日本と東南アジアの関係を歴史的視点、現代国際関係の視点、また映画やマンガを含む多様な文化交流の視点を踏まえて考えます。さらに「エスニック」という言葉で一掃りにされる東南アジアの多様な文化・社会のありようを「政治文化」をキーワードに考えます。希望者には初級インドネシア語サブゼミ実施。成果をインドネシアの大学(本学協定校)のゼミナールで発表します。(希望者のみ 旅費自己負担)

韓国・朝鮮学ゼミ

永島 広紀 准教授

今、ちまたには「韓流ドラマ」や「K-pop」が氾濫しています。本ゼミではこれらのことは特に学びません。その代わりに、韓国・朝鮮半島の言語・歴史・伝統文化を研究することによって、結果的に「韓流」を皆さんなりに深く楽しめる方法をお教えいたします。また本ゼミの伝統は、先輩たちの多くが韓国の大学に交換留学していることです。ぜひ一緒に「韓」を体感してみませんか?

日本近現代史ゼミ

鬼嶋 淳 准教授

本演習では、近現代日本社会の歴史を考えるため、手がかりとなる重要な研究文献や史料を講読しています。希望者がいけば戦争遺跡などフィールドワークを行い、理解を深めています。近年はとくに、地域に暮らす人びとにとって、日本の近現代とはどのような時代であったかという点に注目しています。2011年度は、1945年の『佐賀新聞』と3人の戦時日記をとりあげて、人びとの戦争や敗戦の受け止め方などを検討しました。

美学ゼミ

相澤 照明 教授

西洋の伝統的な価値として真・善・美があげられますが、それは時代がどのように変わろうとも人間が人間の心をつなぐ限り持ち続ける理想への憧れの念ともいえるでしょう。人は、いつの時代にも美しい風景や芸術作品を見て歓喜し、恐怖し、切なく思い、そうした体験を通じて、人間的な心を成長させてきたのです。美学とは、そうした芸術体験や自然美の体験を分析することを通して、人間の精神を探る営みです。

英語学ゼミ

小野 浩司 教授

あの有名な漫画のタイトルはTom & JerryであってJerry & Tomでなかったのはなぜでしょう。使役のmakeは後ろに原形不定詞を取るはずなのに、なぜ受け身するとmadeの後はto不定詞になるのでしょうか。古畑三郎の三郎は「さぶろう」なのに、なぜ坂東妻三郎の三郎は「さぶろう」なのでしょう。このような音声にかかわる日常の「なぜ」に答えるのが音韻論という学問です。音韻論を学習することで、これまで何気なく使っていた日本語や英語の新たな扉を開くことがこの研究室の目的です。

ドイツ語学ゼミ

吉中 幸平 教授

ドイツ語とドイツ文化に関する研究を実践的に活かすべく、日本の学生にとって理想的な独和辞典はどうあるべきかを研究、実際に編集・出版に携わっている。学生たちにもドイツ語を使う機会を提供すべく「ドイツ語とドイツ文化研修旅行(一ヶ月間、春休みにドイツの大学での語学講習、ホームステイ、自主研修)を企画している。卒論ゼミではドイツ語に限らず、サッカーの日独比較など、広くドイツと日本に関わるテーマを扱っている。

フランス文学ゼミ

相野 毅 教授

フランスの社会と文化を中心に「比較文化論演習」では文化の歴史的な比較研究、「フランス文学理論演習」では記号論を用いた文化の分析について学びます。私の専門はフランス文学ですが、国境にこだわらず、ジャンルにこだわらず、広く文化現象を研究しています。たとえば、人連人間を中心に人間のあり方をフランス文学からアメリカのSF、日本のアニメまでを扱っています。学生の卒論もフランスの社会現象から文学まで多岐にわたっています。

国際関係論・政治社会学ゼミ

高橋 良輔 准教授

ヒト、モノ、カネ、情報が国境を越えて行き交うグローバル化の時代の時代には、世界で生じるさまざまな出来事が、私たちの未来に大きな影響を及ぼします。そこで、この研究室では、各国の外交政策や国際機関の活動、国際協力を行う非政府組織(NGO)とメディア報道のあり方、さらには人権と民主主義の理念や多文化主義、移民問題などを取り上げ、幅広い視野から国際社会の歴史的・思想的課題や現代の諸問題に取り組んでいます。

倫理学ゼミ

後藤 正英 准教授

西洋の倫理思想を幅広い観点から教育・研究しています。ゼミでは、道徳哲学、応用倫理、世界の宗教文化に関わる内容を取り上げています。私の研究対象の一つに18世紀ドイツのユダヤ人の哲学者モーゼ・メンデルスゾーン(音楽家のメンデルスゾーンの祖父にあたります)の思想があります。平成23年にメンデルスゾーンの生誕地テッサウのメンデルスゾーン協会と学部の国際交流委員会の間で交流協定を結びました。佐賀大学の学生が現地を訪問した場合、短期で文化体験プログラムを受けることができます。滞在費の援助もあります。

欧米文化選修

吉中 幸平 教授

ドイツ語の文法構造と意味構造(日・独)異文化間コミュニケーションにおける諸問題、独和辞典の研究と編集

山本 千洋 教授

西洋古代哲学、ギリシア哲学、プラトン

相澤 照明 教授

18世紀イギリス美学・芸術論、風景美(崇高とビクチャレスク)、共感論

都築 彰 教授

中世イングランド王国史、王国年代記、修道院カーチュラリ

早瀬 博範 教授

アメリカ文学、アメリカ文化論、英語教育

相野 毅 教授

フランス文学、比較文学、幻想文学

熊本 千明 教授

意味論、語用論、対照言語学

Jember, Gregory kirk 教授

Old English Literature, History of the English Language, English Poetry

小野 浩司 教授

英語学・日英比較音韻論・形態音韻論

木原 誠 教授

ケルト・アイルランド文化学、妖精学、イギリス文学

鈴木 繁 教授

アメリカ文学、ナサニエル・ホーソーン、比較文学

古賀 豊 准教授

二十世紀フランス文学、ベルナノス、キリスト教文化

山中 利夫 准教授

中世英文学、チャーサー、物語論

Oebel, Guido 准教授

Deutsch als Fremdsprache, Fremdsprachendidaktik, Komparatistik

名本 達也 准教授

19世紀アメリカ小説、ヘンリー・ジェイムズ、芸術家と文学作品

吉岡 剛彦 准教授

法哲学、マイノリティの人権、関係的自己

高橋 良輔 准教授

国際関係論・政治社会学・現代政治理論

後藤 正英 准教授

倫理学、宗教学、近代ドイツ哲学

Houghton, Stephanie Ann 准教授

Intercultural Communication, Foreign Language Education, Intercultural Dialogue

上田 政夫 准教授

プロデュース、コーディネーター、商業演出

相原 征代 講師

社会学、ジェンダー学、現代ヨーロッパ事情、フランス・イタリア)

文化教育学部 人間環境課程

現代社会の具体的な諸問題に取り組むことのできる教養と基礎学力を有し、自然環境、地域社会と文化、健康と福祉、またはスポーツに強い関心をもって、これらの分野に関する高度な知識と先見性、実践力を身につけます



教育目標

- 1 人間生活の質的向上に資する企画立案能力や情報処理能力の強化を図ること
- 2 自然環境、地域社会、健康福祉やスポーツなど人間の文化に対する学問的素養を高めること
- 3 地域の発展に寄与できるリーダーシップ、指導力、コミュニケーション能力などのスキルアップをすること

カリキュラムの特色

地域・生活文化分野では、文化の基盤としての生活を科学的に見直し、新しい地域文化や生活文化の創造をめざしています。生活文化としての統合をはかりながら、生活経営学、被服学、食物学、住居学、保育学を学ぶこととなります。また、風土に根ざした地域のさまざまな事象に対して、考古学、地理学、社会学といったフィールド科学からの追求を同時に行い、地域社会の諸問題に対して幅広い視野に裏打ちされた的確な行動をとれる人材の育成をめざしています。特に地域社会の中核として活躍できる人材の育成に力を注いでいます。

環境・技術分野では、環境・技術分野では環境問題に関わる様々な授業が用意されています。授業科目は必修科目よりも選択科目が多く設定されて、環境に関する自分の興味を主体的に選んで学べるようになっています。授業内容は文系から理系に亘って幅広く設定されていますが、理系の基礎知識を学ぶ授業に比重があります。しかし、文系出身者であり予備知識がなくても環境科学が理解できるように、基礎的な事柄から順に学べるように授業が進められます。

健康福祉分野では、高齢社会における社会保障・社会福祉や障害者福祉などの発展に向けて、健康生活と福祉の諸課題に重点的に取り組みます。従って、社会福祉に関する広範囲な専門知識と技能を持つ人材を養成します。

スポーツ分野では、専門的なスポーツ技能や科学的コーチ能力の向上を目指すと共に、高齢社会における生涯スポーツの視点から教育界や地域社会、産業界への健康・スポーツ文化の普及・発展に貢献できる専門的指導者を育成します。



自分の未来を切り開く

私は文化教育学部人間環境課程健康福祉・スポーツ選修に所属しています。ここでは、健康や運動に関する専門的な勉強をします。スポーツ分野は、沖縄に海洋実習でシュノーケリングや、北海道でスキー実習を行うなど、多種多様なスポーツを経験できます。また、授業の一つとして高齢者の方々と一緒に行う健康教室があるなど、フィールド演習が多い点が特徴です。さらに、心理学やトレーニング、コーチングなどに関する学術的な知識も深めることができます。

この課程では、教員免許の取得が可能で、海外への語学留学という制度も設けられています。私は、大学で学んだ知識や技術、経験をジムのインストラクターと水泳のコーチのアルバイトに活かしています。学部内の先生は個性的で接しやすく、授業はとても楽しいです。学生同士は、横の繋がりでなく、縦の繋がりも多く、とても居心地のいい学部です。勉強やサークル、旅行などをして、毎日がとても充実しています。

将来、立派な指導者になれるよう、大学の4年間で自分をもっと成長させていきたいです。

みなさんもぜひ、この学部に来てください!



文化教育学部
人間環境課程 2年
黒木 麻弥子
福岡県立久留米高等学校出身

文化教育学部 / 人間環境課程



Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、卒業時に資格が得られるもの

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 中学校教諭一種免許状(技術) | 地域スポーツ指導者(スポーツ指導員) |
| 中学校教諭一種免許状(保健体育) | スポーツコーチ資格の共通科目修了 |
| 中学校教諭一種免許状(家庭) | スポーツ指導員資格の共通科目修了 |
| 高等学校教諭一種免許状(保健体育) | レクリエーションインストラクター |
| 高等学校教諭一種免許状(工業) | 社会福祉士国家試験受験資格 |
| 高等学校教諭一種免許状(家庭) | 健康運動指導士認定試験受験資格 |
| 競技力向上指導者(コーチ) | 社会福祉主事(任用資格) |

試験に必要な科目の単位を取得し、卒業後の実務経験後、受験資格が得られるもの

- | | |
|----------|--------|
| 公害防止管理者 | 社会教育主事 |
| エネルギー管理士 | 学芸員 |
| 環境計量士 | |

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- | | | |
|------------------------|-------------------------|----------------|
| ● 佐賀県教育委員会 | ● 大阪府教育委員会 | ● 福岡市役所 |
| ● 久留米市役所 | ● 嬉野市役所 | ● 小城市役所 |
| ● 小学校教員(2名) | ● 中学校教員(4名) | ● 高等学校教員(4名) |
| ● 山口県警察 | ● 佐賀県警察 | ● 佐賀広域消防局 |
| ● 佐賀共栄銀行 | ● 豊和銀行 | ● 鹿児島銀行 |
| ● 株式会社はなまる | ● 武蔵野フーズ | ● 大塚製薬 |
| ● ジャパンウェイブ | ● ホンダカーズ福岡 | ● ルネサンス |
| ● 太平 | ● 日本放送協会(NHK) | ● 株式会社永池 |
| ● 熊本赤十字病院 | ● 宮崎福祉会 | ● 長崎県庁 |
| ● 福岡市消防局 | ● 佐賀銀行 | ● 鹿児島県出水郡永島町役場 |
| ● 佐世保市役所教育委員会青少年教育センター | ● 国家特別職仙台空港航空管制官 | |
| ● 西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本) | ● 熊本フォレストrips(バレーボール選手) | |
| ● 株式会社サカンドリームス(サッカー選手) | ● 桜十字病院(医療ソーシャルワーカー) | |

主な進学先

- 佐賀大学大学院教育学研究科(10名)
- 九州大学大学院人間環境学府(2名)



1年次

2年次

3年次

4年次

教養教育科目

全学教育科目

専門教育科目	地域・生活文化分野	生活環境概説 日本の地理と風土 食文化論 調理文化論 被服学	アジア社会論 人文地理学 考古学実習 現代社会の家族 被服衛生学 被服製作基礎実習	地理学フィールドワーク実習 都市システム論 古墳文化研究演習 生活経済学 住宅デザイン論 調理学実験	卒業研究
	環境・技術分野	自然環境論 環境問題と対策 地学巡検 物質環境科学	生命科学 環境熱学 地球環境科学 水環境論	エネルギー環境論 無機環境化学 植物分類学 住環境材料工学	卒業研究
	健康福祉分野	健康教育概論 現代社会と福祉	人体の構造と機能及び疾病 社会保障	救急処置 相談援助の理論と方法	卒業研究 就労支援
	スポーツ分野	ヘルスプロモーション実習	運動生理学 トレーニング科学 スポーツ経営学 コーチング理論・実習	運動処方 フィットネス	卒業研究 バイオメカニクス

注目の授業・講義

住宅デザイン論

住まいは人間が生きていく上で必要不可欠なものです。これからの生活をより豊かなものにするために、私たちの生活の場である住居や住環境について考えてみましょう。本科目では講義によって住まいや住まい方に関する基礎知識を習得した上で、学外へ出掛けて住宅展示場などを見学し、実際の住空間を体験します。科学的な知識と実体験に基づき、現在の住まいの問題点やこれからの住まいや住生活のあり方を考察する力を身に付けることをめざします。

放射線科学

(1)放射線の世界、(2)原子と原子核、(3)放射線の基礎知識、(4)放射線の利用、(5)身の回りの放射線(測定を含む)などについて学ぶ。また福島原子力発電所の事故による放射線汚染について、身の回りにおける自然放射線の理解を基礎にどのように考えて対処したらよいかについての話題も取り上げる。

ヘルスプロモーション実習

健康スポーツ科学講座が開催する「中高齢者のための健康教室」に参加し、指導力、企画運営力、コミュニケーション力等の能力を培うことを目的とする事業参加型の実習です。本授業では実際に地域の方々にさまざまな運動プログラムの指導をおこなったり、事業の運営を担当することで、通常の講義では得ることのできない実践的能力を身につけることができます。

地理学フィールドワーク実習

地理学の主たる対象は地域であり、フィールドそのものが実験室です。地域で営まれている人間活動と自然環境との関係を探りながら地理的事象の一般化を行い、また、当該地域の文化の保存をめざしています。地理学フィールドワーク実習では、自らフィールドに出て観察し、聞き取りを行いながら調査データを集め、時には計測を行い、役場・企業を訪ねてデータの収集も行います。そしてこのようなフィールド調査とともに実験室での収集データの分析、地図化、考察とプレゼンテーションも重要な学習活動となっています。

有機環境化学

本科目では環境因子の健康影響を講義している。例えば、様々な物理的・化学的因子の生体影響、身近な化学物質による健康影響、労働衛生一般など、職場で応用できる知識を教授している。

環境法要論

環境法の内容を理解するための前提として、まず環境・公害問題はわれわれにとってどういう現象であるのかを解説する。次は戦前から現在に至って、わが国ではどのような環境・公害問題が発生し、それに司法、行政、立法機関がどのように対応してきたかを考察する。公害問題のみならず自然保護、地球環境問題への国際協力などの視点も含め、わが国の環境法の法体系、内容と課題を講論する。

健康教育各論(性教育)

性教育は、健康教育の重要な領域で「生・いのちの教育」です。その内容は、性についての科学的知識を得ることだけではなく、ヒューマンセクシュアリティ(人間性)の概念に基づき、性や性役割の意味、自己の性認識、セクシャル・アイデンティティの形成など「生と性」のあり方について学びます。



食生活学研究室

萱島 知子 講師

私たちが毎日、口にしていく食べものは、意識せずとも体に影響を与えています。食べものは体を維持・成長させるための栄養素を供給し、香りや味といった嗜好性を与えています。さらに健康を増進させ病気の予防に役立つ効果も示しています。このような食べものの機能性について、特に地域の食材の新しい機能性を見出すことをめざして実験を行っています。

考古学研究室

重藤 輝行 准教授

考古学は物質文化から歴史を解明する学問です。佐賀県には吉野ヶ里遺跡、名護屋城跡を初めとして、朝鮮半島・中国大陸との交流史を物語る遺跡が多く、考古学を研究する上で魅力的なフィールドです。考古学を通じて、日本や東アジアの歴史を考えてみませんか。また、考古学の講義では遺跡等の文化財を保護する取り組みも取り上げ、現代社会における新たな文化創造の資源としての文化財の意義についても考えてみます。

環境材料工学研究室

小野 文慈 准教授

機械摺動材料にとって摩擦特性が優れるということは環境負荷を減らす1つの因子である。本研究室では摩擦低減を実現するために、DLQ(ダイヤモンドカーボン)の生成手法による薄膜評価、水素環境下の摩擦摺動特性、バイオ燃料から精製した潤滑油の評価などを行っています。

地球科学系

高島 千鶴 講師

現世の熱水環境を30億年・6億年前の地球環境のアナログととらえ、古環境の復元を目指しています。主に温泉に焦点を当て、測定やサンプル採集などのフィールドワークを行い、研究室で温泉水の分析や温泉堆積物、微生物の観察など多様な手法を用いて研究を行っています。多角的に研究することで、温泉環境における水・大気・生命の相互作用を明らかにし、太古の地球環境に応用する試みを進めています。

社会福祉学研究室

北川 慶子 教授

誕生から死までのライフスパン上のイベントのなかから生活課題を取り上げ、(児童虐待、DV、高齢者虐待、社会的排除、など)人生の危機対応研究を行っています。高齢者、障害者、外国人など災害時要援護者の防災教育から被災者ケア、被災のまちの復興支援とまちづくりプランニングなど災害研究を医学、工学等との学際的共同研究を、アジア各国の研究者と共に、国内外に災害時要援護者の危機管理の在り方を提言しています。

運動学研究室

池上 寿伸 教授

スポーツを習慣化するには?スポーツ情報や運動に役立つしくみ、トレーニングや健康科学等の中から必要となる方法や知識を知り、実際の行動や生活に取り入れて活かす実践をしてみよう!



Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

高齢者の生きがいと社会参加活動
～佐賀県における参加率低迷の原因と対策～
フードチョイス(食べもの選び)
性別役割分業観を払拭した男女共同参画社会へ
住宅地開発にともなう大都市近郊地域の変容 大府熊取町を事例に
機能性靴下に関する研究 着用実験による効果の検証
単身者の生活に適したキッチンに関する研究
グスク及び関連遺産群から見た琉球王国の歴史と文化

筑後川下流域における漁業活動の特徴と変容
大学生の食べものに対する健康認識の検討
資源問題、エネルギー問題に関する研究
建物軒下の局所的砂漠化現象
自然放射線に関連する研究
微生物代謝による温泉水の水質変化
土壌汚染対策に関する研究
職場環境及び作業環境に関する研究

バイオ燃料から精製した潤滑油の性能評価
ジャイロセンサーを用いたスイング動作の解析
DV被害者の自立に向けた支援-2つの法律に挟まれた婦人保護施設をめぐる問題-
女子新体操選手における減量行動と食生活に関する-考察
競技スポーツ選手の得意ポジションと誕生日に関する研究
高齢者の運動能力と記憶力の関係
発達障害のある幼児・児童に対する絵本による関わり方

教 員 紹 介

田中 豊治 教授
まちづくり組織社会学
水沼 俊美 教授
栄養学
赤星 礼子 教授
生活経営学
甲斐今日子 教授
被服衛生学
山下 宗利 教授
人文地理学(都市地理学)
澤島 智明 准教授
住居学、住環境学
藤永 豪 准教授
人文地理学(村落地理学)
重藤 輝行 准教授
考古学(古墳時代)
萱島 知子 講師
食生活学

張本 燦 教授
環境法、環境政策
大隅 秀晃 教授
素粒子原子核実験
中村 聡 准教授
理論物理学、環境科学
中島 道夫 教授
環境無機化学、錯体化学
岡島 俊哉 教授
有機化学、環境科学
高島 千鶴 講師
地球生命科学、堆積学
小野 文慈 准教授
機械工学、トライボロジー
北川 慶子 教授
社会保険
栗原 淳 教授
学校保健学、健康教育学

池上 寿伸 教授
バレーボールの科学、からだの機能とストレッチング
松山 郁夫 教授
児童福祉、障害者福祉
坂元 康成 教授
コーチ学、サッカー
井上 伸一 教授
スポーツバイオメカニクス、高齢者健康科学
山津 幸司 准教授
健康行動学、スポーツ心理学

Arts and Crafts Course

美術・工芸課程

文化教育学部

『九州に佐大美工あり』『佐大に美工あり』

伝統と実績に裏付けられた九州の美術・工芸教育の要
総合大学、教員養成系学部から育つ全国レベルの教員、作家
幅広い経験と視野、理論と実践が生む想像力と表現力
実績と個性豊かな教授陣が担う専門教育とチームワークが
1学年30人に行き渡り、美大ではできない経験、
教員養成のみでもできない経験を提供



総合大学及び教員養成系学部としての理念を土台に、美術・工芸の専門知識と技術修得にとどまらず、芸術・教育・歴史・思想・自然科学などの幅広い教養と合わせて、以下に掲げる力量をバランスよく身につけた人材を養成します。

1 活 力

美術・工芸が文明社会に果たしてきた役割を理解し、社会に貢献する意欲や態度、柔軟な思考力と実践能力を持つ専門家として創作活動や教育活動に携わることができる。

2 技 術

技法や材料を経験的・科学的に理解・推測・発見し、それらを自己の制作活動へ応用したり、第三者へ伝授できる。

3 理 知

コミュニケーション能力を伸ばし、情報メディアなども用いて、多様な情報を収集・分析して適性に判断し、モデルに則って効果的に活用することができる。

4 伝 統

美術・工芸の歩みに理解を深め、その経緯から創作の原動力としてのさまざまな問題意識や発想につなげる。

5 発 信

自己の企画や作品について、論理的・客観的・積極的に説明・分析・発表できる。

カリキュラムの特色

1年次に8分野の専門科目を一通り履修したうえで、1年次末に専攻分野を選択・決定し、2年次からそれぞれについて深く学びます。加えて、専攻以外の科目も自由に選択して履修することができます。

また、中学校・高等学校の教員免許を取得する場合は、それに必要な専門科目・単位を履修する必要があります。

3年次では、学外での実践活動なども評価の対象にしながら、4年次に卒業研究(制作または論文)に着手し、卒業制作展で発表します。



一日一日を大切に

現在私は美術・工芸課程で木工工芸を専攻しており、漆の技法や知識を学びながら箸や器、オブジェなどを制作しています。苦労もありますが、それ以上に技術が向上する喜びや新たな発見、制作の楽しさがありとても充実しています。また、美術・工芸課程では教員免許取得のための勉強もできるので、私も美術教師を目指して講義を取りつつ勉強しています。

大学生になって良かったと思えることは、夢中になって打ちこめることに出会えたことです。美術・工芸課程の場合はそれが制作にあたると思います。自由な時間が多い大学生活で、何か目標を持って生活するという事はとても大切なことです。また、自由なぶん今までに無い経験をしたり様々な人との出会いがあったり、大学生活には自分を成長させてくれる沢山の魅力が詰まっています。そんな環境にいられることの感謝を胸に、これからもより一層ステップアップしていきたいですね。

文化教育学部
美術・工芸課程 3年

古川 美咲

熊本県立玉名高等学校出身



Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、
卒業時に資格が得られるもの

- 中学校教諭一種免許状(美術)
- 高等学校教諭一種免許状(工芸)
- 高等学校教諭一種免許状(美術)

試験に必要な科目の単位を取得し
卒業後の実務経験後、受験資格が得られるもの

- 学芸員
- 社会教育主事

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- 法務省
- 熊本県庁
- 横浜市役所
- 東京都中学校教員
- 佐賀大学附属学校教員(非常勤)
- 福岡県高等学校教員(非常勤)
- (株)鍋島緞通吉島家
- (株)ユニバーサルホーム
- (株)如水庵
- (株)平田ナーゼリー
- 造形作家
- ほか

【参考】H.19～21年度

- 総務省
- 八女市役所
- 佐賀県中学校・高等学校教員(非常勤)
- 福岡県中学校教員(非常勤)
- 鹿児島県中学校教員(非常勤)
- 日本電気(株)
- (株)レナウン
- (株)ゼンリン
- (株)イズミ
- (株)河合楽器製作所
- (株)ケイ・ウノ
- 東芝エレベータ(株)
- (株)ジャンヌマリー
- (株)デニーズジャパン
- JA 佐賀
- (株)佐賀新聞社
- ほか

主な進学先

- 佐賀大学大学院教育学研究科
- パンタンデザイン研究所

【参考】H.19～21年度

- 九州大学大学院芸術工学府
- 筑波大学大学院芸術研究科
- 東京藝術大学大学院



1年次

2年次

3年次

4年次

教養教育科目

全学教育科目

専門科目

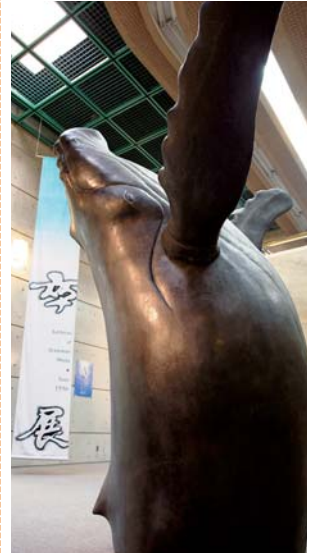
現代教育論
生活文化論
実践英語
世界の美術
心の健康
素描Ⅰ
素描Ⅱ
図法Ⅰ
日本画
西洋画
彫刻
デザイン
窯芸
木工工芸
染織工芸
基礎美術理論演習
基礎日本画
基礎西洋画
基礎彫刻
基礎デザイン
基礎窯芸
基礎染織工芸
基礎木工工芸
金工工芸

博物館学Ⅰ
博物館学Ⅱ
博物館学Ⅲ

教育心理学
国際文化論
工芸理論
デザイン理論
教育方法学概説
社会教育概論Ⅰ
人権教育論
専門教育外国語Ⅰ
専門教育外国語Ⅱ
中等美術科教育法Ⅰ
工芸科教育法Ⅰ
応用日本画
応用西洋画
応用彫刻
応用デザイン
応用窯芸
応用木工工芸
応用染織工芸
応用美術理論
応用美術理論演習
基礎金工工芸

総合芸術学習
製図
図法Ⅱ
日本画概論
グラフィックス
彫刻概論
窯芸概論
木工工芸概論
染織工芸概論
金工工芸概論
応用金工工芸
総合デザイン
総合美術理論
総合美術理論演習
日本画特別実習
西洋画特別実習
彫刻特別実習
デザイン特別実習
窯芸特別実習
木工工芸特別実習
染織工芸特別実習
美術理論特別講義
博物館実習
美術工芸学外実践活動

卒業研究



注目の授業・講義

素描【1年次】

ものを見るときはどういうことですか?ものがあるとはどういうことですか?とても難しい問題です。この授業では木炭や鉛筆、ペン等様々な素材を使い、様々なアプローチの「素描」を行います。美術・工芸1年生全員で制作し、切磋琢磨することで個々の同級生の個性を認識し、初年次に集団で制作することは、この後の学生生活に大きな財産となることでしょう。

日本画【1年次】

この授業では石を描きます。普段何気ない気持ちで見ていた石をよく観察することで新たな見え方を獲得します。膠を展色剤として和紙に墨や泥絵具、岩絵具などの日本画の伝統的な素材を使って、日本画の基本的な描写を体験します。チューブに入ったものではなく絵具を溶くことから始まる描写から感じることで、銀箔を貼って削るなど、自然の力をうまく使う表現を体験します。日本の伝統と風土によって培われてきた表現の背景を実感として学びながら、じっくりと落ち着いた気持ちでモチーフを見つめる時間を大切に授業です。

彫刻【1年次】

この授業では、自分の顔を題材に粘土でマスクを制作します。正確に自分の顔の形を粘土に写す練習ではなく、その粘土の塊を自分の顔の形をした彫刻として成立させるためにはどうしたらよいか、その切り口の一つを学びます。これが理解できれば、題材がマスクから顔像になっても、全身像になっても、他の形態になっても、ただ題材の形を作っているという状態からは脱出できると思っています。

デザイン【1年次】

「デザインする」とは何でしょうか。デザインは美術に留まらず、また有形無形を問わず、日常のあらゆるところに介在しています。学校教育の中で大多数の人が受け止めるデザインへの先入観をまずはリセットし、デザインの広義を理解して、何を基礎として会得すべきかに気付き、理論的かつ客観的にものごとを生み出す気持ちを育みます。優れたデザインを生むデザイナーたちの心を読み解き、自らも日常や不自由な場面からデザインを実践しながら、デザインする側・受ける側の両面からどう向き合うべきかを考えます。

窯芸【3,4年次】 特別実習

窯芸特別実習では、焼きものの最も特徴的な制作プロセスである「焼成」について、伝統と科学の両面から実践的に学習します。自分で制作した焼きものを、本学に新設した伝統的な登り窯の薪による焼成で、一昼夜焼き上げます。昔から窯焚きの職人のみが知る焼成の知恵を、科学的に実践研究します。

基礎木工工芸【1年次～】

「用途を想定しない造形を木で切削加工し、その後カシューによって黒く塗装 磨き仕上げする」という課題です。この前段階の授業では木工道具の使い方を中心に学ぶため、作品の自由度としては高くありません。その次の段階として、課題の意図することは次の3点です。木の切削加工からカシューによる塗装及び研磨作業までの行程を習得すること。黒く磨き上げると形の良し悪しが際立つことを体験すること。黒く塗装することを前提とするという制約の中で、独創性のあるアイデアを出すこと。

染織工芸【1年次】

型糊染技法による染色小作品の制作を行います。染料と布の関係で「かたち」を創っていくには染織技法が必要となります。ここでは代表的な染織技法の一つ、型糊染技法による染色を展開します。下絵の創り方からはじまり、型彫り、糊置き、引き染めと工程をすすめて行き、染色小作品を創り出します。また、染料、繊維等の基本的なことも学びます。

世界の美術【1年次】

古今東西の美術作品に触れることで、人間と美術、社会と美術の関係について学びます。また、美術史の基礎的な方法論(様式論、図像学など)についても学びます。扱う資料(作品)は、絵画彫刻のみならず、装飾美術、建築、デザイン、庭園など多岐にわたります。また、美術の制度(学校・博物館など)や美術とジェンダー、美術におけるオリジナルと複製といったトピックも取り上げます。

総合芸術学習【3年次～】

美術・工芸課程の学生は、佐賀美術協会展や佐賀県展で多くの賞を例年受賞しております。また、近年は全国規模の展覧会等で入選入賞を果たすようになってまいりました。また、各専攻室や仲間と多くの展覧会や個展等を多く企画し、運営を行っております。「美術と社会の在り方」を考え、実践・実行する事を授業の一部の中に取り入れ、企画をプレゼンテーションする事を皆で考え最後にポートフォリオにまとめるインターフェイス授業です。

窯芸研究室

専攻/やきもの、オブジェ、うつわ、素材技術
田中 右紀 准教授

窯芸研究室では、「やきもの」を産業・文化・表現・科学などさまざまな角度からとらえ、現代に強くアピールできる伝統的であると同時に革新を伴うもの作りを研究しています。唐津で行っている「ひと・もの作り唐津」プロジェクトは、伝統工芸である唐津焼が地域社会と結び付いてどのような形で地域に貢献しながら良い作品を生み出していくかを実践しています。また、学生は自分に出来る表現の手段として、やきものが持つ厚い文化と技法を日々吸収し利用することで、他にはないやきものが持つ独自の表現を探究しています。オブジェや立体表現など自由で楽しい作品が作られています。更に、器作りでは、食文化の研究と共に、使い手に喜ばれる器のかたちを探究しています。さまざまなやきものにかかわる探究は、冒険者のそれと同じく広い広いフィールドの中でどこに隠れているかわからない未知を探するような楽しさがあります。



日本画

石崎 誠和 講師

専攻生14名程度が在籍し、靴を脱ぐ教室でアットホームな雰囲気です。日本画という国の名前を持った絵画について幅広い視野を持って学ぶことを目指します。和紙や絹や岩絵具や泥絵具と膠といった伝統的な素材の表現と、その表現を生み出す背景をともに考えます。画面を覆かせて描くことや和紙にしっとり絵具を沈殿させるたらし込みなど自然の力に助けをもらいながら、現代にふさわしい実感を伴った新たな表現を目指しています。

西洋画

小木曾 誠 准教授

西洋画は自由と思われがちですが、その「自由」に描くのがとても難しいものです。高校時代にはある程度モチーフなどセットされて描く事も多いでしょう。では「自由に描いてみてください」と言われると、大概の学生は困惑してしまいます。まず基本から。デッサンから着彩、支地体に至るまで考え選択し、「自分らしい」とは何なのかを考え「表現」することを目標に日々制作しています。

彫刻

徳安 和博 准教授

彫刻の中でも、塑造による制作を主にしています。彫塑専攻生は大学院生まで含めて10名前後の学生が在籍しています。それぞれが授業で学んだ人体彫刻の基礎を生かし、触覚感にこだわりながら、それを深めています。また、並行して人体以外の題材で独自の創作活動も行っています。材料は石膏、FRP、木、テラコッタ、乾漆、セメント他、各自が自分の表現に必要なものを選び、又は組み合わせて使用しています。

デザイン

荒木 博申 教授

ここでは視覚伝達デザインが前提です。これを職業と結びつけるには、まず柔軟な頭と広い視野を持つ積極的なアイデアマンであることが求められます。そもそもデザインとは何かということを取り、豊富なアイデアを吟味し、優れたコンテンツとして社会に広く役立つものごとに仕立てねばなりません。アナログもデジタルも有効に使い分けながら説得力のある成果を目指します。特に言葉・文字・記号の扱いにはこだわります。

美術理論・美術史

吉住 磨子 教授

作品や作品が生み出された背景について調べ、それらを論文にまとめる行為は、学生時代にしかできないことかも知れません。また、作品を制作したり、鑑賞したりする上でも、美術史や美術理論を知ることが重要です。作品制作の現場と隣接した環境で、アクチュアルな美術史が学べることが文学部などの美術史研究室にはない本研究室の特徴です。

木工工芸

井川 健 講師

専攻名は木工工芸ですが、専攻生になると漆工芸についても専門的に学びます。器や家具から漆の造形作品まで、幅広い作品を生み出せる専攻を目指しています。2年次より専攻生になると、まず木工・漆工に関する基礎実技の習得を広く浅く行います。今までに扱ったことのない素材との出会いは様々な発見をもたらすと思います。3年次以降では素材・技法との関わりの中で自分なりの表現を見つけていきます。

染織工芸

田中 嘉生 教授

「染色による平面表現の可能性」が染色教室のテーマです。染色表現で必須の代表的な防染技法、鑑防染技法、型糊防染技法、絞り技法の三技法を中心に、技法と染色意匠の関係を見て行きます。結果、他の平面表現との「かたち」の創り方の違いを学び染色表現の一つのあり様を提示して行きます。従って、染料、繊維、防染材等の深い知識も求められます。



Pick Up!! 美術・工芸課程の卒業研究では、卒業制作または卒業論文を課しています。



教 員 紹 介

田中 嘉生 教授

染色工芸

荒木 博申 教授

視覚伝達デザイン(タイポグラフィ/エディトリアル/インフォグラフィックスなど)

吉住 磨子 教授

美術理論・美術史

田中 右紀 准教授

窯芸/やきもの/オブジェ/うつわ/素材技術

徳安 和博 准教授

彫刻(主に塑造)

小木曾 誠 准教授

西洋画(油画)

石崎 誠和 講師

日本画

井川 健 講師

木工工芸・漆工芸



経済学部

Faculty of Economics

経済システム
課程

P.046

経営・法律課程
企業経営コース

P.050

経営・法律課程
法務管理コース

P.054



経済の動きを多面的・実践的に学び、 21世紀の経済社会をリードするエキスパートを育成。

日本経済は戦後最長となる緩やかな景気拡大を続けていきましたが、米国での金融混乱から世界的な金融危機が発生しました。世界経済の大幅な需要縮小や円高が日本経済を直撃し、輸出産業での大幅な生産低下、雇用調整、設備投資の抑制が生じ、足下の景気の悪化が進行しています。このような状況の中でも、経済の国際化や情報化は急速に進んでいます。日本経済はますます厳しい国際競争にさらされています。日本は天然資源に

恵まれていません。人的資源の確保が不可欠です。十分な経済学の知識を持った人材が社会で求められています。

経済学部は、国際市民にふさわしい幅広い教養と経済社会に関する専門知識を備えた人材の育成をめざしています。知識資本主義化する社会において実践的な問題解決能力を発揮してもらうためです。日本の21世紀を支える若き知性が求められるのです。



経済はグローバルだ。
学べば学ぶほど、
世界の色々なことが
見えてくる。

経済学部



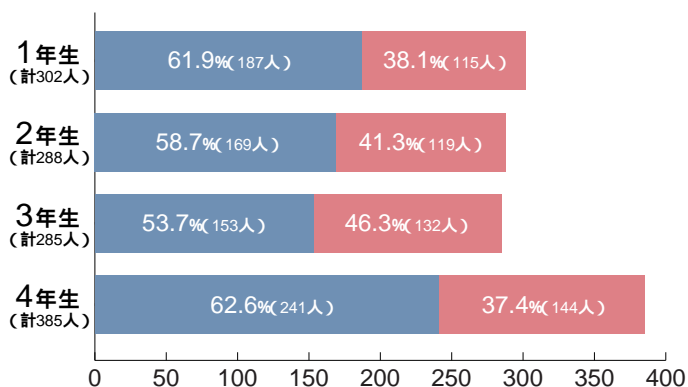
経済学部の改組予定のお知らせ

現在、佐賀大学では、平成25年4月に経済学部を現行の2課程(経済システム課程、経営・法律課程)から3学科(経済学科、経営学科、経済法学科)に再編成する改組計画を文部科学省に申請する予定です。この改組による大学入試センター試験、個別学力検査の受験科目や経済学部全体の入学定員は変更されません。

詳細は、平成24年8月下旬に発表する予定です。不明な点は佐賀大学経済学部総務までお問い合わせ下さい。

学年別男女比率(平成24年度)

男 女



経済学部

経済システム 課程

Department of Economic Systems

国際経済社会コース 総合政策コース

グローバルに考えローカルに行動する。
佐賀で経済を学び
世界へ飛躍する。

経済システム課程では、グローバル化を深める国際経済社会の仕組み、地域社会の抱える課題や経済・産業・労働・福祉などの政策と制度のあり方について、総合的に学びます。グローバル化の観点からは国際経済社会コース、そして地域社会あるいは政策のあり方の観点からは総合政策コースのいずれかを、2年次から選択して集中的に学修しますが、ともに経済学の理論の修得をその基礎に置いています。

国際経済社会コースの目的と特色

経済システム課程の国際経済社会コースでは、理論的な経済学の知識を基礎として、経済分析と国際社会から地域社会までの社会事象の理解に必要な知識を身につけます。金融・証券業界や地方自治体職員・団体職員、商社や一般の企業で活躍する人材を育成します。

激動するボータレス社会のなかで的確に判断し将来の指針を打ち出させる能力を身につけるために、2年次で経済学の理論を学んだ後、3年次で発展途上国経済論など国際社会における経済を学びます。また、2年次の国際交流実習ではタイ(2012年)やスリランカ(2011年)の現地の国際交流提携大学で合同セミナーを行うのが大きな特色です。

総合政策コースの目的と特色

経済システム課程の総合政策コースでは、財政と社会保障の知識を基礎として、雇用と福祉の知識を身につけます。財政部門や労働行政部門の公務員、福祉専門職、一般の企業で活躍する人材を育成します。

経済社会の現状を分析し、それを支える経済政策を的確に提案できる能力を養うために、2年次で財政と公共政策を学んだ後、3年次で産業と雇用、福祉を学びます。また、2年次の実践経済学では金融・証券の実務家を講師にむかえ、ダイナミックな経済の実務を学べるのが大きな特色です。

経済学部
経済システム課程

4年間で学ぶ授業

卒業単位

125

		1年次	2年次	3・4年次	2・3・4年次			
専門教育科目	国際経済社会コース	経済学系科目	経済学基礎 日本経済論 国際経済社会入門 総合政策入門 経済数学Ⅰ	演習(2年) 理論経済学Ⅰ 理論経済学Ⅱ 経済学原論Ⅰ 経済学原論Ⅱ 地域と政策 国際経済論Ⅱ 国際協力論 国際経済社会論	発展途上国経済論 基本統計学Ⅰ 基本統計学Ⅱ 経済学Ⅱ 経済学Ⅰ 国際交流実習	演習(3年) 演習(4年) 計量経済学Ⅰ 計量経済学Ⅱ マクロ経済学概論 マクロ経済分析 国際経済論Ⅰ 国際金融論 国際政治学	現代政治論 経済学Ⅱ 日本経済史Ⅰ 日本経済史Ⅱ 西洋経済史Ⅰ 西洋経済史Ⅱ 日本社会史Ⅰ 日本社会史Ⅱ	総合政策コース専門科目から 13科目まで選択可
		経営学系科目	基礎簿記	経営学		企業経営コース専門科目から 10科目まで選択可		
		法学系科目	人権論	契約法Ⅰ 会社法		法務管理コース専門科目から 10科目まで選択可		
		共通科目		ビジネス基礎英語 ビジネス・コミュニケーション英語				
		経済学系科目	経済学基礎 日本経済論 国際経済社会入門 総合政策入門 経済数学Ⅰ	演習(2年) 理論経済学Ⅰ 経済学原論Ⅰ 地域と政策 経済政策 財政学総論Ⅰ 財政学総論Ⅱ 地方財政論Ⅰ	地方財政論Ⅱ 公共政策学 金融論Ⅰ 金融論Ⅱ 地域モデル論 地域経済論	演習(3年) 演習(4年) 社会政策 福祉社会論 社会保障論 労使関係システム 労働経済論 NPO論	サービス産業論 日本農業論 農政経済論 地域調査論 地域農業論 地域システム論 経済地理学	国際経済社会コース専門科目から 13科目まで選択可
	経営学系科目	基礎簿記	経営学		企業経営コース専門科目から 10科目まで選択可			
	法学系科目	人権論	契約法Ⅰ 会社法		法務管理コース専門科目から 10科目まで選択可			
	共通科目		ビジネス基礎英語 ビジネス・コミュニケーション英語					
	総合政策コース	経済学系科目	経済学基礎 日本経済論 国際経済社会入門 総合政策入門 経済数学Ⅰ	演習(2年) 理論経済学Ⅰ 理論経済学Ⅱ 経済学原論Ⅰ 経済学原論Ⅱ 地域と政策 国際経済論Ⅱ 国際協力論 国際経済社会論	発展途上国経済論 基本統計学Ⅰ 基本統計学Ⅱ 経済学Ⅱ 経済学Ⅰ 国際交流実習	演習(3年) 演習(4年) 計量経済学Ⅰ 計量経済学Ⅱ マクロ経済学概論 マクロ経済分析 国際経済論Ⅰ 国際金融論 国際政治学	現代政治論 経済学Ⅱ 日本経済史Ⅰ 日本経済史Ⅱ 西洋経済史Ⅰ 西洋経済史Ⅱ 日本社会史Ⅰ 日本社会史Ⅱ	総合政策コース専門科目から 13科目まで選択可
		経営学系科目	基礎簿記	経営学		企業経営コース専門科目から 10科目まで選択可		
法学系科目		人権論	契約法Ⅰ 会社法		法務管理コース専門科目から 10科目まで選択可			
共通科目			ビジネス基礎英語 ビジネス・コミュニケーション英語					
経済学系科目		経済学基礎 日本経済論 国際経済社会入門 総合政策入門 経済数学Ⅰ	演習(2年) 理論経済学Ⅰ 理論経済学Ⅱ 経済学原論Ⅰ 経済学原論Ⅱ 地域と政策 国際経済論Ⅱ 国際協力論 国際経済社会論	発展途上国経済論 基本統計学Ⅰ 基本統計学Ⅱ 経済学Ⅱ 経済学Ⅰ 国際交流実習	演習(3年) 演習(4年) 計量経済学Ⅰ 計量経済学Ⅱ マクロ経済学概論 マクロ経済分析 国際経済論Ⅰ 国際金融論 国際政治学	現代政治論 経済学Ⅱ 日本経済史Ⅰ 日本経済史Ⅱ 西洋経済史Ⅰ 西洋経済史Ⅱ 日本社会史Ⅰ 日本社会史Ⅱ	総合政策コース専門科目から 13科目まで選択可	

注目の授業・講義

マクロ経済学概論

一国の国民全体の所得水準はどのように決まるのでしょうか。アメリカでどのくらいの割合の人が失業しているのでしょうか。なぜ1990年代末以降、日本では物価が下落しているのでしょうか。そして、政府はどのようにすれば所得の減少、失業の増加、物価の不安定などの問題を改善することができるのでしょうか。マクロ経済学は、こうした経済全体にかかわる問題を分析し、その答えを考えていく学問です。

特殊講義

(グローバル時代の資本市場と証券)

この講義は経済学の理論と経済の現実を結び付けて考えもらうための科目です。企業や公共機関などで日々変動する経済と取り組み活動する人たちに授業をしてもらいます。現在は野村證券提供の講座として行っています。現場の知識だけではなく、知識の使い方や仕事に対する態度などが学べます。

また、他の科目で教えられる基本的な知識や考え方の重要性とそれらを関係付けて総合的に考え行動する大切さを知ることできる科目です。

アジア経済論

アジアは過去半世紀で世界一高い経済成長率を実現させ、世界最大の市場として発展しています。このアジアの発展過程を理論的かつ実証的に学ぶのが本講義の主な目的です。日本経済とアジア経済がさらに発展するためには相互理解を基にした様々な経済的・社会的活動を充実させ、発展させなければなりません。その実現に向けて、佐賀大学でアジアのことを一緒に学び、より良い経済発展、社会発展について考えていきたいと思います。

経済学原論(ミクロ経済学)

時代がどのように変遷しようとも、消費者や生産者にとって、さらに経済全体にとって望ましい資源配分はどのようなものか、という問いは永遠のもです。また、資源配分のあり方を決定する機構としての市場経済の分析は重要です。これを分析するのがミクロ経済学という学問です。資源配分を決定するのは、神様が誘うからでも、自然科学の法則が働くからでもなく、市場参加者の満足度を高めたいという強い欲求なのです。

財政学

私たちが買っている意識するもの多くは、市場で貨幣(お金)と交換して手に入れる経済学でいわゆる「市場の財・サービス」です。他方で、学校教育や道路や山・河の自然環境などは交換して獲得するのではなく、共有して利用する「公共的財・サービス」です。これは税の徴収によります。財政学の対象は、公共財と税の世界ということになります。先進国では、そのような世界が経済のうちの50%を超える国もあります。

国際交流実習

本学部では国際社会で活躍できるグローバル人材の育成が課題になっています。「日本経済が安定した強い経済」として存続するためにグローバル人材が必要だからです。本科目は学生達が講義で学んだことを、実体験を通じて理解を深めるために設置した科目です。具体的には、海外協定大学を訪問し、経済・社会・文化を体験しながら現地の状況を学びます。また同科目は「長期海外留学」の動機付けにもなっており、協定校であれば留学手続きサポートや授業料免除、奨学金などの制度を用いて長期海外留学を実現することもできます。

国際金融論

サブプライムローン問題、リーマン・ショック、そして目下のユーロ信用危機。国際金融市場における不安は、いっそうやみません。はたして日本の財政や円は大丈夫なのか? そのような疑問を、世界のお金の流れから、一つ一つ、わかりやすく、かつユーモアを交え、解き明かします。

社会政策

社会政策という学問は、当初は、労働者が抱える諸問題(劣悪な労働環境、労働災害、失業など)への対策を考える学問でしたが、現在では、それらに加えて社会保障(医療、介護、年金、生活保護)社会福祉、教育、住宅など、広く国民(市民)の生活に関わる諸分野を対象とし、現状と課題を分析して解決策を見出す学問へと進化しています。社会・経済状況の変化の中でも人々が安心して暮らしていけるような政策・制度を考えていきます。

ビジネスコミュニケーション英語 ビジネス基礎英語

経済学部独自の英語プログラムで、リスニング・リーディング・ライティング・スピーキングの各能力に重点を置いた4つのクラスが互いに関連して実践的で全般的な英語力を身につけることができます。

ビジネス基礎英語とビジネスコミュニケーション英語の科目名で2年生から受講できます。

研究室・ゼミナールでの取り組み

ラタナーヤカ・ゼミ

ラタナーヤカ・ピャダーサ 教授

ゼミでは、次の三つの目標を中心としています。①学術的にアジア経済について学ぶこと、②グローバル化に対応できる学生を育成すること、③就職を達成させるために必要な知識を与えること。これらの目標達成とゼミの共通課題に関する基本的なことを理解するため、文献調査をしながら、上記の研究課題に関する理論的なことについて講義を実施しています。希望者がいれば、佐賀大学と協定を結ぶアジア諸国の大学へ交換学生として派遣することも考えています。また、ゼミ生と一緒にアジア諸国の協定大学を訪問することや、海外の大学で行う短期研修なども計画しています。最後に、ゼミで学んだことを中心にして卒業論文を作成するようになっていきます。



谷ゼミ

谷 晶紅 准教授

産業革命以降、世界経済は急速に発展を続けてきました。同時に、経済成長により大量の資源が消費され、環境汚染が深刻化しています。谷ゼミは、経済成長がどのように起こるのか、環境問題がなぜ生じるのか、環境保護と経済成長を両立させるためにどうすればいいのかについて、幅広く学んでいきます。ゼミでは発表を多く行い、社会で必要なリーディング・ライティング・プレゼン・ディベートの能力、さらにはチームワークの精神も養います。

富田ゼミ

富田 義典 教授

私のゼミは労働経済を主なテーマとしている。労働経済とは、雇用や労働時間、賃金などをあつかい、私たちの生活にじかに関わる大切な分野である。ゼミは、2年生後期から始まり4年生の卒業時までつづく。2年生では初歩の文献を、3年生では専門書を解説する。4年になると2～3年で学んだ内容をともに各自テーマを定めて、卒論を書く。卒論は、外国の雇用、非正規雇用問題、女性の雇用問題、年金問題などが多い。最近は経営者の人間観を取り上げたものなどがあふ。

品川ゼミ

品川 優 准教授

産業のなかでも人々の生存に必要不可欠な食料・農業について学びます。例えば、世界で食料は足りているのか?、日本農業の現状と今後は?、地域の農業と経済との関係は?、などです。卒業研究は、各学生が興味を抱いたテーマに取り組みます。例えば、農産物直売所が地域の農業や農家、経済にどのような影響を与えているのかを、直売所やそこに納入している農家、関係する自治体や農協などからの聞き取り調査を通して考察します。

納富ゼミ

納富 一郎 教授

2年生ゼミでは、「君たちの生きる社会」を知ることが経済学であることを学び、調べ方、発表の仕方を経験しながら身につけます。3年生からは、少しずつ専門的なテキストを読んで経済学の用語や考え方に慣れていきます。4年生では、現代の日本経済について学び、そのなかで関心のあるテーマを選んで、卒業レポート(20,000字以上)を書きます。「日本の失われた20年」「TPPとは何?」「インターネットの経済」など学生の関心は多様です。

畑山ゼミ

畑山 敬夫 教授

畑山ゼミは政治を勉強するゼミです。今年の3年生は「環境と政治」を考えることを年間の課題として関連の本を読んでいます。また課外活動として、6月9日に飯田哲也さんやミスチル・プロデューサー・小林武史さんなどを迎えて「みんなのエネルギー・環境会議」を佐賀大学で開催し、12月には5大学(鹿児島・西南学院・九州・熊本・佐賀)から100人以上の学生が鹿児島に集まって「日本の農」について学びます。

中村ゼミ

中村 博和 教授

統計学や経済学の理論のテキストを輪読します。良いテキストに取り組み他人に説明することを通して、ことばの論理、数学の使い方、データ処理、理論と現実、伝え方、問いの見つけ方など多くを得ることができ、それらが一生の財産となると考えるからです。卒業研究は学生と相談して決めます。最近では経済状況と結婚の統計分析が印象に残っています。

きちんと内容を消化した上で適切な形式にまとめることを第一に指導しています。

Chapter 1

経済システム課程

座談会

活きた問題に触れ、 分析と解決する力を 身に付ける。



マクロ的にとらえる学問

森先生 総合政策コースでは、社会の舵取りとなる経済政策を学び、現状を分析する能力を養います。ここでは、社会問題とか、国や地域の動きなど、マクロ的なとらえ方をするのがひとつの大きな特徴です。実社会で起きている問題に触れ、分析し、さらに解決策を考え、政策に結びつけるところまで学べるのがこのコースの魅力だと思います。みなさんは、どんな理由でこのコースを選んだのでしょうか？

新田 もともと銀行員を目指していて、「金融論」の授業をとりたくてこのコースに来ました。でも今は銀行員ではなく、税理士になるために勉強しています。

森先生 なぜ、進路が変わったのですか？

新田 銀行員だった祖父を見ていて、安定した職業というイメージがあったのですが、就活目の前にしたとき、自分は本当にこの職業でいいのかと疑問を持つようになりました。それで、将来を見直したとき、やってみたいと思ったのが税理士だったのです。税理士は、主に中小企業を顧客にする仕事なのですが、日本は99%が中小企業といわれるほど多い。これからは中小企業を盛り上げていくことが、経済を良くするためにも必要じゃないかと。自分もその仕事を通して力になりたいと思うようになったのです。

経済学部
経済システム課程

森 周子 准教授
Chikako Mori

彌永 私が大学に入ったのは、国際的な金融危機のきっかけとなった、いわゆるリーマン・ショックで世間が騒いでいた頃です。その影響もあって、経済学部はどちらかというと金融とか理論のイメージが強かったのです。でも入学してみると、意外にも金融のことだけでなく社会保障とかいろいろ広い範囲で学べることがわかった。最初は金融を目指していた私も、社会保障の方が面白いなあと思うようになりました。

廣橋 私は、社会の問題や制度、政策のことを学ぶなか、将来像としては、県庁職員になりたいと思うようになりました。

大学の授業やゼミの面白さ

彌永 ある授業のフィールドワーク（実地研究）で、シャッター街になりはじめたところを訪れ、街並を見ながら良い点、悪い点を探り、どうやらもう一度、再生できるかを考えました。実際に足を運んで自分の目で見て学ぶことは、座学にはない面白さがあり、印象に残っていますね。

三浦 当たり前のことながら、大学の講義はすごくマニアックというか、内容が濃いものが多いなという実感があります。このコースは時事問題に密接した内容も多いので、勉強したばかりのワードがニュースにもよく出てきます。より主体的にニュースを見るようになりましたね。

森先生 最近ヒットしたニュースのワードは？

三浦 それこそ、ゼミでやっている「税と社会保障の一体改革」です（笑）

森先生 私のゼミのテーマは、社会政策、社会保障、社会福祉です。身近な出来事と結びつけながら、理論や制度について考えられるようになることを目指しています。時事的な社会問題を考えるとき、まず分析して、何がどう悪いのか、それを、どうやって解決していくのかを学んでいくのですが、ただ、制度だけ学んでも解決の方向は

見えてきません。糸口は、制度の裏にある歴史、つまり、どういう経緯でその制度がつくられたかを、まず知ることが大切です。それから現状を知り、課題を見極め、理解する。そして、理論とか思想も組み込みながら、将来に向けての具体的な解決策を考えて行きます。

有馬 私の場合、ゼミで学ぶテーマ以前に、ゼミ自体がどんなものかわからなくて、ちょっと不安でした。そんなとき入門科目といって、いろいろな専門分野の授業を受ける機会がありました。2年生になってゼミを選ぶときの参考になるのですが、実はその授業で、いちばん印象に残ったのが森先生でした。もちろん、そのとき話された「社会保障」というテーマにも興味がありましたが、森先生の授業がたいへんわかりやすかったのです。もらったレジュメにも、「この先生いいかも！」「みたいなメモを残すほど（笑）」。実際に入ってみたら、思った通り自分に合ったゼミだったので、本当に良かったなと思っています。

森先生 有馬さんには、そんな経緯があったんですね。何だか照れますね。

討論大会での貴重な体験

森先生 私たちは12月に行われる「日本学生討論ゼミナール大会」に毎年参加していますが、去年は2チームに分かれて、「若年者雇用政策」と、「東日本大震災における被災者の雇用」をテーマに討論をしました。この大会は、論文を書くなど1年ほどの準備期間を経て他大学との討論に挑むわけですが、参加した学生の感想を聞かせて下さい。

彌永 論文を書くにあたって、いろいろなグラフを見たのですが、本当にこの数値は合っているのかな、といった疑いを持って見るようになりましたね。

森先生 なるほど。疑うって大事です。社会科学

は事象を疑うことからはじまりますからね。

廣橋:大会で私たちは、法政大学の学生と討論しました。自分たちの意見をしっかり伝え、相手の意見もちゃんと理解し、反論をして、だんだん意見を集約していく。そして、お互いが納得できるひとつのモノをつくり上げていきました。私は、これこそが本当の意味でのコミュニケーションだと思いました。とても貴重な体験をしたと思います。

川居:私は食品を扱う総合会社に就職が決まりました。食の分野を選んだ理由は、授業で『食品流通』について学び、興味を持ったこと、また、この討論大会で震災について勉強して、あらためて衣食住の大切さを知ったからです。「腹が減っては戦ができぬ」ということわざがありますが、やはり食は生きる根源じゃないかと思ったのです。

すぐに役立つ知識とそうでない知識

川居:授業やゼミを通して、これから生きて行く上で必要になる年金や医療、介護などの制度を学んでいますが、社会人になってから知り始めた人よりは有利だと思っています。実社会でいちばん役立つ知識を得られるのは、やはり総合政策コースではないでしょうか。

村山:いろいろな制度を学ぶようになって、知らないこと、損をしたりすることもあるので。

森先生:制度の内容は時代に応じて変化します。それを「知っている」ということは確かに重要で、すぐに役立つ知識は必要ですが、すぐに役立つものは、すぐに役に立たなくなるものだと私は思っています。だからこそ、いまある制度の下にある理念とか、思想、理論などの、一見、難しそうですがには役に立ちそうにないものも、大学時代にちゃ

んと学んでおく。すると、将来どんなに制度の表面が変わっても、確固たる価値観、判断基準を持って物事を考えていけると思います。

積極的に自己アピールしよう

黒岩:大学に入ってまず不安に思うのは、友達ができるかということですが、黙っていても、友達はできません。何事も自分から動かないといけません。

三浦:やはりコミュニケーション能力って大事だと思う。友達をつくるとき、サークルに入るとき、そして就活でもその力が試される。いろんなところで自己アピールする力が問われると思うので、ゼミなどでそういう力を身に付けてほしいですね。

Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、卒業時に資格が得られるもの

- 中学校教諭一種免許状(社会)
- 高等学校教諭一種免許状(地理歴史・公民・商業)

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- 佐賀県庁
- 佐賀市役所
- 佐賀県警
- 佐賀県公安委員会
- 唐津市役所
- 福岡市役所
- 佐世保市役所
- 国税専門官
- 財務省門司税関
- (株)三菱東京UFJ銀行
- (株)佐賀銀行
- (株)佐賀共栄銀行
- (株)熊本ファミリー銀行
- (株)十八銀行
- (株)親和銀行
- (株)大分銀行
- (株)福岡中央銀行
- 佐賀信用金庫
- 諸井会計
- (学)久留米大学
- (株)帝国データバンク
- 日本たばこ産業(株)
- (株)ANAグランドサービス福岡
- 日本通運(株)
- 郵便局(株)
- 社会保険診療報酬支払基金
- 日本赤十字社佐賀県支部
- (株)ミソタ
- (株)佐賀広告センター
- (株)佐賀新聞文化センター
- (財)福岡県社会保険医療協会
- 株式会社ナフコ
- 佐賀県経営者協会・佐賀経済同友会
- 佐賀県農業協同組合(JA佐賀)
- タマホーム(株)
- 英進館(株)
- (株)あわしま堂
- (株)ドン・キホーテ
- (株)ミスターマックス
- 嘉穂無線(ホームセンター・グッデイ)(株)
- (株)アプライド

主な進学先

- 佐賀大学大学院教育学研究科
- 九州大学大学院経済学府

Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

- 少子化時代のプライダ産業 - なぜ、新しい結婚式場が次々にオープンしているのか -
- なぜ人材派遣業界は急成長しているのか - 人材派遣業の変遷を中心に -
- ゲーム産業におけるビジネスモデルの変遷
- 芸術によるまちづくりの現状と課題 - 呉福万博によって呉町アーケードに再び人は集まるか -
- 地域ブランドによる地域活性化方法 - 唐津市呼子のイカ産業に焦点を当てて -
- 博多駅におけるまちづくり
- 沖縄県における宿泊施設の変化 - ゲストハウスが人気を集める理由 -
- 日本プロ野球と自治体 - NPBとMLBを比較して -
- 化粧品販売チャンネルにおける通信販売の優位性
- 製菓産業の生産工場の立地と活動の関係性
- ジェネリック医薬品から考える今後の日本医療
- なり手不足解消に向けた今後の民生委員制度のあり方
- アジア諸国の貧困削減に対する教育の役割 - ノンフォーマル教育に注目して -
- 台湾の貿易・投資 - 日本との関係をめぐって -
- 経済発展に伴う農業部門の役割について - 日本とスリランカ茶産業の経験を通して -

教 員 紹 介

国際経済社会コース
ラタナーヤカ・ピヤダーサ 教授

発展途上国経済論・開発経済論

畑山 敏夫 教授

政治学

ジョン・ダグラス・マッカーサー 教授

英語学

中村 博和 教授

経済数学

上山 和俊 准教授

計量経済学

都築 治彦 教授

ミクロ経済学

谷 晶紅 准教授

マクロ経済学・環境経済学

総合政策コース

米倉 茂 教授

金融論

富田 義典 教授

労働経済学・雇用問題

中西 一 教授

予算論・公会計

戸田順一郎 准教授

経済地理学・地域経済論

納富 一郎 教授

財政学

常盤 洋一 教授

社会学

品川 優 准教授

農業経済学

森 周子 准教授

社会保障論

経済学部

経営・法律 課程

Department of Business and Law

企業経営コース

グローバルに考えローカルに行動する。
ヒト・モノ・カネのイノベーション
経営は、いま、進化する。

経営・法律課程では、企業や地方自治体、公益法人などに関する経営・会計・法律の専門知識を学びます。一年生の間は経営・法律課程に所属し、2年生から企業経営コースと法務管理コースにわかれます。

企業経営コースの目的

経営・法律課程の企業経営コースでは、会計学と経営学の知識を基礎として、経営分析や企業経営の組織・市場・財務・労務に関する知識を身につけます。企業の経理部門や管理部門、営業部門、銀行・証券などで活躍する人材を育成します。

企業経営コースの特色

このコースでは、株式会社などの営利企業、病院や学校などの非営利企業、地方自治体を経営・会計・情報処理の三分野から分析・研究します。

1年生から経営学・基礎簿記・マーケティング論を学び、積極的な学生の意欲に対応します。2年生後学期からゼミ演習が始まり、2年半にわたって演習担当の教員の指導のもと専門知識を学びます。3年生の実践会計では税理士を講師にむかえ、会計の実務を学べるのが大きな特徴です。

経済学部
経営・法律課程

4年間で学ぶ授業

卒業単位

125

1年次

2年次

3・4年次

2・3・4年次

教養教育科目

全学教育科目

	1年次	2年次	3・4年次	2・3・4年次
経済学系科目	経済学基礎 日本経済論	理論経済学Ⅰ 経済学原論Ⅰ 地域と政策		経済システム課程専門科目から 10科目まで選択可
経営学系科目	基礎簿記 企業経営入門 マーケティング論Ⅰ	演習(2年) 経営学 会計学原理 簿記・会計 マーケティング論Ⅱ 経営社会学 原価計算論 情報処理概論Ⅰ	演習(3年) 演習(4年) 財務管理論 経営組織論 経営労務論 流通経済論 経営史 戦略経営論 流通産業論 証券論 企業論 経営管理論	管理会計論 経営分析 監査論 国際会計論 実践会計 財務会計論 情報処理概論Ⅱ 経営情報システムⅠ 経営情報システムⅡ
法学系科目	人権論 法務管理入門 刑法Ⅰ	契約法Ⅰ 会社法		法務管理コース専門科目から 13科目まで選択可
共通科目		ビジネス基礎英語 ビジネスコミュニケーション英語		

経営分析

企業の経営の状況を把握するために、経営分析が用いられます。オンドックスな分析手法は、貸借対照表と損益計算書の数値を用いた分析です。本講義では、特定の企業の分析をグラフでビジュアルにパワーポイントで表示し、また企業間の比較をとおして、経営分析の手法を修得します。なお、近年、キャッシュフローが注目をあびていますが、この分析についても取り上げます。

企業論

本講義の目的は、企業論だけに留まらず、広く経営学あるいは経済学、法学に関心を持つ学生を対象にし、企業概念の検討をした上で、企業形態の現代的展開を比較検討することです。また、情報とインセンティブの問題がいかに大切であるか、そして法律の存在意義、その根拠が社会経済に本当に大切な意味合いを持つてくることを理解することに主眼を置きます。

実践会計

講義で学んだ会計理論や会計基準がどのように実践されているか、とくに税法について、税理士法人諸会計で税理士業務に従事している職業会計人に実務を学びます。また、本学部出身の税理士による、税理士になるための勉強方法、税理士業務についての体験談の講話を行います。さらに、日本公認会計士協会・北部九州会から公認会計士業務についての講習会も実施しています。

会計学原理

企業が資金を調達するためには目的と現状説明が必要で、また、資金を集めた後もその資金が適切に運用されているかを説明する責任が伴います。このような説明に会計情報は利用されます。この講義では、企業の経営活動とリンクさせてどのように会計情報が作成されるか、また何故そのように作成されるかを考察することによって、会計情報の見方と会計の考え方を学んでいきます。

戦略経営論

企業の目的は事業を展開して利益を上げることです。しかし、それは「短期的に儲けること」を意味するのではなく、長期的に維持・存続・成長しながら利益を確保していくことなのです。経営戦略は、企業が長期的に利益と成長を達成するために、人・物・金・情報といった経営資源をどのように展開していくかに関わる問題です。例えば「ヒートテック」。これは、ユニクロと東レが互いの強みと弱みを補完し合って実現したものです。こうして見れば、経営戦略もちょっとは身近なものでしょう？

経営史

時代の転換点にあり、混迷をきわめる今日、経営についても長期的な視点を持って、国内外の歴史から本質や時代の流れを学び、今後に生かしていくことの意義は大きいと思われる。この講義では、特に経営者に注目して、彼らの経営哲学、意思決定、経営計画の遂行等をもとに、歴史的評価もしていきます。さらに、取り上げた企業の今日について、関係者の方々にご登壇いただいで、お話しいただくことも試みております。

国際会計論

今、我が国では、国際会計基準の導入をめくって、積極派、慎重派さらには反対派が論戦を展開しています。講義では、国際会計基準導入に対する世界各国の動向を検証し、わが国がこれに対し、どのように対応をすべきか、導入への影響は何かについて考えます。さらに、国際会計基準の導入によって、わが国の会計基準がどのようかわるのかについて検討します。

流通経済論

生産者が作った商品は消費者に向かって流れて行きます。この流れが流通です。流通は商品の種類によって異なった形になり、また同じ商品でも時代により、あるいは国により形が違います。流通経済学とはこうした流通の相違がなぜ生まれるのかを考える学問分野です。流通の担い手は主に卸売業や小売業です。そのため卸小売のことを勉強する分野でもあります。

ビジネスコミュニケーション英語 ビジネス基礎英語

経済学部独自の英語プログラムで、リスニング・リーディング・ライティング・スピーキングの各能力に重点を置いた4つのクラスが互いに関連して実践的で全般的な英語力を身につけることができます。ビジネス基礎英語とビジネスコミュニケーション英語の科目名で2年生から受講できます。

山本ゼミ

山本 長次 准教授

「実学重視」、「現地現場主義」、「他流試合」の経営学ゼミ
少人数の授業の中で、学生自身が関心のあることを研究し、発表し、論文を作成していきます。私たちのゼミの専門は経営学で、主に企業を対象として、その起こし方や営み方、商品やサービスの開発、生産、流通、販売、そして企業と社会との関係のあり方などを考察してきております。私たちは経営理論もしっかり学ぶ一方、学問が実学的で、社会にも通用し、研究成果が世の中の役に立たなければならぬと思っております。そこで、企業やその施設におもむいたり、企業の方々のお話をうかがうために大学に招いたり、学外の専門家や社会人の方々、さらに他大学のゼミと討論をしたりと、「実学重視」、「現地現場主義」、「他流試合」を実践してきております。



木戸田ゼミ

木戸田 力 教授

木戸田のゼミナールにおいては、企業会計の基本的なテキストを用いて、国際的調和化・統一化時代の会計理論や会計基準を学んでいます。その際には、公認会計士試験委員や税理士試験委員の書いた著書をテキストに取り上げて、学生がこれらの試験にチャレンジする際に、役立つよう配慮しています。私のゼミからは、もう何人も税理士や公認会計士が育ち、社会で活躍しています。大学時代の専門の学問が直接にいかなる、会計学を学んでみませんか？

山下ゼミ

山下 寿文 教授

山下ゼミでは、4年次に卒業論文を提出させます。そのための準備として2年次にはデータ分析のためのエクセルの修得、3年次には日経のSTOCKリーグに参加し、グループごとに株の売買をバーチャルで行い、その成果をレポートします。また、九州高経ゼミナールに参加し、ゼミでの学習の成果を発表します。このように経済、金融、会計および企業経営を総合的に学習し、4年次に卒業論文を仕上げます。

宮崎ゼミ

宮崎 卓郎 教授

宮崎ゼミではマーケティングや流通について勉強しています。マーケティングとは企業が顧客ニーズを把握して顧客を獲得するためのさまざまな方法のことで、中には自社製品をどのように販売していくかということも含まれます。一方で流通は幅の広い概念ですが、宮崎ゼミでは主に小売業について勉強しています。つまり製品の販売について勉強をしているゼミなのです。

松尾ゼミ

松尾 陽好 准教授

企業は現代社会で中心的な役割を果たす組織の一つであり、企業を理解することは、我々の社会を理解するためのキーの一つです。松尾ゼミでは「経営」を切り口に企業について研究します。2年生で経営の基本的知識を習得した後、3年生からは業界、企業、経営者、そして働く人々などに焦点をあてながら、各自の興味、問題意識に基づいたテーマを掲げ、個人研究あるいはプロジェクト型のグループ研究を展開します。4年生の卒業研究(卒業論文)はその集大成です。

羽石ゼミ

羽石 寛志 准教授

ゼミのテーマは経営情報論です。情報化社会の中でいかにみんながHappyに学び・働き・過ごせるかを考えています。簡単にまとめると「情報通信技術(ICT)の利用による人・組織の変化」を学んでいます。実際に自らツイッターやフェイスブックといったソーシャルメディアなどICTを活用し学生生活を送り、そこから卒業論文のテーマを考え二年半研究し最後に卒業論文を製本し発表会を行います。

安田ゼミ

安田 伸一 准教授

ゼミでは、答えの見つからない問題や説明のできない課題に取り組みます。例えば、歩行者ナビをテーマにした学生は「歩行者は公共交通を使う人」を発見し、人と公共交通の連携によって歩行者ナビを日常的に使える道具に仕上げました。ゼミでは、このように問題に取り組んでいきます。

Chapter 2

経営・法律課程

◎企業経営コース

座談会

さまざまな事業体の 経営や会計を究め、 未来への扉を開く。



経営、会計を学ぶ理由

小川先生:企業経営コースでは企業や地方自治体などのミクロの経済システムを、経営、会計、情報処理の三つの分野から分析、研究していきます。それは、さまざまな事業体を円滑に管理・運営していく、つまりマネージメントを学ぶということです。将来、いろいろな分野で役に立ち、また企業では即戦力となれる力も養えます。

阿部:高校生の頃から、数学と政治・経済が得意だったので経済学部に入りました。大学生になってから、税理士と公認会計士を目指そうと思いはじめて、必要な知識を得るために企業経営コースを選びました。

藤岡:商業高校出身で、会計を専門に学んだこともあって、このコースに入りました。将来は、商業高校の教師になりたいですね。

辻:私は大学に入る前から、公務員を目指していました。大学では法律の勉強を専門にするつもりでしたが、それは公務員になってからでも遅くない、いまのうちに企業経営のことをきちんと学んでおきたいと思って。

林:滋賀県出身ですが、親戚が佐賀県にいたこともあり、大学は地元の滋賀大学か、もしくは佐賀大学に進むかで、とても悩んだ時期がありました。最終的に佐賀大学を選んだのは、やはり、経営も、法律も学べるのが決め手と

なりました。将来は、金融機関に入りたいという思いが強かったので、両方の知識を身に付けられることは大きな魅力でしたね。

徐:私は中国からの留学生です。将来は自分の故郷で、家電販売の会社を営みたいという夢があります。家電といえば日本の製品が有名です。それで、日本への留学を決めました。将来、会社をつくるためには、経営のことだけを学んでも足りないし、会社法とか契約法など法律のことも知らないといけません。それで、経営と法律が学べる佐賀大学を選びました。

辻:将来、企業への就職を目指している人にとっては、法律、会計、経営を学ぶことは大前提だと思いますが、公務員になるにしても、法律はもちろん必要です。会計の知識は、財務課などに配属されたときなどに使えます。経営の知識は、自治体を運営するにあたってその考え方を取り入れられます。つまり、どこに行ってもここで学ぶことは使えるということです。

会計数値から見えてくるもの

森山:はじめ、会計については家計簿のようなイメージを持っていて、会社でも単にお金の出入りを記録しているだけだろうと誤解していました。会計の数値の見方や分析の仕方を学ぶうちに、その数値から、会社の状況だけでなく、将来伸びて行きそうかどうかも予測できることを知りました。今では会計って、すごいなって、イメージはガラリと変わりましたね。

渡辺:商業高校で簿記をやっていた、計算の仕方や利益、回転率とかいったことを習ってきましたが、大学では、それをより深く具体的に学ぶようになりました。ニュースなどでも、「あっ、これ習った!」というものがよく出てくるのですが、そういうことに気付くようになった自分がうれしいですね。

小川先生:単に、計算の結果が出て、満足する

のは高校レベルです。大学、あるいは社会では、その数値をどう活用するのか、自分はどう判断していくのかという、意思決定のところまでやりますから、難しい反面、面白くなってきます。渡辺さんは、大学でさらに学ぶことによって、経営という感覚が身に付いてきたのでしょう。

阿部:管理会計で学んだ、原価計算が興味深かったですね。商品の値段が決まるその根底には原価計算があるわけですが、それを知ってから、モノを買うときに、なぜ、この価格になったのかが気になるようになりました。日々の自分の消費行動に影響を与えています。

時代が注目する環境会計を学ぶ

小川先生:私のゼミでは2年次に会計学の基礎、そして3年次以降では現在、環境会計について学んでいますが、感想を聞かせてください。

松崎:ゼミで報告するために、自分で資料を調べて準備をしていくわけですが、その作業を通していろいろな知識を吸収しましたね。また、ある会社の財務諸表を見て、どういう職種かを当てていくという学習は、ゲームのようで楽しかったです。

江上:環境会計って、新しいな、どういうものなのかなと思って、小川ゼミを選びました。今は会計学の基礎を学んだところですが、以前は漠然と読んでいた新聞も、企業の財務諸表を見比べたりするなど、専門的な知識がある程度付いてきたことを実感しています。

柿村:3年次で学ぶ環境会計とは、企業などが環境保全活動に使った費用と効果を把握するための会計のことです。社会の環境問題への関心の高さを背景にしたもので、もっと広い意味では、CSR(Corporate Social Responsibility)つまり「企業の社会的責任」というところも含めて、ゼミで議論しています。

小川先生:CSRの考え方に基づいて行われた



経済学部
経営・法律課程
企業経営コース

小川 哲彦 准教授
Tetsuhiko Ogawa

活動をとりまとめて公表したものを、CSR 報告書といえます。そこには、会社の売上高の推移や社会貢献活動のほか、たとえば、女性の管理職の割合や育児休暇のことなど、外部からは見えにくいデータなども記載されています。さらには事故や、それにどう対応したかという、その会社にとっては負の情報も入っています。CSR 報告書は、企業が自主的に行うもので、企業のホームページなどで自由に閲覧できるものです。ゼミでは、学生が気になる企業の CSR 報告書を持ち寄って議論をし、いろいろな角度から企業を見る力を養っているわけです。

鶴: 企業は、イメージアップのために CSR 報告書を公表していると思いましたが、ある通信会社の報告書をちゃんと見てみると、紙の削減だけでなく、電気の使用量を減らすためにいろいろな設備投資をするなど、真剣に環境保全に取

り組んでいることがわかりました。CSR 報告書を通して、会社の考えや将来の方向性をうかがうことができるので、今後も気になる企業はチェックしていきたい。

仲間と親睦を深める恒例行事

小川先生: このゼミでは、企業の工場見学を目的に、毎年、一泊二日で合宿を行っています。これを経験しておく、座学で工場のラインとか、廃棄物などの話が出たとき、イメージをしやすくなるのです。これまで、キュービーやヤクルト、そして昨年は大塚製菓を訪問しました。現場では、製造ラインの様子はもちろん、企業の環境活動の一端を目にすることもできるなど、たいへん有意義です。また、ゼミの一貫として、OB 交流会も行っています。金融機関をはじめいろいろな分野で活躍する先輩方に来ていただき、就職や

働く意義などについて貴重な話をさせていただいています。

徐: いちばん良かったと思うのは、そうした交流会で卒業した先輩たちとつながりを持ち、いろいろな経験を聞かせてもらえることです

小川先生: 学生がお互い自由に議論を交わし合える、そういう雰囲気づくりに役立てようと、毎年夏に親睦会も開いています。3 年生が料理を作り、テーブルセッティングをして 2 年生、4 年生をもてなすのが決まりです。

辻: 小川ゼミでは、催しや活動を通じていろいろな体験ができ、先輩、後輩のつながりで礼儀などの人間関係も学べます。そうしたことは、社会に出て人と接するうえで、とても大切になってくると思います。

Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、卒業時に資格が得られるもの

- 中学校教諭一種免許状(社会)
- 高等学校教諭一種免許状(公民・商業)

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- 下野秀晴税理士事務所
- 佐賀銀行
- 山陰合同銀行
- 福岡銀行
- 宮崎太陽銀行
- 大牟田柳川信用金庫
- 日興コーディアル証券
- かんぼ生命保険
- 佐賀鉄工所
- ミソタ
- 日精(株)
- 日本コンピューター・システム
- ノバルティスファーマ
- バイエル薬品
- 佐賀県立佐賀商業高等学校
- 宮崎県立宮崎高等学校
- 富士ソフト
- 宮崎中央農業協同組合
- くまもとテクノ産業財団
- 佐賀県警
- 長崎県警
- 福岡県警

主な進学先

- 佐賀大学大学院経済学研究科
- 佐賀大学大学院医学系研究科
- 兵庫県立大学大学院会計研究科

その他の進路

- 起業準備

Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

貸し傘事業を展開するに当たってのビジネスプラン
九州新幹線開業による経済効果 - 開業による現在の状況とこれからの期待について -
小売業界の経営分析 - セブン&アイ・ホールディングスとイオンの経営比較 -
バンダイナムコゲームスとコナミの経営分析
CD 不況の実態と音楽ソフト販売業者及びレンタル業者の経営戦略
- 新星堂と TSUTAYA の実績と IR を参考に -
アパレル業界ファーストリテイリングとしまむら
地方百貨店が生き残るためには - 熊本の鶴屋百貨店の一考察 -
日本マクドナルドの経営 - 実力主義と定年廃止 -
新規上場企業の中で大きく成長する企業とは
ファストファッション人気とかぶり
企業による地域づくり - 企業誘致の今後の展開 -
TPP 参加が日本社会に与える影響
再生可能エネルギーについての考察 - 化石燃料からのシフト -
乾燥地の再生・利用 - 砂漠化への対応 -
高齢化による医療費増加の対策

教 員 紹 介

山下 寿文 教授 財務会計	木戸田 力 教授 財務会計
平地 一郎 教授 労務管理	宮崎 卓朗 教授 流通経済学
大坪 稔 教授 財務論	松尾 陽好 准教授 経営学
山本 長次 准教授 経営史	安田 伸一 准教授 情報工学
羽石 寛志 准教授 経営情報論・社会情報論	小川 哲彦 准教授 環境会計
三好 祐輔 准教授 企業論・証券論	山形 武裕 准教授 財務会計

経済学部

経営・法律 課程

Department of Business and Law

法務管理コース

法律を味方に、
あなたとわたしを守る。
グローバルに考えローカルに行動する。

経営・法律課程では、企業や地方自治体、公益法人などに関する経営・会計・法律の専門知識を学びます。一年生の間は経営・法律課程に所属し、2年生から法務管理コースと企業経営コースに分かれます。

法務管理コースの目的

経営・法律課程の法務管理コースでは、企業法と公共政策法の知識を基礎として、企業活動に関する法制度、環境に関する法制度などの知識を身につけます。公務員やNPO職員、一般の企業で活躍する人材を育成します。

法務管理コースの特色

このコースでは、法律の基礎から応用まで自分の興味に応じて体系的に学べ、地方自治体の行政実務や政策形成と、国内外の取引や経営管理の制度の知識を身につけられます。

2年生から学ぶ法学概論Ⅰでは弁護士を講師にむかえ法律の実務を学び、3年生から学ぶ法学概論Ⅱでは実地研修により裁判制度や司法制度、環境などの法制度を実践的に学べることが大きな特徴です。

経済学部
経営・法律課程

4年間で学ぶ授業

卒業単位

125

	1年次	2年次	3・4年次	2・3・4年次	
教養教育科目 専門教育科目	全学教育科目				
	経済学系科目 経済学基礎 日本経済論	理論経済学Ⅰ 経済学原論Ⅰ 地域と政策		経済システム課程専門科目から10科目まで選択可	
	経営学系科目 基礎簿記 企業経営入門 マーケティング論Ⅰ	経営学		企業経営コース専門科目から13科目まで選択可	
	法学系科目 人権論 法務管理入門 刑法Ⅰ	演習(2年) 契約法Ⅰ 契約法Ⅱ 会社法 法学概論Ⅰ 統治機構論 行政法総論 民法総則	物権法Ⅰ 商法総則 環境法 労働法Ⅰ 刑法Ⅱ 社会保障法Ⅰ 社会保障法Ⅱ	演習(3年) 演習(4年) 法学概論Ⅱ 行政救済法 地方自治法 物権法Ⅱ 債権法総論 不法行為法	民事手続法 商行為法 経済法Ⅰ 経済法Ⅱ 国際経済法 国際環境法 労働法Ⅱ
	共通科目	ビジネス基礎英語 ビジネスコミュニケーション英語			

注目の授業・講義

民法

私が平成24年度に担当する物権法Ⅰと民法総則は、いずれも民法という法律の財産法の領域に属するものです。物権法Ⅰは、物に関するルール、たとえば、物を所有するとき、物を誰かに貸すとき、物を誰かに譲るときなどの基本的なルールを定めています。

民法総則は、たとえば、成人年齢や、人の行為能力や意思能力、意思表示などの民法全体に通じる基本的なルールを定めています。こうしたルールについて、学習し、実際に身近なところで紛争が生じたときに、紛争解決のために、自分で考える力を身につけることを目標としています。

人権論

人権論の講義では、日本国憲法が保障する権利について学びます。選挙権、表現の自由、職業選択の自由等、聞き慣れた権利を扱いますが、これらの諸権利は性質が大きく異なり、問題となる場面もさまざまです。講義のなかでは、権利の理念、本質、範囲、政府の規制の性質、態様、そしてそれに対する裁判所の違憲審査のあり方まで、詳しく説明します。法的な視点からの講義ですが、政治、社会、経済等の領域の最新ニュースをたくさん取り上げ、人権の具体的な問題局面を解説します。

特殊講義

佐賀県弁護士会の協力による講義科目

経済学部では、法学の理論的な教育にとどまらず、社会の動向や実務を踏まえた「生きた」法学教育を目指しています。このために、佐賀県弁護士会の協力をえて、第一線で活躍中の弁護士による講義を毎年複数開設しています。講義内容としては、裁判実務と密接に関連する「民事手続法」や「刑事手続法」、市民生活と密接に関連する「消費者法」などです。いずれも講師の実務経験に裏打ちされた興味深い内容の講義となっています。

商法

みなさんはこれまで「株」ということを聞いたことがあると思います。商法では、まず、この「株」正式には「株式」といいます。とはどういう仕組みなのか、株を持った人(株主)にはどんなメリットがあるのかということ学びます。また、株式会社をつくり方、会社は誰がどのようにして経営するのか、会社を営む人(取締役)が暴走しないように監視する人(監査役)の職務について学びます。

環境法

環境に関する法律は、今日、めまぐるしく改正されています。しかし、私の授業では、そのような法律の頻繁な改正を貫く原理的問題に学生が気づけるように心がけています。講義は、前半部分で、公害対策の法について解説し、後半部分で環境保全の法について解説します。今日、環境法では、環境破壊が不確実な場合でも事前に規制することが重要だという考えが強くなっています。そうすると、自然科学の専門家でも確実には分からないリスクを法的にどう扱うか、裁判はどう扱うかということが問題となります。環境法にとっては、「待たなし」の難問が続きます。

法学概論

この授業は、法が執行される現場に学生を連れ出し、そのことによって学生が自ら現場で見聞き、さまざまなことを感じてもらうことを目的とします。例えば、「刑務所(釧路刑務所、佐賀少年刑務所)や裁判所の法廷(諫早湾干拓地)」「水俣病発生地「ゴミ処分場」など、法の執行場所や法的争いの現場に行きます。もちろん理論的な事前学習を重ねた上で現場に行きますので、理論と現実のズレ、あるいは理論の現実的展開に、学生が気づけるようにサポートします。なお、授業の性格上、受講者は少人数に制限されます。

経済法

「経済法」は一般消費者の利益を確保するための法律です。授業は一方的な講義ではなく、受講者との双方向形式で行っています。当ゼミでは、学んだ経済法・消費者法の知識を活かして、消費生活専門相談員、消費生活アドバイザーや行政書士などの国家資格取得にチャレンジします。また、これまで弁護士、司法書士等とゼミ生が共同して「消費者教育テキスト」を作成し、市民向け講義を行う等、「学生主役」のゼミを実践しています。

社会保障法

格差社会、派遣切り、貧困、孤独死、餓死…。私たちには生きる権利が保障されているはずなのに、現実はそのようではありません。これを解決するためには、誰がどのような権利があり、誰がどのような義務を負うのかを解明する必要があります。確かに社会保障は多額の財源を必要としますが、個人の権利義務の視点から財政を誘導するような譲れない何かがあるはず。社会保障法はそれを考える学問体系です。

ビジネスコミュニケーション英語 ビジネス基礎英語

経済学部独自の英語プログラムで、リスニング・リーディング・ライティング・スピーキングの各能力に重点を置いた4つのクラスが互いに関連して実践的で全般的な英語力を身につけることができます。

ビジネス基礎英語とビジネスコミュニケーション英語の科目名で2年生から受講できます。

研究室・ゼミナールでの取り組み

丸谷ゼミ

丸谷 浩介 教授

「やりたいことは大学生活で見つめます」「センター試験の成績でここを選びました」「将来は公務員になりたいので法律を学びます」。学生達の入学動機は様々です。勉強しなければならないのはわかっていけれど、何をどうやっていいかわからない、ひとりで勉強しても続かない。学生からはそんな声も聞こえてきます。ゼミというものは、学生自身がやるべきことを見つかる場であると同時に、切磋琢磨し合える仲間を見つける場です。少し高い目標を設定して、数人でわいわいと共同作業をする。それを繰り返すことで高い能力を身につけることができるようになればいいな、と思っています。そうしているうちに目標や仲間という、大学生活でかけがえのないものを得ていけばいいと思います。丸谷ゼミでは多くの裁判や行政の資料をじっくり検討すると同時に、見学やヒアリングなどを通して私たちが生きている社会の構造を学んでいます。一緒にやってみませんか。

栗林ゼミ

栗林 佳代 准教授

演習の講義は2年生後期から始まり、3年次、4年次と続きますが、私の担当する演習では、2年生では民法に関する基本的な文献の講読、3年生では民法判例の検討、4年生では卒業論文の作成を行っています。とりわけ、4年生の卒業論文作成では、各自が民法の領域から選んだテーマに沿って、1年かけて論文を執筆します。テーマの選択は、幅が広く、財産法の領域から家族法の領域までバラエティーに富んでいます。たとえば、平成23年度では、学士論集に掲載された論文で、売買契約によって手に入れた物に当初は気づけなかった欠陥が後から見つかった場合を規律する瑕疵担保責任の制度について検討したものがあります。演習の講義は、学生の報告を中心に進めていくので、各自が自主性を持って取り組んでいます。

中山ゼミ

中山 泰道 准教授

商品購入(契約)に際してのトラブルや交通事故(不法行為)などに直面した場合、いかなるルールにより紛争が解決されるのか、個別の事件において解決基準はどうあるべきかを判例を素材として考えようというのが「演習」の内容です。なぜ「もめている」のか、何が法的に問題なのか、妥当な解決はどうあるべきかにつき、参加者で議論をします。議論をとおして、物事をバランスよくみる目を持つ必要があること実感してもらおうことが目標です。

小西ゼミ

小西 みも恵 准教授

ゼミでは、2、3年以内に出された裁判例を学びます。たとえば、会社の経営者である代表取締役(社長)がした行為により会社に損害を与えた場合、①社長は自分のした行為について責任を負うのか、②責任を負う場合にどれくらいの金額を会社に支払わなければならないのかという点について、実際の事案で裁判所がどのように判断したかを検討し、裁判所の判断に納得できるかどうか、みんな考えてみます。

奈須ゼミ

奈須 祐治 准教授

奈須ゼミでは、憲法、行政法、地方自治について広く学びます。ゼミ全体のテーマは「国・地方を含めた国家統治のあり方」を検討することです。2年次には、現在激しく論争されている、道州制、裁判員制度、記者クラブ問題等のトピックを扱う新聞、ネット上の記事、新書等を素材にして、日本の統治の問題点を概観します。3年次には、それらのトピックを憲法、行政法の視点からより学問的な視点から掘り下げます。4年次は最高裁判例を深く読み込む作業を行うとともに、卒業論文の執筆を行います。

樫澤ゼミ

樫澤 秀木 教授

私の環境法ゼミでは、学生の関心を参考にして、研究内容を決定しています。今の四年生は「環境権」とりわけ「豊前環境裁判」について研究しています。三年生は、「原発訴訟」について研究しています。そこでは、判例や学術論文だけでなく、当時の新聞記事やルポルタージュなども読んで、法律論を社会的背景との関係で理解しよう心がけています。

これまでの学生の卒業研究テーマは、「日照権」や「筑後川の水利権」「湿地保護」「有明海訴訟」「産業廃棄物」「自然エネルギー」「捕鯨問題」など多岐にわたります。



Chapter 3

経営・法律課程

◎法務管理コース

座談会

民法を通して、 バランスをとりながら 物事を考える力を養う。



複眼的なモノの見方を学ぶ

中山先生:法律系のゼミは、法的な素材をベースにして、みんなで物事を考えていこうというのがねらいです。複雑化している世の中で、ひとつの原理・原則だけで、物事が解決できるわけではありません。複眼的なモノの見方によって、利害関係を整理し、バランスのとれた解決を目指していくのが、法律の学問としての特徴です。私のゼミでは民法を中心に学びますが、民法はビジネスに関するいろいろな法律のもっとも基本的なルールです。みんなで一緒に考え、議論をし、バランスをとりながら物事を考える力を養ってほしいと思っています。

水俣:私がこの分野を選んだ理由は、大学に入る前から漠然とはあるけれど、法律を学ぶことで、社会のルールやしぐみが見えて来るのではないかと、大人になったときに役に立つのではないかと、という思いがあったからです。

吉岡:私の場合は、もともと数字を使う科目が得意でしたが、一方で国語も好きでした。そんな中、進路も最初は理系を目指していましたが、途中から文系に進みたいという気持ちに変わりました。それで、文系でも経済学部という数字を使う方向に進みたいと思ったのです。さらに、何となく法律も学べたらいいなという思いもあって、両方を学べるところに入ったわけです。

木本:商業高校の出身で、将来は商業の教師になりたいと思っています。このゼミを選んだのは、

経済学部 経営・法律課程
法務管理コース

中山 泰道 准教授

Yasumichi Nakayama

1年生のとき法律の授業を受けて、興味を持ったのがきっかけです。

唐島:私は高校のときに、検察官という仕事に興味を持ったのがきっかけで、法律を学びたいと思いました。その後、将来は自分で「キャット・カフェ」を経営したいとも思うようになったのです。そんな2つの夢があり、どちらにするかを決めかねて、まずはそれぞれの職業に就くために必要な法律と経営関係の両方を学ぼうと、この大学を選びました。

中山先生:将来、自分のお店を持つとなったら、経営だけでなく、法律の知識も必要ですね。ひと口に経済活動といっても実に多様なわけですが、それらは一定の制度のもとで行われるというのが前提になっています。つまり、自由主義的な経済といっても、一定の法制度で枠付けされた意味での「自由」なんです。その枠付けされた部分、つまり法律を学ばないと、経済的な理論だけを学んでも、現実には即したモノの見方ができません。経済のシステムと、法律のシステムは相互補完的なもので、社会を円滑にするための枠組みでもあるのです。

受験に備えての選択もあり

中島:公認会計士を目指している私は、最初、会計や監査を専門にされている先生のゼミに入ろうと考えていました。しかし、大学1年のとき「法務管理入門」という講義を受けて、法律って面白いなと思ったんです。また、公認会計士の二次試験では、民法の論文式の試験があるのですが、このゼミでの学びが受験勉強にもなっています。

持丸:私はもともと法律に興味があったということもありますが、高校時代から公務員になると決めていたので、というも、公務員になるための勉強は、法律系の科目のウエートが大きいので

す。やはり、大学を選ぶときから法律系のほうが有利だと思いましたし、当然、ゼミを選ぶときも公務員試験にばっちり出る民法を学べる方がいいと思ったのです。

荒木:ここは法律系ですが、経済学と法学の両方を学べるところがいいですね。私は、ニュースを見るときは自然に経済の知識と、法律の知識それぞれの視点から見ようになりました。そんなふうに複数の視点から物事を見て考えることって、社会に出てからすごく役に立つと思っています。

中山先生:確かに、いろんな分野を学ぶというのは、複眼的に視点を移動させながら、バランス良く物事を見ることができるようにつながりますよね。

持丸:高校生の頃と比べて自分が大きく変わったのと思うのは、やはり物事をよく考えるようになったという点ですね。高校までの試験の問題は、答えがひとつパシッとあるだけですが、法律は解答に至るまでにいくつもルートがある。人によって説が違い、どちらの説がより合理的なのか、正しいのかなど、いろいろ見比べながら自分自身はどうなだろうと考える。なかなか定まらないこともあるけれど、そういうときの考えの着地の仕方自分なりに身に付きましたね。とにかく、考える力はかなり付いたと思います。

中山先生:考えたり、悩んだりすることに意味があります。そうしながら成長していくのです。

ゼミでプレゼンの力を磨く

中山先生:ゼミでは毎回、一人があるテーマについて調べたことをみんなの前で報告し、それについて議論しています。そのときの論点について、法律の問題というのは、解釈の分かれるところ、あるいはその解釈の分かれるところを裁判所がどういうふうに判断をしたのかということが重要になります。裁判所の判断あるいは理論



に対して、どう評価できるのか、また合理性とか妥当性について考えていくのが基本的なところ。ゼミで報告された内容に対して、そのような視点で議論しながら、それぞれが自分自身の知識として定着させてもらいたいというのが、このゼミのねらいでもあります。

木本:民法は範囲が広く、奥深いので、難しいのですが、ゼミの報告ではみんな上手くまとめているので、とてもわかりやすい。聞いてて、楽しいですね。

吉岡:社会に出たときに、プレゼンテーションをする機会もあると思いますが、ゼミでは毎週とか隔週で報告をするために、テーマについて1週間くらいかけて準備をします。そういう経験を積む中で、プレゼンテーションをする力が付いて来たと思います。

中山先生:ゼミで扱うテーマの設定についてい

と、広く民法全般を学ぶというのが、いまのところのスタンスです。しかし、たとえば、高齢化問題と民法、あるいは消費者問題と民法など、ゼミ生が関心のある問題があれば、それを取り入れたテーマもどんどんやっていきたいですね。

将来の選択肢が広がる学部

水俣:民法を学習するにつれ思うのは、現実の社会では、これという決まった答えがないことの方が多いいのではないかとことです。このゼミは、そのような社会に目を向け、どのように考えていければいいのかを勉強する場だと思っています。

梅崎:私は法律を学ぶようになって、ニュース番組が好きになりました。やはり知っている単語が出てきて、その内容が理解できるようになったからだと思います。自分でもうれしい変化です。

荒木:高校生で将来のことを明確に思い描けて

いる人って意外に少なく、大学に入ってから目標を見つけようと思っているの方がきっと多いと思います。そういう人にとっては幅広く勉強できる佐賀大学の経済学部は、将来の選択肢も広がっているのではないかと思いますね。

中島:高校生へのアドバイスとして、何事も全力で学んでほしいと思います。また、民法はどの分野においてもベースになるので、学ぶことのメリットはたいへん大きいと思います。

木本:大学は、学んだり、関わる人が増えることで、考え方が深まり、世界が広がっていきますね。

中山先生:いろいろなことを学ぶことによって、いろいろな目でモノを見ることができるようになるというのが、大きな魅力だと思います。

Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、卒業時に資格が得られるもの

- 中学校教諭一種免許状(社会)
- 高等学校教諭一種免許状(公民・商業)

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- 佐賀県庁
- 大分県庁
- 唐津市役所
- 五島市役所
- 豊前市役所
- 都城市役所
- 横浜市役所
- 川棚町役場
- 熊本国税局
- 防衛省地方防衛局
- 長崎家庭裁判所
- 佐賀県警
- 高齢・障害・求職者雇用支援機構
- 日本年金機構
- 佐賀銀行
- 佐賀共栄銀行
- 筑邦銀行
- 福岡銀行
- 九州労働金庫
- NTT 西日本
- 大分キャノンマテリアル(株)
- 明治安田生命保険
- 久留米大学病院
- 駿河台学園

主な進学先

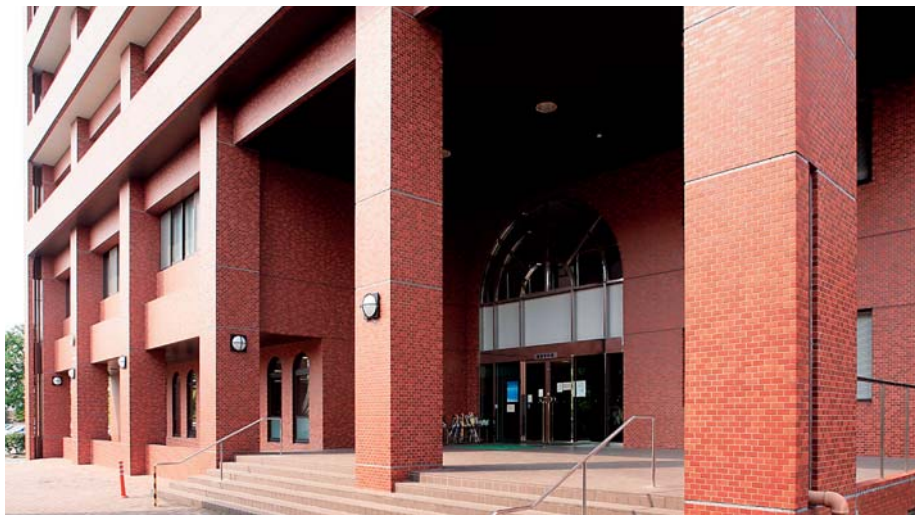
- 佐賀大学大学院農学研究所
- 九州大学法科大学院
- 熊本大学法科大学院
- 明治大学大学院法学研究所

Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

- 救急車有料化の是非
- 育児と仕事の両立支援制度
- 野宿生活から脱するための居宅支援
- 保育の現状と今後の課題
- シングルファーザーの“今”を考える
- 介護保険における買い物弱者救済の限界
- 今後の年金教育の在り方
- 年金支給開始年齢の引き上げにともなう高齢者雇用の有効性
- ケースワーカーから見た漏給問題
- 労働紛争を有効に解決するために
- 原発作業員の労働環境改善
- 歴史から見る中国の失業保険
- 外国人研修制度のあり方
- 日本の医療制度を悪用した医療ビジネス
- 相殺と差押について
- 取得時効 ~ 第三者との対抗問題について ~
- 共同相続と登記について
- 建物賃貸借契約において生じる紛争の回避・対処について
- 消費者教育の意義と展開の課題

教 員 紹 介

- 岩本 諭 教授
経済法
- 櫻澤 秀木 教授
環境法
- 丸谷 浩介 教授
社会保障法
- 中山 泰道 准教授
民法
- 井上 亜紀 准教授
憲法
- 小西みも恵 准教授
商法
- 奈須 祐治 准教授
行政法
- 栗林 佳代 准教授
民法



医学部

Faculty of Medicine

医学科

P.060

看護学科

P.066



高度な専門知識・技術とともに あたたかな心を養う。

医学部は四半世紀におよんだ旧佐賀医科大学の建学の精神と伝統を受け継ぎ、「医学部に課せられた教育・研究・診療の三つの使命一体として推進することによって、社会の要請に応え得る良い医療人を育成し、もって医学・看護学の発展並びに地域包括医療の向上に寄与する」ことを基本理念としています。そして、時代にマッチした斬新な教育方法を取り入れ、豊かな感性と高度な専門知識・技術を兼ね備えた良き医療職者を育成す

ることを目標として教育を行っています。また、医療に関する単なる知識や技術を学ぶのみでなく、医療職者に求められる広い視野からの問題解決能力と病める人の悩みや苦しみを共感できる心を育てます。

医療に大切なものは、
知識・技術・経験と
そして、なによりも
「こころ」だと思う。



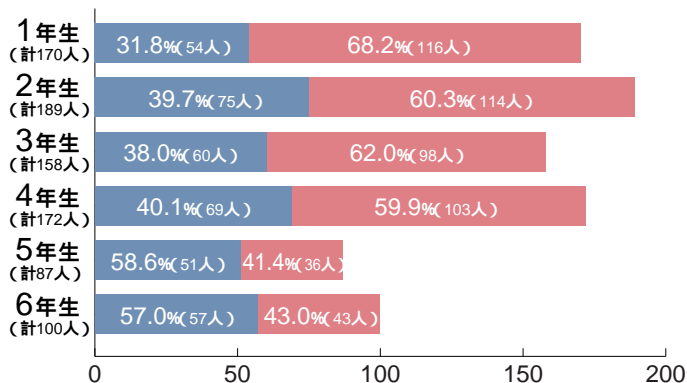
医学部の特徴

自己を尊重した教育システム

医学部では、自己学習・自己評価をモットーとして学生一人一人の自主性を尊重した学習法や教養教育・基礎医学・臨床医学が融合した総合カリキュラム、医療の現場から学ぶことを重視した臨床・臨地実習による6年(医学科)あるいは4年(看護学科)の一貫教育を推進しています。

学年別男女比率(平成24年度)

男 女



医学部 医学 科

.....

自学・自習に基づく問題解決
能力を有する医療者の育成
地域医療への貢献
高度先進医療の開発及び実践



教育目的

医学・医療の実践において、強い生命倫理観と広い社会的視野により問題を総合的にとらえ、その解決を科学的・創造的に行う医師・研究者を育成する。

教育目標

- 1 高い倫理観と豊かな人間性を育み、他者と共感して良い人間関係を作ることができる。
- 2 医学の知識・技術を修得するとともに、自己学習の習慣を身につける。
- 3 つねに科学的論理的に思考し、問題の本質に迫った解決に努める。
- 4 国内外に対し幅広い視野を持ち、地域社会における医療の意義を理解し、かつ実践する。



カリキュラムの特色

6年間の一貫教育です。
臨床医学教育を早期から導入しています。
PBL(問題基盤型学習)を実施しています。
臨床実習は、附属病院の他に関連教育病院及び学外臨床実習病院でも実施しています。
自己学習と自己評価することを習慣づけています。
チューター(指導教員)制度を採用しています。

医学科では1年次から医療入門や早期体験学習を導入して早くから医師としての心構えをしっかりと身につけるためのカリキュラムを組み、さらに学習要項の活用によって自己学習・自己評価が実践できるような仕組みを

設けています。

医師の勉強は生涯のものであり、学生時代の勉強は単にそのスタートに過ぎません。大学で医学を学び、患者に信頼される心と力量を備えた医師になるためには、高校の段階から理数系にかたよった学習をすることなく、幅広い教科について十分な基礎学力を身につけておくことが必要でしょう。また、自ら適性の有無を見極め、早い時期から将来に向けて問題意識を持ち、適切な判断と処理のできる能力を養っておくことが望まれます。

医学科においては、より良い医学教育をめざし、常にカリキュラムの見直しを行っています。

良き医師となるための 恵まれた環境がここにはある

高校生の時、生物を学んだり科学雑誌を読んだりしたことから生物学に興味を持ち、大学でもっと学びたいと思いました。将来はただ基礎のための基礎研究をするのではなく、実際に人をみて、自分で手を動かし、世の中の役に立つようなことをしたいと思うようになり、医学部に進学したいと考えました。

佐賀大学医学部医学科の大きな魅力の一つに6年一貫カリキュラムがあり、早期から臨床医学に触れることができます。PBL・TBLでは実践的に臨床医学を学習できるだけでなく、医師に必要なコミュニケーション能力やチームワークも身につけることができます。また、先生と学生の距離が近く、疑問があればすぐに質問できます。更に、医学部医学科では自分が興味を持つ分野を徹底的に追究することもできます。私も組織・神経解剖学分野の研究室で膵臓のランゲルハンス島に関する研究を行っています。

このようにとても恵まれた環境がここにはあります。それを活かして患者さんの気持ちがわかる常にリサーチマインドを持った医師になれるように一層研鑽を積んでいきたいと思っています。

医学部
医学科 4年

鈴木 源晟

北海道 函館ラ・サール高等学校出身

医学部 / 医学科

Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、
卒業時に資格が得られるもの

医師国家試験受験資格

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- 佐賀大学医学部附属病院 (21名)
- 九州大学病院 (8名)
- 高木病院 (5名)
- 東京医科歯科大学医学部附属病院 (4名)
- 長崎大学病院 (3名)
- 熊本大学医学部附属病院 (2名)
- 広島大学病院 (2名)
- 佐賀県立病院好生館 (2名)
- 唐津赤十字病院 (2名)
- 長崎医療センター (2名)
- 沖縄協同病院 (2名)
- 鹿児島大学病院
- 愛媛大学医学部附属病院
- 大阪大学医学部附属病院
- 九州中央病院
- 福岡大学附属病院
- 福岡市民病院
- 九州厚生年金病院
- 済生会二日市病院
- 新古賀病院
- 健和会大手町病院
- 米の山病院
- 福岡記念病院
- 久留米大学病院
- 熊本医療センター
- 大分県立病院
- 中頭病院
- 沖縄県立中部病院
- 大阪医療センター
- 襄面市立病院
- 京都桂病院
- 洛和会首羽病院
- 西神戸医療センター
- 岐阜県多治見病院
- 昭和大学横浜市北部病院
- 横浜市立大学
- 菊名記念病院
- 東名厚木病院
- 日本赤十字社医療センター
- 自治医科大学附属病院
- 自治医科大学さいたま医療センター
- 市立千歳市民病院



1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次			
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
「大学入門科目(医療入門)」・医療入門・医療入門				ユニット1 (地域医療)		ユニット8 (運動・感覚器)		臨床実習		臨床実習 地域医療実習 関連教育病院実習			
「主題科目」				ユニット2 (消化器)		ユニット9 (精神・神経)							
「外国語科目」		人体発生学 組織学 生化学 生理学・ 薬理学		ユニット3 (呼吸器)		ユニット10 (小児・女性)							
「情報処理科目」				ユニット4 (循環器)		ユニット11 (救急・麻酔)							
医療人間学 医療心理学 生活医療福祉学 基礎生命科学				ユニット5 (代謝・内分泌・腎・泌尿器)		ユニット12 (社会医学・医療社会法制)							
細胞生物学・				ユニット6 (血液・腫瘍・感染症)		基礎系・ 臨床系選択科目							
細胞生物学				ユニット7 (皮膚・膠原)									
				ユニット8 (運動・感覚器)									
				ユニット13(臨床入門)									
				医学英語									
				基礎系選択科目									

Phase Phase Phase Phase Phase Phase

医学科では教養教育、基礎医学、臨床医学の実施時期を明確に区別せず、Phase(フェイズ) ~ に分けて6年一貫教育を実施しています。

教養教育科目及び専門基礎科目は1年次から2年次後期まで行われます。専門科目では、基礎医学が1年次前期から始まり、遺伝子、発生、細胞、組織、器官、個体、集団といった順序に、かつ構造と機能を並行して勉強できるように構成されています。3・4年次には、内科、外科、小児科などの臨床医学を統合し、臓器別に再構成したりキュラムで学び、医師として患者さんの問題を解決する能力を養います。

Phase は大学入門科目(医療入門)、主題科目、情報処理科目、外国語科目からなる教養教育科目と、医療人間学や基礎生命科学などの専門基礎科目から構成されています。医学を志す者が学習すべき基礎的な知識と方法論を修得し、かつ人間に対する理解を幅広い視点から深めるために教育が行われます。講義に加えて実習も取り入れられ、たとえば医療入門 ~ は1年次から2年次まで開講され、早期体験学習が行われています。

Phase からは医学専門科目である基礎医学の学習が始まり、まず、生物の基本的構成単位である細胞の構造と機能を遺伝子レベルから分子レベルまで講義・実習を通して学びます。そこで得た知識を、さらに細胞から組織、組織から個体へと構築することにより、人体の正常な構造と機能を個体発生、系統発生的背景とともに学習します。さらに、どのような内的・外的要因が係わり、どのような病態を呈するか学び、3年次(Phase)から本格的に始ま

る、臨床医学へとつなげます。

Phase の特徴は、PBL(問題基盤型学習; Problem-based Learning)や TBL(チーム基盤型学習; Team-based Learning)を大幅に導入していることです。これは症例シナリオを用いたグループ討論を通して、学習課題を自ら見出し、学習する能力や、知識を活用して病気の診断や治療方針を立案する訓練を行うものです。同時に、医療面接や身体診察などの基本的臨床技能を訓練し、臨床実習に備えます。

Phase は全面的に臨床実習に当てられます。臨床実習では医療チームの一員として診療に参加するため、4年次の学年末に共用試験に合格し、Student Doctorとして適格認定を受けた者のみが実習を許可されます。

Phase は6年間の最後の仕上げの時期で、自らの弱点を補い、あるいは興味を持つ分野をさらに深めるための選択コースが開設されます。これは、基礎及び臨床系講座から提供されたテーマの中から希望するコースを選択して学習するもので、ハワイ大学をはじめ海外での短期臨床実習に参加するコースも含まれています。

最後に卒業試験に相当する総括講義が行われます。

以上のカリキュラムの特徴として、一つの授業科目の履修が次の授業科目につながるところが大きく、したがって、前段の履修なしに次段階の学習に進むことは容易ではありません。また、学習が試験のためだけに行われることを避け、試験も学習の一部という観点から、通常、試験は各科目の終了ごと、あるいは途中にも行われ、特に試験期間というものは設定していません。

カリキュラム紹介

【医療入門】

医師には、患者との良好なコミュニケーションを保ち、患者の心を理解しようと努める豊かな人間性と寛容な精神、時には職業人としての倫理性と責任感に基づき困難な決断を患者と共有する厳しさが求められます。

医療入門は、臨床医学の修得前に、講義に加え、早期体験学習、医療面接のロールプレイ、身体診察技法及びファーストエイド等の実習、地域の療養型・介護型医療機関での施設実習を行うことにより、医療人としての自覚を高め、少子高齢化を特徴とする現代日本社会における医療の実際を理解し、医療の技術的進歩と社会の急速な変貌が人々の心にもたらす問題に関心を持ち続ける態度を身につけることを目標としています。



【PBL・TBL】

PBLとは、問題基盤型学習(Problem-based Learning)といわれるもので、従来の講義形式と違い、学生を1グループ6人程度の少人数に分け、提示された課題に対し、グループでのディスカッションを通じて、自らが問題点を見つけ解決法を探る、つまり自ら学習する方法のことで、各グループにはPBLチューターといわれる教員が付き学習を進めるためのアドバイスを行います。

TBL(チーム基盤型学習:Team-based Learning)は、指定された事前学習によって基礎知識を確保したうえで、応用的な症例課題にグループで取り組むことによって、基礎知識を深め、応用能力を高める演習です。幅広い知識と応用能力を効率的に習得するのに適しています。

医学科3年次、4年次の臨床系科目はPBLまたはTBLで行います。PBL・TBLと平行した系統講義や臨床技能訓練によって、学んだ知識を医療実践に応用できるアタマ・技・ココロづくりを行っています。



【臨床実習】

医学教育において、よき医師となるための基礎を磨く最も重要な部分といえます。この臨床実習(クラークシップ)は先輩の教員、医員および看護師等と共にチームの一員として患者に接し、PBLで培った「課題発見・問題解決」能力を有効に応用することが求められます。

この臨床実習において、学生はチームの一員として患者の診療に参加し、患者の診察、カルテへの記載、診断・治療計画の策定、基本的臨床手技を含む患者マネジメントを行う事が求められます。こうした経験を通して、良き医師となるための基本的技能、問題解決能力を身につけることが最も重要な目標です。



分子生命科学(分子遺伝学・エピジェネティクス分野)

副島 英伸 教授、城 圭一郎 准教授、西岡 憲一 講師(特定)、東元 健 助教

当研究室は、DNA メチル化、ヒストン化学修飾、クロマチン・リモデリング等のエピジェネティクス研究を行っています。エピジェネティクスとは、DNA 配列の変化を伴わないで遺伝子の転写を調節する機構のことで、エピジェネティクスが異常になると様々なヒトの病気が発症します。私たちは、ヒトを含む哺乳動物の発生・発育に重要な働きをしているゲノムインプリンティングを中心に、先天性疾患、癌、クロマチンと転写制御の研究を行っています。患者検体のゲノム・エピゲノム解析、培養細胞(ES細胞やiPS細胞など)、モデルマウスを使った研究を通じて、エピジェネティックな変化が起こるメカニズムと疾患発症機構の解明を目指しています。



内科学(消化器内科学)

藤本 一眞 教授、岩切 龍一 准教授(附属病院光学医療診療部)、坂田 祐之 講師(附属病院消化器内科)、下田 良 助教(附属病院光学医療診療部)、藤瀬 剛弘 助教

消化器内科研究室では、臨床研究と基礎研究の両者を行っています。臨床研究に関しては、国内外の多くの医療機関と共同研究をしており、その一番の意義は佐賀大学消化器内科で実施している医療水準を評価することです。最新の医療技術だけでなく、日常診療の医療技術水準を確認することで、今後の医療をより高い水準で実践することが可能になります。基礎研究の意義は、診療で疑問に思ふ点を再確認することです。研究結果が臨床に直結することは多くないのですが、常に疑問をもち解決するという研究思考が臨床にも重要となります。研究室には医師以外の研究員も多く受け入れて、楽しく研究生活をすごしています。

分子生命科学講座

出原 賢治 教授、木本 雅夫 教授、副島 英伸 教授、池田 義孝 教授、吉田 裕樹 教授

生命現象の基本的仕組みを明らかにするとともに、その異常により引き起こされるさまざまな疾患の病態解明を目指して「分子遺伝学・エピジェネティクス」「分子医化学」「免疫学」「細胞生物学」「生体機能制御学」の5分野により、教育・研究に取り組んでいます。

生体構造機能学講座

熊本 栄一 教授、倉岡 晃夫 教授、寺本 憲功 教授、増子 貞彦 教授

生命体の構造(形態)とその動き(機能)の解明を目指して「組織・神経解剖学」「解剖学・人類学」「器官・細胞生理学」「神経生理学」および「薬理学」の5分野に分かれ、それぞれの分野で教育・研究を進めています。

病因病態科学講座

徳永 蔵 教授、戸田 修二 教授、宮本 比呂志 教授

疾病の機序の解明を意図して、細菌や微生物感染に対する生体防御機序、動脈硬化症や癌の病理学、癌や肥満症などの生活習慣病の分子生物学など種々の研究を「微生物学・寄生虫学」「診断病理学」「臨床病態病理学」の3分野の研究グループで進めています。

社会医学講座

市場 正良 教授、田中 恵太郎 教授

環境と健康との相互作用を解析し、良好な健康状態を保持するための「環境医学」、癌や生活習慣病の危険因子・防御因子を明らかにして疾病予防に役立てる「予防医学」、核やミトコンドリアのDNAを用いた個人識別を主なテーマとする「法医学」および英語を中心とした外国語教育を担当する「国際医療コミュニケーション科学」の4分野に分かれており、それぞれの分野で教育・研究を進めています。

内科学講座

安西 慶三 教授、木村 晋也 教授、成澤 寛 教授、野出 孝一 教授、原 英夫 教授、藤本 一眞 教授

わが国では珍しい大講座制で、内科の専門8部門「膠原病・リウマチ内科学」「呼吸器内科学」「神経内科学」「血液内科学」「循環器・腎臓内科学」「消化器内科学・光学医療診療部」「肝臓・糖尿病・内分泌内科学」と「皮膚科学」から成っています。互いの競争と協力を合言葉に、日夜、教育・研究・診療に励んでいます。

精神医学講座

“患者と共に在れ”という言葉をもっとに医師患者関係を大切に、今後増加が予想されるうつ病を始めとするストレス関連疾患、老年精神疾患など変貌する精神科医療に柔軟に対応すべく、他の診療科と協力しながら更に研鑽を重ねています。

小児科学講座

濱崎 雄平 教授

佐賀県内唯一の特定機能病院小児科部門として、最先端の医療技術をもって診療にあたるとともに、卒前や卒後の教育を重視し、医学研究の分野でも臨床に立脚した研究を推進しています。また、アレルギー学会認定研修施設でもあります。

一般・消化器外科学講座

能城 浩和 教授

おもに消化器および乳癌悪性腫瘍の患者さんを対象とし診療しています。「体に優しい」低侵襲の鏡視下手術を積極的に進めており、全国でもトップクラスの鏡視下手術率を誇っています。また腫瘍制御に関する基礎研究も進めており、腫瘍の悪性度診断、浸潤転移機構の解明および抗癌剤感受性(個別化治療)などについて研究を行っています。

胸部・心臓血管外科学講座

森田 茂樹 教授

心臓血管外科と呼吸器外科から成り、患者さんの目線で最高の医療を実践し、地域医療に貢献し続けるために、24時間体制で診療に励んでいます。研究分野では、わが国でも有数の心臓の再生医療に取り組んでおり、佐賀から世界に情報を発信すべく日夜研鑽を重ねています。

整形外科講座

馬渡 正明 教授

佐賀大学整形外科は全国区の診療科です。なかでも股関節外科は全国最多の手術症例を扱っています。患者さんは東京、北海道など県外から半数を超えています。整形外科分野におけるオピニオンリーダーとしての役割を果たすべく、積極的に臨床・基礎研究に取り組んでいます。特に抗菌性生体材料の研究や和式生活に対応する新しい人工関節の開発に力を入れています。

脳神経外科学講座

松島 俊夫 教授

対象とする疾患は、脳腫瘍、脳血管障害、機能外科、外傷、脊椎脊髄、小児脳神経疾患など広い範囲に及びます。特に詳細な外科解剖の研究に基づいた手術(マイクロサージャリー)と新規治療開発に関する研究に立脚した悪性脳腫瘍の治療に精力を注いでいます。

泌尿器科学講座

魚住 二郎 教授

副腎、腎臓、尿管、膀胱、前立腺、精巣などの後腹膜臓器および泌尿生殖器の疾患を担当しています。高齢化社会で需要が増えていると同時に、プライバシーを重視するべき疾患が多いことから、男女を問わず幅広い人材を必要とする科のひとつです。当講座では常に患者のQuality of Lifeを尊重した医療をモットーとし、内視鏡・体腔鏡手術など最新の医療技術を提供しています。

地域医療支援学講座

皆さんは「地域医療」という言葉を聞いてどのような医療を想像されますか。私達は「地域の人々が安心して暮らせるための医療」を創り、支援していくことを仕事としています。

地域で活躍できる医師とは、「どんな病気で診察し、患者さんや家族の思いまで考慮に入れて、最善の治療ができる医師」

ということになります。まさに理想の医師像ですが、私達はその理想をあきらめずに追いつけていきたいと思っています。そのための具体的な教育プログラムの開発にも着手しました。昨年始めた地域医療体験実習では、佐賀大学と自治医科大学の学生に合同で山間や離島医療の現場を体験してもらい、とても充実したのになりました。医師になってからも、幅広く対応できる内科医になるための「総合内科医育成プログラム」、軽症から重症まで対応できる小児科医になるための「小児救急プログラム」、また麻酔科や産婦人科、救急科などの地域で不足している診療科の支援も行っています。これらのプログラムが日本全国の地域医療支援のモデルとなるよう、教員一丸となって日々頑張っています。



産科婦人科学講座

子宮頸癌の発癌機構の解明とともにその治療法の開発の研究を行っています。また、細胞診断の精度向上のため、各種の分析法を試みています。一方、周産期分野では当科で開発した24時間胎児心拍モニターを用いて胎児心拍の日内変動の研究を行っています。

放射線医学講座

附属病院放射線科と放射線部のスタッフをあわせて放射線科を形成しています。佐賀県唯一の最先端放射線機器類を駆使して、画像診断、インターベンショナル・ラジオロジー、核医学、放射線治療の各分野で、一致団結して日夜、教育・研究・診療に励んでいます。

臨床検査医学講座

さまざまな疾患の発生機序やその疾患の治療に対する反応性などを総合的に解明することにより、臨床業務に役立つ新規の臨床検査の構築と、そのための技術開発を目指しています。

(附属施設)地域医療科学教育センター

酒見 隆信 教授、竹生 政資 教授、堀川 悦夫 教授

医学部の基本理念に掲げている地域包括医療の向上を目的とした、国内唯一の附属センターです。「医療連携システム部門」「福祉健康科学(社会生活行動支援)部門」「地域包括医療教育部門」の3部門で構成されており、それぞれの部門が、地域医療ネットワークサービス、高齢者・障害者の生活自立支援、地域包括医療人材育成といった目標に向かって活動しています。

眼科学講座

沖波 聡 教授

メインテーマはぶどう膜炎と緑内障であり九州一円から来院する患者さんの治療にあたっています。また網膜硝子体疾患に対する高度な治療を、基幹病院として地域病院と連携して行っています。

麻酔・蘇生学講座

坂口 嘉郎 教授

「手術室での麻酔」集中治療「ペインクリニック」緩和ケア」の分野で診療と研究を行っています。また、有明海と地域住民の健康に関する研究やアジア諸国への医療援助にも積極的に取り組んでいます。

救急医学講座

阪本 雄一郎 教授

どのような急性期の病態についても全員で取り組み、1次から3次救急の全ての救急患者を診療することにより、地域救急医療のセンターとしての役割を果たしています。急性疾患を扱う救急医療に加えて非常災害医療学講座が併設されており、より広い救急医学分野で充実した貢献が行えるようになっています。また、敗血症や外傷に関する基礎研究も行っています。

(附属施設)先端医学研究推進支援センター

(併)吉田 裕樹 教授、(併)詩東 宏明 准教授

「研究推進部門」「研究支援部門」「教育研究支援室」から成り、学際分野を含む医学教育の先端的・中心的役割を担い、もって学内外への発信を行うとともに、医学部における教育研究の基盤となる高度な技術的支援とその研鑽を組織的に行うことにより、関連する医学・看護学の課題に関して重点的に研究を進展させることを目的としています。

耳鼻咽喉科学講座

井之口 昭 教授

佐賀県内唯一の特定機能病院耳鼻咽喉科部門として、最先端の医療技術をもって進展した頭頸部癌の治療にあたっています。形成外科、胸部外科、脳神経外科、放射線科とも協力し、チーム医療を行っています。

歯科口腔外科学講座

後藤 昌昭 教授

「インプラント義歯」や「顎顔面補綴」の高度先進医療を行うとともに、JICAやNPOのメンバーとして、口唇裂、口蓋裂治療の技術移転を目的としたアジア諸国への国際医療ボランティア活動を行っています。

国際医療学講座

青木 洋介 教授

Globalizationや高齢化により疾患疫学に大きく影響を受ける感染症の診断と治療を行います。また、一般感染症、免疫不全感染症、医療関連感染症の臨床的疑問点を明らかにし、医療の質保全と向上に資する臨床研究を遂行できる人材を育成します。学部教育では、医学部3・4年次の医療英語教育を拡充し、global standardでの医学・医療社会的コミュニケーション能力を備えた医師育成を担当します。



医学部 看護学科

高い倫理観

早期からの臨地実習

チューター制度



教育目的

高い倫理観に基づき健康についての問題を包括的にとらえ、柔軟に解決する実践能力を持った看護職者を育成する。

教育目標

- 1 看護職者にふさわしい豊かな感性を備え、人を尊重する態度を身につける。
- 2 的確な看護実践ができるように、看護の知識と技術を修得する。
- 3 看護の多様な問題に対処できるように、自ら考え解決する習慣を身につける。
- 4 社会に対する幅広い視野をもち、地域における保健医療福祉の活動に貢献できる基本的能力を養う。



カリキュラムの特色

看護師教育課程に加え、保健師や助産師への道を開くための教育課程を4年間のカリキュラムの中で一貫して行っています。

病院等の施設や地域で行う臨地実習をカリキュラムの核とし、1年次から4年次まで段階的に編成しています。自己学習・自己評価の実践を習慣づけています。チューター(指導教員)制度を採用しています。

現在、わが国の多くの看護系大学では4年間の大学教

育の中に、看護師教育課程を基盤に、保健師教育課程や助産師教育課程を選択し学習するカリキュラムが導入されています。

看護系大学では、4年間に、大学としての独自の教育も盛り込みますから、学生にはかなりハードなカリキュラムになります。しかし、本学看護学科ではコアカリキュラムによる密度の濃い内容を教授することにより、余裕をもって4年間の学生生活を送ることができるように工夫されています。

患者さんの心に 寄り添うことのできる看護師に

私は以前から助産に興味があり、助産師の資格を取りたかったため、佐賀大学の看護学科へ進みました。大学4年間で助産師の資格を取得できるのは佐賀大学看護学科の大きな魅力です。勉強は高校とはまた違う意味で難しいですね。看護って知識や技術も大事ですが、「人」を理解することから始まるんです。学べば学ぶほど深い学問だなと感じます。それに、大学では自分の考えを持つことがとても大切なんです。臨床では、判断力や患者さんをアセスメントする力が求められます。グループワークなどの演習を通してディスカッションをし、考える力を養ったり、理解を深めたりしています。また、看護学科の先生方は学生の意見を尊重しながらアドバイスしてくださって、自主性を大切にしてくれます。

これからは、さらに多くの人と出会い、様々な経験を積んで、友達と切磋琢磨しながら自分を成長させていきたいです。そして何より、患者さんの立場にたって考えることのできる看護師になりたいですね。

医学部
看護学科 2年
上野 あかね
福岡市立福岡西陵高等学校出身

医学部 / 看護学科



Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、
卒業時に資格が得られるもの

看護師国家試験受験資格	許取得後、申請による)
保健師国家試験受験資格	養護教諭二種普通免許状 保健師免許取得後、申請による。在学中に指定の単位を修得することが必要)
助産師国家試験受験資格	
第一種衛生管理者免許状 (保健師免	

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- 佐賀大学医学部附属病院 (21名)
- 福岡大学病院 (5名、うち助産師2名)
- 九州大学病院 (4名、うち助産師1名)
- 佐賀社会保険病院 (4名、うち保健師3名)
- 横浜市立大学附属病院 (3名)
- 聖マリア病院 (3名、うち保健師2名)
- 北里大学病院 (3名、うち助産師2名)
- 国立病院機構九州がんセンター (2名)
- 長崎大学病院 (2名)
- 神奈川県立こども医療センター (2名)
- 市立長浜病院
- 順天堂大学附属病院
- 日本赤十字医療センター
- 済生会八幡総合病院
- 福岡市立こども病院感染症センター
- 熊本赤十字病院
- 熊本市民病院
- 日本大学医学部附属病院
- 帝京大学千葉総合医療センター
- 国家公務員共済組合連合会浜の町病院
- 久留米大学病院
- 佐賀県庁(保健師)
- 佐賀市嘱託職員(保健師)
- 大分キャンノ(保健師)
- 伊万里市役所(保健師)
- 大牟田市役所(保健師)
- 国立病院機構佐賀病院(助産師)

主な進学先

- 佐賀大学大学院医学系研究科
- 九州医療センター附属福岡看護助産学校



1年次		2年次		3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
大学入門科目	看護の機能と方法				臨地実習 成人 小児 母性 精神 老年 地域	看護の機能と方法	
情報処理科目						臨地実習 在宅 統合	ライフサイクルと看護
外国語科目	ライフサイクルと看護						主題科目
主題科目	臨地実習	主題科目		専門基礎科目			
専門基礎科目		地域における看護		地域における看護			
臨地実習基礎		公衆衛生看護コース科目		公衆衛生看護コース科目			
				助産コース科目			

公衆衛生看護コース以外 選択必修

教養教育科目
 専門基礎科目

 看護専門科目

看護は、健康な人から病を持つ人まで、様々な健康レベルの人々を対象とします。看護学を学ぶ者は、人間は生物学的・社会的存在で、人格を持つ統合された存在であるという視点で人間を全体的に理解することが大切です。この視点を養うため、看護学科では、看護に必要な人間を理解する学習から始まり、看護の専門科目および実習を通じて、4年間にわたって学習していきます。

臨地実習は、1年前期の早期体験学習から始まり、学年ごとに臨地実習が核となり4年間のカリキュラムが構成されています。3年次後期からの臨地実習に入る前には「バリア」を設けており、3年次前期までに開講されている必修科目にすべて合格し、適格認定を受けた者が、Student Nurseの称号を与えられ、実習が許可されます。4年次では自らのテーマを設定して行う統合実習や看護セミナーを体験します。さらに1～3年次に学習した内容の上級編にあたる、より高度な内容をもつ科目を選択して

学習できるよう配慮されています。

以上のカリキュラムの特徴として、一つの授業科目が次の授業科目の土台になるところが大きく、したがって、前段の履修なしに次段階の学習に進むことは容易ではありません。また、学習が試験のためだけに行われることを避け、試験も学習の一部という観点から、通常、試験は各科目の終了ごとに行われます。こうした学習目標を達成するためには、高等学校での各教科について幅広く深みのある基礎的学力を身につけていることが必要です。さらに、早い時期から問題意識を持ち、適切な判断と処理ができる能力を養っておくことも大切なことです。

このように看護学科では1年次から早期体験学習を導入して早くから看護職者としての心構えをしっかりと身につけるためのカリキュラムを編成し、さらに学習要項の活用によって自己学習・自己評価が実践できるような仕組みを設けています。

【チューター制度】

医学部では、学生のみなさんが充実したキャンパスライフを送られるように、チューター(指導教員)制度を採用しています。小グループの学生に1名の教員がチューターとして付いて、みなさんの修学、心身の健康などの問題についての相談役となっています。お菓子を食べながら、あるいは食事をしながら近況報告ということも……。

学生のみなさんは自らの責任において勉強し、行動することを基本としていますが、グループ内あるいはグループ間で互いに考え、話し合い、助け合うことも大切なことです。チューター制度は、このためのコミュニケーション力を高める役割も担うものです。

上級学年では、国家試験合格に向けての対策や進路についてのアドバイスも行っています。

(大学入門科目)看護学入門

これから学ぶ看護学の全体像を把握し、看護を行う上で共通となる基本的な概念を学ぶ授業です。近代・現代の初歩的看護論を読み、そこに表されている看護について知ります。それらの看護論に対する意見をもとにグループ討議を行い、各自の意見を交換することにより、自分の考えを他者に明確に表現する姿勢や他者の考えなどをよく聞く姿勢を身につけます。これらの作業を通して看護とは何かを考察し理解を深めます。1年前期に開講されます。

(看護専門科目)基礎的看護技術

看護についての専門的な知識や技術を学びます。看護の基本となる、基礎的看護技術の学習や実技演習を通して、対象者のニーズに応じた看護援助に必要な基礎的技術や態度を身につけます。

看護における安全・安楽に重点を置いた日常生活援助技術の講義・演習を行います。看護技術試験を実施し、学生の看護技術の修得状況を確認し、看護実践の向上に努めています。:コミュニケーション、:診療に関する援助技術を学習します。

(看護専門科目)国際保健看護論

国際保健及び国際看護に関する基本的な知識を習得します。特に国際社会において広い視野に基づき看護師として諸外国との協力を考え、国際保健医療における看護職の役割と課題について学習します。

(看護専門科目)公衆衛生看護コース

保健師をめざす者のための選択コースで、保健師の国家試験の受験に必要な科目を学習します。公衆衛生看護実習は佐賀県内の主な自治体(行政機関)2施設で実施予定です。1学年40名程度の学生が選択可能な状況です。

(専門基礎科目)解剖学・生理学

看護学を学ぶための基礎として、また看護を実施するうえで、人間の体を構成する組織や器官の正常な構造と、それらの生理的機能や制御機構を知ることが重要です。人体がどのような細胞、組織、器官により構成され、これらの形態がどのような機能と対応しているかを系統的かつ局所的に理解していきます。1年前期に開講されます。

(看護専門科目)発達看護論

看護についての専門的な知識や技術を学びます。看護の対象の特性に応じた看護を各論的に学修します。人間のライフサイクル、すなわち小児、成人、母性、老年の各期における看護について講義や演習を通して学習します。:成人・老年、:母性・小児の特性について身体的・心理的・社会的特徴と発達課題を踏まえ、各期における健康を考察し健康レベルに応じた看護について学習します。

(看護専門科目)臨地実習

病院における実習と、地域・在宅における実習を一つにしたものです。1年前期の早期体験実習、2年前期の実習、3年後期の実習及び4年前期の実習で構成されています。3年後期の臨地実習を行う学生は Student Nurse(SN)の認定を受けた後に実習に入ります。

(看護専門科目)助産コース

助産師をめざす者のための選択コースで、助産師の国家試験の受験に必要な科目を学習します。なお、主な実習施設である佐賀大学医学部附属病院における分娩数の減少により、今のところ1学年6名程度の学生が選択可能な状況です。

(専門基礎科目)病態・疾病論

様々な疾患をもつ患者に適切な看護と正しい生活指導を行なうことができるようになるために、各臓器・系統別に主要な疾患の病態、症状、検査法、診断、治療、経過と予後などの基本的な医学知識について系統的に学びます。1年後期から開講されます。

(看護専門科目)がん看護

がんと共に生きる患者および家族の生活の質を維持・向上させるための援助の方法論を学びます。講義はがんの特殊性とがん看護の概念、インフォームドコンセントと意思決定、がん治療を受ける患者の看護、リハビリテーションとセルフケアなどで構成されています。



看護基礎科学(看護援助学分野)

井上 範江 教授、分島 り子 助教、村田 尚恵 助教、古島 智恵 助教、高島 利 助教

当研究室では、看護師が提供する看護技術やコミュニケーションがどのような影響を患者に及ぼしているかを生理学および心理学的な側面から捉え検討しています。患者の安全かつ快適で人間としての威厳を保った入院生活を支えるためには、科学的根拠に基づいた看護 Evidence Based Nursing:EBN の提供と看護職者としての倫理・哲学的視点の探究が求められます。看護学科は恒温恒湿室を有しており、私たちはこの環境と生理機能測定機器を用いて実験・実証的研究を行うと共に、実際の臨床現場をフィールドとした研究を行うことにより、EBNの構築および看護技術の向上にアプローチしています。

また現在、社会環境の変化や医療技術の目まぐるしい進歩に伴い看護職者に求められる技術・能力は高度化しています。私たちは、社会が求める高度な知識・技術を備える看護職者の育成に繋げるため、学生に対する教育方法の開発研究にも取り組んでいます。



看護基礎科学講座

井上 範江 教授、河野 史 教授

看護学の基礎となる理論及び技術を専門にする講座で、人体の構造と機能、病態生理学に関する教育研究を行う「看護機能形態学」と、看護実践の基盤となる看護の理論、援助技術および人間関係等についての教育研究を行う「看護援助学」の2つの分野から成ります。

地域・国際保健看護学講座

有吉 浩美 教授、新地 浩一 教授

地域で生活している人々の健康とQOLの向上に関する教育や研究を行っています。「地域看護学分野」、「精神・在宅看護学分野」、「国際保健看護学分野」の3分野で構成されています。

成人・老年看護学講座

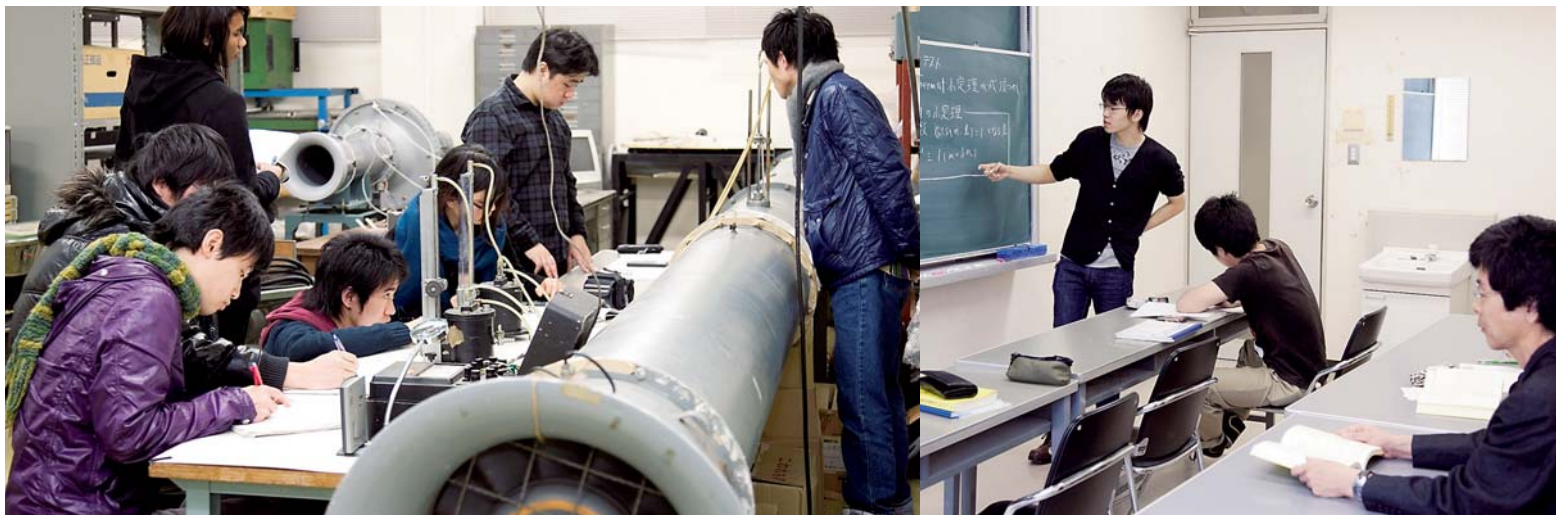
大田 明英 教授、藤田 君支 教授

ライフサイクルや疾病の回復過程の観点から成人期・老年期の対象者を十分に理解し、高度な看護実践・研究を行うことができるように、「急性期看護学」、「慢性期看護学」、「老年看護学」の3つの教育研究分野から構成されています。

母子看護学講座

齋藤 ひさ子 教授

母子のライフサイクルに関する健康と看護を教育研究する2つの専門分野で構成されています。「小児看護学」は、子どもの成長・発達過程で生じる健康問題の予防や回復を図り、家族が健康に生活できるように看護援助を教育研究する分野です。「母性看護・助産学」は、女性が安全で満足な出産を経験することや、母性としての機能が健全に発揮できるよう、女性の一生を通じてはたらきかける看護を教育研究する分野です。



理工学部

Faculty of Science and Engineering

数理
科学科

P.072

物理
科学科

P.076

知能情報
システム学科

P.080

機能物質
化学科

P.084

機械システム
工学科

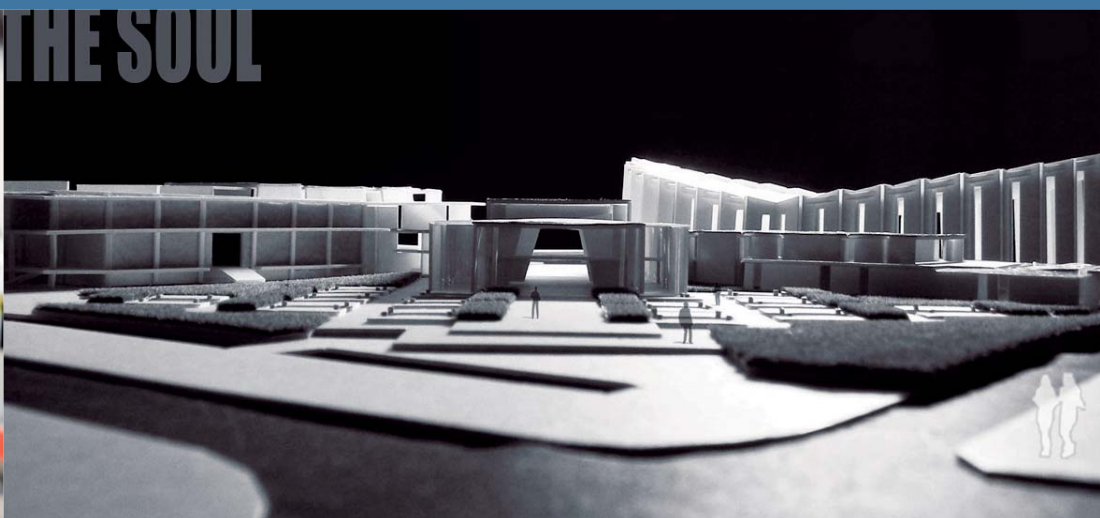
P.088

電気電子
工学科

P.092

都市
工学科

P.096



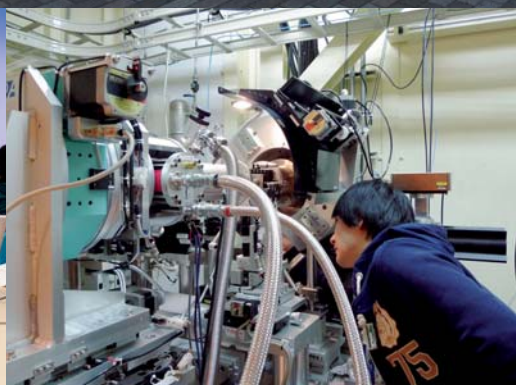
Harmonize in Science and Engineering 未来を創る「人」になる。

佐賀大学理工学部は、建学時から、理学と工学の融合をテーマとしてきました。地球上の生き物や環境と共生し、新たな希望に満ちた未来を創造して行くには、双方の領域で自在に思考できる「知」が必要不可欠です。理学で原理を学び、工学で応用技術を学び、「知」のハーモニーの中から次の世界を生み出す「人」が育っています。

本学部は、現在7学科において、21世紀の高度科学技術時

代に活躍できる人材の育成と知的創造をめざして教育研究を行っています。理学系と工学系の学科が同一学部にあるという特色を最大限に発揮し、科学と技術の融合による基礎科学とハイテクノロジーの推進を旗印に、ユニークな教育と研究に意欲的に取り組んでおり、まさに時代の要請に応えることのできる体制といえるでしょう。

サイエンスは
不思議な力を持っている。
そこが大きな魅力
なのかもしれない。



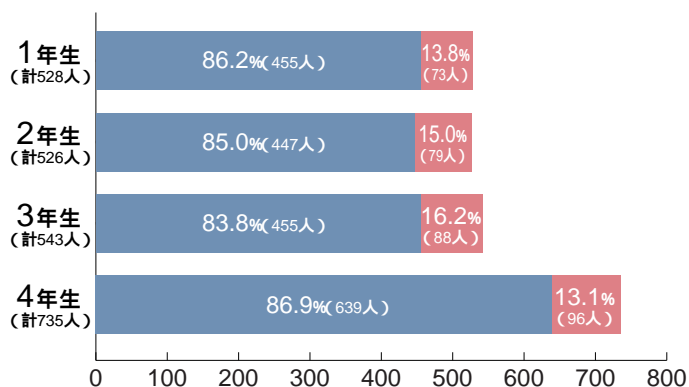
理工学部の特徴

本学部独自の高度な知識・技術

理工学部は、科学と技術の融合という独自の教育システムで、約50%の学部学生が進学している大学院工学系研究科博士前期課程、及びそれに続く博士後期課程では、さらに高度な専門知識や技術を学び、高いレベルの研究を行っています。教員と学生が膝をつき合わせた少人数教育の実践や外国人教員による国際性豊かな講義も本学部の大きな特徴です。

学年別男女比率(平成24年度)

男 女



理工学部 数理科学科

数学及び数理科学の領域において、
広く社会で活躍できる
高度な専門的知識・能力を持つ
教育者、技術者、研究者を養成する。



数理科学科の教育目標は、

- A** 数学の基本的な考え及び論理的厳密性を修得させる。
- B** 数学の思考力および表現力を身につけさせる。
- C** 数学の各分野における論理を修得させる。
- D** 直面する諸問題を正確に理解し解析する力とプレゼンテーション能力を身につけさせる。
- E** 社会に広く存在する多様な需要や問題を認識させる。

数理科学科の教育課程は「教養教育科目」と「専門教育科目」により構成されている。教養教育科目は教育目標 **E** に対応し、社会の多様な需要や問題を認識するため主題科目を習得し、国際社会の需要に応えるため、英語、数理科学英語及び第2外国語を修得する。専門教育科目は教育目標の **A**、**B**、**C**、**D** に対応し、各年次における科目は以下のように構成されている。1年次の専門基礎科目(微分積分学基礎ⅠとⅡ、線形代数学基礎ⅠとⅡ)、2年次の専門必修科目(微分積分学ⅠとⅡ、線形代数学ⅠとⅡ、集合・位相ⅠとⅡ)により、数学の基本的な考え及び論理的厳密性を修得する。更に数学の思考力と表現力を身につけるため、微分積分学基礎演習ⅠとⅡ、線形代数学基礎演習ⅠとⅡ、微分積分学演習ⅠとⅡ、線形代数学演習ⅠとⅡ、集合・位相ⅠとⅡ演習を修得する。数学の各分野における論理を理解するため、3年次・4年次に開講される専門選択科目を習熟する。4年次においては、数学講究及び卒業研究の勉強を通して、広く社会で活動できるよう、直面する諸問題を正確に理解し解析する力とプレゼンテーション能力を身につける。

カリキュラムの特色

本学科はあらゆる科学技術の基礎となる数学並びにその直近の応用分野である計算機科学を勉強するところです。数学は自然界のさまざまな数理的現象に秘められた普遍的原理及びその現象を支配する関係式を、ねばり強い思考の積み重ねにより類推、発見、更には演繹する科学です。

一年生： 専門科目の基礎となる微分積分学基礎、線形代数学基礎の授業とともに、教養教育科目の大学入門科目を行います。大学入門科目は新入生が数理科学科に馴染むための授業であり、高校数学と大学の数学との橋渡

し講義です。

二年生： 1年次の授業を踏まえ、より専門的な微分積分学、線形代数学の講義を行います。また、現代数学の基礎の1つである集合・位相も講義します。

三年生： 代数学、幾何学、解析学などの各専門分野の基礎的内容や手法を講義します。

四年生： 数学講究及び卒業研究は本学科生総仕上げの必修科目であり、外国語または日本語による文献を学生主体のセミナー形式で勉強します。

発見につながる

私は数学を専門的に学んでいます。1、2年次は必修科目を学ぶ中で基礎知識を身につけ、3年次では幅広い分野から科目を選択して専門性を高め、最終的に4年次で専門分野を決定し、研究を進めていきます。

講義は、先生それぞれに個性があり、着眼点や捉え方が様々で考え方に幅があるため、たくさんの知識を吸収しながら、楽しく受けることができます。これは佐賀大学・数理科学科の特長であり魅力であると思います。おかげで、私は高校時よりもさらに数学が大好きになりました。

また数学を学んだことで、物事を論理的に考えることの重要性を肌で感じ、日々の生活の中でもいろいろなことに興味をもち、じっくり考察できるようになりました。このように数学は、私たちの生活を充実させる術ともなり得ます。

数学が好きで、もっと深く学びたいという気持ちを抱いている高校生の皆さん、ぜひ数理科学科に来てください。さらなる数学の魅力を発見できますよ!

理工学部
数理科学科 3年

江頭 明佳

佐賀県立佐賀西高等学校出身



Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、
卒業時に資格が得られるもの

- 中学校教諭一種免許状(数学)
- 高等学校教諭一種免許状(数学)

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- 日本ビジネスエンジニアリング
- (株) 鷗州コ・ボレ・ション
- ダイハツ長崎販売所(株)
- 英進館(株)
- (株) マルハン
- 島原市役所
- (株) ソフトジャパン

主な進学先

- 九州大学(3名)
- 佐賀大学(11名)



1年次

2年次

3 - 4年次

4年次

教養教育科目

全学教育科目

専門科目

線形代数学基礎Ⅰ
線形代数学基礎演習Ⅰ
微分積分学基礎Ⅰ
微分積分学基礎演習Ⅰ
線形代数学基礎Ⅱ
線形代数学基礎演習Ⅱ
微分積分学基礎Ⅱ
微分積分学基礎演習Ⅱ
数理科学英語
数理文書作成Ⅰ

線形代数学Ⅰ
線形代数学演習Ⅰ
微分積分学Ⅰ
微分積分学演習Ⅰ
集合・位相Ⅰ
集合・位相演習Ⅰ
数理文書作成Ⅱ
線形代数学Ⅱ
線形代数学演習Ⅱ
微分積分学Ⅱ
微分積分学演習Ⅱ
集合・位相Ⅱ
集合・位相演習Ⅱ

代数学Ⅰ
代数学演習Ⅰ
幾何学Ⅰ
幾何学演習Ⅰ
解析学Ⅰ
解析学演習Ⅰ
微分方程式論Ⅰ
微分方程式論演習Ⅰ
複素関数論Ⅰ
複素関数論演習Ⅰ
プログラミング
代数学Ⅱ
幾何学Ⅱ
解析学Ⅱ
微分方程式論Ⅱ
複素関数論Ⅱ
確率解析学
数理統計学

数学講究及び卒業研究

注目の授業・講義

微分積分学Ⅰ、Ⅱ

数学、物理を始めとする自然科学の基礎を支える微分積分学について、収束、連続性などの抽象的な概念に慣れることを目標とします。手法としての理解とともに、実数の連続性に基礎をいた微分積分の論理的な構造を講義します。

線形代数学Ⅰ、Ⅱ

線形代数学は、微分積分学と並んで大学における数学の基礎をなすものであり、現在数学のあらゆる分野において不断に使用されています。この授業ではベクトル空間、一次独立と一次従属、基底、次元、線形写像、固有値問題、行列の対角化などについて講義します。

集合・位相Ⅰ、Ⅱ

数学は科学における基本的言語の役割を果たします。その文章は、舞台としての「集合」に様々な構造が備わったものの上に綴られます。「位相」はそのような構造を与える最も基本的な概念の一つです。本科目の目的は、集合と位相についての基礎的事柄を修得することにより、現代数学を理解し利用するために必要な読み書き能力を身に着けることです。

代数学Ⅰ、Ⅱ

演算や変換、作用の持つ性質を抽象して得られる群、および、加法や乗法などの演算の持つ性質を抽象して得られる環、体の理論を学ぶと共に、そのさまざまな応用例を勉強することによって、数学の面白さと美しさを実感します。

幾何学Ⅰ、Ⅱ

微分幾何学の基礎学力を養うため、3次元ユークリッド空間内の曲面論について講義します。特に、曲面の第一基本形式及び第二基本形式、Gauss 曲率や平均曲率を学びます。さらに、微分幾何学と位相幾何学を結びつける重要な Gauss-Bonnet の定理を証明するために、外微分形式を理解し、Stokes の公式を学習します。最終的に Gauss-Bonnet の定理を習得します。

解析学Ⅰ、Ⅱ

微分積分学ではリーマン積分を学びましたが、更に進んだ現代数学を修めるためには測度論とルベグ積分論が不可欠です。また、その論理的完結性と多くの応用はそれ自身知的充実感を得るのに十分な材料を提供しています。本講義では、この測度論とルベグ積分論を講述します。

微分方程式論Ⅰ、Ⅱ

微分方程式は、数学、物理学、工学などの様々な分野において広く活用されています。この授業では、微分方程式の求積法と解の定性的性質、連立線形常微分方程式の解法、ラプラス変換などについて学習します。

複素関数論Ⅰ、Ⅱ

複素数とその関数についての微分積分学について講義します。正則関数がコーシー・リーマンの微分方程式を満たすことを示し、コーシーの積分定理を証明します。また孤立特異点と有理型関数についての性質を詳しく学びます。特異点の分類、ローラン展開、留数の計算、及び留数定理を使った定積分の計算を習得します。

確率解析学

現代の確率論は、Kolmogorov が与えた測度論的構成によって確立されました。本講義もそこの確率の公理を出発点として話を進めます。これは、高校までの「確率」でつくづくやってきた数え上げの計算などはあたかも無縁の、無味乾燥のものであるかのように見えますが、確率現象を厳密に考察したり、近似的かつ的確に見積もるためには不可欠なものです。

市川研究室

市川 尚志 教授
専攻/整数論、数論幾何学

当研究室は、自然数や整数の持つ奥深い性質を、代数学・幾何学・解析学など数学の諸分野を広く用いて研究しています。現代において、整数論を用いた公開鍵暗号は、インターネットなどによる個人情報の伝達を安全に行うために、欠かせないものとなっています。学部・大学院のセミナーでは、主に学部3年の代数学の授業に基づく合同式の理論と、RSA暗号など公開鍵暗号への応用を研究します。またより進んだ内容として、楕円曲線、モジュラー形式、基本群など、重要な空間の数論的な性質を表す対象を研究し、ガロア群の構造解析などに応用しています。



梶木屋研究室

梶木屋 龍治 教授
専攻/楕円型偏微分方程式

当研究室は、微分方程式の解法と理論について学んでいます。微分方程式は、数学はもとより、物理学、工学、生物学、経済学などの幅広い分野で応用されています。微分方程式には、1変数関数を扱う常微分方程式、多変数関数を記述する偏微分方程式があります。自然界の様々な物理法則が微分方程式により記述されています。当研究室では、いろいろな微分方程式を解きます。そのための解法を学びます。しかし、多くの微分方程式では具体的に解を表示することができません。このような微分方程式については、その解がどのように振る舞うか、どのような性質を持っているかを調べるのがとても重要です。方程式を具体的に解かず解の性質や方程式の性質を調べます。このゼミでは、微分方程式の解法と解の定性的性質を勉強します。



小林研究室

小林 孝行 教授

21世紀に解決を期待する7つの未解決問題(ミレニアム懸賞問題)の「ナビエ-ストークス方程式」を始め、熱方程式、波動方程式など数理物理に現れる様々な線形および非線形偏微分方程式の数学解析を研究しています。偏微分方程式論を中心に、実解析学、関数解析学的手法を取り入れ、偏微分方程式の最先端の研究を目指しています。

梶木屋研究室

梶木屋 龍治 教授

複数の変数が入った関数がある変数について微分することを偏微分と言います。偏微分方程式は、偏微分が入った方程式で、数学、工学、物理学、生物学などの様々な分野に使われています。特に非線形楕円型偏微分方程式は、時間発展方程式の定常解として重要な位置を占めています。定常解の構造は発展方程式の解の時刻無限大での漸近挙動に密接に関連しています。楕円型偏微分方程式の解の存在、一意性、解の対称性、非対称性、解の形状などの定性的な性質を調べています。また、定常解の安定性を研究しています。

市川研究室

市川 尚志 教授

自然数や整数の奥深い性質を、代数学、幾何学、解析学を用いて研究しています。合同式の理論とRSA暗号などの公開鍵暗号への応用、モジュラー形式や基本群を用いたガロア群の研究を行っています。

前田研究室

前田 定廣 教授

微分法を使った幾何学、微分幾何学を専攻しています。特に部分多様体論を研究しています。3次元ユークリッド空間ではどこから見ても丸く見える曲面は、球面と平面しかありません。平面は半径が無限大の球面と考えます。しかし5次元ユークリッド空間では、どこから見ても丸く見える曲面としてペロネーゼ曲面という、平面や球面とは全く異なる曲面があります。空間の次元を上げることにより新しい幾何学が現れます。

宮崎研究室

宮崎 哲 教授

代数方程式で表わされる図形を研究するのが代数幾何学です。高等学校で2次曲線を学習します。円・楕円・放物線・双曲線・3次関数、これらは代数方程式による図形です。図形は幾何学的特徴とともに、ももとの代数方程式の代数的性質も特徴づけられます。ヒルベルトのシジジ-定理という20世紀前半の可換環論の基礎に基づいて、射影多様体の研究を続けています。

半田研究室

半田 賢司 准教授

世の中には確率の言葉でしか述べることができない現象が数多く存在します。その解析は「確率論」と呼ばれる数学の一分野を動機づけ、発展を促してきました。本研究室が目指すのは、確率論の道具を整備し活用することにより、自然界や社会で起こるランダムな現象の理解を深めることはもちろんのこと、他の数学の分野へ貢献することも視野に入れています。

日比野研究室

日比野 雄嗣 准教授

専門分野は確率論ですが、「確率論」は高校で習う確率と違って、解析の一分野です。つまり、順列組合せではなく微分積分に近い分野なのです。本研究室では、過去の情報を基に未来の状態を予測する「予報理論」に関する研究を行っています。最近、「量子確率論」にも興味を持っています。量子論のほか、グラフ理論、古典的な積分方程式など、様々な分野の手法に関係して研究を進めています。

猿子研究室

猿子 幸弘 講師

断面曲率、放射断面曲率、放射リッチ曲率などの曲率が下から押さえられたリーマン多様体の研究を行っています。また、曲率が下から押さえられたリーマン多様体のGromov-Hausdorff極限空間として現れる特異空間の研究も行っています。研究手法としては、曲率の下限などで測地線の振る舞いを制御し、リーマン多様体の位相や幾何・微分構造、無限遠を研究します。主に使うのは各種の比較定理(測地三角形の比較定理など)です。

岡田研究室

岡田 卓三 講師

いくつかの多項式の共通零点として記述される図形を代数多様体と言います。代数多様体は純粋に代数的に定義されますが、その研究は微分幾何学や数理物理学などといった様々な研究領域と交錯する分野です。代数多様体を荒い意味で分類すること(双有理分類)は代数幾何学における最重要課題の一つです。ファノ多様体やもっと一般に有理連結多様体と呼ばれる代数多様体の双有理分類を目指した研究を行っています。

Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

アフィン変換を用いた暗号について
RSA暗号について
Hilbertの定理について
Minkowskiの公式について
シャノンの情報源符号化定理について

シャノンの通信路符号化定理について
結び目の彩色可能性について
マルチンゲールによる確率積分
ランダム置換における不動点の個数の分布
確率変数列の振動が継続する長さについて

線形常微分方程式の初期値問題について
質点に対するエネルギー保存と惑星の運動について
常微分方程式の解法と基本定理について
単峰数列とニュートンの補題

Department of Physics

理工学部 物理科学科

宇宙から素粒子まで、
あらゆる物質の現象に潜む
単純で美しい法則性を学び
最先端科学技術の基盤を担う人になる



物理学は、宇宙から私たちの身の回りの物質、物質を構成する原子、さらには素粒子まで、自然の性質や現象の全てを理解しようとする、夢とロマンに満ちた学問です。ニュートンやアインシュタインなどが導いた物理法則を基礎として、現在でもそれらを進展させる研究が行われています。物理科学科では、広範な自然現象を理解する試みを通して、現代の科学技術を支える学力と、柔軟性に富んだ豊かな発想力を培い、広い分野で活躍できる人材を育成することを目指しています。教育課程は、次の 1 ~ 7 の教育目標に基づいて構成されています。

- 1 自然現象を理解する取組みを俯瞰する。
- 2 自然を記述する数学と論理表現の技術を学ぶ。
- 3 理工学を支える基礎的な物理学を学習する。
- 4 最先端科学技術の基盤となる物理学を学習する。
- 5 科学の国際性に対応した語学力を養う。
- 6 広範な領域の物理学を発展的に学ぶ。
- 7 輪講や実験活動を通して先端的な物理学を体験する。

カリキュラムの特色

1年次では、「物理学概論」で基礎的な物理学の体系を概観し、物理数学や力学、熱力学といった基礎となる科目を学びます。2年次では、さらに電磁気学を学び始めます。また、「物理学実験」では2人組となって代表的な実験に取り組み、自然が生み出す現象と、それに対する物理学のアプローチに理解を深めます。

3年次になると、私たちには直接見ることのできない原子や分子の世界を説明する、量子力学や統計力学が学習の中心になります。宇宙物理学や相対論、物性物理学な

ど、専門性の高い科目も学ぶことができます。

4年次では、宇宙論や素粒子論、物性実験や高エネルギー実験などの研究室を選択して所属し、それぞれの専門分野で卒業研究を行います。各研究室で最先端研究に触れ、4年間で最も充実した1年間を過ごします。

勉強とサークル活動で 充実したキャンパスライフ

私は、今、物理科学科の3年生で電磁気学や量子力学などを勉強しています。量子力学は学び始めたばかりですが、ミクロな世界を取り扱う分野で、今までにない考え方が興味深いです。学年が上がるにつれ内容も難しくなってきましたが、実験などもあり、物理への興味もますます湧いてきました。

大学では、高校で勉強したような数学や物理を基礎として、専門的な内容を学びますが、単に覚えた式を使って問題を解くのではなく、式の背景にある現象を深く考えます。この考える過程がとても面白いです。

私は、課外活動では管弦楽団に所属していて、フルートを演奏しています。そこでは演奏会にむけて団員全員で一つの音楽を創る楽しさがあります。また、他学部の人と活動しているので、いろいろな考えを持った人と意見を交わすこともできます。

物理も音楽も大好きなので、今とても充実しています。私は、特に物性物理に興味を持っているので、大学院に進学して磁性体のしくみを調べる研究や、磁石を応用する研究をしたいと考えています。

理工学部
物理科学科 3年

古賀 絵美

佐賀県立神埼高等学校出身

理工学部 / 物理科学科

Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、
卒業時に資格が得られるもの

中学校教諭一種免許状(理科)
高等学校教諭一種免許状(理科)

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- 東京エレクトロン九州(株)
- イサハヤ電子(株)
- アイム電機工業(株)
- 九州電力(株)
- アズマソーラー(株)
- 佐世保通信システム(株)
- 日鐵運輸(株)
- 佐賀銀行(株)
- 九州労働金庫
- 福岡市役所
- 秦野市役所

主な進学先

- 佐賀大学大学院工学系研究科(17名)
- 佐賀大学大学院教育学研究科
- 九州大学大学院
- 早稲田大学大学院



1年次

2年次

3年次

4年次

教養教育科目

全学教育科目

専門科目

物理数学 A
物理数学 B
物理学演習 A
物理学演習 B
力学 A
力学 B
熱力学
物理学概論 A
物理学概論 B

物理数学 C
力学 C
力学 D
電磁気学 I
電磁気学 II
物理学実験 A
波動
物理数学 D
回路理論

電磁気学 III
電磁気学 IV
量子力学 A
量子力学 B
統計力学 A
統計力学 B
科学英語 I
物理学実験 B
相対論
宇宙物理学
計算機物理学 A
計算機物理学 B
物性物理学
放射線物理学

卒業研究
科学英語 II

注目の授業・講義

量子力学 A

原子の大きさ程度よりも小さい長さの領域では、1個の電子が同時に異なる場所に存在し、あたかも広がった波のように振る舞う。この粒子と波の二重性をどのように理解したら良いのだろうか。この答えを探るため、電子がしたがう基礎的な方程式を学び、それに基づいていくつかの力の場合について方程式を解く。このプロセスを通して、通常、ニュートン力学に基づいて理解している粒子の運動との違いを考える。

宇宙物理学

ビッグバン宇宙論は、宇宙空間の膨張、宇宙背景放射、軽い元素の存在比を自然に説明できる理論で、現代的な宇宙論の基礎となっている。この授業では、変化する空間をどのように記述し、どのような法則に従って変化するかを紹介し、それを現在の観測と照らし合わせて宇宙を満たすエネルギーの中味がきまること、軽い元素の量がどのようにして決まったのかといったビッグバン宇宙論の基本的な内容を学ぶ。

熱力学

熱力学は熱をいかに効率よく仕事に変換できるかという研究から始まった学問です。熱力学を学ぶことで、多くの粒子からなる物質が少数の物理変数で記述でき、物質の熱に関する物理現象を包括的に理解できるようになります。授業ではエントロピーという新たな変数を導入することで自然界の可逆でない事象が熱の移動の過程と深く結びついていることを学びます。

物理学実験 A

物理学の基礎分野、特に、力学、熱力学、電磁気学、原子物理学、固体物理学の中の基礎的で重要な実験を行う。例えば、高校の教科書でも登場する重力加速度や万有引力定数、さらにプランク定数等を、先人の素晴らしいアイデアを含んだ方法によって測定する。これらの実験を通して、基礎的な実験技術・統計処理法の習得とともに、物理現象およびその法則性の理解を深める。さらに測定結果について考察し、これをレポートにまとめる力を養う。

科学英語 I

卒業研究や大学院等で、物理学をより専門的に学ぶには、英語で文献を読む力が重要となってくる。この授業では、科学(特に物理)に関する英文を題材として、英語の科学文献を読む基礎を身につけていくことを目標とする。また、英文の題材を通し、物理の最先端の話題や、様々な分野にも触れていきたい。さらに、科学に関する英語だけでなく、受講者の英語の総合力の向上も目指す。

波動

光や音の波は、高校でも学習しますが、「場(空間そのものに物理的な性質が表れているもの)」という考え方をを用いて、あらゆる現象を波動として表し理解する方法を学びます。

電磁気学 III

現代生活に電気・磁気の利用は欠かせません。磁気による現象は、電気現象よりも古くから不思議な力としてその存在が知られており、羅針盤などで実用化されてきました。電磁気学 III では、磁気現象を主テーマとして、「場」の考えを導入し、磁場が電流によって発生すること、磁場と電流(運動する電荷)の間に力が働くこと、時間的に変動する磁場が起電力(電場)を生じさせることなど、磁気現象の特徴とその法則性について、また一見別物にも見えた磁気・電気現象間の関連性について学びます。

物理数学 B

物理学を学ぶためには、微分積分学とベクトル・行列などを扱う線形代数という数学が必要です。特に、物理学の方程式のほとんどが微分方程式であるため、微分積分の知識は必要不可欠です。この授業では、微分積分の基礎的な知識や、関数の極値の問題、多変数の関数の解析の仕方などを学びます。

統計力学 A

私たちの身の回りの物質は、 1cm^3 あたり 10^{23} 個もの原子や分子から構成されている。一方で、そのような巨大な数の集団は、たとえば気体の「圧力」のように、その性質を示す物理量で表現することができる。ミクロな要素の集団からマクロな量が現れるのはなぜか、ミクロな視点からみた「熱」の正体など、私たちが実感できる物理の概念を、ミクロな枠組みから説明する。

高エネルギー物理学研究室 素粒子実験(高エネルギー物理) 測定器開発;杉山 晃 教授

当研究室は、「神の粒子」と呼ばれるヒッグス粒子の精密測定をはじめ、宇宙創成の謎や質量の起源を解き明かすことを目標とする「国際リニアコライダー計画(ILC)」を推進しています。ILC計画は、全長30kmに及び直線の地下トンネルに沢山の陽電子加速装置を配置し、一方の端から電子を、反対の端から陽電子(電子の反粒子)を加速し、中央で衝突させる実験です。衝突により作られる高エネルギー状態からは、通常存在し得ない未知の粒子を発生させることも可能になり、それらを調べることで、宇宙の初期に存在したと思われる素粒子の性質を解明することができます。既知のどんな素粒子とも異なるヒッグス粒子の正体や、それによって決められる「真空の構造」「暗黒物質」の探索など基本的で重要な物理の課題を解明することが期待されます。また、このような測定をおこなうためには、最先端の測定器が必要になります。当研究室では特に、新しい技術を使いガス増幅装置の開発や、シミュレーションによる測定器の設計、評価を進めながら、リニアコライダー実験の始まりに備えています。



素粒子論研究室

米山 博志 教授

物質の究極の最小単位である素粒子の振る舞いを、基礎理論としての場の量子論を用いて研究しています。主に、自然界に存在する基本的な4つの力のうち強い力が関係する、クォークの閉じ込めや質量の起源とも関係したカイラル対称性の破れなどの性質について、有限温度や有限密度の環境下でどのようになるのか、またどのように計算するかなどについて研究しています。

素粒子論研究室

青木 一 准教授

物質は何から構成されているか、それらはどのような相互作用をするか、時空間とは何か、という基本的な問題を解明し、万物の統一理論の構築を目指しています。標準模型が確立して40年が経ちますが、LHC加速器実験でのヒッグスなどに関する結果は、次の素粒子模型へ発展をもたらすでしょう。また重力や時空の理解は21世紀に残された重要な問題です。これは初期宇宙やブラックホールの解明にも不可欠です。

宇宙論研究室

高橋 智 准教授

宇宙はどのように始まり、またどのように現在まで進化してきたのであろうか。宇宙の暗黒物質、暗黒エネルギーの正体は一体何であろうか。宇宙には様々な謎があります。本研究室では、それらの宇宙の謎の解明を目指し、理論的な研究を行っています。

ハドロン物理学研究室

河野 宏明 准教授

物質の基本単位であるクォークは、通常は原子核の構成粒子である陽子や中性子の中に閉じ込められていますが、高温や高密度ではクォークが溶けだしたクォーク物質が存在すると考えられています。そのようなクォーク物質は天体の内部などに存在すると考えられています。当研究室ではクォーク物質にかかわる理論的研究をしています。

ハドロン物理学研究室

橋 基 准教授

物質を構成する素粒子の一つであるクォークの性質について、理論的立場から研究を行っています。特に最近のテーマは超高温・超高密度でのクォークの振る舞いとその宇宙・天体現象との関わりで、クォークというミクロなものから、宇宙初期の様子や超新星爆発、中性子星、重力波といったマクロな現象をどのように解明するかに関心を持って取り組んでいます。

凝縮系物理学研究室

鄭 旭光 教授

研究テーマは物理的に面白い新物質の創製と新奇物性の開拓です。物理での研究分野で言うと物性実験ですが、化学的な手法を駆使した新物質合成に片足を置いたところが特徴です。国内外の加速器などの施設(放射光、中性子、ミュオン等)を活用し、新奇物性の研究を行っています。

凝縮系物理学研究室

真木 一 准教授

この世の中には金属になる物質と絶縁体になる物質があります。この理由はバンド理論と呼ばれる理論で明快に説明できます。しかし、実はバンド理論の枠組みを超えて不思議な性質を示す物質がまだまだあります。そこでは強い電子間クーロン反発力や結晶構造の低次元性などが重要な役割を果たします。そのような物質の性質を実験的に調べ、物質に多様な性質が生まれる理由をさらに幅広く理解したいと考えています。

量子干渉研究室

平良 豊 教授

物質は多数の原子分子から構成されていることは理解されている。金属の中では原子の中の電子が原子からの束縛を逃れて比較的自由に動き回って大きな伝導性を示すが、電子を入れている入れ物を非常に小さくしていくと電子がもつ本来の奇妙な振る舞い(量子性)を観測できる。極小細線の中の電子の振る舞いの研究に取り組んでいます。

量子干渉研究室

遠藤 隆 教授

量子力学は、粒子が波動のように振る舞ったり、異なった状態が同時に重ね合わされたり、常識では理解できない不思議な現象を予言しています。この問題を、基礎に立ち返って考え直すとともに、実験によって検証する方法を考えたり、シミュレーションを行ったりしています。

Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

シュバルツシルトブラックホール、カーブラックホールについて
インフレーション宇宙、観測によるインフレーション模型の検証
ビッグバン宇宙論と宇宙背景放射
ビッグバン元素合成、軽元素の存在比の計算
ダークマターの存在の証拠、及びダークマターの候補について
宇宙線ミュオン粒子の天頂角測定
ガス増幅を用いた粒子測定器の開発
クォーク物質の相転移と宇宙初期の状態

超高密度天体の質量・半径の関係と状態方程式
場の量子論における摂動論について
場の理論の経路積分による量子化
LHC実験とヒッグス・ポータル
時空と非平衡現象の統一的理解
低次元導体の単結晶育成と電気的性質の研究
酸化物高温超伝導体における不純物混入の影響
新奇量子磁性物質の創製と物性解明

マルチフェロ物質の開発
金属絶縁体転移に現れるナノサイズ効果
ナノ結晶を利用した磁気抵抗素子の開発
カーボンナノチューブの発光
カーボンナノチューブの電気伝導
電子線干渉実験のための電子線ビームスプリッタの開発
極小細線の伝導電子の振る舞い
量子力学の電子回路によるシミュレーション

教 員 紹 介

青木 一 准教授
素粒子物理、理論物理、超弦理論、場の理論
石渡 洋一 准教授
物性実験、ナノ結晶合成、放射光分光
遠藤 隆 教授
シュレディンガーの猫
岡山 泰 准教授
高圧下物性測定
河野 宏明 准教授
原子核理論、陽子、中性子、中間子、クォーク

杉山 晃 教授
素粒子実験(高エネルギー物理)測定器開発
鄭 旭光 教授
固体物理学、磁性、ナノ物理、強相関物性
高橋 智 准教授
初期宇宙、インフレーション宇宙、宇宙の暗黒成分
橋 基 准教授
粒子理論、超高密度天体、重力波
豊島 耕一 教授
電界放出、量子的干渉、放射線計測、科学と社会

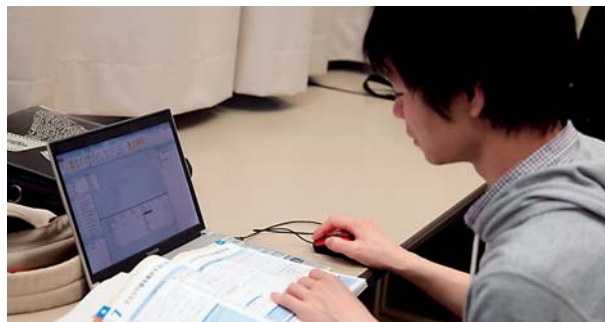
平良 豊 教授
物性実験、量子的干渉
船久保公一 教授
初期宇宙、素粒子、物質の起源
真木 一 准教授
物性実験、超伝導、強相関物性、低次元物性
米山 博志 教授
素粒子論、場の量子論、格子場の理論

知能情報システム学科

高度情報社会は創造や発見の
チャンスに満ちています

スマートフォン、インターネット、
ソーシャルメディア、人工知能、
ビッグデータ

質が保証された学力を備えて社会に出よう



情報科学及び情報工学の学問領域における専門知識・能力及び広い視野を持ち、知識基盤社会を担う人材を育成することとし、次の目標を設定します。

- A** 情報システムが社会の様々な分野に及ぼす影響を総合的に理解する能力を育成し、情報技術者としての責任を自覚させます。
- B** 各種の情報システムの原理や構造を理解し、その設計および実装を効果的かつ系統的に行う能力を育成します。
- C** コンピュータサイエンスを理解し、それを応用する能力を育成します。
- D** 情報システムに関連する、数学および自然科学を中心とした理工学の基礎を習得し、それらを応用する能力を育成します。
- E** 日本語での文書作成および口頭発表を通じて正確かつ論理的に情報を伝えるとともに、効果的な討論を行うコミュニケーション能力を育成します。また、英語による文書作成に関する基礎能力を育成します。
- F** 与えられた課題を解決するために、日本語および英語で書かれた情報の収集、必要な知識の獲得、計画の立案、自主的かつ継続的な計画推進の各能力を育成します。

カリキュラムの特色

知能情報システム学科のカリキュラムは、情報技術者として必要なさまざまな知識や能力を修得することができるようにデザインされており、実施されている授業の目標は、

- (1) コンピュータのしくみの理解
- (2) プログラミングの習熟
- (3) 情報技術のさまざまな応用の修得
- (4) 現実に起こる事象をコンピュータ上でモデリングするために不可欠な数学や自然科学の理解

- (5) 日本語や英語での技術文章の読み書き、プレゼンテーションといったコミュニケーション技術の習熟
 - (6) 情報技術者としての倫理観の形成
 - (7) 問題発見と問題解決の能力の開発
- など多岐にわたっています。

当学科のカリキュラムは、第三者機関である JABEE (日本技術者教育認定機構) の認定を受けています。

幅広い学問分野と 柔軟な学習環境の下で

私が学んでいる情報システム学科は、IT スペシャリストやプロダクトマネージャー等に代表される高度情報化社会を支える人材を育成する学科です。情報技術の基礎から応用まで幅広く学び、卒業生は、技術士(情報工学部門)の第一次試験の合格と同等だと認められます。情報技術の基礎とは、コンピュータが保持する情報単位や2進数の知識はもちろん、現代を支える高度な技術の基盤となる線形代数や解析学、統計学などの幅広い分野の数学のことで、応用とは実際に社会で活用されているプログラミング言語の学習や、情報システムの開発・利用のことを指します。

理工学部では専門周辺科目という、自分が専攻している分野以外の科目を学ぶことができます。私も電気電子工学科の先生から生体医学への応用に関する講義を学び、情報技術に対する視野がとても広がりました。このように佐賀大学は、基礎から応用までの幅広い学問分野と柔軟な学習環境が整った大学です。

理工学部
情報システム学科 3年

千々岩 舞

福岡県 筑紫女学園高等学校出身



Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、
卒業時に資格が得られるもの

- 中学校教諭一種免許状(数学)
- 高等学校教諭一種免許状(数学)
- 高等学校教諭一種免許状(情報)
- 技術士補

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- 日本電気(株) NEC
- (株) NEC 情報システムズ
- (株) アルプス技研
- (株) 日立システムアンドサービス
- 住友生命保険相互会社
- コンピュータシステムエンジニアリング
- (株) 日本コンピュータコンサルタント
- (株) システムサービス
- 正晃(株)
- (株) FCC テクノ
- (株) ヲラコーポレーション
- コトブキ製紙(株)
- 三菱UFJインフォメーションテクノロジー(株)
- セントラルソフト(株)
- セコムテクノサービス(株)
- (株) メディアサイト
- (株) 大島造船所
- 鳥栖倉庫(株)

主な進学先

- 佐賀大学大学院工学系研究科(18名)
- 宮崎大学大学院教育学研究科(1名)
- 佐賀大学大学院医学系研究科(2名)



1年次	2年次	3年次	4年次
-----	-----	-----	-----

教養教育科目

全学教育科目

専門教育科目	情報数理Ⅰ 情報数理Ⅱ プログラミング概論Ⅰ プログラミング演習Ⅰ 線形数学Ⅰ 線形数学Ⅱ 基礎解析学Ⅰ 基礎解析学Ⅱ 論理設計 計算機アーキテクチャ 技術文書作成	プログラミング概論Ⅱ プログラミング演習Ⅱ 工業数学Ⅰ 工業数学Ⅱ 情報理論 データ構造とアルゴリズム 確率統計 ソフトウェア工学 オブジェクト指向開発 データベース 形式言語とオートマトン ハードウェア実験 応用線形数学 情報代数と符号理論 コンピュータグラフィックス 記号論理学	オペレーティングシステム 情報ネットワーク 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ 情報社会と倫理 情報システム実験 システム開発実験 情報ネットワーク実験 シミュレーション実験 プログラム言語論 数値解析 グラフと組合せ 信号処理 人工知能 コンパイラ 情報と職業 画像情報処理 モデリングとシミュレーション	卒業研究 情報学特別講義
--------	--	--	--	-----------------

注目の授業・講義

プログラミング概論・演習

コンピュータを動かすためのプログラミング技術を勉強します。毎回、概論(講義形式)の時間にプログラムを理解した後、演習の時間に、自分のノートPCを用いて実際にプログラムを作成し、動かします。

計算機アーキテクチャ

コンピュータの構造、コンピュータの内部での数値や音声、画像データの表現方法、プログラムを動かした時のコンピュータ内部での動き、ディスプレイ、プリンタやCDやDVDといった周辺機器のしくみについて学びます。

情報理論

確率論という数学的手法を用いて情報とは何かを考えます。情報量、情報の符号化法、高信頼情報伝送を実現するための通信路符号化、通信路容量、アナログ信号のデジタル変換法など、コンピュータ科学の基礎となる理論を学びます。

データ構造とアルゴリズム

コンピュータにデータを格納させるしくみを「データ構造」、問題を解かせる手順を「アルゴリズム」といいます。本講義では、データ構造とアルゴリズムに関する基本知識を学び、優れたプログラム開発に応用できるようにします。

ソフトウェア工学

数百万行以上の規模を持つ現代の大規模ソフトウェアを、系統的に企画・開発・検証する技術を身につけます。ソフトウェア工学は、ソフトウェア開発者だけでなく、ソフトウェア開発の委託者にとっても必須技術です。

情報ネットワーク

情報ネットワークを支える基礎技術である通信プロトコルの学習、具体的にはインターネットプロトコルの学習を通じて、情報ネットワーク全般に関する学習を行います。実験を併せて行うことで、理解を深めます。

人工知能

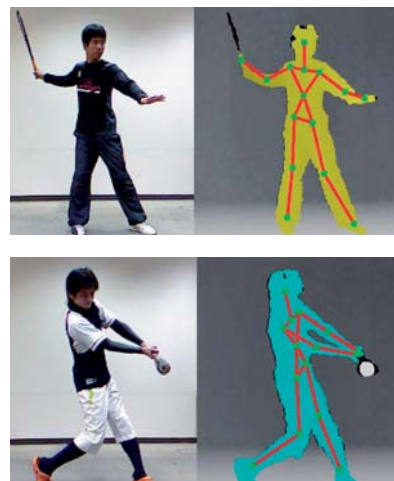
人間の知的活動をコンピュータで実現する「人工知能」の基礎知識を学びます。推論を実現する導出のしくみや、導出を計算機に実現する論理プログラミング、人工知能が対象とする領域に関する知識の表現について学習します。

ハードウェア実験

Z80ワンボードマイコンのタイミングチャートの観測や回路図を読むことにより、マイクロコンピュータの基本原理解の基本を学びます。また、ハンドアセンブルで機械語のプログラムを作成し、実行とデバッグを行います。

情報数理

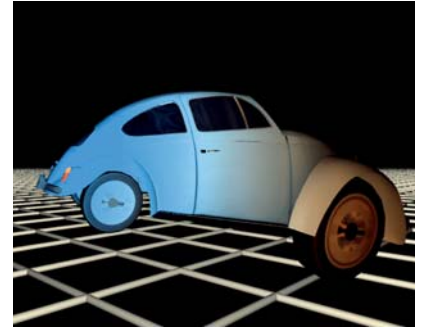
数と式の表示と法則、集合と論理、様々な証明法、初等関数、数列の収束、関数の連続性など、知能情報システム学を学習するために必要な数理・数学の基礎理論を学びます。



第1研究グループ

林田 行雄 教授、山下 義行 教授、松前 進 准教授、
中山 功一 准教授、杉町 信行 助教

- キーワード: ネットワーク、プロトコル、コンパイラ、コード最適化、並列分散コンピューティング、創発、最適化
- ・情報ネットワークプロトコルの性能評価に関する研究: インターネットで利用されている TCP や UDP をベースとした次世代プロトコルの開発を目指した研究を行っています。インターネットの利用活用に関する研究も行っています。
 - ・コンピュータ上で様々な処理を高速に行うためのソフトウェアの構築法を研究しています。具体的にはプログラミング言語処理系の開発、高性能並列処理プログラムの開発を行っています。
 - ・コンピュータに問題を効率良く解かせる研究をしています。1台のコンピュータだけでなく、多数のコンピュータを連携させて問題を解く際、理論的境界スピードが出るアルゴリズム開発を目指します。
 - ・「知能を創る」のではなく「知能を生み出す仕組みを創る」研究をしています。生き物の進化の仕組み/成長(学習)の仕組みをコンピュータでシミュレートし、システムが勝手に賢くなる新しい仕組みを目指しています。



第2研究グループ

上原 健 教授、皆本 晃弥 准教授、前田 明子 助教

- キーワード: 精度保証付き数値計算、画像・信号処理、誤り訂正符号、整数論と暗号理論
- ・情報通信においてノイズによる誤りが発生するとき、受信情報に含まれる誤りを除去する技術があります。その技術の基礎理論である誤り訂正符号の理論について、誤り訂正符号の代数的構成法を研究しています。
 - ・数学を利用して、画像や音楽へ第三者に分からないような情報を埋め込む電子透かし技術やノイズ除去法などを開発しています。また、いろいろな方程式をコンピュータで解くための方法も開発しています。

第3研究グループ

渡邊 義明 教授、掛下 哲郎 准教授、大月 美佳 講師、山口 暢彦 助教

- キーワード: ネットワーク利用管理、組み合わせ最適化手法、情報サービス、ソフトウェア、データベース、情報専門教育、データ可視化
- ・快適かつ安全なネットワーク利用を実現するためのシステム開発
 - ・自然界の仕組みにヒントを得た各種の最適化方法の開発
 - ・ソフトウェアの理解容易性を高めるための技術およびソフトウェアツールの企画・開発
 - ・大量のデータを系統的に整理するための技術およびソフトウェアの企画・開発
 - ・情報専門教育の成果と社会の要求の関連を明確化するための調査研究
 - ・時系列データにおける状態推移の可視化に関する研究

第4研究グループ

新井 康平 教授、奥村 浩 准教授

- キーワード: 情報技術の産業、環境への応用、リモートセンシング、画像処理
- ・情報技術の農林水産、健康福祉介護、防災環境監視等への応用研究を行っています。視覚正常の障害者が情報技術の恩恵を受けられるような視線によるコンピュータ入力、優良茶園、有害赤潮の衛星によるモニタ、環境防災衛星を開発しています。
 - ・衛星画像やセンサのデータを用いた地球環境のリモートセンシング(遠隔計測)、医用画像を用いたコンピュータ自動診断、人間の視覚シミュレータや特異色覚者用の色覚認識支援システムの開発といった画像関連の研究を行っています。

第5研究グループ

渡邊 健次 教授、岡崎 泰久 准教授

- キーワード: 教育システム、インターネット、複雑系
- ・コンピュータやスマートフォンなどの情報通信技術(ICT)を活用して、学習支援を行うシステムに関する研究を行っています。新しい技術を積極的に取り入れ、新しい学びを提案することを目指しています。
 - ・ネットワークアプリケーション、インターネット運用管理技術、次世代インターネット応用技術の研究を行っています。研究成果を実際に利用することを指向し、実践的な開発を進めています。
 - ・自然や社会等に現れる複雑なパターンや現象を、統計力学的観点から理解することを目指した研究を行っています。特に、交通流やネットワーク構造に注目し、理論、シミュレーション、実験を行っています。

Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

パターン照合を用いた病床自動割り当てシステム
学習可能な自由結合ネットワークの構築
PS3上の並列CGプログラムにおける動的負荷分散
PS3上での画像バッファへの描画データのDMA転送
多変数公開鍵暗号の構成
離散値による積和アルゴリズム復号法の計算
特異値分解を利用したデジタル画像への電子透かし
WTMMを利用したデジタル画像のノイズ除去

iPhoneを用いた大学内の擬似 Street View アプリ
プログラミングレポートのオンライン添削ツール
Webカメラを用いた3次元位置取得の方法検討
PDFドキュメント添削ツール GABA 2 の評価と改良
球面 SOMM を用いたデータの可視化
演習支援システムにおける自動テスト結果表示ツール
マイクロ波及び熱赤外放射射形を併用する海面温度推定
時間次元カービングによる動画データ圧縮方法

ウェブレットによる画像検索
脳波センサを用いた心理効果解析システムの試作
USBカメラを用いた異常縮瞳時視認画像
コメント機能追加による「iアプリ」学習システム
Androidを利用した地形図学習支援システムの開発
無線LAN利用者情報表示のAndroidアプリ開発
ボードゲームによる電子マネー体験システムの開発
学習と記憶の想起を表現する脳機能の物理モデル

教 員 紹 介

林田 行雄 教授
情報ネットワーク
山下 義行 教授
プログラム言語
上原 健 教授
代数的符号理論
渡邊 義明 教授
神経回路網
新井 康平 教授
情報認識/理解/最適化等手法論
渡邊 健次 教授
教育システム、インターネット
松前 進 准教授
並列分散アルゴリズム
中山 功一 准教授
創発システム、最適化手法

皆本 晃弥 准教授
精度保証付き数値計算、非線形解析
掛下 哲郎 准教授
データベース、ソフトウェア工学
奥村 浩 准教授
リモートセンシング、画像処理
岡崎 泰久 准教授
知的教育システム、インターネットと教育
大月 美佳 講師
ソフトウェア工学、オブジェクト指向、遠隔教育
杉町 信行 助教
コンピュータネットワーク
前田 明子 助教
コンピュータネットワーク
山口 暢彦 助教
パターン認識、機械学習



理工学部 機能物質化学科

幅広い知識を備えた
科学・技術者を目指して
現代社会の
科学技術の先端を担う



機能物質化学科は、基礎化学から応用化学までの幅広い知識を身につけることで、エネルギー問題や環境問題を克服した豊かな地域社会・国際社会を構築していくための実践力を養い、化学を通して継続的に社会に貢献できる人間を育成することを目標としています。この目標を達成するために、広範な視点を持つ人材を育成するための「物質化学コース」と化学技術者を目標とした「機能材料化学コース」の2つの教育プログラムを置き、以下の教育目標を定めています。

物質化学コース

- A** 基礎化学から応用化学までの幅広い知識と実践力を修得し、化学を通して社会に役立つ能力を身につける。
- B** 幅広い教養に裏付けられた広範な視点をもつ化学者としての能力を身につける。
- C** 情報技術、プレゼンテーション、コミュニケーション能力を養い、自主的に仕事を計画、実行、総括する能力を身につける。

機能材料化学コース

- A** 基礎化学から応用化学までの幅広い知識と実践力を修得し、自立した化学技術者としての能力を身につける。
- B** 幅広い教養に裏付けられた広範な視点をもつ化学技術者としての能力を身につける。
- C** 情報技術、プレゼンテーション、コミュニケーション能力を養い、自主的に仕事を計画、実行、総括する能力を身につける。

カリキュラムの特色

機能物質化学科では、化学を基礎とし、エレクトロニクスやバイオなどの先端材料、資源のリサイクルや環境の浄化などに関する教育・研究を行っています。

1年次は、すべての学生が同一カリキュラムで基礎科目を学習するとともに、「課題研究」を行って化学への親しみを育みます。2年次に希望コースを選択し、それぞれ独立したカリキュラムに従った履修が始まります。

学術教育プログラムである「物質化学コース」では、幅広い知識を習得し、理科教員などの専門的な個性を伸ばすことができます。一方、技術者教育プログラムである

「機能材料化学コース」は、JABEE(日本技術者教育認定機構)認定を取得している国際的に学力保証された教育プログラムで、基礎から応用にわたる化学の知識を習得し、社会の要請に応え得る実践力を身につけることができます。

4年次では教員指導の下に、これまでの知識と技術を活かし、新原理の発見、新しい機能材料の合成、環境問題の解決など学問や社会の発展に貢献できる卒業研究を行います。

化学の知識を身につけて化粧品開発など女性の美にかかわる仕事がしたい。

私は機能物質化学科に所属し化学の勉強をしています。例えばファインセラミックスという言葉聞いたことがあると思いますが、これは陶器の持つ特性を進化させ、非常に硬くて強い新たな物質を生み出したものです。

授業では多くの実験をしています。高校と大きく違うのは、いろいろな文献を調べ、仲間と議論しながら自分の考えをまとめ実験結果に関するレポートを作成しなければならないことです。考えがまとまらずつらい思いもしますが、書き上げた時の爽快感は格別です。

学生生活では高校時代と比較し自由になる時間も多くなります。部活に打ち込む人、バイトを行う人などいろいろですが私は、趣味のバイオリンとネイルを楽しんでいます。

また、周囲には一人暮らしの人も多くいますが、私は福岡から通学しています。慣れればそう苦痛ではなく一人暮らしに不安がある人は福岡からなら十分通学できます。

勉強と趣味の双方を楽しみながら充実した大学生活を送りたいと思います。

理工学部
機能物質化学科 3年

林 由佳子

福岡県立福岡高校出身



理工学部 / 機能物質化学科



Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、卒業時に資格が得られるもの

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 中学校教諭一種免許状(理科) | 技術士補(機能材料化学コースのみ) |
| 高等学校教諭一種免許状(理科) | 毒劇物取扱者 |
| 高等学校教諭一種免許状(工業) | |

試験に必要な科目の単位を取得し、卒業後の実務経験後、受験資格が得られるもの、受験が有利になるもの

- | | |
|------------|------------------|
| 危険物取扱者(甲種) | 第一種および第二種作業環境測定士 |
| 消防設備士(甲種) | 第一種および第二種衛生管理者 |
| 火薬類保安責任者 | ガス溶接作業主任者 |
| 発破技師 | 労働衛生コンサルタント |

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| ● 株式会社九州 INAX | ● 九州テクニカルメンテナンス株式会社 |
| ● 田口電機工業株式会社 | ● トーカロ株式会社 |
| ● 日本磁力選鉱株式会社 | ● 山崎製パン株式会社 |
| ● 株式会社 JMS | ● 広島トヨタ自動車株式会社 |
| ● 佐世保重工業株式会社 | ● 株式会社トヨタプロダクションエンジニアリング |
| ● ダイワボウレーヨン株式会社 | ● コストコホールセールジャパン株式会社 |
| ● 東亜非破壊検査株式会社 | ● NTT データカスタマーサービス株式会社 |
| ● ゼオライト株式会社 | ● セントラルソフト株式会社 |
| ● 株式会社チューケン日本医薬中央研究所 | ● 応研株式会社 |
| ● 理工協産株式会社 | ● 佐賀市広域消防局 |
| ● ダイキョーニシカワ株式会社 | ● 福岡県警 |

主な進学先

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| ● 佐賀大学大学院工学系研究科(44名) | ● 熊本大学大学院自然科学研究科 |
| ● 佐賀大学大学院医学系研究科(2名) | ● 東京工業大学大学院理工学研究科(2名) |
| ● 九州大学大学院理学研究院(3名) | ● ソウル大学大学院 |
| ● 九州大学大学院総合理工学研究科(5名) | ● 各種専門学校(5名) |

1年次

2年次

3年次

4年次

教養教育科目

全学教育科目

物質化学コース

基礎数学及び演習Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ
基礎数学及び演習Ⅱ
基礎物理学及び演習Ⅰ
基礎物理学及び演習Ⅱ
基礎化学Ⅰ
基礎化学Ⅱ
基礎化学Ⅲ
基礎化学Ⅳ
基礎化学演習Ⅰ
基礎化学演習Ⅱ
基礎化学実験Ⅰ

機能物質化学実験Ⅰ 基礎分析化学
機能物質化学実験Ⅱ 化学工学基礎Ⅰ
無機化学Ⅰ 材料分析化学
錯体物性化学
固体科学
有機化学Ⅰ
有機反応化学Ⅰ
構造生物化学
化学熱力学Ⅰ
量子化学Ⅰ
量子化学Ⅱ

機能物質化学実験Ⅲ 有機金属化学Ⅱ
機能物質化学実験Ⅳ 高分子物性化学
科学英語Ⅰ 化学熱力学Ⅱ
科学英語Ⅱ 分子分光学
無機化学Ⅱ 統計熱力学
錯体物性化学 構造化学
電子材料工学 分離化学
セラミックス工学 物質循環化学
機能物質化学特講Ⅰ 溶液物理化学
機能有機化学Ⅰ 化学工学基礎Ⅱ
有機金属化学Ⅰ など

卒業研究
技術英語Ⅰ
技術英語Ⅱ

専門科目

機能材料化学コース

基礎数学及び演習Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ
基礎数学及び演習Ⅱ
基礎物理学及び演習Ⅰ
基礎物理学及び演習Ⅱ
基礎化学Ⅰ
基礎化学Ⅱ
基礎化学Ⅲ
基礎化学Ⅳ
基礎化学演習Ⅰ
基礎化学演習Ⅱ
基礎化学実験Ⅰ

機能物質化学実験Ⅰ 工業数学
機能物質化学実験Ⅱ
無機化学
応用無機化学
有機化学
応用有機化学
物理化学Ⅰ
物理化学Ⅱ
化学工学Ⅰ
分離分析化学
機器分析化学

機能物質化学実験Ⅲ 反応工学
機能物質化学実験Ⅳ 環境化学
科学英語Ⅰ
科学英語Ⅱ
無機材料科学
無機材料工学
生物化学
高分子化学
応用物理化学
化学工学Ⅱ
分離工学

卒業研究
技術英語Ⅰ
技術英語Ⅱ
化学技術者倫理
知的財産権法

注目の授業・講義

錯体物性化学

錯体あるいは配位化合物とは、“中心の原子あるいはイオンに、いくつかのイオンや分子が配位結合している化合物”のことです。配位化合物は、化学工業や生命現象において重要な役割を演じています。これら一群の化合物について、電子状態と配位化合物特有の物理化学的性質や立体構造について学びます。

無機材料工学

無機（セラミック）材料の製造に係る基礎を講義しています。具体的な内容は、セラミックスの性質と一般の製造法、状態図を利用した凍結乾燥法（無機粉末の作製）や帯溶融法（宝石の製造）、無機粉末の熱分解反応および固体反応（着火素子用材料の合成）、薄膜作製法（硬い金色膜の製造）、単結晶の作製法（半導体シリコンウエハーの製造）、無機粉末の焼結（各種セラミック製品の製造）などです。

有機化学

有機化学は、有機化合物を扱う学問です。有機化合物は炭素を含む化合物で、天然物だけでなく、人工的に作られている材料のかなりの割合を占めています。講義では、有機化合物の合成方法（有機合成）、有機化合物の反応の仕組み（反応機構）、有機化合物の性質などを学びます。また、有機化合物の基礎のみならず、理学的側面、それらを用いた材料の基礎についても修得できるよう（工学的側面）に講義を進めていきます。

生物化学

この授業では生物、細胞の基本構造と生体を構成する物質の化学構造と性質を学習します。私達の体はちいさな細胞の集まりです。この細胞の仕組みとそれをつくる生体物質を学習し、体の構造と機能を化学の言葉で理解することが目的です。また、より高機能の生体材料の開発を目的として、アミノ酸・タンパク質、DNAとRNA、糖質、脂質など生体物質の構造と機能を学習します。

高分子物性化学

スーパーやコンビニで利用されるレジ袋、ペットボトル、タイヤ、衣料繊維等々、私たちの身近にある物の多くが、千個以上の原子がつながった大きな分子、高分子からできています。「高分子物性化学」は、高分子の形や、それらが集合した高分子材料が金属等とは異なる独特な性質を生じる原理を学び、理解する科目です。

量子化学

皆さんは、2個の水素原子（H）が衝突すると、なぜ水素分子（H₂）ができるか理由が分かりますか？一方で、2個のヘリウム原子（He）が衝突してもヘリウム分子（He₂）はできません。なぜか分かりますか？この問題は簡単なようで、実は科学者を100年以上も悩まし続けてきた難問でした。これに対する答えを最初に見つけたのは、ハイラーとロンドンという二人の科学者でした。彼らは当時できあがって間もない量子力学という学問を使って、理由を明らかにしたのです。量子化学では、そのような量子力学の基礎を勉強します。

溶液物理化学

私たちは、多くの化学現象を利用して様々な機能を実現し、生活を豊かにしています。これらの化学現象の多くは溶液、特に水溶液中で生じています。この講義では、これまでに学んできた物理化学の基礎にもとづいて、様々な現象のエネルギーの側面や現象を引き起こす原因である電気的相互作用と熱運動との関係などを理解し、これらの化学現象が生じる溶液系のさまざまな物性を総合的に捉える方法を学びます。

反応工学

化学反応には1次反応、2次反応、可逆反応、併発反応、逐次反応などさまざまな種類があります。本講義の前半では、積分法や微分法を用いてこれら化学反応の反応速度に関する反応次数や反応速度定数を決定し、解析することを目的としています。また、後半では反応速度解析を応用し、企業の工場などで利用されるさまざまな反応器を用いた場合の反応物の物質収支について講義し、反応器設計に役立てることを目的としています。

環境化学

地球温暖化、資源エネルギー、人工化学物質など、多様な地球環境問題を理解するために、地球環境を化学的観点から解説します。環境化学の講義では、気圏、地圏、水圏、それぞれの場の物質循環を理解したうえで、地球全体の物質循環のメカニズムを総合的に学びます。地球は生命を育てていますが、生命自身が地球環境を巧妙に制御していることが判ってきました。このシステムを理解し、更に制御するための基本的考え方を学びます。

蓄電材料研究室

野口 英行 教授、中村 博吉 准教授、磯野 健一 助教
専攻/無機化学、電気化学、電子材料工学

当研究室は地球環境にやさしいリチウムイオン電池やキャパシタ等のエネルギー関連材料の研究を行っています。リチウムイオン電池は携帯電話やノートパソコンの電源であり、1991年発売以来激的に需要が伸びているエネルギーデバイスです。また、近年は電気自動車の電源として期待され、電池の大型化が進められているに伴いコスト・環境・安全性などが要求されています。研究内容は、現在主に使用されている電極材料の代替材料の創成です。たとえば正極材料ではCo系酸化物からLi-Mn-Ni-Co固溶体系・LiMn₂O₄・LiFePO₄といったMn、Fe、Ni、Coなどの酸化物、負極材料ではグラファイトからSiやSnとLiの合金・Ti酸化物など燃えにくい材料への転換を進めています。また、電解液も同様に開発に取り組んでおり、電極表面での電解液の分解抑制や燃えにくい機能性電解液の開発を行っています。そのほかにハイブリッドキャパシタやグラフェンオキシドの応用技術の研究をしています。

有機化学研究室

北村 二雄 教授

ノーベル賞を受賞された鈴木先生や根岸先生のクロスカップリング反応のようなパラジウムなどの金属触媒を使って、医薬・農薬等の合成に役立つ反応の開発を行っています。炭化水素化合物を直接合成原料に用いる触媒反応を開発することにより、環境に優しい、グリーンケミストリーを目指しています。また、日本は世界第2位のヨウ素産出国であることを知っていますか？このヨウ素を利用した新しい合成反応も研究しています。

環境化学研究室

宮島 徹 教授

今日、正確に地球の物質循環のプロセスを理解し、これを精密に制御することが求められるようになってきました。私達の生きる基盤である「水環境」や「土壌環境」の物質循環はその場の微生物活動によって制御されていますが、最近、極微量の鉄イオンが大きな役割を演じていることがわかってきました。私たちはそのメカニズムを詳細に研究し、鉄イオンによる「水環境」や「土壌環境」の精密な制御技術を確立することを目指しています。

有機合成化学研究室

竹下 道範 准教授

光によって動く分子の研究をしています。例えば、超高密度光記録材料として、光照射によって可逆的に構造が変わるとともに色が変わる「フォトリソリズム」を示す有機化合物や、その特性を生かした、光によって動く「分子機械」や「ナノマシーン」の開発を行っています。研究は、コンピューター等を用いた化合物の設計、化合物の有機合成、スペクトル測定などを用いた化合物の評価のように進めています。

錯体化学研究室

鯉川 雅之 教授

我々が普段目にする磁石は、ナノサイズまで小さくしていくと磁力のもととなる原子間の相互作用が少なくなるため磁気特性が失われてしまいますが、ある種の金属錯体は分子サイズで磁石として振舞う「単分子磁石」の性質を示すことが見出されています。このような単分子磁石は、次世代の技術である量子コンピューターや量子メモリへの応用が期待されており、私たちは磁気特性の優れた単分子磁石の開発に取り組んでいます。

化学工学研究室

川喜田 英孝 准教授

放射性元素であるウランやセシウムは、人体に悪影響を与える場合があります。これらの元素を回収するために、吸着あるいは抽出という技術が開発されています。吸着とは、固体の内部に金属を捕捉する部位を導入して、それと金属溶液とを接触させて固体の内部に金属を取り込む方法です。抽出とは、水に溶解しない有機溶媒中に金属と結合する分子(抽出剤)を溶解させ、有機溶媒中に金属を取り込む方法です。固体や抽出剤の設計と調製で化学が活躍します。

セラミックス工学研究室

矢田 光徳 准教授

セラミックスのかたちをナノメートル(nm)の大きさで制御して新しい機能を発現させる研究を行っています。1nmとは10億分の1mのことを言いますが、nmの大きさのセラミックスは、私たちが直接目で見る事ができるcmやmmの大きさのセラミックスとは異なる性質を示します。私たちは「ナノ」セラミックスの医療材料や発光材料や触媒材料等の高機能材料への応用を目指しています。

物理化学研究室

海野 雅司 准教授

私たちの身のなかで重要な働きをしているタンパク質などの生体分子の機能は分子構造のわずかな違いで変化します。私たちの研究室では生体分子のわずかな構造の違いを「見る」ことができるラマン円偏光二色性分光装置を独自に開発し、作った装置を用いてさまざまな生体分子の構造を調べています。

Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

リチウムイオン電池用負極材料の開発
新規電気二十層キャパシタの開発
蛍光性チアアリックス 4 アレーンの合成
新規モノフルオロビニル化合物の合成と反応
単分子膜によるペロブスカイト構造の形成
イオン性界面活性剤と腐植物質の会合挙動
ホウキ分子によるホルムアルデヒドの除去
クレーク底泥の安全性及び有効性

チタン酸ナトリウムナノ構造体薄膜の合成
分子磁石の性質を有する四核金属錯体の合成
ウレア-ゼレンベプチド合成と好中球遊走活性
ポリヨウ素化合物の簡便合成
ポリマーミセルによるエコ色素の安定化
ペリレン誘導体の電気特性の評価
イミダゾリウム系イオン液体と分子性液体
セシウムイオン選択性電極の開発

Ca-Sr-Eu-Nd-O系蓄光体の製造と特性
光学活性S架橋複核錯体の立体特異的集積化
エナンチオ特異的フォトリソミック反応
HDAC1 SIRT1阻害ペプチド創成
紫外共鳴ラマン分光装置の開発
糖応答性マイクロカプセルの薬剤放出
Zr-SOJRのリン吸収・脱着と回収
フェノール誘導体の重合および金属吸着

教 員 紹 介

大石 祐司 教授
有機凝縮系、構造解析、走査プローブ顕微鏡
大渡 啓介 教授
イオン認識、分離、大環状化合物
北村 二雄 教授
有機合成化学、有機ヘテロ元素化学、グリーンケミストリー
鯉川 雅之 教授
錯体化学、磁気化学、生物無機
兒玉 浩明 教授
生物化学、ペプチド化学、分子薬理学
高橋 利幸 教授
溶液化学、溶液錯体化学、X線・中性子散乱
滝澤 登 教授
溶液物理化学、コロイド化学、両親媒性物質
中島 謙一 教授
光化学、分子分光学、高分子コロイド
野口 英行 教授
セラミックス、電池材料、リチウム

花本 猛士 教授
有機化学、有機フッ素化学、含フッ素複素環化学
宮島 徹 教授
腐植物質、イオン反応、水環境
大和 武彦 教授
有機合成化学、構造有機化学、超分子化学
渡 孝則 教授
無機材料のリサイクル、半導体セラミックス、環境浄化セラミックス
海野 雅司 准教授
分子分光学、量子計算化学、光受容タンパク質
江良 正直 准教授
有機光電子材料、ナノハイブリッド、フォトリソ
長田 聡史 准教授
有機合成化学、ペプチド化学、アミノ酸ミミック
川喜田英孝 准教授
金属回収、生体高分子、分離
竹下 道範 准教授
フォトリソリズム、分子認識、光スイッチ

中村 博吉 准教授
リチウム電池、キャパシタ、電気メッキ
森貞真太郎 准教授
化学工学、コロイド・界面工学、液相吸着
矢田 光徳 准教授
ナノ構造セラミックス、ナノチューブ、ナノテクノロジー
山田 泰教 准教授
無機化学、錯体化学、多核錯体
磯野 健一 助教
電気化学、分析化学、無機化学
梅木 辰也 助教
複雑流体、機能性溶液、核磁気共鳴
坂口 幸一 助教
有機エレクトロニクス、炭素系材料、固体物理化学
成田 貴行 助教
ゲル、高分子溶液、パターン形成
米田 宏 助教
錯体科学、配位高分子、双安定性

機械システム工学科

すべての工業分野に
不可欠な機械技術
新製品や先端技術の
開発を担う工学



航空機、船舶、鉄道、自動車のような輸送機械から発電プラントや各種の動力機械、工作機械やロボットなどの産業用機械、ロケットや人工衛星などの宇宙機器、さらには身の回りの家電製品や情報・通信機器に至るまで、機械技術が関わる分野は大変広範である。機械システム工学科では、将来このような分野で広く活躍できる人材育成を目指して、学習・教育目標を次のように定める。

- 1 人間社会と自然環境の調和を目指し、グローバルな視点から多面的に物事を考察することができる。
- 2 良識を備え、技術者として社会に対する責任を認識できる。
- 3 機械工学習得に不可欠な、基礎数学と力学の応用力を身につける。
- 4 機械工学の基礎およびその応用力を身につける。
- 5 工作実習、設計、製図を通してものづくり(作り make, 造り design, 創り create)の素養を身につける。
- 6 実験などを計画・遂行し、結果を工学的に考察することに関して、課題の発見、問題解決ができる。
- 7 プレゼンテーションをはじめとする国際的な技術コミュニケーション能力を身につける。

カリキュラムの特色

本学科は、機械工学およびその関連領域において、専門的な基礎知識およびその応用力、ものづくりの素養を身につけた技術者となる人材を育成するための教育を行っています。本学科の教育課程は、JABEE(日本技術者教育認定機構)認定プログラムであり、卒業生はJABEEプログラム修了者の資格が得られます。

1年次は、機械工学を学ぶ動機付けを行う新入生導入教育「創造工学入門」および、「教養教育科目」と専門科目を学ぶ上での礎となる数学、力学、図学などの「専門基礎科目」を中心に学びます。

2年次は、機械工学の基礎を担う流体力学、熱力学、材

料力学および機械設計、工作実習、設計製図などの「専門科目」の必修科目を中心に学びます。

3年次は、「専門科目」の選択科目を中心に学び、より深い専門科目の知識を身につけます。

4年次は、各教員の直接指導の下で『卒業研究』を行い、それまでに修得した知識と育んできた能力を生かして、新しいものを作り出すことや、未知の問題解決を図ることへの挑戦を行います。また、卒業論文作成や試問会でのプレゼンテーションを通して、資料調査、文書作成、コミュニケーションの能力を身につけます。

興味のあることが、もっと好きになる

機械システム工学科への進学の間機は、小さい頃から好きだった自動車レースでよく耳にした「車体の空力性能」って何?という疑問でした。今の私は、その思いが叶い流体工学の研究室で気体や液体の流れの解析と実験に関する卒業研究を行っています。

研究は難しいですが、先生や先輩、友人のサポートもあり、とても心強いです。卒業生の半数以上の方が、大学院に進学します。私も自分の研究のテーマにとっても興味があるので、進学してさらに勉強を続けていきたいと考えています。

大学での勉強は、大変ですが自主的に行うことが重要です。機械システム工学科では、数学や力学などの基礎科目から始めて、流体工学、熱工学、材料力学、機械制御、設計工作など、幅広く機械工学の専門知識が学べます。座学に留まらず実験・実習・設計製図などの科目も充実しているので、ものづくりの素養も身につきます。一番印象に残る科目は、3年でのロボット制御プログラミングの実験です。グループで話し合って思い通りに動かせたときは、大きな達成感が得られました。

機械システム工学科は、「ものづくりが好きなのがもっと好きになる」そのような学び舎だと思います。

理工学部
機械システム工学科 4年

鶴 若菜



Pick Up!! 取得できる資格・免許あるいは試験などの一部が免除される資格・免許

所定の単位を取得することにより、卒業時に資格が得られるもの

高等学校教諭一種免許状(工業)
技術士補

試験に必要な科目の単位を取得し卒業後の実務経験後、受験資格が得られるもの

第一種ボイラー・タービン主任技術者

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- 日立造船株式会社
- 株式会社きんでん
- 豊田合成株式会社
- 西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)
- 第一精工株式会社
- NECエンジニアリング株式会社
- 株式会社唐津鉄工所
- 株式会社佐賀鉄工所(2名)
- 株式会社ワイビーエム
- 株式会社丸新
- 株式会社三興
- 株式会社志摩テック
- アークレイ株式会社
- 九州積水工業株式会社
- 株式会社佐賀共栄銀行
- 長崎県警察
- 佐賀県警察
- 佐賀市役所

主な進学先

- 佐賀大学大学院工学系研究科(43名)
- 九州工業大学大学院工学府

備考 大学院進学率59.5%



卒業単位	卒業論文
126	必修

1年次	2年次	3年次	4年次
-----	-----	-----	-----

全学教育科目

教養教育科目 必修科目 専門教育科目 選択科目	実用英語基礎Ⅰ 実用英語基礎Ⅱ 微分積分学Ⅰ 微分積分学演習Ⅰ 物理学概説 工業力学Ⅰ 工業力学演習Ⅰ 微分積分学Ⅱ 微分積分学演習Ⅱ 線形代数学 線形代数学演習	工業力学Ⅱ 工業力学演習Ⅱ 図学製図 機械工作Ⅰ 機構学	ベクトル解析 材料力学Ⅰ 材料力学演習 流体力学 流体力学演習 熱力学Ⅰ 熱力学演習 数値計算法 確率・統計 機械材料 機械設計Ⅰ	機械工作実習Ⅰ 機械工作実習Ⅱ 機械要素設計製図Ⅰ 機械要素設計製図Ⅱ	科学技術英語 機械制御Ⅰ 計測工学 機械力学Ⅰ 技術者倫理 機械工学設計製図 機械工学実験Ⅰ 機械工学実験Ⅱ 創造工学演習	卒業研究
	機械工作Ⅱ	構造力学 材料力学Ⅱ 流体力学 熱力学Ⅱ	流体機械 伝熱工学 機械設計Ⅱ 基礎電気電子工学 弾・塑性力学 機械力学Ⅱ エネルギー変換工学Ⅰ 機械制御Ⅱ メカトロニクス ロボット工学 生産管理	自動車工学 トライボロジー概論 圧縮性流体力学 エネルギー変換工学Ⅱ 生産システム概論		

注目の授業・講義

微分積分学Ⅰ・Ⅱ

微分積分学は、大学に入ってすぐ受けるべき最も基礎的な科目であり、他の専門基礎科目や専門科目を理解する上で欠かせないものである。本科目では、高校数学の学習内容を前提として、さらに詳しく1変数関数の微分積分学を学んだ後、2変数関数の微分積分学と簡単な微分方程式について学ぶ。また、各科目には演習科目がそれぞれ開講されており、講義と演習が一体となって、講義内容の理解を深めることができる。

機械工作実習Ⅰ・Ⅱ

「ものづくり」の基本を1年次の機械工作の座学だけで学ぶには限界があるため、その内容について実際に手足を動かしながら実習で学ぶ。実習は、小グループに分かれたローテーション方式またはアラカルト方式で準備された実習テーマについて取り組む。「機械工作実習Ⅰ」では、機械や工具に慣れることに主眼をおいた基本作業を学ぶ。さらに「機械工作実習Ⅱ」では、受講生が3つの作業工程を選択し、時間に縛られることなく、自分のレベルやペースに合わせた実習を通して、特定の作業工程のスキルを身に付けることができる。

材料力学

高校物理、微分積分学、工業力学の知識を前提として、(1)部材に外力が加わったとき、どの程度変形し、どの程度の外力に耐えうるのかなどの機械的・力学的性質、(2)使用する材料の強さを考慮した加えられる力と部品や部材の寸法・形状との関係について学ぶ。そして、現在の産業において「材料力学」が、(1)機械が使用される期間中、安全に使用できること、(2)できる限り安いコストを維持する、(3)それゆえ、機械や構造部材の設計において、最も基本的で不可欠な学問分野であることを理解する。

線形代数学

線形代数学は、微分積分学とともに数学の基礎を支える重要な科目である。特に、数学が物理学や機械工学などに応用される場面において、ベクトルや行列の知識は必ず必要となる。本科目では、ベクトル・行列の基礎的事項から具体的な工学系への応用について学ぶ。また、本科目と並行して演習科目が開講されており、問題を解くことにより授業で学んだ専門用語とその意味、定理、理論についての理解を深めることができる。

流体力学

流体力学は、種々のエネルギー機器内部の流体の流れを適切な設計によりコントロールすることでより高性能な機械を実現するための学問分野である。本講義では、力学基礎と微分積分学の知識を前提として、流体の諸現象を力学的、および工学的に考察し、よりよい機械の設計に資する知識と能力を養う。すなわち、(1)流体の性質および流体運動を伴う諸現象の力学的な理解、(2)エネルギー輸送の役割を担う流体運動、(3)一次元的理論により簡単な流体システムの計算・設計の基本的能力を身に付ける。

機械要素設計製図Ⅰ・Ⅱ

図面は工業言語のひとつであり、その作成技能は技術者として必須と言われる程、重要である。機械部品の形状・大きさ・姿勢・位置、さらに面の肌・材料・加工方法などの機械設計情報を正確に伝えるには、図面を一定の規約に従って正確に、分かりやすく描く必要がある。「機械要素設計製図Ⅰ」では、厳選された演習問題を解いて設計製図の基本知識、製図規格および製図の基本的技能を身に付ける。さらに、「機械要素設計製図Ⅱ」では、「歯車減速機の設計製図」を通して、与えられた設計仕様に対する設計から製図に至る一連の作業を学ぶ。

工業力学Ⅰ・Ⅱ

力学は、微分積分学、線形代数、ベクトル解析学とともに機械工学を学ぶ上で重要な基礎科目である。本科目では、まず物体が運動しない条件すなわち平衡条件を対象とする静力学を学んだ後、時間とともに変化する力と質点或いは剛体の運動状態との関係を対象とする動力学を学ぶ。本科目と同時開講される演習科目との関係を図りながら、トラス、くさび、ねじ、ベルトや軸受などの摩擦といった実際の静力学問題を解く能力、力学の原理の正しい理解とその適用に基づいた動力学的問題の解決能力を身に付ける。

熱力学Ⅰ

熱力学を学ぶ上で不可欠となる「熱と温度」の概念、エネルギー全般についての明確な定義、物理量を表すために必要な状態量の概念を身に付けた上で、力学基礎と微分積分学の知識を前提として、熱と仕事のエネルギー変換を支配する熱力学の第1法則「仕事と熱は同等なエネルギー」と第2法則「可逆と不可逆過程の存在」を学ぶ。同時開講される演習科目と一体となって、理想気体を用いた熱と仕事の交換の基本計算能力を身に付ける。

創造工学演習

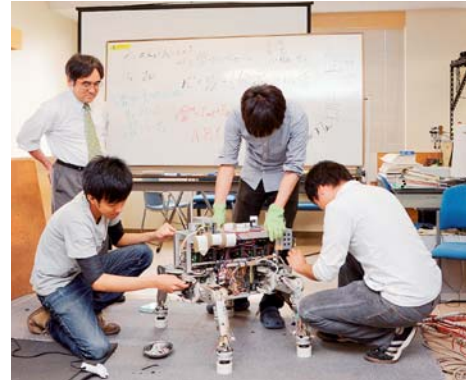
3年次までに学んだ知識や育んできた能力を総動員して、エンジニアリングデザインの基礎を修得する。エンジニアリングデザイン能力とは、設計図面制作能力ではなく、構想力、種々の学問・技術を統合して必ずしも正解のない問題に取り組み、実現可能な解を見つけ出し、いく能力をいう。本演習では、客先要求仕様を自ら設定し、3次元CAD設計ソフトウェアを用いて解決策の立案とその評価・性能のみならず、安全性、経済性なども含む「を行い、最適な解を見出すまでの一連の過程」を学ぶ。

知能ロボティクス研究室

辻村・泉 研究室;専攻/ロボット工学、知能情報工学;辻村 健 教授;泉 清高 准教授;専攻/ロボット工学

私たちの研究室では、ロボティクス・知的制御技術・ITシステムなどに関する研究に和気藹々と取り組んでいます。たとえば、以下のような研究テーマに挑戦しています。

- (a) AKB(Aligned Kindling Broadband)のチームでは、新しいレーザ通信ロボットシステム完成をめざした研究
- (b) レーザによる教示や歩行・跳躍制御技術を検討し、メッチャ良いモバイルロボット実現のための要素技術として、筑波大学とネットワークで結んだ遠隔コントロール実験
- (c) デラックスな小惑星探査システム DERAX(Distributed Exploration with Remote Astro-rover by Xbee)を「はやぶさ」に搭載するための開発
- (d) メタヒューリスティクスを始めとする最先端の制御理論を駆使した賢いロボットに関する革新的な研究



環境流動システム学分野

瀬戸口 俊明 教授、松尾 繁 教授、木上 洋一 教授、橋本 時忠 講師、塩見 憲正 助教

流体エネルギーの環境融和を目的として、流体機械や流体関連機器の開発と高性能化までを工学的また医学的な観点より総合的に検討することを主な課題としています。具体的には、流体機械 タービン、ポンプ、ファン、医療用マイクロポンプ等の小型・高性能化のための研究や、蒸気タービン、翼周り、冷凍サイクルのエジェクターなどで生ずる二相流動場の解明および高性能な機器の研究・開発に取り組んでいます。

熱エネルギーシステム学分野

門出 政則 教授、宮良 明男 教授、光武 雄一 教授、石田 賢治 講師、椿 耕太郎 助教

エネルギー有効利用による地球環境負荷の低減を目的として、熱・物質移動現象の解明からエネルギー変換機器の高性能化までを総合的に検討しています。水素タンクへの高圧水素充填法や水素中の高沸点不純ガス成分の凍結問題、金属材料製造に必要な液体による高温面の冷却速度制御法、さらにはフロン系冷媒に代わる次世代冷媒を用いた冷凍空調機器について、冷媒の熱物性やサイクル解析、熱交換器の伝熱促進技術を用いた高性能冷凍空調システム、地中熱利用ヒートポンプなどの研究開発に取り組んでいます。

先端材料システム学分野

萩原 世也 教授、服部 信祐 教授、只野 裕一 准教授、武富 紳也 准教授、森田 繁樹 准教授

近年、産業分野で用いられる材料に課せられる要求は、多様かつ過酷なものとなってきています。しかし、種々の材料の組織レベルでの変形や特殊環境下における材料特性など、高精度な製品の設計・評価に必要な情報の多くが、未だ明らかにされていません。そこで、力学的・材料学的観点から実験的な研究を進めるとともに、実験だけでは解明困難な現象をコンピュータシミュレーションにより明らかにすることにも取り組んでいます。

設計生産システム学分野

張 波 教授、長谷川 裕之 准教授、馬渡 俊文 助教、大島 史洋 助教

持続可能な社会を実現するための「ものづくり」を目指して、高耐久性、高信頼性、高効率、高効率をキーワードとした設計・加工技術開発に取り組んでいます。摩擦はエネルギー消費の直接原因であり、摩擦は機械の損傷に繋がります。私たちは摩擦や摩耗に対処する有効な手段である潤滑と表面工学に関する研究を展開しています。また、最新のプラズマ技術等を駆使して、耐摩耗性の表面薄膜製作技術に関する研究開発も行っています。

知能機械システム学分野

寺本 顕武 教授、中山 功一 教授、辻村 健 教授、佐藤 和也 准教授、泉 清高 准教授、イスラム・カーン 准教授、林 喜章 助教

機械システムの各種問題解決に必要なセンシングシステム、メカトロニクスの課題に取り組んでいます。センシングシステムに関しては、高次元逆問題の基礎研究と人間の持つ感覚を実現する知能化センサシステムの開発を主な課題として取り組んでいます。メカトロニクスに関しては、インターネットを用いたロボット群制御、機械と人間の次世代インタフェース技術、適応ロバスト制御の理論と応用を主な課題として取り組んでいます。

Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

波力発電用タービンの研究・開発
 超音速旋回流れを利用した二相流分離装置の研究・開発
 斜流ファンや超音速気液二相ノズルの研究・開発
 マイクロポンプ、圧力波を利用した治療法、水ジェットの治療応用
 小型プロペラファンの性能向上と低騒音化に関する研究
 CFRP 製軽量水素圧力容器への安全な水素充填法の開発
 地球温暖化防止に対応した冷凍機・ヒートポンプシステムの開発
 材料製造時の高温面の急速冷却特性の解明
 水素ステーションにおける高圧水素中の微量水分の影響について
 住宅用基礎杭による地中熱の有効利用
 強度計算に用いる解析方法に関する研究、人工関節の解析と開発
 ステンレス鋼の疲労特性、機械構造物の疲労強度評価

多結晶金属材料のマルチスケールモデリングと実用解析への応用
 水素雰囲気下での鉄の破壊メカニズムの解明
 マグネシウム合金の微細構造と繰返し変形・破壊挙動に関する研究
 セラミック球の超精密高能率加工、磁気ヘッド・ディスク界面におけるトライボロジー
 プラズマプロセスによる低摩擦セラミックス薄膜の開発
 弾性流体潤滑油膜のせん断挙動とトラクション特性・転がり要素の耐久性向上に関する研究
 歯車の高効率加工および振動騒音低減に関する研究
 近接場ホログラフィにもとづく心音カメラ、動的歪み解析法による CFRP の非破壊検査
 人間とロボットのコミュニケーションを実現する次

世代インタフェース技術の研究
 どんなものでも思い通りに動かせる制御装置の開発
 適応・学習システムに関する研究
 6Dセンシングへのカメラモアレ像の画像処理技術の適用に関する研究
 ワイヤを用いた柔軟アームに関する研究
 新形式波力発電装置の開発
 新しい海洋温度差発電の高性能化に関する研究
 浮体型振り子式波力発電装置の開発
 海洋温度差発電で使用するアンモニアの沸騰特性の解明
 浮体型波力発電装置の発電性能向上に関する研究

教 員 紹 介

瀬戸口俊明 教授
 流体工学、流体機械、自然エネルギー利用工学
 松尾 繁 教授
 流体工学、圧縮性流体力学、数値流体力学
 木上 洋一 教授
 流体工学、流体機械、混相流
 橋本 時忠 講師
 流体工学、衝撃波、医療応用、光学可視化
 塩見 憲正 助教
 流体工学、流体機械、内部流動計測
 門出 政則 教授
 熱工学、伝熱工学、沸騰熱伝達
 宮良 明男 教授
 熱工学、伝熱工学、冷凍空調、ヒートポンプ、熱交換器
 光武 雄一 教授
 熱工学、伝熱工学、沸騰熱伝達

石田 賢治 講師
 熱工学、伝熱工学、熱物性
 椿 耕太郎 助教
 熱工学、伝熱工学、冷凍空調
 萩原 世也 教授
 計算固体力学、数値構造解析
 服部 信祐 教授
 材料力学、機械材料、疲労
 只野 裕一 准教授
 計算固体力学、材料モデリング
 武富 紳也 准教授
 材料強度学、水素脆性、分子動力学
 森田 繁樹 准教授
 材料強度学、構造用マグネシウム合金
 張 波 教授
 トライボロジー、超精密加工、機械設計工学

長谷川裕之 准教授
 プラズマ合成、表面処理
 馬渡 俊文 助教
 EHL、転がり要素、トライボロジー
 大島 史洋 助教
 歯車、機械工作
 寺本 顕武 教授
 音響イメージング、波動情報処理、逆問題解析
 中山 功一 教授
 再生医療、整形外科、医工学
 辻村 健 教授
 ロボット計測制御技術、情報処理通信技術
 佐藤 和也 准教授
 制御工学、ロボット制御、メカトロ制御
 泉 清高 准教授
 適応・学習、知的制御、ソフトコンピューティング

イスラム・カーン 准教授
 モアレトポグラフィ、運動応用センシング、音響解析
 林 喜章 助教
 福祉ロボティクス
 永田 修一 教授
 海洋工学、海岸工学、波力発電
 池上 康之 准教授
 海洋温度差発電、エネルギー変換工学
 豊田 和隆 准教授
 海洋工学、波力発電
 有馬 博史 准教授
 熱工学、伝熱工学
 今井 康貴 准教授
 制御工学、ロボット制御、メカトロ制御

Department of Electrical and Electronic Engineering

理工学部 電気電子工学科



<http://www.ee.saga-u.ac.jp>

電気電子工学は現代社会を支える
中核的基盤技術であると共に
人と地球に優しい
革新的な未来技術の創出に貢献します



電気電子工学は、現代のあらゆる産業の基盤です。

スマートフォン、タブレット型コンピュータ、ロボット、自動車などのような、私たちの生活を豊かで快適にする機器は、電気電子工学の高い技術で支えられています。また、太陽光発電などの発電技術、バイオテクノロジー、プラズマ応用環境対策技術などのような、地球環境や人類の持続的繁栄のためのテクノロジーにも、電気電子工学の知識や技術が不可欠です。

「もの作り日本」を支えています。

46年間の国立大学としての歴史の中で、本学科を巣立っていった多数の卒業生たちは、「もの作り日本」を支える技術者として産業界の第一線で活躍しています。

日本の産業を支える電気電子工学科は就職に強い。

電力関連、各種エレクトロニクスメーカー、電子部品、情報通信技術 (ICT) の他、ソフトウェア、自動車、医用機器、光学機器、鉄道、造船、建設、化学など、ほとんどあらゆる業種から多数の求人があります。就職活動の際には、就職担当教授が個別にきめこまかに就職相談にのり、ほとんどの学生が学科推薦で内定をもらいます。

高い教育・研究レベル

4年生になると卒業研究を行い、その成果を積極的に学会で発表しています。毎年多数の学生が優秀な発表であることを認められ、各種の学会表彰を受賞しています。平成23年度には、大学院生を含めて、のべ20名もの学生が国内外の学会賞を受賞しました。

カリキュラムの特色

電気や電子を利用して製品を作ったり、産業に応用していくためには、その根本となる原理や法則をしっかり理解する必要があります。そのためには高校よりも高度な数学や物理を修得することが不可欠で、本学科では、まず始めにそれらの専門基礎教育科目を学びます。

その後、電気電子工学の基礎となる電気回路、電磁気学、電子回路などの専門科目を学び、さらにそれらに応用したより高度で専門的な科目を学びます。多くの専門科目は選択科目となっており、各自が目指す将来ビジョンに

よって体系的に履修することが可能です。

4年生になると研究室に配属され、教員による個別指導のもとに各自の卒業研究を通じて問題解決能力を養います。研究成果は中間報告会や卒業研究発表会で発表し、卒業論文にまとめます。多くの学生はこの過程で研究に打ち込む楽しさを知り、大学院博士前期課程へ進んでさらに研究を進めます。

専門知識を身に付けて、 就職に強い人材になる!

この学科に来て一番良かった事は、専門知識を身に付け様々な学生と関わりを持つ事によって、自分に強い自信が持てるようになったことです。

私は2年生なので、今は主に電気・電子回路、電磁気学などを勉強しています。放課後は、友達と一緒に電子工作の動画を見たりして話が弾みます。楽器が趣味の友達がいるので、一緒にアンプを作ってみようかなんて話をしたりしています。

学科の学生たちは男女共に仲が良く、雰囲気はとても良いです。特に女子学生には縦の繋がりがあり、学科の女子の先輩方が優しく学生生活のサポートをしてくれるので、とても心強いですよ。

就職難が叫ばれる今日ですが、電気電子工学科の就職率は非常に良好です。先輩方の就職先は、電気・電子機器のメーカーや電力会社はもちろん、造船業やシステム開発など、分野は多岐に渡ります。電気電子工学の裾野の広さ、需要の大きさを改めて感じます。

友達と一緒に大学生活を楽しみながら、専門知識をしっかり身に付けていきたいと思っています。その過程で、幅広い就職先の中から自分の目指す分野を見つけて、社会の役に立つ人材になりたいと思っています。

理工学部
電気電子工学科 2年

中島 麻貴

佐賀県立致遠館高等学校出身



Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、
卒業時に資格が得られるもの

高等学校教諭一種免許状(工業)

必要な科目の単位を取得し

卒業後の実務経験を経て、資格が得られるもの

第一種電気主任技術者

第三種電気主任技術者

第二種電気主任技術者

必要な科目の単位を取得することにより、
試験科目の一部が免除されるもの

電気通信主任技術者

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先(平成22年度実績)

- 九州電力(3名)
- 三菱電機(2名)
- 東京電力
- 関西電力
- 中部電力
- 中国電力
- 富士通
- マツダ
- スズキ
- セイコーエプソン
- 昭和電工
- ダイキン
- ミツミ電機
- 豊田合成
- 明電舎
- 日本触媒
- 戸上電機製作所(3名)
- きんでん
- トヨタテクニカルディベロップメント
- NEC マイクロシステム
- 東芝プラントシステム
- ドコモエンジニアリング九州
- 地方公務員(2名)

主な進学先(平成22年度)

- 九州大学大学院(2名)
- 佐賀大学大学院工学系研究科(41名)



卒業単位	卒業論文
124	必修

1年次	2年次	3年次	4年次
-----	-----	-----	-----

全学教育科目

教養教育科目 専門必修科目 専門教育科目 専門選択科目	微分積分学 A 及び演習 微分積分学 B 及び演習 線形代数学 A 及び演習 線形代数学 B 及び演習 電気系基礎数学及び演習 ベクトル解析学 電気系基礎物理学 基礎電気電子工学及び演習 電気回路 A 及び演習	微分方程式及び演習 複素関数論 電気回路 B 及び演習 電気回路 C 及び演習 電磁気学 A 及び演習 電磁気学 B 及び演習 電子回路 A 及び演習 電子回路 B 及び演習 電気電子工学実験 A 電気電子工学実験 B	電気回路 D 及び演習 電磁気学 C 及び演習 電磁気学 D 及び演習 技術者倫理 技術者倫理 電気電子工学実験 C 電気電子工学実験 D	卒業研究
	論理回路 信号解析論 電子計測 電子物性論 工業力学 エネルギーシステム工学 情報通信工学 基礎情報理論	アナログ回路設計 電気電子材料学 放電工学 半導体デバイス工学 電気機器学 システム制御学 プログラミング論及び演習 電気設計学 通信法規 LSI 回路設計 オプトエレクトロニクス	プラズマエレクトロニクス 環境電気工学 電気法規及び電力管理 エネルギー変換工学 パワーエレクトロニクス コンピュータ概論 情報伝送工学	マイクロ波光学

LSI 回路設計

LSI は大規模集積回路と呼ばれ、さまざまな機能が 1 つの IC チップ上に構成されている電子回路のことです。我々の身の回りにはほとんどの機器の頭脳として、LSI が活躍しています。このような LSI について、デジタル回路の基礎からデジタル・アナログ変換器などの応用回路までその動作原理と回路設計法を学びます。

プログラミング論及び演習

コンピュータプログラムを作成する能力は、パソコンや携帯電話などの電子機器を思い通りに動かしたい場合や、発電所や各種の電気機器をコンピュータで設計・解析したい場合など、電気電子工学の多くの分野で必要とされる能力です。3 年次生を対象とする本講義では、2 年次までの授業で身につけた C 言語によるプログラム作成能力をさらに向上させ、関数やポインタを駆使した高度なプログラムの作成能力を身につけます。また、各種の演習問題を通して、実践的なプログラム作成能力を身につけます。

システム制御学

制御対象の方程式による表現から自動制御を行うための制御設計までの一連の手順を修得するために、古典制御と現代制御の重要な部分について講義を行います。特に、制御対象の微分方程式による表現、制御対象の伝達関数表現、ブロック図を用いた制御系の表現、システムの安定性、定常偏差、PID 調節とその設計、制御対象の状態方程式による表現、状態方程式と伝達関数の関係、行列の対角化、可制御性と可観測性、極配置レギュレータ、オブザーバなどについて学びます。

理工学先端技術(シンクロトロン光応用科学)

21 世紀の科学技術にとって必要不可欠なシンクロトロン光設備が鳥栖市に建設されており利用が開始されています。この最先端設備に係る科学技術を理解するための基礎とシンクロトロン光を利用した応用についての講義です。加速器、光の発生、相対論的電子、最先端分光技術などの学習を通じて、可視光から X 線までを統一的に理解できます。

医工学入門

心電図は心臓の収縮活動に伴って発生する電気現象を体の表面で検出するもので、患者に全く不快感を与えることなく心臓の病気を簡単に見つける事を可能にしました。心電図測定を実現する鍵となる技術は、体の表面に現れる極めて微弱な電気信号を安定に増幅する技術で、これには電気電子工学の知識や技術が不可欠です。心電図、CT、人工臓器をはじめとする工学と医学の融合によって初めて可能となった様々な医療装置について、ビジュアルに紹介します。

パワーエレクトロニクス

現代は環境・エネルギーの時代です。電気エネルギーは、発電所から消費者、工場まで、電圧、周波数等の形態を変える必要がありますが、それを支えるのがパワー・電力変換回路やパワーデバイス等の基礎技術です。この分野の発展は速く、大きな社会的なニーズがあります。講義では、その原理やインバーター等の回路を学ぶと共に、研究開発の最前線についても解説します。

オプトエレクトロニクス

LED、太陽電池をはじめとする各種光デバイスは、今日のユビキタス社会、および環境を考慮したエネルギー問題解決手段の基幹技術として益々重要になっています。本講義では、波動性や粒子性といった光の性質、光デバイスで使われる半導体のエネルギーバンドや電気伝導のしくみ、発光・受光の基本原理解を学んだ後、各種光デバイスの構造や動作原理とその特徴を学びます。また、その応用技術についても学びます。

電気機器学

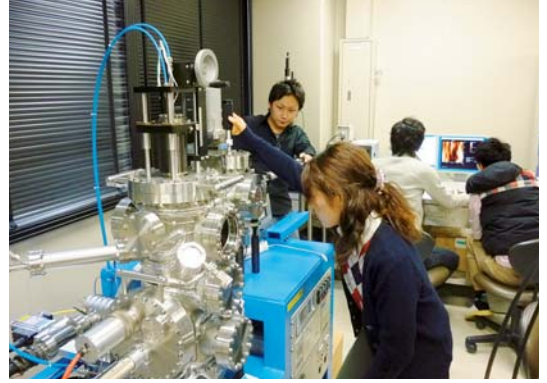
電気機器には、電気エネルギーを産み出す発電機、効率良い送電・配電に必要な変圧器、さらに電気エネルギーを利用する電動機などがあり、現代社会の基盤を支えています。電動機は、情報通信用の超小形モータから、エアコン・冷蔵庫などの家電用のモータ、電気自動車などの車両用モータ、さらには産業用大形モータなど様々な分野で用いられています。この講義では、変圧器、発電機、電動機(モータ)の電気機器学、原理から、構造、利用・運転方法、特性計算、応用まで解説します。



光半導体研究室

西尾 光弘 教授、郭 其新 教授
田中 徹 准教授、斉藤 勝彦 助教

「光」と「半導体」をキーワードに、新材料による発光ダイオードや太陽電池の開発、新しい電子材料の開拓、ナノ加工技術の開発、シンクロtron光を利用した半導体プロセス開発と物性評価を進めています。低消費電力かつ長寿命であるLEDは火、電球、蛍光灯に続く第4世代の灯りとして注目されています。すでに光の3原色である赤、緑、青が実用化され、信号機、携帯電話のバックライト、大型ディスプレイなど身近な物にも数多く使用されています。しかし、緑色の領域では効率の良いLEDが得られておらず、グリーンギャップと呼ばれています。本研究室では、テルル化亜鉛(ZnTe)というLEDでは新しい半導体材料を用いて、高効率緑色LEDの実現を目指した研究を進めています。具体的には、同半導体の結晶成長や物性制御、電極開発、デバイス化技術の開発などに取り組んでいます。



情報通信・電子回路研究室

豊田 一彦 教授

現在は「情報通信革命」の時代と言われ、情報通信技術(ICT)の果たす役割がますます大きくなってきます。本研究室では、ワイヤレス通信に焦点を当てた高周波回路やアンテナ、情報機器の高機能・高性能化を実現するLSIや実装技術などのハードウェア技術を中心に研究を進めており、未来に対して大きなインパクトを与える研究課題に積極的にチャレンジしています。



シンクロtron光・プラズマ研究室

鎌田 雅夫 教授

夢の光であるシンクロtron光と無限の可能性を持つプラズマに関連する研究を行っています。佐賀大学シンクロtron光応用研究センターにおいて、夜間の太陽電池利用のための光物性や時間分解光電子分光システムの開発などの研究を推進しています。また、水や油を弾く薄膜の合成、高速プラズマプロセス処理装置の開発や微粒子含有酸化亜鉛薄膜の作成などの研究を行っています。



高度情報処理・人工知能研究室

古川 達也 教授

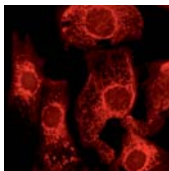
人に優しいシステムや知的なスマート・システムの研究に取り組んでいます。例えば、電力送電線の状態を計測するためのセンサ、電気・電子回路やスマートグリッドについての学習支援システム、手書き文字を認識する方法、スマートフォン上で動作する賢いアプリ、人間の言葉を理解する計算機やロボット、表面筋電信号を用いて口の動きだけで発話を認識するシステム、などの開発に取り組んでいます。



バイオセンシング・イメージング研究室

高橋 英嗣 教授

光や電気を使って生体の状態をモニターし、それを刻々変化する画像としてビジュアル化する事で、生体の機能や病気のメカニズムを解明しようとしています。1個の細胞からヒトまでが研究対象です。研究室には、分子生物学や細胞生理学のテクニックを駆使する学生もいれば、独自の電子回路を設計製作したり、マイコンのプログラミングができる学生もいるといった具合で、バイオと電気電子工学の融合が着々と進行しています。



シミュレーション研究室

村松 和弘 教授

並列コンピュータを用いた大規模電磁界シミュレーション法などの各種解析手法の開発を行うとともに、その応用として環境問題に対応した低損失・低騒音電気機器の開発、MRI用オープン型磁気シールドルームなどの高性能電磁装置の最適設計などを行っています。さらに、生体情報を用いた携帯端末の個人認証方式の開発、WEBページ分類システムなどの開発を行っています。



システム制御研究室

後藤 聡 教授

医用、プラント、ロボット、電力などの様々な対象をシステム制御の観点から研究しています。例えば、身体を動かすことができない筋萎縮性側索硬化症患者が、眼電図を利用して他者とコミュニケーションするシステム、地球温暖化やエネルギー問題等で注目されている再生可能エネルギーの一つである、海洋の表層の海水と深層の冷水との温度差を利用して発電する海洋温度差発電システムなどに関する研究を行っています。



Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

レーダーシステムに適したマイクロ波ミリ波発振器
電波を使って電力を送る高機能システム
スマートフォン等の携帯端末向けLSI回路
高速・多機能LSIの性能を十分に発揮させる実装技術
夜間の太陽電池利用のための光物性
プラズマを用いた水や油を弾く薄膜の合成
放電プラズマを用いた酸化亜鉛セラミックスの生成
緑色発光ダイオード(LED)の開発

環境にやさしい薄膜太陽電池の開発
パルスパワー放電を用いた水処理
スマートグリッド・エネルギー教育支援システム
自己組織化マップによるオンライン文字認識
日常言語による3次元CG作成
細胞機能のバイオイメージング解析
バイオイメージングで解き明かす癌の転移メカニズム
複合型センサの介護福祉領域への応用

高速並列計算システムを用いた大規模電磁界解析
低消費電力・低騒音インバータの開発
解放感のあるMRI検査室を可能にするオープン型磁気シールドルーム
携帯端末未使用者のくせを自動学習する個人認証方式
障害者支援のための生体信号コミュニケーション技術開発
海洋温度差発電システムのモデリングと制御
ロボットのモデリング・設計と制御
電力システムの信頼性解析

教 員 紹 介

郭 其新 教授
半導体工学
嘉数 誠 教授
パワーエレクトロニクス、ダイヤモンド半導体
鎌田 雅夫 教授
シンクロtron、表面界面、ナノ、光エネルギー
後藤 聡 教授
プラント制御、信頼性解析、ロボット制御
佐藤 三郎 教授
産学連携、材料加工・処理、科学教育
高橋 英嗣 教授
バイオイメージング、培養細胞、生理学、医工学
豊田 一彦 教授
通信工学、無線システム、マイクロ波回路、アンテナ
西尾 光弘 教授
電子材料工学、結晶成長、LED

古川 達也 教授
電気機器、電力工学、計算力学、組み込みシステム
村松 和弘 教授
電磁界シミュレーション、電気機器、電磁装置
猪原 哲 准教授
高電圧パルスパワー工学、放電工学
大津 康徳 准教授
プラズマエレクトロニクス、機能性薄膜
木本 晃 准教授
センシング工学、イメージング工学
佐々木伸一 准教授
システム実装技術、環境電磁工学、センサーネットワーク
杉 剛直 准教授
生体信号処理、プラント制御
高橋 和敏 准教授
シンクロtron、光電子分光、表面界面、ナノ

田中 徹 准教授
半導体、発光ダイオード、太陽電池
堂園 浩 准教授
ソフトウェアエンジニアリング、バイオインフォマティクス、セキュリティ
原 重臣 准教授
ネットワーク解析
深井 澄夫 准教授
電子回路設計、集積回路、信号処理回路
和久屋 寛 准教授
人工頭脳工学、ニューラルネットワーク、医用生体工学
伊藤 秀昭 講師
計算機応用、人工知能、知的ロボット
田中 高行 講師
マイクロ波・ミリ波工学
今村 真幸 助教
固体光物性、半導体機能性材料

高 炎輝 助教
電磁工学、数値解析
斉藤 勝彦 助教
シンクロtron光、化合物半導体、エピタキシャル成長
西山 英輔 助教
アンテナ工学、マイクロ波工学、通信工学
福本 尚生 助教
画像処理、信号処理
松田 吉隆 助教
制御系設計論、ロボット制御、プラント制御
三沢 達也 助教
放電プラズマ焼結、パルス通電焼結、プラズマ理工学

都市工学部

都市工学科

これからの
地域環境づくりを
学びませんか？



都市工学科は、現代社会における都市工学分野の専門家の育成を目的として、数理的能力、コミュニケーション能力、美的感性といった基礎学力の向上を図りつつ、社会基盤、都市環境、土木、建築などのあり方について個々の適性や志向に応じた教育を行います。

「都市環境基盤コース」と「建築・都市デザインコース」の2コース制により、多種多様なニーズに応えられる人材を育成します。「都市環境基盤コース」の学生は以下の1～4を、「建築・都市デザインコース」の学生は1～3と5を教育目標に定めます。

教育目標

- 1 心の知能指数EQを高めます(コミュニケーション能力の涵養、教養教育の重視)
- 2 数理分析能力を高めます(数理理解・処理能力の涵養、物性理解)
- 3 都市・地域とデザインに関する理解を深めます(都市・地域に関する理解、建築とデザイン)
- 4 都市・地域の環境に関する専門知識を習得します(水環境、地盤環境に関する専門知識)
- 5 建築・都市デザインに関する専門知識を習得します(デザイントレーニング、建築専門知識)

カリキュラムの特色

都市工学科では、環境部門と都市基盤部門を抱合する都市環境基盤コースと建築・デザイン部門を充実した建築・都市デザインコースの2コースによるコース制による教育カリキュラムを特色とします。

- ・1年次から2年次前学期までは、都市工学科の全ての学問領域の基礎をなす科目(数学・力学・基礎製図)に関する演習科目が中心となります。
- ・2年次前学期には、都市工学科の中核をなす学問領域の重要な基礎知識や技能、工学的現象把握のための考え方について学ぶ、専門基礎科目(選択)の科目が開講されます。

- ・2年次前学期が終了した時点で、学生の希望により都市環境基盤コースか建築・都市デザインコースのいずれに進学するかについて選択します。
- ・コース進学後は、それぞれのコース科目とコース共通科目より、所定の単位を選択履修し修得することになります。
- ・4年次には、4年間の大学生活で学んだ知識を基礎にして、各研究室の教員の指導の下に1つの研究・計画をまとめ上げる能力の養成を目的とした卒業研究を行います。建築系の計画に関しては、卒業制作をもって卒業研究とすることもできます。

“ 夢は建築家 ”

私が所属している都市工学科、建築都市デザインコースでは主に建築デザイン、都市デザインに関する勉強を行っています。設計演習では‘5mキューブ’に始まり住宅といった身近なものから美術館、小学校という規模の大きなものまで自分で1から設計して行きます。このコースの大きな特徴としては‘卒業設計’というものができるところです。これは4年生の時に卒業論文のような形で、自分で課題や敷地を決めて建築を作っていくというものです。

今、世の中で活躍している多くの建築家も通っていった道です。また建築というのは学外にも多くのコンペというのがあり、学生でも参加できるものも多く、そういったことに参加できるのも大きな魅力ではないかと思います。

そもそも建築の勉強というのは今までの高校の勉強とは全く違い、単に計算したり暗記したりするものではなく、新しく何か自分で創造していくというもので、勉強しているという感じでは全くありません。理系だけど文系のような柔軟さもあるとても面白い分野です。

是非皆さん、都市工学科に入って一緒に頑張りましょう。

理工学部
都市工学科 3年

副田 和哉

福岡県立筑紫丘高等学校出身



Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、
卒業時に資格が得られるもの

高等学校教諭一種免許状(工業)
測量士補

試験に必要な科目の単位を取得することにより、
受験資格が得られるもの

二級建築士(指定科目40単位以上取得)

試験に必要な科目の単位を取得し

卒業後の実務経験後、受験資格が得られるもの

測量士	一級土木施工管理技士
火災類保安責任者	一級建築士
二級土木施工管理技士	技術士補
二級建築士(指定科目40単位未満取得)	



Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- 北川ヒューテック株式会社
- 三軌建設株式会社
- 株式会社竹中道路
- 東急建設株式会社
- 戸田建設株式会社
- 日本建設技術株式会社
- 松尾建設株式会社
- 矢作建設工業株式会社
- 株式会社高崎総合コンサルタント
- 株式会社東京設計事務所
- 日本上下水道設計株式会社
- 三井共同建設コンサルタント株式会社
- セキスイハイム九州株式会社
- 積水ハウス株式会社
- 佐世保重工業株式会社
- 株式会社佐電工
- 不二コンクリート工業株式会社
- 九州旅客鉄道株式会社(JR 九州)
- 西日本旅客鉄道株式会社(JR 西日本)
- 鹿島市役所

主な進学先

- 佐賀大学大学院工学系研究科
- 九州大学大学院人間環境学府
- 熊本大学大学院自然科学研究科
- 大阪市立大学大学院

1年次

2年次

3年次

4年次

教養教育科目

全学教育科目

専門教育科目 (卒業単位は専門教育科目) (コース共通) (都市環境基盤コース) (建築都市デザインコース)	専門基礎数学演習Ⅰ 専門基礎数学演習Ⅱ 専門基礎力学演習 測量学Ⅰ 測量学実習Ⅰ	専門基礎数学演習Ⅲ 構造力学基礎 構造力学基礎演習 都市工学概論 都市工学基礎演習	基礎設計製図演習 建設構造力学演習 現代建築概論 建設材料学 都市構成論	土質力学 水理学 建築環境デザイン学 コミュニケーション英語	技術英語	卒業研究
	測量学Ⅱ 測量学実習Ⅱ 統計数理	工業数学 システム分析 構造力学実験演習 都市・地域計画 都市交通システム学	都市防災工学 鉄骨構造学 建設材料実験演習 インターンシップ 地震工学	建設施工・維持管理 都市・地域環境計画 地区環境計画演習 コース共通特別演習	技術者倫理	
	地盤工学実験演習 水工水理学 鉄筋コンクリート工学 水環境システム工学	地盤工学 地盤環境学 水工学実験演習 環境衛生工学 環境生態工学	コンクリート構造工学 基礎地盤設計演習 流域工学 廃棄物処理 都市環境基盤特別講義			
	居住環境デザイン演習 居住環境計画 建築空間史Ⅱ 建築環境工学Ⅰ 鉄筋コンクリート構造	建築都市デザイン演習Ⅰ 建築都市デザイン演習Ⅱ 地域施設計画 アーバンデザイン 建築空間史Ⅱ	建築環境工学Ⅱ 建築環境工学演習Ⅰ 建築環境工学演習Ⅱ 鉄筋コンクリート構造設計 建築法制度とデザイン	建築・都市デザイン特別講義 建築デザイン手法		

注目の授業・講義

基礎設計製図演習

建築・土木分野においてプロジェクトを実践していくためには、アイデアや建設手法を統合して空間を計画設計し、それを2次元の図面に表現(製図)していく技術が必須である。この演習では、その専門技術修得の入り口として、設計と製図の基礎的知識及び建築的なスケール感覚を養うための課題に取り組む。具体的には、図面のトレース、模型の作成を通じた作品分析、小空間の計画を行い、3次元空間の創造能力、2次元への表現能力、プレゼンテーション能力の基礎を学ぶ。

水環境システム工学

水環境の質を評価するための基準や水質指標の意義を理解する。水循環、炭素・窒素循環など水環境における物質循環の概念と意義を理解する。河川、湖沼などの水域における自然システムと浄水処理施設、下水処理施設の人工的なシステムとの間には、物質輸送・変換現象としての共通点が多いことから、双方のシステムにおける素過程(流れ過程、生物反応、物質輸送など)について基礎的な知識を習得する。物質収支の概念を用いて主要な水環境モデルの定式化を習得し、応答特性を理解する。

建築環境工学Ⅰ

環境の世紀と言われる現代において、都市・建築のあり方を環境的な視点から見直すことが求められている。例えば、地球温暖化や省エネルギーを考えると、都市・建築が担う部分は大きく、それらに関わる諸問題を理解した上で、まちづくりや建築設計に携わっていく必要がある。本講義では、環境工学的な視点から都市・建築を捉えるために必要となる光・熱・音・空気質環境に関する基礎的な知識を学ぶ。

建築空間史Ⅰ

建築や都市は長い間の営みの積み重ねであり、それらを歴史的に検証することは、現在から近未来への創造行為を育んでいく大きな糧となる。本講義では、主にわが国の建築を対象に取り上げ、背景の技術や生産にも配慮しながら歴史的視点から主な空間的特質について学ぶ。

基礎地盤設計演習

建物や構造物等は、地盤上(掘削や盛土を含む)もしくは地下に建設されます。このとき、建物自身は堅固であっても、地盤にしっかりと支えられ沈下や傾きが起きないようにしなければ意味がありません。地盤はいつも安定しているわけではないので、建物等だけでなく、地盤も含めた設計が行われています。本科目は、地盤の力学に関する基礎的な学問(土質力学、地盤工学)を履修した上で、この地盤に関する種々の設計法の中から、擁壁、盛土、構造物基礎等を対象とした設計演習を行います。

地震工学

日本はプレート境界部に位置するため世界有数の地震国である。したがって、土木・建築構造物の設計においては地震荷重が支配的となり、構造物の地震に対する安全性照査は非常に重要な項目となる。この授業では、過去の巨大地震から学んできた地震工学上の基礎知識、構造物の動的特性として重要なファクターである固有周期と減衰定数、橋梁および建築物の耐震照査の基本的な考え方、近年多くの構造物に活用されている免震設計について学ぶ。

構造力学基礎

土木・建築構造物は他の工業製品に比べスケールが大きいため、その建設コストは高額である。しかし、むやみなコストカットが人々の財産や生命を危険にさらすことも少なくない。経済性と安全性のバランスが取れた設計を行うためには、たとえば、構造物の形を見ただけで何処に力が集中しているかが瞬時に判断できるような「力学的感覚」を持つことが必須である。この講義では、構造物の内部に分布している力(=部材力)と変形の計算法を学び、その分布を図化する訓練を徹底して行うことによって、建設技術者に求められる力学的感覚を養う。

都市工学概論

都市工学科の教育システムは「都市環境基盤コース」と「建築・都市デザインコース」の2コースによって構成されている。カリキュラムは各コース固有の科目とコース共通の科目からなる。この講義では、「都市と社会基盤施設」と「建築と都市のデザイン」の枠組構成の下で、両コースで学ぶ基本的内容を把握し、都市工学の守備範囲を理解する。さらに、社会情勢の変化に目を向け、選択したコースで必要となる科目を自ら選択履修してゆく学びの姿勢を身に付ける。

都市交通システム学

過度に車に依存した現在の交通政策の問題点を明らかにするとともに、今後進めるべき持続可能な交通政策について概説する。公共交通機関や自転車を活かした街づくりを進めてきたヨーロッパの代表的な都市の事例を紹介し、日本の自動車依存型都市と比較することによって、今後取るべき交通政策について検討する。また、都市の交通システムをどのように整備し、維持・管理すれば交通の効率性や信頼性、安全性、快適性を向上させることができるかを検討するための考え方および手法について学ぶ。

建築環境工学研究室 小島 昌一 准教授

当研究室は居住者にとって健康で快適な住環境や省エネルギーな建築に関する研究を行っています。居住者にとって快適な室内熱環境は、建物自体の様々な工夫や機械・電気的な設備によるエネルギーの効果的な使用により実現されます。したがって、更なる省エネルギーが急務の我が国においては、居住環境の快適性と省エネルギーを両立させる技術の進展がますます重要になっています。当研究室では実際の建物を対象にして、建物の熱的性能とエネルギー消費特性の解析を実測により行っています。これにより建物自体の問題点や空調システムの不具合を検知し、改善策を考案しています。また、放射暖房器を利用した暖房方法について省エネルギーと熱的快適性の観点から研究を行っています。現在主流の温風による暖房には快適性の点で課題が残されているので、放射暖房器の効果的な併用により快適性と省エネルギーの両立を実現する技術の開発を行います。



流域水環境工学研究室

古賀 憲一 教授

水に係る環境問題は、都市用水、農業用水等の水資源や生態系の保全、上下水道施設等の環境保全対策に至るまで広汎に渡るテーマを対象にしなければなりません。人間活動が水環境に及ぼす影響を把握し、かつその影響を可能な限り少なくすることが重要です。当研究室では、主に水質に重点を置いて、河川、海域、湖沼における解析や将来予測モデルの開発などを行っています。

都市計画研究室

外尾 一則 教授

人口減・市街地縮小という成熟期の課題を抱える日本の都市、対照的に人口増・市街地拡大という成長期の問題に直面するアジアの都市。いずれもライフサイクルを軸に持続的成長都市の構築が重要課題であることを物語るものです。本研究室では、成長都市の都市開発環境影響評価、持続的アーバンフォームの解析手法、市民参加型 GIS 支援システム等上記課題に応える研究を行っています。また在籍の多国留学生と日常的な国際交流が実践できる環境です。

環境・構造材料学研究室

石橋 孝治 教授

戦後わが国は大量の社会資本(道路、港湾、ダム等の土木施設と学校、病院等の建築設備)を精力的に整備して来ました。これら構造物も高齢化をむかえ、恒常的にサービスを提供し続けるには維持管理と更新が必要となります。本研究室では、コンクリート構造物の劣化状況の捕捉と診断に必要な劣化メカニズムの解明と技術開発、および新造構造物の長寿命化のための初期欠陥抑制技術と施工法に関する調査研究を行っています。

軟弱地盤工学研究室

柴 錦春 教授

すべての構造物(宇宙ステーション以外)は地盤上に建てています。従って、地盤の状況は我々の生活に密着しています。軟弱地盤上に道路、橋梁と建物を建設する際、地盤改良が必要になります。本研究室は、数値解析、モデル試験と現場データの分析によって軟弱地盤改良技術を研究しています。また、廃棄物最終処分上の建設技術、ジオシンセティックスの応用に関する研究も行っています。

居住環境計画研究室

後藤 隆太郎 准教授

「住まう」ことは建築、都市・地域の基本的かつ重要な要素です。個々の機能や利便性を追求することと同時に、集まって住む形として環境と共生し持続できることが今日の重要な課題となっています。本研究室では、都市や農村地域におけるフィールドワークを重視し、空間的資源の価値及び居住環境のシステムを考究する理論的研究と、より良い居住環境を構築する計画実践的研究を行っています。

アーバンデザイン研究室

三島 伸雄 准教授

人々が生活している地区空間は、単に機能的で安全・安心なだけでなく、それぞれの地域性も反映させながら個性的で魅力的なものであることが求められます。本研究室では、「真実は現地にあり」をモットーとして、主にフィールド調査を中心に、文献調査も絡めながら、都市空間の特質の解明、その特質を生かす計画・設計手法の探究を行っています。歴史的環境などにおける防災計画の立案、まちなか居住プロジェクトなども近年のテーマとして取り組んでいます。

Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

経年鉄筋コンクリート構造物の劣化状況の詳細調査
膜構造物の構造計算法の開発
構造物の地震応答計算法に関する研究
佐賀県の土木遺産に関する調査と評価
築早干拓調整池の水質管理と将来予測に関する研究
筑後川水系の水利用と河川管理に関する研究
パーキングパーミット制度の改善に向けての取り組み
建築環境設計のための教育プログラムに関する研究

海水が浸透する石灰系処理土の劣化に関する研究
感潮河川河岸域でのヨシ群落の生長とその分布特性
全国の高齢者施設の立地特性と防災意識
まちなか空き家改修プロジェクトにおける学習機会
コンクリート構造物の維持管理方法の研究
骨組構造「テンセグリティ」の形態解析
真空圧と載荷荷重を組み合わせた粘性土圧変形特性
生石灰やセメントを混合した有明粘土の強度変化

地震時における地盤の挙動および擁壁の安定性
流域治水に関する総合研究
現代住宅作品にみる「水回り空間」の特徴と変化
肥前浜宿の共助・公助からみた避難経路の研究
佐賀平野の集落の立地環境と住居配置
登り窯跡における若手職人のアトリエの提案
熱環境測定による佐賀市のクールスポット推定
リンを下水から回収する新しい技術開発

教 員 紹 介

石橋 孝治 教授
コンクリート構造工学、地下構造学
井嶋 克志 教授
構造工学、地震工学
大串 浩一郎 教授
水工学、河川工学
清田 勝 教授
交通工学、交通計画学
古賀 憲一 教授
水環境システム工学、総合水管理
柴 錦春 教授
地盤工学、環境地盤工学
丹羽 和彦 教授
建築歴史・意匠
外尾 一則 教授
都市計画学、都市構成論

荒木 宏之^{*} 教授
水環境工学、衛生工学
山西 博幸^{*} 教授
環境工学、応用生態工学
伊藤 幸広 准教授
コンクリート工学、維持管理
帯屋 洋之 准教授
構造解析学、形態解析
小島 昌一 准教授
建築環境工学、建築設備学
後藤 隆太郎 准教授
建築計画、農村計画
坂井 晃 准教授
地盤工学、地盤力学
平瀬 有人 准教授
建築設計、建築デザイン

三島 伸雄 准教授
アーバンデザイン、地区空間計画
日野 剛徳^{*} 准教授
地盤工学、地盤環境学
末次 大輔^{*} 准教授
地盤工学、防災工学
中大津 千晶 准教授
都市・建築環境工学
田口 陽子 講師
建築計画
根上 武仁 助教
地盤工学、環境地盤工学
淵上 貴由樹 助教
建築歴史・意匠
内田 慎哉 助教
コンクリート工学、維持管理

* 印の教員は、低平地沿岸海域研究センター所属で都市工学科の教育にも関わっている教員を示します。



農学部

Faculty of Agriculture

応用生物
科学科

P.102

生物環境
科学科

P.106

生命機能
科学科

P.110



農学の発展を必要とされる時代、 社会のニーズに応える力を習得する。

21世紀は、人類が大量生産・大量消費・大量廃棄型社会から循環型社会へ大転換する時代です。「食料」、「生命」、「環境」、「情報」、「エネルギー」、「地域社会」などどれをとっても、今ほど人類がその重要性を強く意識した時代はないでしょう。そして、これらの課題こそ農学が得意とするところであり、時代は農学の発展を必要としています。

農学は、理系から文系にわたる分野を含む、基礎から応用に

及び総合科学です。農学部には、「食料」、「生命」、「環境」、「情報」、「エネルギー」および「地域社会」を対象とする様々な教育研究分野が揃っています。ミニ総合大学といっても過言ではありません。したがって、農学部の中には皆さんが希望する分野がきっと見つかるはずです。



私たちの暮らし、
地域社会、地球環境。
全てにつながるものが
農学だった。

農学部



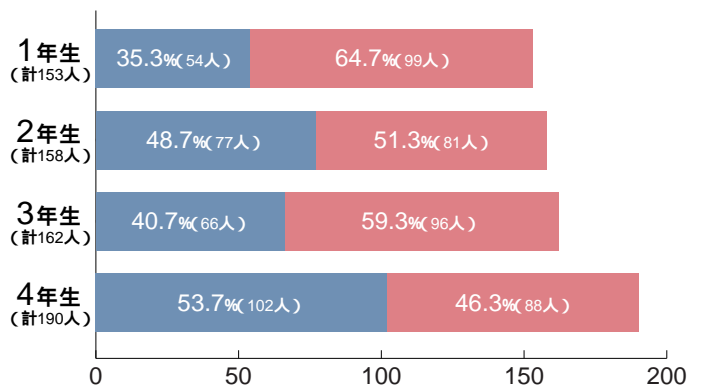
農学部の特徴

新たな教育システムで専門性充実

農学部では、21世紀の社会的要請に応えるために、学科の専門性を明確にし、創造性豊かな専門職業人養成のための新しい教育システムを用意しています。農学部を卒業後、大学院へ進みたい学生諸君には充実した修士課程と、さらに鹿児島大学、琉球大学、佐賀大学からなる連合大学院博士課程へ進学することが可能です。

学年別男女比率(平成24年度)

男 女



Department of Applied Biological Sciences

農学部 応用生物科学科

さまざまな生物機能を理解し
人類の未来を支える
生物資源の応用について学ぶ



ウイルスやカビなどの微生物、園芸植物や薬用・食用植物、また昆虫、線虫や哺乳動物など、さまざまな生物を教育・研究対象としています。教育研究分野についても、遺伝子や細胞のレベルから、個体レベル、さらには生物間相互作用を基本とする生態系レベルまで、幅広い内容の専門教育と研究をおこなっています。フィールドワークや豊富な実験科目が組み込まれたカリキュラムで学ぶことにより、生物機能を幅広く理解し、新しい生物資源の開発や生物保護に応用できる専門知識と先端技術を修得することができます。応用生物科学科では、これらの課程により、将来の地球、また人類の食糧と健康を支える新しい生物資源の開発と利用に携わる能力と知識を持つ専門的職業人を養成することを教育目標としています。



カリキュラムの特色

応用生物科学科は、生物学および化学を基礎科目とし、1年次は植物、動物、微生物などさまざまな生物に関する遺伝学、生理学また生態学の基礎を学びます。2年次から、生物と化学に関連した学生実験科目が始まり、幅広く、基礎的な実験手法を修得します。専門科目は、より高度な分子生物学、微生物学、生態学等の分野について学びます。3年次からは、各研究室に配属され、少人数での分野実験、

指導教員とのマンツーマンでの実験指導やセミナーが始まり、4年次の卒業研究まで一貫した、より専門的で先端的な教育・研究が行なわれます。

充実した大学生生活

私の所属する応用生物科学科では、ウイルスや細菌といったミクロのものから、線虫、昆虫、植物、動物といった非常に広い範囲の生物を研究対象とし、開発と制御という大きく2つの視点から環境問題、食糧問題などの解決を目指しています。

この学科では2年生になるとフィールドセンターでの実習があり、田植えや作物の収穫、ハムやみかんジュース作りなどの様々な作業を協力して行うことで農業の厳しさや楽しさを学べると同時に学科のみんなと仲良くなれます。

大学生活では自分の時間がたくさんあるので、積極的に行動して色々な人と出会い、色々な経験をするのが大切だと思います。私は、2年生の夏休みに1ヵ月間カナダに留学をしたのですが、たくさんの人と出会い、現地で生活をして異文化に触れたことで自分の視野が大きく広がり、その経験が今の大学生活に生かされています。

今後は、様々なことにチャレンジしていろんな経験をし、より充実した大学生活を送っていきたいです。

農学部
応用生物科学科 3年

藤田 美帆

福岡県立宗像高等学校出身



農学部 / 応用生物科学科

Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、卒業時に資格が得られるもの

- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科、農業)
- 家畜人工授精師受験資格

試験に必要な科目の単位を取得し、卒業後の実務経験後、受験資格が得られるもの

- 農業改良普及指導員

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- 佐賀県庁(2名)
- 大分県庁
- 農林水産省 中国四国農政局
- 佐賀大学技術職員(佐賀県)
- 九州大学医学部技術職員
- 糸島市役所
- 佐賀県教育委員会
- 中原種苗(福岡県)
- 佐賀農業組合
- 株式会社ヨコオ
- 佐賀西信用組合
- 佐賀共栄銀行
- 長崎銀行
- 久留米農業共同組合
- 株式会社サンライフ
- 株式会社フジ環境サービス
- 株式会社 JA ビバレッジ
- 株式会社スデリカ
- 株式会社コスモス薬品
- 株式会社スカイゲイト
- 株式会社 NTT ファシリテーターズ九州
- 大分県農業組合
- 林兼産業株式会社
- グリーンライフ産業株式会社
- 佐賀広域消防局
- 鳥栖キユーピー株式会社
- 株式会社フレイン
- 京つけもの 西利
- 株式会社やすや
- 新日本科学株式会社
- 美容師

主な進学先

- 佐賀大学農学研究科(14名)



教 員 紹 介

野瀬 昭博 教授
熱帯作物、光合成制御、CAM植物、炭素代謝

和田 康彦 教授
動物遺伝育種学、ゲノム解析、発現解析

山中 賢一 准教授
動物繁殖学、発生工学、生殖細胞

石丸 幹二 教授
植物二次代謝、ポリフェノール、発酵茶

一色 司郎 教授
ナス、雄性不稔、野生種

穴井 豊昭 准教授
植物育種学、植物分子生物学、植物生理学

大島 一里 教授
植物病理学、植物ウイルス病学、分子進化

早川 洋一 教授
昆虫、タンパク質、遺伝子

野間口真太郎 教授
行動生態学

徳田 誠 准教授
システム生態学、応用昆虫学、生物間相互作用

吉賀 豊司 准教授
線虫学、寄生虫、害虫防除

草場 基章 准教授
植物病理学、カビ、ゲノム

卒業単位	卒業論文
126	必修

1年次	2年次	3年次	4年次
-----	-----	-----	-----

教養教育科目

全学教育科目

専門科目

生物学 化学 作物生産学 動物資源開発学 生物化学 植物生理学 遺伝学 生物統計学 熱帯農業論 応用動物昆虫学	土壌学 植物病理学Ⅰ 植物育種学 線虫学 動物行動生態学 システム生態学 果樹園芸学 食料流通経済学 蔬菜園芸学 フィールド科学基礎実習Ⅰ フィールド科学基礎実習Ⅱ	植物病原学 昆虫学 動物繁殖生理学 熱帯作物改良学 植物工学 生物学実験 応用生物学実験 応用化学実験	植物発生生理学 植物分子遺伝学 植物生態生理学 動物遺伝育種学 動物生体生理学 観賞園芸学 植物病理学Ⅱ 動物生産管理学 食用作物学 熱帯有用植物学 農業政策論	経営資源管理学 科学英語 生物科学英語 生物情報処理演習 各研究分野実験	飼料資源学 植物栄養学 卒業研究
--	--	--	--	--	------------------------

注目の授業・講義

熱帯農業論

熱帯の殆どが発展途上国と呼ばれる国々で、伝統的な自給型農業と先進国の大資本による企業の農業が行われ、それぞれに固有の問題を持っています。本講では自給的農業の生産性向上に対する環境及び社会的阻害要因の解析とその改善策、さらには熱帯・亜熱帯及び乾燥地域における植物生産の特徴について解説します。

動物遺伝育種学

脊椎動物を材料に現代遺伝学と分子生物学の基礎をマスターするとともに、それらの応用としての遺伝子工学や家畜育種等の技術の概要を理解します。具体的には、遺伝子とDNA、遺伝子工学とゲノム解析、家系分析、連鎖と組換え、分子進化と系統樹、動物の進化と遺伝子の進化、量的形質の遺伝学、家畜の遺伝能力評価法、我が国における家畜育種の体制、家畜におけるゲノム解析などを講義します。

動物行動生態学

動物は、自分のおかれた環境の中で、捕食、防衛、繁殖等に関する様々な情報を取り込み、内部でそれを整理し、外界への反応としての行動を返していきます。そのインプットからアウトプットへのプロセスは、長い進化の過程で、適応的なものになるように調整されてきました。ここでは様々な動物（時には植物、菌類、原生動物、バクテリア、ウイルスも含めて）において、進化の結果として獲得された適応的行動のメカニズムと機能について学びます。

植物生理学

植物が持っている特徴的な生理機能について解説します。植物は動けないことから、さまざまな環境ストレスに対してすべて代謝物で応答しています。植物が地球上で生きていくために進化してきた形態、組織の構造、また細胞の機能（水の吸収・移動、光合成やさまざまな二次代謝物生産）について、古典的な植物個体レベルの実験の紹介から、最近の分子生物学分野における細胞・遺伝子レベルの研究データをもとに講義します。

蔬菜園芸学

蔬菜は他の農作物とは異なり、種類が多く、新鮮な状態で利用されるので、常に供給されなければなりません。生産に当たっては集約的な管理が必要となります。本講では、以上のような特性をもつ蔬菜の種類、育種、繁殖および栽培の基礎について解説します。さらに、このような蔬菜の種類について、どの科に属するかを示し、また、各科の蔬菜ごとに育て方、品種の種類、有用成分、果別の生産量、作型、起原についても紹介します。蔬菜全般について学びます。

動物繁殖生理学

生物が連続して生き続けるためには、生殖によって寿命を新しい個体に引き継ぐことが必要です。この生命の連続性を理解するために、動物の生殖に関係する器官の構造と機能、ならびに性成熟、受精、妊娠といった生殖に関わる諸現象の仕組みについて概説します。また、本分野において集積された知識を利用して開発された繁殖技術は、産業動物の効率的な生産からヒトの不妊治療まで広く応用されており、それらの技術の原理や今後の課題についても紹介します。

線虫学

地球上の様々な場所に生息する動物「線虫」。この非常に小さい動物について、その種類や身体づくり、生理・生態などの基礎的なことから、植物寄生性線虫の防除や線虫を使った応用研究や有効利用について学びます。

昆虫学

記載種だけでも80万種、ヒト1人に対して数億匹が現存すると言われる昆虫は、地上に進出した動物の中で最も繁栄を遂げている生物と言えます。そうした昆虫の起源、形態、行動や生理について基本的知識を講義した上で、最後に最新の昆虫分子生物学的研究知見を紹介します。これらの講義を通して、昆虫に興味を抱いてもらうことが本講義の第一の目標と言えます。その上で、公務員専門試験の「昆虫学」で出題される試験問題が解ける程度の知識を付与することも目標の一つと言えます。

遺伝学

生物の様々な特徴を決定している遺伝子について、その分子メカニズムから個体、集団の中での動きについての講義です。具体的には、DNAの構造や複製・転写・翻訳、あるいはこれらの調節機構や形質発現機構といった、分子遺伝学的内容から様々な形質に関与する遺伝子の個体レベルでの遺伝様式に基づいた連鎖分析、特定の家系や集団の中での遺伝子の動き等についても学びます。

システム生態学

生態系における生物同士の相互作用や生物の生存戦略について理解することを目的とし、植物・植食者間相互作用、寄生・寄生者間相互作用、動物と微生物の共生、生物同士の間接的な相互作用や共進化、生物多様性と生態系機能について最新の知見を学びます。また、授業時に小レポート課題を提示し、生物間相互作用に関する諸課題を解明するための調査手法や仮説の検証法の考案、結果の妥当性の解釈や考察を通して、論理的な思考力や問題解決能力を養います。

植物病理学

植物病理学は、微生物学の基礎から病気の予防・防除まで幅広い分野を含む総合的な学問です。農作物などの有用植物を対象とし、菌類、細菌、ウイルスなど多様な病原体と植物とのかかわりを研究することによって、病気による被害を防ぐことを可能とします。病理学の歴史、感染と発病、糸状菌病、細菌病・ファイトプラズマ病、ウイルス病・ウイロイド病、病気の伝染、病気の診断、病害の防除、さらには植物病理学におけるバイオサイエンスについて、病原体の制御に資する基本的な概念を学びます。

植物病原学

植物の病気はカビやバクテリアによる感染症が主になります。我々が病気にかかるのと医師はまず診断、その病気が何によって引き起こされるのか原因を突き止めること、できるように、植物を病気から守るためにも、病気の診断は重要になります。このような診断技術の基礎的知識を得るために、植物病原学では植物病原性の種を中心にカビやバクテリアの分類を学習します。また、重要な病気についてはその見分け方や防除法についても解説し、より実践的な知識の獲得を目指します。

熱帯作物改良学研究室 野瀬 昭博 教授 専攻/熱帯作物、光合成、炭素代謝

地球温暖化にともない地球規模での砂漠の拡大が懸念されています。土地の砂漠化は、まず乾燥に伴う土壌への塩化ナトリウム等の塩が集積し植物が生育できなくなり、その後には砂漠が形成されるというプロセスを経て生じます。サボテンやアイスプラントなどのCAM植物は、乾燥や塩類集積土壌でも生育できる植物で、特にアイスプラントは土壌から塩化ナトリウム等の塩を積極的に吸収・蓄積することができます。当研究室では、アイスプラントの塩類吸収・蓄積能力を活用した塩類修復技術の開発と塩類吸収・蓄積のメカニズムを分子生物学のレベルから生態学的レベルにわたって研究を実施しています。また、アイスプラントは野菜としても利用することができるために食品としての研究開発も行っています。さらに、同様な手法を用いて地球温暖化に伴い拡大が懸念されるイネの紋枯病抵抗性品種の育成と耐病性メカニズムの研究も実施しています。



動物資源開発学研究室

和田 康彦 教授

本研究室では、最先端の学術理論と科学技術を用いて、人間社会に役に立つ動物の開発と増殖についての研究を行うとともに、人間社会に役に立つ動物の開発と増殖に関わる業務に従事できる人材を養成することを目的としています。なお、動物遺伝育種学部門では、現在、ブタの白血球表面抗原遺伝子や核内受容体遺伝子の発現解析、鳥骨鶏特異的 DNA 領域の探索、佐賀牛における脂肪交雑原因遺伝子の探索などの研究を実施しています。

動物資源開発学研究室

山中 賢一 准教授

私たちが消費する大量の乳製品や食肉を安定的かつ安価に得るためには、ウシやブタといった産業動物をいかに効率的に増やすかということが非常に重要となります。私たちの研究室では、主に卵子や精子といった生殖細胞を用いた実験を通して、効率的に子供を生産する技術の開発に取り組んでいます。また、これらの研究から得られた知識や技術は、ヒトの不妊治療にも応用することができ、食糧生産だけでなく医学分野への貢献も視野に入れた研究を行っています。

蔬菜花卉園芸学研究室

一色 一郎 教授

野菜および花の品種改良ならびに効率的な繁殖技術の開発を目指した教育と研究を行います。主なテーマは、野菜および花の遺伝分析、ゲノム解析、細胞質置換、系統分類がありますが、現在、特に、ナスに関する細胞質雄性不稔性の研究に力点を置いています。野生種を種子親、ナス栽培種を花粉親とし、連続戻し交雑を行うことによって、細胞質雄性不稔性をもったナスができます。これを研究することで、ナスにおいて細胞質と核の関係などを探ることができます。

植物遺伝育種学研究室

六井 豊昭 准教授

我々の研究室では、効率的な作物(ダイズやイネ等)の品種改良を実現するための技術について研究を行っています。特に近年力を入れて研究を進めているのは、特定の標的遺伝子に突然変異を生じた植物を素早く探し出す方法で、逆遺伝学と呼ばれるアプローチです。この方法を使うと、ゲノム塩基配列情報が明らかになっている植物種であれば、思い通りの遺伝子についての突然変異体を作り出し、作物の改良に使用することが出来ます。

植物代謝解析学研究室

石丸 幹二 教授

植物成分の探索、新しい有用成分の構造解析とその生理機能について研究しています。化学構造の解析には、最先端の分析機器を活用するとともに、組織培養や遺伝子導入等のバイオテクノロジーを利用して、特定成分の生産制御も検討しています。また、食品や医薬分野で応用が期待される成分については、新しい加工法(生物発酵、物理的加熱、また化学合成等)を開発しています。最近、微生物発酵から、抗メタボリックシンドローム活性を有する新規カテキン代謝成分を発見し、特許を取得しました。

動物行動生態学研究室

野間口 眞太郎 教授

無脊椎動物や魚において、親が子の保育をする種が少数ですが知られています。どのような条件が保育行動の進化につながったのでしょうか?また、動物の群れの中には、先導的な個体や、臆病な個体があります。このような他と少し違った個体は、群れの中でどのような役割を果たしているのでしょうか?このような動物行動への疑問を解く研究を進めたいながら、農地環境に生息する身近な動物の行動・生態を調べることで、日本の農地や山林が果たしてきた野生生物環境としての重要性も明らかにしていきます。

植物ウイルス病制御学研究室

大島 一里 教授

植物ウイルスは農作物に甚大な被害を与えています。研究室では、植物に病気を引き起こすウイルスを対象に研究しています。中でも世界で最も大きな被害を与えている昆虫伝播性のウイルス、さらにアブラナ科やナス科植物に被害を与えているウイルスについて、植物病理学を基礎・基盤として分子進化学、生態学、疫学、集団遺伝学、さらにバイオインフォマティクスを融合させ研究しています。またウイルスと植物の相互作用についても最先端の技術を用いて研究しています。

植物病制御学

草場 基章 准教授

これまで、多くの農作物で病気に強い品種(抵抗性品種)が作られてきました。一方、このような抵抗性品種を長期間栽培すると、病原体に突然変異が起こり、抵抗性品種に感染できるものが出現します。植物病原菌の病原性変異がどのようにして起こるのかを突き止めれば、病原菌の変異に対して安定した抵抗性品種を作ることができます。私の研究室では日本で最も重要な作物であるイネに病気を起こすイネもち病菌を中心に、病原性変異の原因となる遺伝子の同定・そして変異機構の解明を目指した研究をしています。

システム生態学研究室

徳田 誠 准教授

植物と昆虫を中心とする生物同士の相互作用について研究しています。生物の特徴がどのように進化してきたのか、環境に適応する上でのような意義があるのかを解明し、生物多様性を産み出すメカニズムを明らかにする研究に取り組んでいます。また、地球温暖化などの環境変動が生物に及ぼす影響、害虫による被害を防ぐ方法、生物の大発生や絶滅が生じる原因などについても研究を進めています。遺伝子から生態系まで、様々なレベルで研究を進めています。

線虫学研究室

吉賀 豊司 准教授

線虫は、地球上の様々な環境に適応した、最も繁栄している動物の一つです。微生物を摂食するものから動植物に寄生する種まで、多種多様な生活史を持ちます。私たちは、特に昆虫や植物に寄生する線虫の宿主探索機構の解明ならびに、線虫と共生・寄生関係をもつ微生物との相互作用の研究を中心に行っています。

昆虫学研究室

早川 洋一 教授

昆虫は私達人間よりも遙か昔に地球に現れ、現時点でも生態的に地上で最も繁栄している動物と言えます。彼らはこれまでも、そして現在も、様々な環境ストレスに抗して生き抜く為に行動や生理レベルで優れた調節能力を駆使しています。当研究室では、そうした昆虫が持つ潜在能力を分子(主に、タンパク質や遺伝子)レベルで明らかにする為の研究を行っています。こうした基礎的昆虫分子生物学的研究は、農業害虫の制御や有用昆虫の保護、さらには、基礎医学的な分野においても貢献できるものと期待できます。

Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

- アイスプラントの塩化ナトリウム吸収特性に関する研究
- 炭素代謝特性からみたイネ紋枯病抵抗性メカニズムの研究
- カンキツ近縁属の分子分類
- 果実の機能性成分の分析法の開発
- 中国産発酵茶の機能性成分
- 微生物発酵茶の新規カテキン代謝物
- ナスの種なしを作るための研究
- ツチカメムシ類等の昆虫類における保育行動の生態・進化的研究

- ブタの免疫関連遺伝子についての研究
- 高品質な受精卵の生産技術開発
- 昆虫による植物形態操作のメカニズム解明
- 植物・植物食昆虫間のアリを介した間接的な相互作用の検出と解析
- 寄生性線虫の宿主探索行動の解析
- 線虫に寄生する病原体の探索
- 昆虫の食欲を調節する遺伝子の研究
- 突然変異遺伝子を利用したダイズ開花期の制御

- ダイズ種子の糖含量を制御する遺伝子についての研究
- 植物ウイルスの分子進化と分子生態学に関する研究
- 植物ウイルスと宿主植物との相互作用に関する研究
- 植物病原原状菌の病原性変異の研究
- 植物病原原状菌の病原性関連遺伝子の単離
- シチメンソウの遺伝子を導入して耐塩性コムギを創る
- 柔らかいトゲのバラは創れないか?

生物環境科学科

科学的合理性や科学的論理に基づいて
判断し問題解決に取り組む
人間理解に立った良い人間関係の形成、
協調・協働した行動
社会生活で守るべき規範を順守し、
自己の能力を社会の健全な発展に寄与する姿勢



環境保全と持続的食料生産の為に技術開発及び資源循環型地域社会の構築を担う人材の育成を目指して教育を行う。生物環境保全学コースでは、地球・生物・人の調和を図り、環境に負荷の少ない生物生産環境の創出・保全と豊かな生活空間の創造に関する教育研究を行う。資源循環生産学コースでは、農業における資源、エネルギー、環境などの課題に取り組み、高度な生物生産システムに関する教育研究を行う。地域社会開発学コースでは、持続可能な循環型社会の構築を目指し、国際的視野で民族、地域資源、人類生態、環境社会、農林水産業に関わる地域ビジネス開発に関する教育研究を行う。生物環境科学科では、これらの課程により、将来の地球、また人類の食糧と健康を支える能力と知識を持つ専門的職業人を養成することを教育目標とする。



カリキュラムの特色

生物環境科学科は、農学分野の基礎的な知識・技術を体系的に身に付けるために専門基礎科目(数学、物理学、生物学、化学)と農学基礎科目(作物生産学、動物資源開発学、生物化学、土壌学、食料流通経済学)を1~2年次に配置。農学分野における課題発見と解決能力の修得の為に、情報収集・分析力、研究技能と研究マインド、リーダーシップを発揮する指導力などの要請に関する講義科目、実験・演習科目及び卒業研究を専門科目として配置する。生物環境科学に関する専門的な知識、技術を修得し、農学に関わる業務を遂行する職業人としての実践能力を

養うために、専門科目と実験科目、演習科目を体系的に配置する。社会との関わりを理解し、持続的な自己実現を図るための能力、習慣を身に付けるために、専門科目として演習やインターンシップを配置する。さらに、卒業研究修了まで専門的な研究環境を長期間経験することにより、学士(農学)として十分な専門知識と先端技術を修得するとともに、研究チームの一員としての協調性、高い倫理観と豊かな人間性を養う専門科目(各研究分野実験、卒業研究)を配置する。

スケールの大きい学科です!!

私が所属している生物環境科学科は、一言でいうとスケールの大きい学科です。取り扱う対象は、「生物環境」とあるように、人間、植物、動物、微生物など考えられる全ての「生物」と、それらを取り巻く「環境」はもちろんの事、さらに分子レベルから社会学まで幅広いものとなっています。またこの学科は、屋外活動が他学科より比較的多いのも特徴で、2年生からは郊外にあるフィールドセンターで様々な農業体験を行います。簡単に見えても難しい作業ばかりで、農家の方の技術が高い事を実感します。学生はほとんど初心者ばかりですが、難しい作業でも助け合いながら毎回賑やかな実習になっています。

私は、人の手によって自然環境を創り出す「ビオトープ管理士」に興味があって、環境や生物に様々な角度からアプローチすることの学科は、自分にとても合っているなと思います。学科内は、やりたい事、興味関心等が似たもの同士の集まりなので、色々な事を相談したり、協力し合える友人も沢山できます。また、先生方や先輩方とも交流できて、分からない事があっても安心して大学生活を送れます。

佐賀大学は、真面目な大学だと思います。ですが、農学部生物環境科学科は真面目だけでなく、個性的で楽しい人達ばかりですから、刺激されること間違いなしですよ。ぜひ一度佐賀大学農学部へ見学にお越しください。

農学部
生物環境科学科 2年

中村 聡美

福岡県 祐誠高等学校出身



農学部 / 生物環境科学科

Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、
卒業時に資格が得られるもの

- | | |
|-----------------|--------------|
| 中学校教諭一種免許状(理科) | 家畜人工授精師受験資格 |
| 高等学校教諭一種免許状(理科) | 土木施工管理技士受験資格 |
| 高等学校教諭一種免許状(農業) | |

試験に必要な科目の単位を取得し
卒業後の実務経験後、受験資格が得られるもの

- | | |
|-----------|----------|
| 農業改良普及指導員 | 測量士補・測量士 |
|-----------|----------|

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- | | |
|---------------|----------------------|
| ● 佐賀県庁(2名) | ● (医)小池病院 |
| ● 福岡県庁 | ● 有明スカイパークふれあい郷 |
| ● 福岡市役所 | ● 日本放送協会(NHK) |
| ● 八女市役所 | ● (株)毎日コミュニケーションズ |
| ● 那珂川町役場 | ● (株)エムエムデー |
| ● 佐賀県警 | ● (株)森永乳業 |
| ● 岡山県警 | ● (株)コカ・コーラウエストプロダクト |
| ● 神奈川県警 | ● (株)ジャパンフーズ |
| ● 佐賀県教育委員会中学校 | ● (株)日本配合飼料 |
| ● 八女地区消防職 | ● (株)久光製薬 |
| ● JA 佐賀(4人) | ● (株)アース環境サービス |
| ● JA 福岡中央会 | ● (株)三菱電機住環境システムズ |
| ● JA 天草 | ● (株)佐電工 |
| ● JA 鹿本 | ● (株)タマホーム |
| ● (医)聖マリア病院 | |

主な進学先

- | | |
|---------------------|--------------------|
| ● 佐賀大学農学研究科(14名) | ● 筑波大学大学院生命環境科学研究科 |
| ● 佐賀大学大学院医学系研究科(2名) | ● 琉球大学大学院農学研究科 |
| ● 熊本大学大学院医学教育部 | |



卒業単位	卒業論文
126	必修

1年次	2年次	3年次	4年次
-----	-----	-----	-----

教養教育科目

全学教育科目

生物環境保全学コース

資源循環生産学コース

地域社会開発学コース

数学
物理学
化学
生物学
作物生産学
動物資源開発学
生物化学
生物環境保全学概説
資源循環生産学概説
地域社会開発学概説
生産情報処理学Ⅰ

土壌学
実験生物環境保全学
植物栄養学
環境汚染化学
環境基礎解析学
食料流通経済学
実験水気圏環境学
地球環境学
土壌環境科学
水環境学
など

地盤環境学
測地学Ⅰ
測地学演習Ⅰ
環境水理学Ⅰ
環境水理学演習Ⅰ
インターンシップⅠ
環境植物学
現代環境学
環境浄化生物学
干潟環境学
など

生物環境保全学演習
卒業研究

土壌学
栽培環境制御学
生物科学実験実習
生産情報処理学Ⅱ
食料流通経済学
農業生産機械学
環境保全型農業論
植物遺伝資源学
農産食品流通貯蔵学
フィールド科学基礎実習Ⅰ
など

農業資源物質工学
植物生態生理学
土壌微生物学
動物生産管理学
設計・製図学
生産エンジニアリング
フィールド科学総合実習
雑草学
飼料資源学
生物物理化学
など

生物有機化学
遺伝子工学
分子細胞生物学
各研究分野演習
卒業研究

国際環境農業論
食料流通経済学
経営資源管理学
地域ビジネス開発論
地域資源論Ⅰ
人類生態学
観光人類学
環境地理学
土壌学
フィールドワーク基礎演習
など

環境保全型農業
アジア比較農業論
国際地域開発論
生態人類学
食料市場論
アジア開発教育論
農業会計学
社会統計学
アジアフィールドワーク
インターンシップⅠ・Ⅱ
など

卒業研究

注目の授業・講義

水環境学

地球上には膨大な量の水が存在しているが、人間が容易に利用可能な河川水や湖沼水などの淡水の割合はわずかである。水は人々の生活および食料生産において欠かせない貴重な資源といえる。本講義では、生活に潤いと安らぎをもたらす、生態系にも配慮した水環境保全のあり方について考え、①水循環、②水資源、③水質の基礎、④水質汚濁、⑤水質浄化、⑥日本の水環境、⑦農業と水、⑧水田の水環境、⑨水環境保全などについて学ぶ。

土壌学

地球の大きさからすると、土壌はリングに付いた手垢のように薄い。しかし、地球上のほぼ全ての生物をかくむかけがえのない存在だ。実は人類は、土壌を劣化荒廃させる歴史を繰り返してきたのであって、持続的な社会を作るには、土壌の持続的な利用が欠かせない。授業では、土壌の持つ養分保持力や環境調節効果などの巧妙な仕組みや土壌微生物の働きについて分かりやすく解説し、作物生産の増進や環境保全に関わる土壌の役割について考える。

環境汚染化学

化学物質は我々の豊かな生活に貢献する一方で、さまざまな環境汚染問題を引き起こしてきた。環境を汚染しやすい物質の性質やその毒性、それらを使うヒトの考え方などについて、事例を紹介すると共に環境化学的な視点から解説していく。化学物質の効果(薬)と汚染(毒)は諸刃の剣であり、バランスとった上手な利用が重要であることを詳説する。①汚染物質とはなにか、②環境汚染の歴史、③化学物質と食品安全評価、④洗剤と環境問題、など

食料流通経済学

日本の農業を巡る国際的な市場環境、戦後の日本経済の発展に果たした農業の役割、戦後の食料消費の動向とその特徴などを平易に説明した後、国内産の米、野菜、果実、畜産物、工芸作物等の国内流通の現状、さらに、食品製造業、食品流通業、小売業による経済活動の実態を説明する。国民の豊かな生活と農業・農村の関連性について学ぶ。

栽培環境制御学

農業の技術革新が発生するたびに地球上の人口は大幅に増加してきた。この講義では、農業の歴史的展開と私たちが直面している食料生産の現状を理解し、限られた環境下で効率的に食料を生産するために必要となる農業技術として、施設園芸を中心とした環境制御の考え方と方法を学ぶ。具体的には、光環境、温湿度、及びガス組成を対象とした環境制御、養液栽培の基礎と応用(土耕栽培から野菜工場)、地域特有のエネルギー利用等を取り上げる。

観光人類学

この授業は、観光をめぐる開発と環境保全、伝統的な社会の変化の問題などを社会文化的側面と地域振興の側面における問題意識および、地域社会(特に農村地域)の持続可能な発展などについて理解を深める。
①講義のガイダンス、②観光人類学とは何か、③諸観光の概念・グリーンツーリズムとエコツーリズムを中心に、④観光における人類学・観光人類学からみた伝統的な地域資源の利用について、⑤観光=開発と持続可能性の問題、⑥事例考察・観光人類学における韓国と日本の比較などについて学ぶ。

生産システム情報学

北垣 浩志 准教授
専攻/酵母、育種、酒類、醸造、ミトコンドリア

生産システム情報学分野研究室は農産資源を活かした新しい産業や雇用を創出するための研究開発を行い、また研究開発を通じて学生の教育に活かすことを目指しています。たとえば、近年焼酎の製造量の増大に伴いその発酵物である焼酎粕の量が増えておりその高付加価値化が求められています。当研究室では焼酎粕から保湿効果のある成分であるスフィンゴ脂質が高濃度で含まれていることを初めて発見し、伝統微生物である麹菌がスフィンゴ脂質を生産することも明らかにしました。この成果は焼酎粕や伝統微生物である麹菌を活用した化粧品や機能性食品の開発に道を開くものです。この研究は佐賀ビジネスプランコンテストで研究室の学生たちが最優秀賞グランプリを受賞し、学生たちも全国的なメディアに多く取り上げられると同時に、NHKの全国版の放送でも紹介されました。



地圏環境学研究室

長 裕幸 教授

農地における植物の生育は、土壌中の水分や養分の吸収の上に成り立っています。では、その水分や養分はどこからやって来てどこに行っているのでしょうか。本研究室では、このような農地における土壌中の水分や養分の循環を最新の測定法を用いて観測し、シミュレーションを行って再現し、適切な管理法の提案を行っています。対象地域は国内のみならず海外に及び、乾燥地域の沙漠化と塩害対策は、重要なテーマとなっています。

浅海干潟環境学研究室

郡山 益実 准教授

有明海にはたくさんの干潟が残っています。干潟は毎日潮の満ち干きに応じて水没と干出を繰り返す場所であり、特有の生態系が形成されています。また、干潟はめずらしい生物の宝庫であると同時に、いろいろな機能を併せ持つ場所でもあります。私たちの研究室では、干潟の環境と機能について教育・研究しており、現在は、(1) 有明海(海)と干潟底泥中の栄養物質循環、(2) 干潟に住む生物(ベントス)の生息分布と活動状況、(3) 生物(ベントス)活動が干潟の環境に及ぼす影響などに関する研究を行っています。

作物生態生理学研究室

有馬 進 教授・鈴木 章弘 准教授

植物の発育生理と生存戦略ならびに農作物の生産生態を解析し、得られた成果により、安全で多収糧を可能とする作物栽培理論の構築及び品種開発に関する教育研究を行う。特に、化学肥料(窒素)の多用で世界的に問題化している環境汚染の解決を目的に、マメ科植物と根粒菌における共生窒素固定メカニズムならび遺伝情報の解析に基づいて、ダイズなどのマメ科作物における根粒の窒素固定能力を高め、その栽培利用ならびに減化学肥料による環境保全型農業の確立に貢献する。

資源循環フィールド科学研究室

尾野 喜孝 教授・上埜 喜八 准教授・駒井 史訓 准教授・堀元 栄枝 助教

附属資源循環フィールド科学教育研究センターで作物、野菜、花卉、果樹、家畜の育て方の理論と実際について総合的に研究を行う。植物に関する研究では環境保全型農業による作物の高品質・安定栽培技術の開発(上埜)、有機栽培における作物生産と雑草防除技術の開発(堀元)、バイオテクノロジーを活用した新しい植物遺伝資源の開発(駒井)を行っている。畜産に関する研究では家畜と人間の共生のあり方、家畜のセラピー利用および有用未利用資源の家畜飼料化に関する研究を行っている(尾野)。

地域ビジネス開発学研究室

白武 義治 教授・辻 一成 准教授

日本や東・東南アジアなどを中心に世界の食料・農業・農村に関する経済的側面の問題を取り上げ、それらの解決と持続的な開発や発展の方法について教育・研究する研究室です。フィールドワーク(現地調査)が好きで地域資源の循環システムや農工商連携の構築を担う農業者の実践やその支援組織の役割に関心がある人におススメの研究室です。

人類生態学研究室

稲岡 司 教授・藤村 美穂 准教授

日本の地域社会の環境や自然にかかわる諸問題、途上国の開発に伴う環境・健康問題について、生物人類学・社会学・民俗学的手法を用いたフィールドワークを基にして調査研究します。具体的には地域社会の価値や技術、環境管理システムや環境政策のあり方、ヒトの生物学的特性等を検討することにより、環境・健康問題の本質である環境変化に対するヒト及び地域社会の対応と変化を明らかにします。現在研究室では、日本やアジアの山村の地域資源管理、バングラデシュの地下水砒素汚染問題やラオス農村の健康問題等のテーマについて主に取り組んでいます。

Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

マイクロコロー蛍光染色法および培養法による農業用水中の大腸菌O157およびサルモネラの分布調査
クリンカアッシュによる富栄養化クリークの水質改善の適用性について
乾燥地畑地圃場における蒸発散フラックスの解析
有明海奥部底泥におけるアンモニアの生成速度ポテンシャル
ホルタル再生のための水環境保全に関する研究
九州北部・南部地方における降水特性の長期変動について
ガリウム、ゲルマニウムおよびビスマスに対するリソフラスの吸収特性と生育応答

東日本大震災被災地で採取された二枚貝類中 PCBs 濃度の時系列的変動
メタン発酵消化液を用いた水稲栽培における肥培かんがいの効果・肥料成分の分布
SEN1 遺伝子によるマメ科植物の窒素固定能向上に関する研究
ユリの花粉からの細胞単離技術の開発
アスパラガスの実生とカルスをを用いたアレロパシ活性の雌雄相互作用
清酒醸造過程における酵母ミトファジーの役割の解明
裸麦の硝子質分布に関する研究
有機質肥料がダイズの生育と収量に及ぼす影響

サツマイモ栽培における株間の違いが雑草抑制と収量に及ぼす影響
都市近郊農村における農業経営規模拡大と地域社会
小城市三日月町久米集落N農産を事例に
市民協働によるまちづくり 長崎県平戸市崎方町における町なみ環境整備事業を事例に
災害復興と農業の再生 南鳥原市深江町大野木場地区を事例に
一村一品運動のその後 大分県日田地区を事例に
佐賀市近郊のバラ農家における生産とマーケティング戦略
色彩やファッションの流行はどれほど意識されているのか

教 員 紹 介

長 裕幸 教授
Preferential flow, TDR, 水分移動, 溶質移動
原口 智和 准教授
水質負荷, 近赤外線画像, 灌漑, 長短波放射
近藤 文義 准教授
粘土, 沈降, 圧密, リモートセンシング, 土壌調査
宮本 英揮 准教授
物質循環, 農地環境制御, モニタリング, 物質移動シミュレーション, 粘質土
井上 興一 教授
水耕栽培, 高機能性野菜, 含鉄資材, 深層中和, トレーサビリティ
上野 大介 講師
環境汚染, 人体汚染, 有機化学物質, 化学分析
染谷 孝 准教授
土壌微生物, 蛍光染色法, FISH, 土壌浄化, 水浄化
廣間 達夫 教授
タイヤ, 走行解析, 発熱植物, 体温制御機構
稲葉 繁樹 准教授
ゴム履帯, 走行解析, 情報, 生産管理データベース, 画像処理

北垣 浩志 准教授
酵母, 育種, 酒類, 醸造, ミトコンドリア
田中 宗浩 准教授
廃棄バイオマス, 液肥, 近赤外分光分析法, 流通貯蔵
有馬 進 教授
農作物, 栽培技術, 水生植物, 根系, 農業環境
鈴木 章弘 准教授
共生窒素固定, 根粒形成, 遺伝子組み換え植物, 遺伝子発現, 根粒菌
尾野 喜孝 教授
家畜, 筋肉, 食肉生産, 循環型農業, 動物福祉
上埜 喜八 准教授
循環型農業, 雑草, 発芽, イネ, ムギ
駒井 史訓 准教授
アレロパシ, 園芸作物, 雌雄異株植物, 新品種開発, 有機農業
堀元 栄枝 助教
循環型農業, 雑草, 発芽, イネ, ムギ
白武 義治 教授
農産物市場, 食品加工業, 地域物流流通, 農協共販

辻 一成 准教授
農業の組織と管理, 経営の持続的成長, 経営者機能, ベトナム
李 應喆 講師
地域資源, 生業活動, 人, アメニティ, 地域活性化
稲岡 司 教授
オセアニア, 東南アジア, 開発途上国, 環境問題, 健康問題
藤村 美穂 准教授
地域資源, コモンズ, 山村, ローカリティ
五十嵐 勉 准教授
郡山 益実 准教授
* 全学教育機構の教員であるが、本学科で卒業研究等を担当しています。

生命機能科学科

- ・生命現象を分子レベルで解明
- ・生物資源がもつ特異的な機能を開発・利用
- ・生命科学を理解し科学的に思考できる人材の育成



様々な生物の生命現象を探求し、その研究成果に基づいて、有用な生物機能の開発や生物資源の利用に関する教育と研究を行う。ダイナミックな生命現象や多様な生物資源の構造と機能を、生物化学を基礎に、実験によって明らかにしていくという過程を通して、生命科学について基本的な理解を深め、科学的に思考できる人材、社会の要請にかなう人材の育成を目的としている。教育目的を達成するために 1 ~ 3 の教育目標を定める。

教育目標

- 1 幅広い教養に裏打ちされた広範な視野をもつ人材を育成する。
- 2 生命現象を探求し、生物機能・生物資源を開発・利用するために必要な、基礎から応用に至る化学的な教養および実践的な研究能力を身につけさせる。
- 3 情報を収集する能力、計画を作成する能力、結果を集約し解析する能力、プレゼンテーションを行う能力を身につけさせる。

カリキュラムの特色

生命機能科学科では、様々な生物の生命現象を探求し、その研究結果に基づいて、有用な生物機能の開発や生物資源の利用に関する教育・研究を行っています。

学生は、1年次に幅広い教養に裏打ちされた広範な視野を育みます。

その後2・3年次に、生命現象を探求し、生物機能・生物資源を開発・利用するために必要な、基礎から応用に至る化学的な教養及び実践的な研究能力を身につけます。

4年次では教員指導の下に卒業研究を行い、情報を収

集する能力、計画を作成する能力、結果を集約し解析する能力、プレゼンテーションを行う能力を身につけます。

たくさんの人と関わり、 技術や考え方を身につけた

私は農学部生命機能科学科に所属しており、生体内の化学反応や食品成分の機能性などについて学んでいます。私たちの学科の魅力は、2年後期から3年前期にかけて行われる学生実験だと思います。化学実験、微生物学実験、生化学実験などが行われます。時には失敗することもあります。先生方がサポートしてくれたり、班の仲間が協力してくれたりしますし、実験を通して学科の皆とよりいっそう仲を深めることができます。実験は午後毎日行われ、実験テーマごとにレポートも課されるので、実験時期はとても忙しいですが、1つ1つの実験を終えた時は、達成感を味わえますよ。

大学での勉強は、ただ専門的の語句や計算法を覚えるのではなく、内容をきちんと理解し、内容にどれだけ興味関心を持って自主的に勉強するかが大切です。また、私は勉強だけでなくサッカーサークルやボランティア活動もしており、様々な人と関わり、充実した大学生を送っています。

農学部
生命機能科学科 3年

渡邊 美奈

大分県立大分上野丘高等学校出身



農学部 / 生命機能科学科

Pick Up!! 取得可能な免許・資格

所定の単位を取得することにより、
卒業時に資格が得られるもの

- | | |
|-----------------|---------|
| 中学校教諭一種免許状(理科) | 食品衛生管理者 |
| 高等学校教諭一種免許状(理科) | 食品衛生監視員 |
| 高等学校教諭一種免許状(農業) | |

試験に必要な科目の単位を取得し
卒業後の実務経験後、受験資格が得られるもの

- 農業改良普及指導員

Pick Up!! 卒業生の主な就職・進学先

主な就職先

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| ● キュービー(株) 3名 | ● 福岡市農業協同組合(JA福岡市) |
| ● (株)ジェイエイビバレッジ佐賀(2名) | ● 鹿児島県曾於地区消防職 |
| ● (株)JA総合食品佐賀 | ● 長門記念病院 |
| ● 明治チューインガム(株) | ● 佐賀県教育委員会高等学校 |
| ● (株)エヌ・エル・イー | ● 大和ハウス工業(株) |
| ● 九星飲料工業(株) | ● 三菱オブリガス九州(株) |
| ● 佐々木食品工業(株) | ● (株)トータルオフィスネットワーク |
| ● (株)宇都宮化成工業株式会社 | ● (株)泳池 |
| ● 藤本製薬(株) | ● (株)中央コンタクト |
| ● 鹿児島医療生活協同組合 | ● (株)損害保険ジャパン |

主な進学先

- | | |
|---------------------|-------------------|
| ● 佐賀大学大学院農学研究科(15名) | ● 九州大学大学院生物資源環境学府 |
| ● 九州大学大学院医学系学府(2名) | ● 熊本大学大学院生命科学研究所 |
| ● 熊本大学大学院薬学教育部(2名) | |



教 員 紹 介

渡邊 啓一 教授
生物化学、タンパク質工学
本島 浩之 助教
タンパク質工学
上田 敏久 准教授
ペプチド化学
宗 伸明 准教授
分析化学、バイオ材料化学

神田 康三 教授
応用微生物学、微生物遺伝学
小林 元太 准教授
応用微生物学、微生物工学
林 信行 教授
食品工学、環境科学
光富 勝 教授
食品化学、糖質工学

関 清彦 講師
生物資源化学、酵素化学
濱 洋一郎 准教授
生物資源利用化学、糖質化学
永尾 晃治 准教授
栄養化学、栄養生理学、食糧化学工学

1年次

2年次

3年次

4年次

教養教育科目

全学教育科目

専門科目

物理学
化学
生物学
数学
作物生産学
生物化学
動物資源開発学
物理化学
有機化学
分析化学
科学英語
遺伝学
植物生理学
生物統計学

土壌学
食糧流通経済学
生物有機化学
生化学
生物物理化学
微生物学
生命化学概説
食糧科学概説
食品衛生学
栄養化学
食品化学
分子生物学
化学実験Ⅰ
化学実験Ⅱ
アカデミック英語プレゼンテーション

微生物学実験
生化学実験
食糧安全学
食品工学
食品機能化学
応用微生物学
海洋生物資源化学
食糧流通貯蔵学
インターンシップⅠ
植物栄養学
分子細胞生物学
農産物利用学
生物資源化学
遺伝子工学
専門外書購読
アカデミック英語プレゼンテーション

卒業研究
生物学基礎実験
演習

注目の授業・講義

生化学

生化学は、生命現象を化学的に分子レベルで解明・理解しようとする学問である。本講義では、細胞の中で起こる物質代謝（分解と合成反応）とエネルギー代謝およびその調節機構について学ぶ。特に糖質代謝を中心に学び、生物が生命活動に必要なエネルギーをどのようにして取り出し、利用するかを分子レベルで理解することを目的としている。

有機化学

有機化合物は、炭素原子の連なりを骨格としてできており、生物とかかわりの深い重要な物質である。この有機化合物について、炭素原子の特徴や原子同士を繋ぐ化学結合などの基礎的事項から分子の形やどのような反応を起こすかなどの重要事項までを学ぶ。また、官能基（分子の特徴的な反応のカギとなる原子やグループ）が炭素骨格に付くことで有機化合物はさらに多彩となることから、代表的な官能基についても学ぶ。

分析化学

私達が、安心・安全で快適な生活を営むためには、モノを“はかる（分析する）”技術が極めて重要である。特に、農学部においては、生物生産物を食品として取り扱うため、それらに含まれる化学成分を正確に分析することが非常に大切となる。本授業では、化学分析の基礎となる物質の定量的な取り扱いを身につけると共に、様々な機器を用いた分析法について、原理と方法の実際について学ぶ。

食品工学

店舗には、魚や野菜のような生鮮食品から冷凍食品や飲料・菓子などの多くの食品が並んでいる。これらは鮮度を保つための冷蔵技術、品質を維持するための冷凍技術、加工に際しての攪拌・混合、加熱や冷却、濃縮あるいは分離など多くの工学的要素技術の集大成で生まれている。食品工学の授業では食品製造・保蔵・殺菌等に必要となる工学的理論や方法を平易に解説する。

食品衛生学

全ての食品には、程度の差こそあれ、健康被害を引き起こすリスクが存在している。これら食品に潜在するリスクを正しく理解するとともに、その防止手段を学ぶことが本講義の目的である。本講義は、生命機能科学科の必修科目であり、生命機能科学科学生が食品衛生監視員・管理者の有資格者となるにあたって、基礎となる知識および情報を提供する。主な授業内容は、食品の変質・腐敗、細菌性食中毒などである。

食品化学

食品は生物由来し、きわめて複雑な複合成分系である。食品に含まれる個々の物質の性質が、貯蔵、加工、調理の過程で変化する様子を化学的に理解し、より高い機能を備えた食品を作り出すための基礎知識を習得することが必要になる。食品化学では、食品の一般成分の化学と食品成分が食品中に存在する状態や役割について概説し、食品の品質に関わる成分変化や成分間の反応について解説する。

生物資源化学

バイオマスは、太陽エネルギーを使って、植物などの生物が、水と二酸化炭素から光合成により生成した有機物をはじめとする資源である。私たちのライフサイクルの中で生命と太陽エネルギーがある限り、持続的に再生可能な資源である。本講義では、バイオマスの中で最も大量に存在するセルロース系の「植物資源」とキチン・キトサンなどの「動物資源」の機能と性質を化学的に解説し、エネルギー資源・生物資源としてのバイオマスの展望について紹介する。

食品機能化学

栄養成分と身体、組織、細胞との相互作用を知り、我々が栄養素の摂取量や摂取方法によって、どのような影響を受けるかについて学ぶ。特に、日常摂取している食事には様々な微量ではあっても必須の栄養素（ビタミンやミネラル）が含まれており、正しい知識もなく好き嫌いや瘦身目的で偏った食事をすることは、身体にとって危険をもたらすことを理解する。

分子細胞生物学

様々な生物の全 DNA 配列が解読された現在、生命を構成する細胞に対する分子レベルでの理解が急速に深まりつつある。この新しい研究の潮流を踏まえつつ、真核生物の分子生物学について講義する。特に、染色体の構造が細胞に与える影響、遺伝子発現調節の詳細なメカニズム、全 DNA 配列解読から明らかにされたこと、細胞間および細胞内の情報伝達メカニズムを講義する。

応用微生物学

微生物は我々の身近に多数存在しており、人間の生存に大きく貢献している。その微生物を利用するためには、微生物の性状や取り扱い方法、育種方法などについて理解することが必要である。まずは身近な発酵食品・酒類・飲料等の製造工程における微生物の役割を理解し、さらに環境浄化やエネルギー生産等の分野における微生物の役割を多方面に渡って学ぶ。すなわち微生物を利用した物質生産から環境浄化までの実例を幅広く詳細に学ぶ。

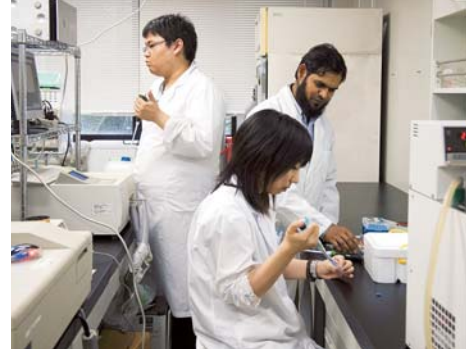
遺伝子工学

有用生物の分子育種を目的とした遺伝子工学は、分子遺伝学の知識を応用して様々な用途に対応できる生命体の変異体を作り出す技術である。その技術に必要な分子生物学的知識とそれに関する酵素の関わりを明確に理解させることを第一の目標とする。試験問題には必ずあるキャラクター（Doji Doccano 博士）が登場し、彼のもつ疑問「野望」とそれを克服する対応方法を彼に代わって答えてもらう。

生化学研究室

渡邊 啓一 教授、本島 浩之 助教
専攻/生物化学、生化学、生物物理化学

当研究室は、生命現象の根幹となる酵素タンパク質の分子構造解析、機能発現機構の解明、タンパク質工学についての研究と教育を行っています。現在の主な研究テーマは、氷温付近でも活発に増殖する南極産好冷細菌を材料に、低温酵素の活性発現機構の解明、それに酵素活性や安定性を変えるためのタンパク質工学的方法の開発です。酵素が固有の機能を発現するためには、その構造の動きが必要です。私たちは、タンパク質構造の中にひそむ機能に必要な動きを生み出す仕組みを知ることを目指しています。応用面においては、低温酵素は食品加工、バイオエネルギー生産、洗剤、環境浄化などにおいて有用性が高いと考えられます。最近、私たちは、低温タンパク質分解酵素の構造と機能を解析し、その知見に基づき中温酵素に対して柔軟性を増すための変異を導入し、低温活性の高い酵素に変換することに成功しました。このような私たちの研究に欠かせないのが、ナノ(10億分の1)メータより小さな原子の世界を画像化できるシンクロトン光です。2005年、鳥栖市で佐賀県立九州シンクロトン光研究センターが運転を開始し、ここでタンパク質構造解析のためのデータ収集を行っています。



食品栄養化学研究室

永尾 晃治 准教授
専攻/栄養化学、栄養生理学、食糧化学工学

当研究室は、食品の栄養成分と生体との相互作用に関する栄養学的研究を通じて、人の健康保持及び疾患の予防・改善に最適な食物の質と量に関する教育と研究を行っています。メタボリック症候群は、内臓に脂肪がたまる肥満に、高血圧や糖尿病が合併した状態であり、心筋梗塞や脳梗塞を起こす危険性が増す病気です。40代以上の日本人男性の半数が該当者や予備軍とされているため、毎日の食事に機能性のある成分を取り入れることで健康維持を図る事が望まれています。最近、タマネギ、大豆、レンコン、ムキタケ、ノリ、ナルトビエイなど佐賀県で収穫量が多い農水産物中に、抗メタボリックシンドローム作用成分が含まれていることが見出され、その生理活性本体の同定と生理作用メカニズムの解明に取り組んでいます。



応用微生物学研究室

神田 康三 教授、小林 元太 准教授

微生物は目には見えませんが、我々の身近に多数存在しています。我々人類の生存には微生物の存在は欠かすことが出来ません。微生物の能力を活用するために、新規な有用微生物を分離したり、微生物が有する遺伝子機能を解明したり、微生物の利用について研究を行っています。

機能高分子化学研究室

上田 敏久 准教授

アミノ酸が2個以上つながったものをペプチドと呼びます。ペプチドは、つながっているアミノ酸の種類や個数によって多種多様であり、それぞれがいろいろな仕事をこなしています。私たちはカビの生育を妨げるペプチドに注目しています。アミノ酸の種類と数が異なる何種類ものペプチドを合成し、それらを用いて、カビに対する効果はどのようにして発揮されるのか・どのようなペプチドが強い効果をもつのか、を探っています。

機能高分子化学研究室

宗 伸明 准教授

生体内では、様々な生理活性種が精緻な役割を果たすことにより、生命活動を担っています。しかし、その詳細については、未だにわかっていないことも多く残されています。私達は、蛍光性の新たな機能性分子を開発し、生命機能の解析に貢献することを目指しています。一方で、生体分子は、人工分子では真似できない優れた機能材料と見なすこともできます。そこで、生体分子と人工物から成るハイブリッド材料の開発も行っています。

食糧安全学研究室

濱 洋一郎 准教授

海藻の主成分の一つは糖質で占められていますが、多くの海藻では、含有する糖質関連物質の構造は十分に解明されていません。私たちは、海藻に含まれる多糖に注目し、その構造を明らかにするとともに、それらが持つ機能を解明することを目指しています。さらに、これらを用い、糖質分析に基づく乾海苔製品の評価法の確立にも取り組んでいます。また、魚類体表粘質物の本体である糖タンパク質の構造と機能についての研究も行っています。

生物資源利用学研究室

林 信行 教授

水は大気圧下では100℃で沸騰して蒸気になりますが、加圧条件下で加熱すると374℃まで液体の状態を保つことができます。このような高温かつ液体の水は温度をコントロールすることで多糖を加水分解したり、ダイオキシンのような難分解性の物質を無毒化する特殊な性質を発揮します。当研究室ではこのような高温高圧の水を用いて、植物を有用な物質に変換したり、植物中に含まれる機能性の物質の抽出を行っています。

食品化学研究室

光富 勝 教授、関 清彦 講師

カニやエビなどの甲殻を形作っている多糖類(キチン質)を分解して得られる糖質には様々な生理機能があります。食品化学研究室では、キチン質を分解する酵素の働きを調べたり、糖質を分解する酵素を利用して生理作用を持つオリゴ糖を調整する方法を開発しています。また、穀類に含まれるキチン結合性抗菌ペプチドの抗菌メカニズムの解析と抗菌剤への応用に取り組んでいます。

Pick Up!! 主な卒業論文テーマ

高温高圧溶媒を用いた生物活性物質の抽出
加圧熱水プロセスを用いた機能性食品の製造
タンパク質/人工化合物ハイブリッド材料の開発
生体分子計測用蛍光試薬の開発
最古の生物、超好熱アーキアにおけるD アミノ酸代謝
1アミノ酸変異による酵素活性触媒能力の改変
複合体型脱水素酵素の立体構造解析
海藻に含まれる多糖の構造と機能に関する研究
魚類体表粘質物の構造と機能に関する研究
カビの生育を妨げるペプチドを合成し、効果と効く
秘密を探る。

酵素処理した食品から健康維持に役立つペプチドを見つけて出す。
糖質分解酵素を利用した機能性オリゴ糖の酵素合成
穀類に含まれるキチン結合性抗菌ペプチドの抗菌メカニズムの解明
肥満が誘発する糖・脂質代謝異常の発症機構の解明
食事成分による生活習慣病の予防・改善に関する研究
遺伝子組換え技術を効率が良いものにする
タンパク質の立体構造に基づいて薬を開発する
南極産好冷細菌酵素の低温適応機構
有用酵素のX線結晶構造解析

酵素の触媒反応に必要な動きと構造の関係
酵素機能の有効利用のためのタンパク質工学
新規有用乳酸菌の分離と同定
バイオマスを原料としたアセトンブタノール発酵によるバイオ燃料の生産
有明海の細菌相解析
ピブリオ・バルニフィカス感染症の発症メカニズム解析
有用微生物およびバクテリオファージの遺伝子解析と分子育種



大学院

Graduate School

教育学
研究科

経済学
研究科

医学系
研究科

工学系
研究科

農学
研究科

鹿児島大学
大学院連合
農学研究科



実践的・先駆的な研究で、社会の中核となる
研究者・高度専門職者を目指す。

10年	大学院			医学系研究科 博士課程	工学系研究科 博士後期課程	連合大学院	
9年							
8年				医学系研究科 修士課程	工学系研究科 博士前期課程	農学研究科	
7年							
6年		学部	教育学研究科	経済学研究科	医学部 医学科	理工学部	農学部
5年							
4年							
3年			医学部 看護学科				
2年							
1年							
		文化教育学部	経済学部				

教育学研究科 | 修士課程 |

教育学研究科では、教育の理論と実践、研究を基盤として、専門性の高い人材を育成しています。教育現場や社会で指導性を発揮し得る高度の専門的学識を授け、理論と実践の研修を通して、総合的・専門的な研究を推進することを目的としています。本研究科は、「学校教育専攻」と「教科教育専攻」の2つの専攻を置いています。

「学校教育専攻」は、幼児・児童・生徒の諸相を学ぶもので、教育学コース、教育心理学コース、障害児教育コースの3つのコースがあります。

「教科教育専攻」は、自分の専攻する教科を学ぶもので、国語教育専修、社会科教育専修、数学教育専修、理科教育専修、音楽教育専修、美術教育専修、保健体育専修、技術教育専修、家政教育専修、英語教育専修の10専修があります。

経済学研究科 | 修士課程 |

経済学研究科は、今日の知識集約社会の発展に即し、より高度な経済学、経営学、そして法律学を修得することで、様々な組織において意思決定の中心に立つ有用な人材を育成します。本研究科は、「金融・経済政策専攻」と「企業経営専攻」の2つの専攻を置いています。

「金融・経済政策専攻」は、金融と経済政策を軸に経済構造・企業行動を研究することを基本としています。くわえて、同専攻では、政策分析を軸に地方自治体等での政策立案のための研究と教育を柱にしております。また、それらの基礎となる統計分析、経済理論の教育にも力を入れております。

「企業経営専攻」は、経営、会計、企業関係法の知識の修得を軸に、より経済・経営の実態にちかい領域の研究と教育を基本としています。一般に言う、「ビジネススクール」の役割も兼ねております。

医学系研究科 | 修士課程・博士課程 |

医学系研究科は、医学・医療の専門分野において、社会の要請に応えうる研究者および高度専門職者を育成し、学術研究を遂行することにより、医学・医療の発展と地域包括医療の向上に寄与することを目指しています。

本研究科は、「修士課程医科学専攻」、「修士課程看護学専攻」、「博士課程医科学専攻」の3つの専攻を置いています。

「修士課程医科学専攻」は、医学部医学科以外の理系・文系4年制大学学部出身の多様なバックグラウンドを持つ学生を受け入れ、医学の基礎およびその応用法を体系的・集中的に修得させることにより、医学、生命科学、ヒューマンケアなど包括医療の諸分野において活躍する多彩な専門家を育成します。

「修士課程看護学専攻」は、高度の専門性を有する看護職者にふさわしい幅広い視野に立った豊かな学識と優れた技能を有し、国内および国際的に看護学の教育・研究・実践の各分野で指導的役割を果たすことができるような人材を育成します。また、現在、専門看護師教育課程の認可申請計画中です。

「博士課程医科学専攻」は、医学・医療の領域において、自立して独創的研究活動を遂行するために必要な高度な研究能力と、その基礎となる豊かな学識と豊かな技術を有し、教育・研究・医療の各分野で指導的役割を担う人材を育成します。

工学系研究科 | 博士前期課程・博士後期課程 |

工学系研究科は、来るべき高度科学技術社会、国際化社会により一層積極的に対応していくために、理学と工学の融合を目指しています。科学技術が高度に多様化した社会において、研究者・技術者・職業人として社会に貢献し、進展に寄与するとともに、国際的コミュニケーション能力と幅広い基礎知識から高度な専門知識を有した独創性で幅広い視野を持った人材を育成します。

本研究科は、「博士前期課程」と「博士後期課程」の2つの課程があります。

「博士前期課程」は、数理科学専攻、物理科学専攻、知能情報システム学専攻、循環物質化学専攻、機械システム工学専攻、電気電子工学専攻、都市工学専攻、先端融合工学専攻の8つの専攻を置いています。

「博士後期課程」は、「システム創成科学専攻」に、電子情報システム学コース、生産物質科学コース、社会循環システム学コース、先端融合工学コースの4つのコースがあります。

農学研究科 | 修士課程 |

農学研究科は、近年の科学技術の高度化・情報化・国際化の中で、社会・国際ニーズにこたえられる高度な専門知識と技能を持った創造性豊かな農学・生命科学に関する研究者・専門家になる人材を育成することを目的としています。本研究科は、「生物資源科学専攻」を置いています。

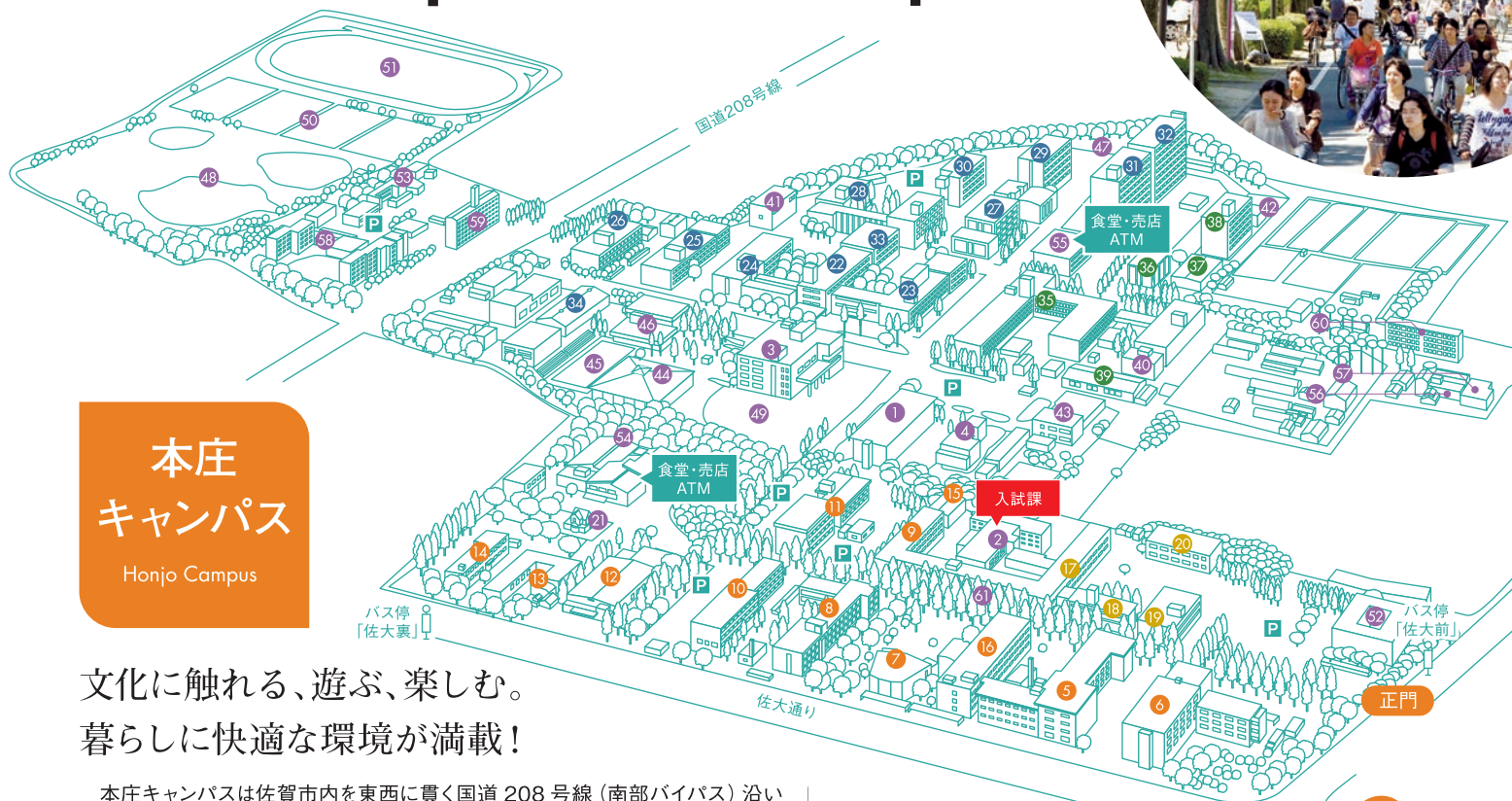
「生物資源科学専攻」は、応用生物科学コース、生物環境保全学コース、資源循環生産学コース、地域社会開発学コース、生命機能科学コースの5コースがあります。また、九州およびアジアの諸地域における農業とアグリビジネスの中核を担う農業者の育成プログラムとして、農業技術経営管理学コース(農業版MOT)が設けられています。

鹿児島大学大学院 連合農学研究科 | 博士課程 |

鹿児島大学大学院連合農学研究科は、佐賀大学の農学研究科、鹿児島大学の農学研究科、同水産学研究科、琉球大学の農学研究科の4つの研究科の修士課程を母体として編成され、これらの研究科の綿密な連携のもとに運営されている新しいスタイルの博士課程大学院です。学生の研究指導は、学生1名について複数の大学から指導教員3名が担当することになっており、この点が連合大学院の大きな特徴と言えます。

充実した環境で、本当の自分を見つける！

Campus Map



**本庄
キャンパス**
Honjo Campus

文化に触れる、遊ぶ、楽しむ。
暮らしに快適な環境が満載！

本庄キャンパスは佐賀市内を東西に貫く国道 208 号線（南部バイパス）沿いに位置します。バイパスということもあって、その道路沿いには数々のショッピングエリア、飲食エリアが存在し、生活に必要な環境が揃っています。東に足を伸ばせば、県立図書館、美術館、博物館などがあり、佐賀の文化に気軽にふれることが出来ます。また佐賀城跡は、近年新しく整備され、佐賀県の歴史と文化交流の拠点として期待されています。また北の正門前の通りには、古い時代から飲食店や居酒屋などが建ち並び、これまでに多くの学生達のコミュニケーションの場として大いに活用され続けています。

交通案内

- 佐賀バスセンターからバスで約 20 分
[4 番のりば]から市営バス11番 佐賀大学・相応行
又は12番 佐賀大学・東与賀行で「佐大前」下車
[4 番のりば]から市営バス63番 佐賀大学・女子短大前行で「佐大前」下車
- 佐賀駅からタクシーで約 10 分
- 佐賀空港からタクシーで約 20 分

- | | | | |
|--|--------------------------------|----------------------|--------------|
| ① 大学本部 | ⑥ 文化教育学部 10 号館 | ⑳ 理工学部 9 号館 | ㉔ テニスコート |
| ② 入試課
アドミッションセンター
学生センター
キャリアセンター | ⑦ 経済学部 1 号館 | ㉕ 理工学部大学院棟 | ㉕ テニスコート |
| ③ 附属図書館 | ⑧ 経済学部 2 号館 | ㉖ 機械システム実習工場 | ㉖ 陸上競技場 |
| ④ 保健管理センター | ⑨ 経済学部 3 号館 | ㉗ 農学部 1 号館 | ㉗ 文化系サークル会館 |
| ⑤ 教養教育 1 号館 | ⑩ 経済学部 4 号館(講義棟) | ㉘ 農学部 2 号館 | ㉘ 体育系サークル会館 |
| ⑥ 教養教育 2 号館 | ⑪ 経済学部 5 号館(講義棟) | ㉙ 農学部 3 号館 | ㉙ 大会館・大学生協 |
| ⑦ 教養教育大講義室 | ⑫ 留学生センター・国際課
国際交流推進センター | ㉚ 農学部 4 号館 | ㉚ かさざぎホール |
| ⑧ 文化教育学部 1 号館 | ⑬ 高等教育開発センター | ㉛ 農学部実験棟 | ㉛ 菱の実会館 |
| ⑨ 文化教育学部 2 号館 | ⑭ 菊楠シュライバー館
(地域学歴史文化研究センター) | ㉜ 放射線同位元素実験室(RI 実験室) | ㉜ 佐賀大学同窓会事務所 |
| ⑩ 文化教育学部 3 号館 | ⑮ 理工学部 1 号館(中棟) | ㉝ 産学・地域連携機構 | ㉝ 楠葉寮 |
| ⑪ 文化教育学部 4 号館 | ⑯ 理工学部 1 号館(北棟) | ㉞ 海洋エネルギー研究センター | ㉞ 国際交流会館 |
| ⑫ 文化教育学部 5 号館 | ⑰ 理工学部 1 号館(南棟) | ㉟ 総合分析実験センター | ㉟ 職員宿舎 |
| ⑬ 文化教育学部 6 号館 | ⑱ 理工学部 2 号館 | ㊱ 総合情報基盤センター | ㊱ ラクウショウ並木道 |
| ⑭ 文化教育学部 7 号館 | ㉒ 理工学部 3 号館 | ㊲ 総合情報基盤センター | |
| ⑮ 文化教育学部 8 号館 | ㉓ 理工学部 4 号館 | ㊳ 低平地沿岸海域研究センター | |
| ⑯ 文化教育学部 9 号館 | ㉔ 理工学部 5 号館 | ㊴ シンクロトロン応用研究センター | |
| ⑰ 文化教育学部 10 号館
文化教育学部附属教育実践
総合センター | ㉕ 理工学部 6 号館(DC 棟) | ㊵ 体育館 | |
| | ㉖ 理工学部 7 号館 | ㊶ プール | |
| | ㉗ 理工学部 8 号館 | ㊷ スポーツセンター | |
| | | ㊸ 弓道場 | |
| | | ㊹ 野球場 | |

Institution

61 ラクウシヨウ

並木道

正門からシュライバー館
まで続くラクウシヨウの
並木道で、本庄キャンパスの
シンボルともいえる空間です。



3 附属図書館

附属図書館は、学生の学習や研究者の教育・研究を支援するために、図書、雑誌、視聴覚資料、オンラインデータベースなど多様な資料を収集・整備し、利用に供しています。現在、人文・社会・自然科学全分野にわたり、図書 60 万冊、雑誌 9,500 種を所蔵しています。館内には、閲覧総席 549 席の他、グループ学習室、マルチメディアルーム、リスニングルーム、ブラウジングコーナーを備え、利用しやすく学習の意欲を十分に発揮できる快適な利用スペースを提供しています。また、館内各所に、自由に利用できる利用者用端末を 71 台配置し、学内外の図書・雑誌のデータベースをはじめ、全世界の多様な学術情報にアクセスできる環境を整備するとともに、よりよく利用していただくための情報サービスを行っています。

21 菊桶シュライバー館

旧制佐賀高校のシンボルである菊と佐賀大学のシンボルである桶。そして旧制佐賀高校のドイツ語教師であったシュライバー氏に由来する建物です。現在は、地域学歴史文化研究センターとして使用されています。



43 総合情報基盤センター

総合情報基盤センターは、学術研究・教育のためのコンピューターとネットワークの利用などに係わるサービスを行っている学内共同利用施設です。大演習室 114 台、中演習室 55 台、小演習室 38 台、ホール 10 台の合わせて 217 台の端末が設置されています。PC 端末で、ワープロ、表計算、数式処理、プログラミング言語、電子メールやホームページの検索ソフトなどが利用でき、講義や自習等で利用されています。また、月曜日～金曜日は 20 時まで、土曜日は 17 時まで開館しており、講義時間外でも自由に利用することができます。



4 保健管理センター

保健管理センターは、健康問題に対応するための施設で、次のような業務を行っています。

- ◆健康診断 / 定期健康診断は、全学生を対象に毎年春に行われます。その他に、運動部のための健康診断などがあります。
- ◆健康相談 / 身体的な健康については言うまでもなく、修学上の問題や対人関係上の問題など、心理的・精神的な健康についての相談も受けられます。
- ◆応急処置 / 学内でケガをしたり病気になったとき、保健管理センターで応急処置を受けられます。



52 サークル会館・課外活動共用施設

サークル活動などの課外活動をするための共用施設で、文化系サークル会館と体育系サークル会館があります。



44 スポーツ施設 (体育館、運動場、テニスコートなど)

部活動やサークルが利用するほか、授業時間外以外ではスポーツ・レクリエーション等で利用することもできます。

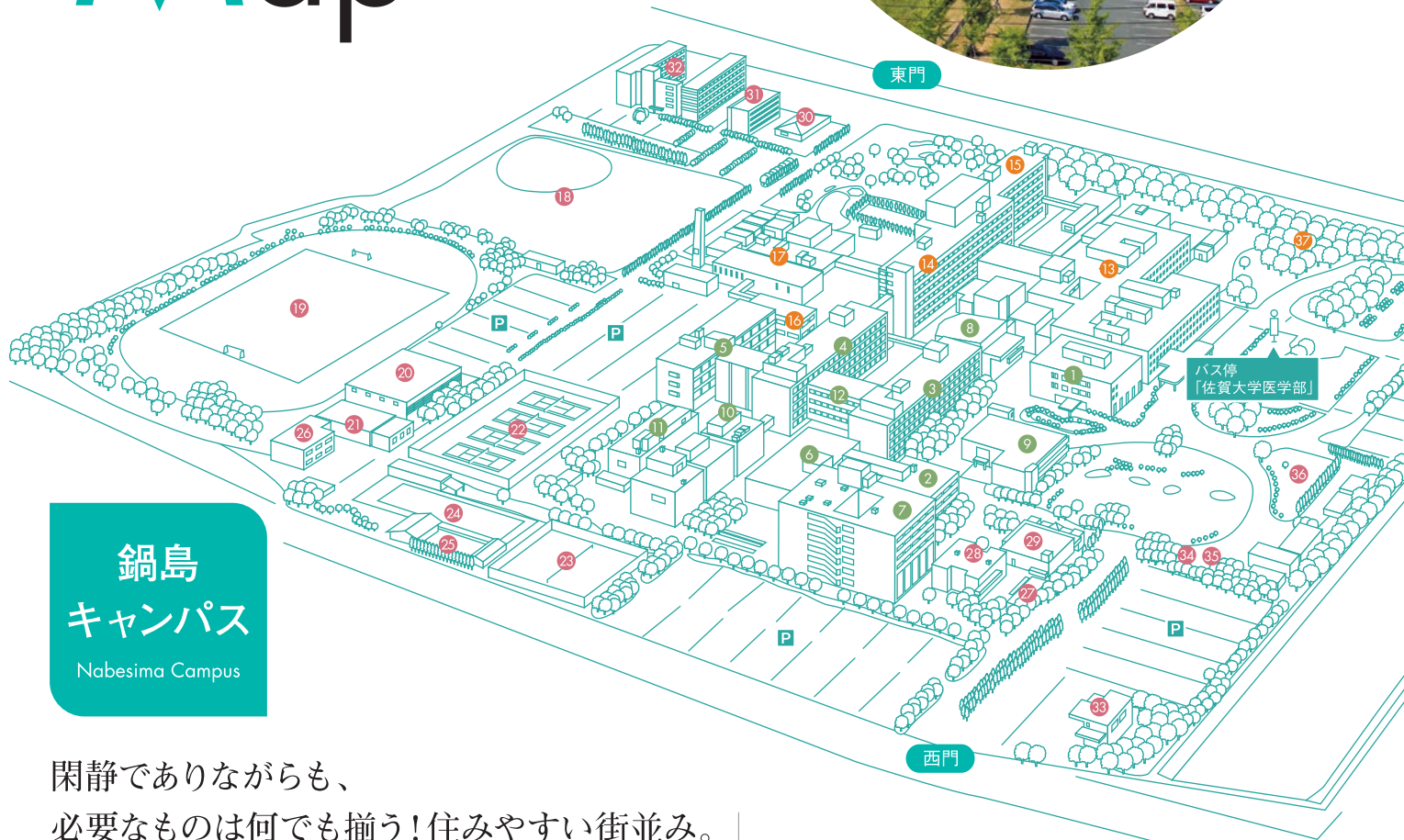


54 大学会館

談話や飲食、自学自習スペースとして利用できます。食堂・売店・ATM・生協等が入っています。詳しくは141pを見てください。

医療人を育成し、地域医療の向上を目指す!

Campus Map



鍋島 キャンパス Nabesima Campus

閑静でありながらも、
必要なものは何でも揃う! 住みやすい街並み。

鍋島キャンパスは、本庄キャンパスから、西部環状線を抜け、さらに北へ進み、医大通りに位置します。ここには衣食住を満たすショップが立ち並び、楽しいキャンパスライフを送るにはもってこいのロケーションです。さらに北へ向かえば川上峡温泉、古湯温泉などにもつながっており、豊かな自然を十分に満喫できる場所も満載です。

交通案内

- 佐賀駅バスセンターからバスで約 25 分
[2 番のりば]から市営バス 50 番又は 51 番で「佐大医学部」下車
佐賀駅からタクシーで約 15 分
- 佐賀空港からタクシーで約 35 分

- | | | |
|-------------------------|--------------|-------------------|
| ① 管理棟 | ⑬ 附属病院中央診察棟 | ⑳ 医学部会館 |
| ② 校舎講義棟 | ⑭ 附属病院西病棟 | ㉑ 医学部会館 (食堂) |
| ③ 基礎研究棟 | ⑮ 附属病院東病棟 | ㉒ こどもの杜保育園 |
| ④ 臨床研究棟 | ⑯ 卒後臨床研修センター | ㉓ 医学部宿舎 |
| ⑤ 院生・臨床研究棟 | ⑰ 中央機械室 | ㉔ 看護師宿舎 |
| ⑥ 基礎実習等 | ⑱ 地域医療支援センター | ㉕ 非常勤講師宿泊施設 (思誠館) |
| ⑦ 看護学科棟 | ⑲ 野球場 | ㉖ 慰霊堂 |
| ⑧ 臨床講堂 | ㉑ 400Mトラック | ㉗ 慰霊碑 |
| ⑨ 附属図書館医学分館 | ㉒ 体育館 | ㉘ 動物慰霊碑 |
| ⑩ 保健管理センター分館 | ㉓ 格技体育館 | |
| ⑪ 総合分析実験センター (動物実験施設) | ㉔ テニスコート | |
| ⑫ 総合分析実験センター (RI 実験施設) | ㉕ テニスコート | |
| ⑬ 総合分析実験センター | ㉖ プール | |
| ⑭ 総合情報基盤センター (医学サブセンター) | ㉗ 弓道場 | |
| 附属地域医療科学教育研究センター | ㉘ 課外活動施設 | |
| 附属先端医学研究推進センター | ㉙ 学生サークル棟 | |

Institution



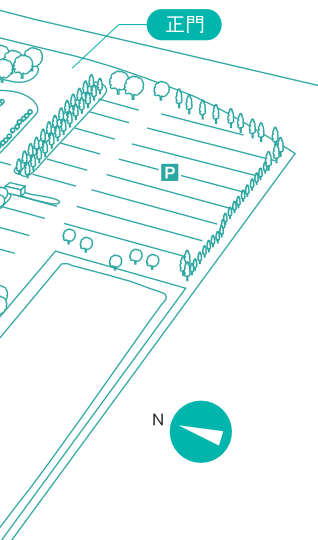
9 附属図書館医学分館

医学分館は、図書館資料の構成及び配置について十分検討し、医学の教育目標のひとつである自己学習が効率よくできる環境を整えています。館内には、閲覧座席のほか、自由に利用できるパソコン50台、検索用端末2台を配置し、全世界の学術情報へアクセスできます。さらに24時間開館なので、いつでも利用できます。



2 PBL室 (医学科)

医学科3年次・4年次のPBLの授業や自主的なグループ学習に使用します。



1 保健管理センター分室

通称「ホケカン」、大学の保健室です。管理棟2階にあり、学生の皆さんの「健康診断」「予防接種」「健康管理」「応急処置」「なんでも相談」などを行ってまます。「なんでも相談」では、専門のカウンセラーが皆さんの身体面、精神面、その他悩み事の相談を受けまます。



7 演習室 (看護学科)

看護学科の少人数制のグループワークや演習などに使用まます。



29 学生食堂

平日は朝8時から夜7時まで営業している200席の大食堂です。セルフバー、定食コーナー、麺コーナーなどがあります。なお、ランチタイムには、「レストラン天山」も利用できます。



26 27 課外活動施設・サークル会館

サークル活動などの課外活動をするための共用施設です。写真は 27サークル会館です。



スポーツ施設 (運動場、テニスコート、プール)

部活動やサークルが利用するほか、授業時間外以外ではスポーツ・レクリエーション等で利用する事もできます。



37 地域医療支援センター

佐賀大学医学部附属病院の正門近くにある、新しい建物です。医師と救急救命士と一緒に現場に向かい、高度な救命処置を行えるようドクターカーが配備されています。



8 臨床講堂

各種式典、研究会や後援会などに使用され、大講堂(268名収容)と2つの小講堂(119名、108名)があります。



7 看護学科棟ラウンジ

看護学科棟1階にあり、休み時間は、学生で賑わっています。

キャンパスマップ

国際交流

International exchange

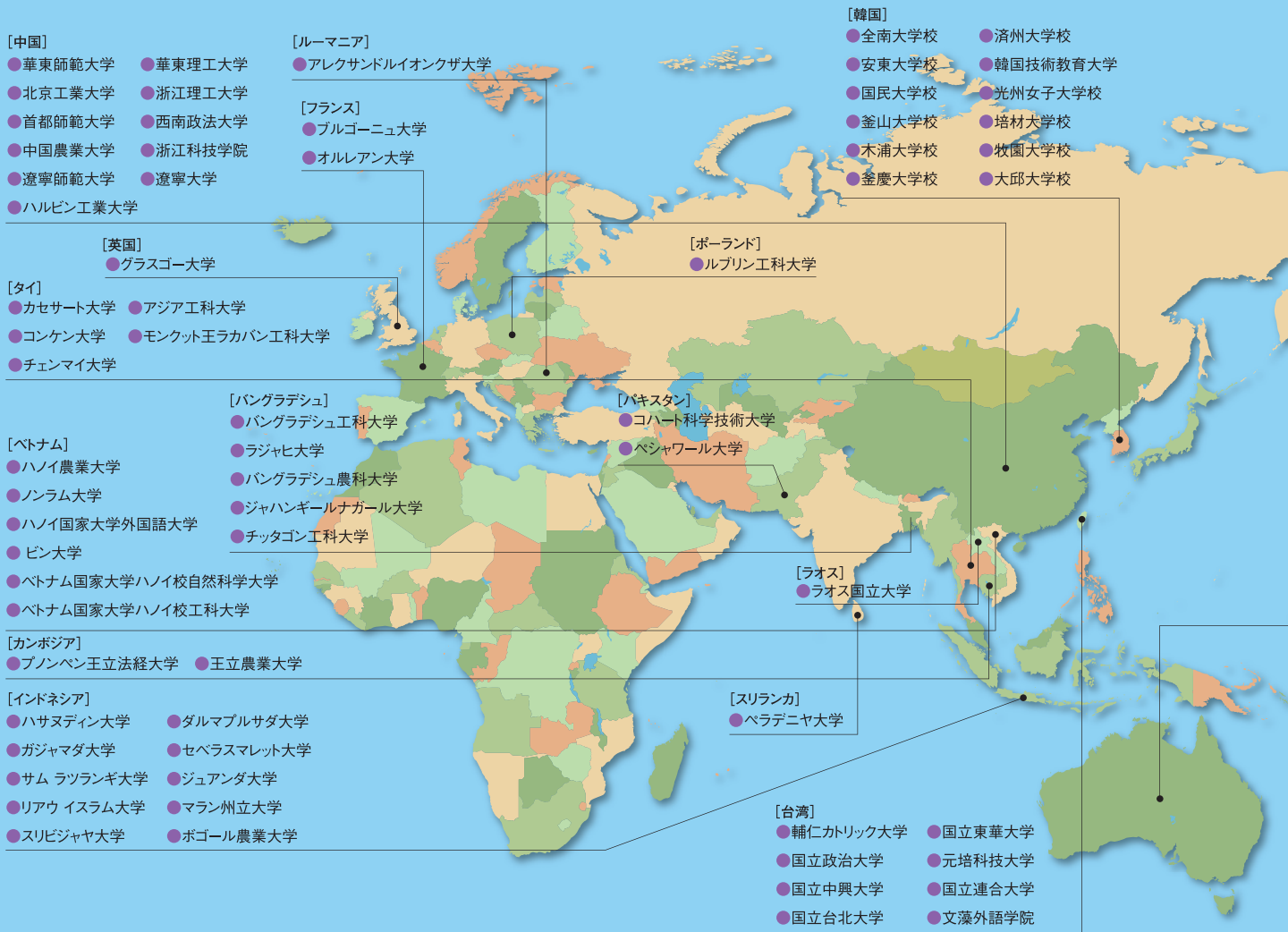
海外を知れば、もっと自分の国が見えてくる。
佐賀大学では、積極的に国際交流の窓口を広げています。

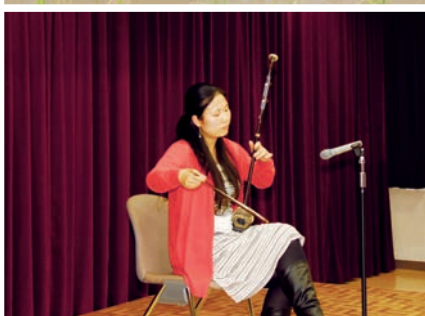
近年、日本の大学では学習や研究を行う外国人留学生や研究者の数が増加しています。佐賀大学では、昭和53年以降、世界各地の大学や研究機関との学術交流協定締結をすすめ、海外の諸機関と共同で教育や研究を行う環境を整えています。現在、**142**校にのぼる大学・機関との学術交流協定を結び、このうち83大学との間で短期研修や交換留学など学生交流についての協定をもち、佐賀大学の学生として世界の国々で学ぶ機会が増えています。

佐賀大学と学術交流協定のある大学

国名	協定校数	国名	協定校数
大韓民国	12	スリランカ民主社会主義共和国	1
中華人民共和国	11	パキスタン・イスラム共和国	2
台湾	8	英国	1
ベトナム社会主義共和国	6	ルーマニア	1
カンボジア王国	2	フランス共和国	2
ラオス人民民主共和国	1	ポーランド共和国	1
タイ王国	5	アメリカ合衆国	4
インドネシア共和国	10	カナダ	2
バングラデシュ人民共和国	5	オーストラリア連邦	1

(平成24年 4月4日現在)





**佐賀大学の
国際交流**

佐賀大学は「国際人育成」を重視し、諸外国の大学との教育・研究協力を促進しています。

International exchange

■ 日本人学生の海外留学

留学の種類

① 派遣交換留学

佐賀大学が協定を結んでいる大学へ1年未満の期間で留学をするものです。

- I. 佐賀大学生であれば、留学先の大学での授業料は不要です。
- II. 留学先で修得した単位は、在籍する学部で審査され、佐賀大学の単位として認められます。
所属する学部・学科等によっては、休学や留年をせずに4年間で卒業できます。
- III. 経済的支援が充実
 - i) 「留学生交流支援制度(短期派遣)」(日本学生支援機構)の奨学金(月額:80,000円)に応募することができます。
 - ii) 上記奨学金を受給できない場合は、文化教育学部、理工学部、農学部では、後援会から留学準備金として毎年10名まで100,000円が支給されます。(経済学部では、80,000円)。

応募資格 ①佐賀大学の学部生・大学院生 ②原則として、学部2年生であること(派遣時)

選考方法 書類審査と個別面接

② 短期海外研修

ラトローブ大学(豪)、バシフィック大学(米)において、約4～6週間の語学研修を実施するものです。この他にも、釜慶大学校(韓国)、木浦大学校(韓国)、中興大学(台湾)など、交流協定校が独自に行っている語学研修プログラムもあります。語学研修の参加者は、教養教育の共通基礎科目の外国語単位として認定される場合があります。

留学の支援(国際交流推進センター)

海外留学を実現するための支援が充実しています。

① 留学フェア(5月)

交換留学や各種プログラムの内容、協定校の最新情報、語学サポート、奨学金情報など、留学や海外研修に必要な情報を提供します。

② ミニ留学トーク(5～7月)

アジア、ヨーロッパ、北米、オセアニアの4つの地域ごとに、留学経験者を交えて、その土地の特色や大学生生活についてお話しします。

③ 留学アドバイジング(通年)

学生それぞれの個性やキャリアプランに従った留学計画の立て方、留学先の選び方、語学学習の方法など、留学実現を目指したアドバイスを提供します。

④ 海外研修プログラムの実施や情報提供(通年)

夏休み、春休みを利用した一カ月程度の海外研修に参加する機会がたくさんあります。

⑤ 国際交流メール配信サービス(通年)

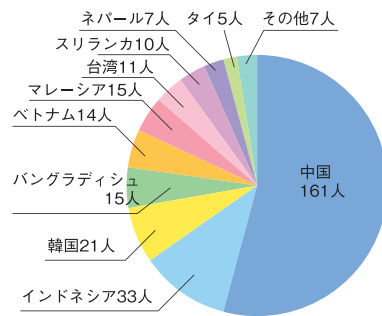
海外留学やキャンパスの国際交流イベントに興味のある方を対象に、最新情報をメールで配信します。

■ 日本からの留学実績(平成21～24年3月)

国名	大学名	協定校への長期留学 (3ヶ月以上)	短期海外研修 (3ヶ月未満)
アメリカ合衆国	バシフィック大学	3	21
カナダ	マニトバ大学	1	0
イギリス	イースト・アングリア大学	2	0
オーストラリア	ラトローブ大学	2	33
フランス	オルレアン大学	4	0
韓国	釜慶大学校	3	10
	韓国技術教育大学	1	0
	木浦大学校	0	5
	国民大学校	7	0
	済州大学校	0	3
	全南大学校	0	2
	大邱大学校	0	3
台湾	釜山大学校	0	2
	国立台北大学	1	3
	国立中興大学	2	4
中国	輔仁カトリック大学	1	0
	華東師範大学	3	0
	ハルビン工業大学	0	3
スリランカ	北京工業大学	5	0
スリランカ	ペラデニア大学	6	0
タイ	カセサート大学	1	0
ベトナム	ハノイ国家大学外国語大学	2	0
合計		44	89

海外からの外国人留学生

外国人留学生の受入は、年々増加し、現在17カ国297名の留学生が在籍しています。留学生との交流イベント等も企画され、様々な国の学生とのコミュニケーションを通じて国際感覚が養われます。



平成23年5月1日現在

海外留学体験者のレポート

カナダ マニトバ大学へ交換留学

異文化の体験を
教師になって生徒に伝えたい

中村 美紀

文化教育学部 国際文化課程 欧米文化選修4年
留学生交流支援制度(短期派遣)奨学生



(本人は写真中央)

私は2011年の8月末から2012年の4月末までカナダのウィネベグ州、マニトバ大学へ留学していました。私は小さいころから国際交流や留学に興味があり、大学1年生の時に短期留学でオーストラリアに語学研修に参加していました。そこでは、大学に編入することを目標にした学生たちが各国から集まり英語を学んでいました。そこで私もいつか語学学校ではなくて大学で英語をツールとして学んでみたいという気持ちが高まりました。そして大学3年生の時にTOEFLを受けて交換留学に申し込むことができました。TOEFLの点数を上げることは大変でしたが、留学をするという目標があったために頑張ることができました。私が交換留学を選んだ理由は、単位の交換ができることや佐賀大学の学費で向こうの大学に行けること、また先輩方が以前に留学していたことでお話が聞けたことなどがありました。

英語の教員を目指している私にとって、カナダへの留学は学ぶことがとても多くありました。英語教師の役目は、ただ英語を言語として教えるだけではなく、生徒に他国の文化に興味を持ってもらえるような興味深い授業を通して英語を自主的に学んでいく生徒を育てられることだと考えていました。そのためには自分自身が異文化に興味を持ち、積極的に英語を学んでいくことが必要だと考えていました。実際に留学するに当たり、留学前から大学やカナダの英語教育について調べ、実際にカナダで盛んである第二外国語教育を学ぶことを留学の目標にしました。私が受けた授業はLanguage and Content Instruction of ESL students・Principles and Procedures of Second / Additional Language Teaching・Teaching ESL / EAL Grammar・General Phonetics・Teaching ESL Foundation Literacy, Academic & Language・Semantics・Rules of English Grammarの7つの授業でした。カナダの大学では週に2、3回同じ授業があるので深くじっくりと学ぶことができます。



ESLで実践的な教授法を学ぶと同時に言語学の授業で音声学や意味論を論理的に学びました。さらにESLの授業は現役の教師でESLの資格を取るために通っている人も多く、ディスカッションや模擬授業はとてもレベルの高く実践的なものばかりでした。カナダは英語とフランス語が公用語で、他国からの移民が多いため第二言語教育がとても充実しています。私はESLの学生に対してどのような指導法が効果があるかということや、文法にはどのような指導法が効果があるのかということや、実際にマイクロティーチング(小クラス)の指導案を作り、ほかの学生とアイディアを交換しながら学びました。

マニトバ大学では授業のスライドなどを大学のサイトに掲載していて学生たちが各自勉強することができるようになっていて、授業以外の時間も充実させることができます。授業以外では寮でできた友達と一緒に勉強したり、冬休みにはホームステイをさせてもらったりして実際のカナダの生活を体験させていただきました。さらにクリスマスやニューイヤーなど、カナダの主な祝日を友達の家族と過ごし、日本とカナダの祝日のあり方の違いや文化の違いを身を持って体験することができました。また、カナダの良さや文化を知るとともに、日本文化の奥深さや素晴らしさを知ることができました。

留学を通して学んだ教授法や異文化理解の楽しさ、素晴らしさを将来の生徒たちに伝えられるように、さらにいろいろなことを経験すると同時に英語の知識や指導法を磨いていきたいと思っています。

キャリア支援

Career support

4年間の学びの成果を未来につなげるキャリア支援

キャリアセンターが平成18年に設置され、専任教員と就職課職員が力を合わせ「名前と顔が一致する」学生支援にあたり、一人でも多くの学生の就職活動をサポートしていきます。



概要

キャリアセンターでの取り組み

キャリアセンターでは、キャリア教育及び就職支援に関する様々なメニューを企画・実施しています。初年次には授業やガイダンス等でキャリア形成に関する知識を深め、3年生にはインターンシップの推進や就職活動準備講座の開催、4年生には学内での合同・個別会社説明会の開催や実践的な面接対策講座等の提供を行っています。また、公務員・教員採用試験や資格試験の対策講座も併せて実施しています。

学生の皆さんの就職活動を支援する他、不安や悩みを解消するために相談員を常時配置し就職面談を行っていますので、気軽に利用してください。

相談窓口

●就職相談員

企業での採用担当経験者、教職経験をもった本学OB、キャリアコンサルタント、社会保険労務士資格の保有者を就職相談員として配置し、進路相談や履歴書の添削、面接指導など、就職に関する相談等を随時受け付けています。

●就職担当教員[各学部]

学部によって学生の就職希望も様々であることから、各学部に就職担当の教員を配置し、学生の専門性に応じた指導を行っています。



豊富な情報提供

●Live Campus(就職システム)

Live Campusは就職活動を強力にサポートするシステムです。一般的なホームページ上では公開されていない優良企業の求人なども閲覧することができます。本システムは学外からアクセスできるだけでなく、新しい求人情報を学生へメール送信するサービスも受けることができます。また、キャリアセンターのホームページにも学内ガイダンスや合同・個別会社説明会およびインターンシップに関する最新の情報が提供されています。

●様々な資料の閲覧

企業から送られてきた多くの求人票がファイリングされていますので、いつでもチェックすることができます。また、求人票だけでなく、様々な業界に関する資料や書籍、企業セミナーやイベントのお知らせなど、キャリアセンターに来ると、就職活動について何でも知ることができます。



学内実施の会社説明会

学内で実施する会社説明会には、各企業が単独で実施する「個別会社説明会」と複数の企業が合同で実施する「合同会社説明会」があります。学生は学内にいながらにして自分のペースで企業の人事担当者から話を聞くことができます。

平成22年度は、個別会社説明会に30社、合同会社説明会に406社の参加がありました。



就職支援プログラム

学生の志望に応じた様々な支援プログラムが実施されています。

民間志望	キャリアデザイン講座/職業適性診断/SPI対策講座/面接指導 グループディスカッション対策/インターンシップガイダンスなど
公務員志望	公務員セミナー/公務員就職ガイダンス/公務員試験対策講座など
教員志望	教員試験対策講座/願書・自己PRの書き方/教員採用試験全国公開模擬試験 面接セミナーなど



キャリア教育

●大学入門科目(必須科目)

キャリアカウンセラーおよび本学卒業生による講演を行い、キャリアデザイン、就職意識の啓発、将来の仕事について考える機会として、正課の必須科目にキャリア教育が組み込まれています。

●キャリアデザイン～自己発見講座～(教養教育科目)

佐賀大学同窓会の支援を受け、各分野で活躍する本学のOB・OGを招いた講演会(1コマ1人)で構成される授業科目です。eラーニングでも受講することが可能です。



インターンシップ

インターンシップとは、「体験就業」とも呼ばれ、学生が企業などで一定期間、仕事をしながら研修することを示します。本学でも各学部の担当教員の協力で受け入れ企業の開拓を行っています。学部によっては、インターンシップが一部単位として認められるところもあります。

<主なインターンシップ先(平成23年度実績)>

佐賀県庁、佐賀銀行、山口銀行、九州電力、NHK佐賀放送局、エフエム山口、松尾建設、宮島醤油、名村造船所、山崎製パン、佐賀玉屋、東急レクリエーション、佐賀鉄工所、デンソー九州、大東建託、鳴滝酒造、熊本トヨタ、西部石油、コクヨマーケティング、富士通九州システムズ 他

【実績】インターンシップ参加者

平成23年度	209名
平成22年度	204名
平成21年度	160名
平成20年度	144名
平成19年度	106名

就職実績 (平成23年度)

Career report

全国で活躍する佐賀大生、安定した就職実績

大学(学部)卒業後の進路選択には、企業の就職、公務員や教員の採用試験、大学院への進学、海外留学などがあります。

学生の多くが就職を希望する学部や、大学院進学を目指す学生が多い学部など、学部によって様々です。

就職に関して言えば毎年、就職希望者のほとんどが就職を決めて全国各地で活躍しています。

就職状況

2011年のスタートにおける就職環境は、いわゆるリーマンショック以降の景気や雇用情勢の悪化に持ち直しの動きが見られる中、東日本大震災後の影響、歴史的な円高の長期化など先行き不透明な大変厳しい状況下に置かれてきましたが、最終的に本学学生(学部生)の就職率は94.3%(前年度比0.7ポイント減)と前年度並みの結果となりました。

近年の求人状況

文化教育学部

国立私立教員、国地方公務員、金融証券保険関係、医療・福祉関係、その他(JR九州・西日本、JA、JT日本たばこ産業・ANAエアサービス、ポーラ化粧品、アサヒ飲料、NHK、コスモ薬品、マイナビ、ミヅタ、九州電力等)

経済学部

国地方公務員、金融証券保険関係、食品、鉄鋼業等製造業関係、小売・サービス業関係、その他(凸版印刷、日本通運、富士通、JR東日本・西日本、日野自動車、ニプロ、久光製薬、ヤマト運輸、三菱重工業、日立製作所、戸上電機、ニトリ等)

医学部

医療業関係、(国立大学法人医師・看護師・保健師・助産師、民間病院医師・看護師・保健師・助産師等)

理工学部

機械・電機関連製造業関係、情報通信関係、建設業、国地方公務員、国公立教員、その他各学科の専門性を活かした企業等(九州電力、シチズン電子、デンソー、NTTデータ九州、NEC、西部ガス情報システム、日立化成工業、三菱重工、トヨタ自動車九州、京セラ、日立造船所、JR東日本、JR西日本、JR九州、パナソニック、ソニー、富士通、住友軽金属工業、凸版印刷、大日本印刷、松尾建設、谷川建設、東京エレクトロニクス、積水ハウス等)

農学部

国地方公務員、国公立教員、食品・化学等製造業関係、サービス業関係、その他各学科の専門性を活かした企業等(JA、スジャータ、キュービー、明治グループ、森永乳業、山崎製パン、コカコーラ、フランクフルト、祐徳薬品、宮島醤油、味の素、食品環境検査協会、霧島酒造等)

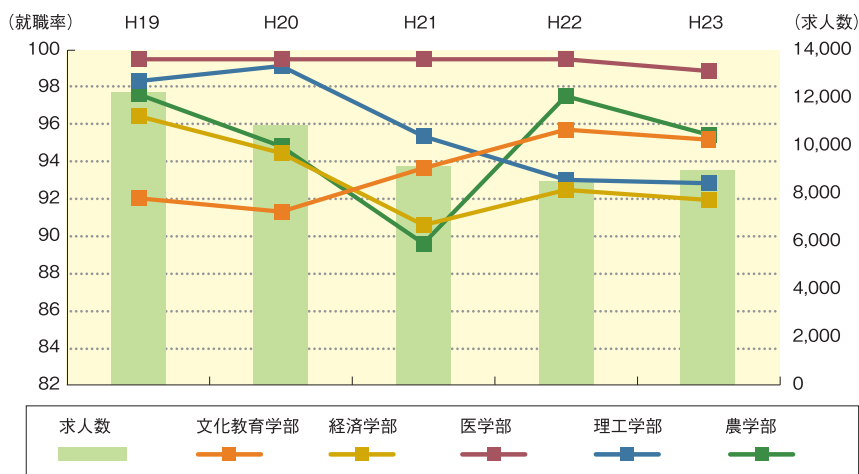
卒業・修了者の進路

学部	卒業・修了者	就職希望者		進学者数	その他(※)	社会人	
		就職者	未就職者				
学部	文化教育学部	272	197	10	26	38	1
	経済学部	288	230	21	8	28	1
	医学部	163	151	1	2	8	1
	理工学部	522	238	19	230	35	0
	農学部	167	106	5	45	11	0
	合計	1412	922	56	311	120	3
大学院	教育学研究科	47	32	2	1	3	9
	経済学研究科	7	1	0	1	5	0
	医学系研究科(修士)	19	6	0	1	1	11
	医学系研究科(博士)	19	8	0	0	3	8
	工学系研究科(博士前期)	224	193	4	13	14	0
	工学系研究科(博士後期)	33	14	1	1	9	8
	農学研究科	45	33	2	4	5	1
	合計	394	287	9	21	40	37

※[その他]は海外留学をした者、帰国留学生、卒業直後に結婚した者、進学・就職の意志が無い者を計上。

■ 学科・課程ごとの就職先は、各学科・課程の紹介ページをご覧ください。

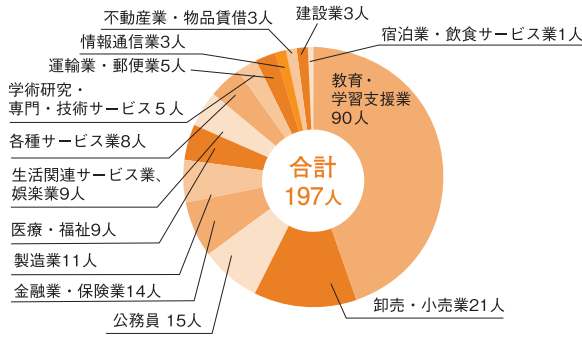
近年の学部別就職率と求人数



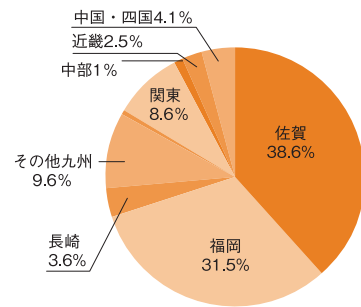
学部	H19	H20	H21	H22	H23
文化教育学部	91.7	90.9	93.5	95.8	95.2
経済学部	96.6	94.4	90.1	92.2	91.6
医学部	100	100	100	100	99.3
理工学部	98.7	99.6	95.4	92.8	92.6
農学部	97.9	94.8	89.0	97.8	95.5
求人数	12,298	10,817	9,325	8,372	8,866

産業別就職状況

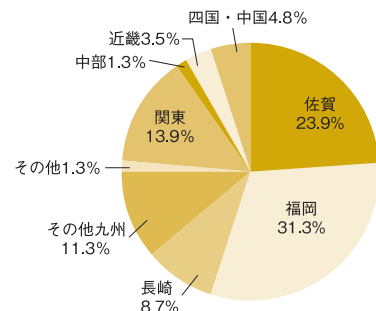
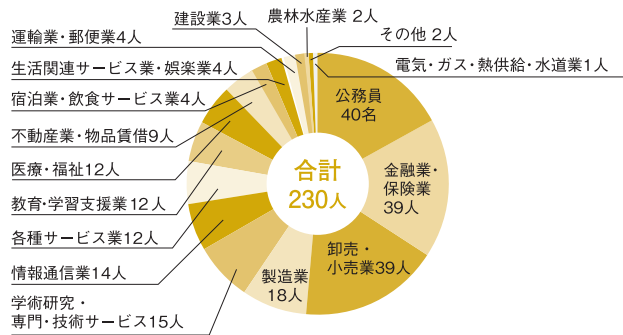
文化教育学部



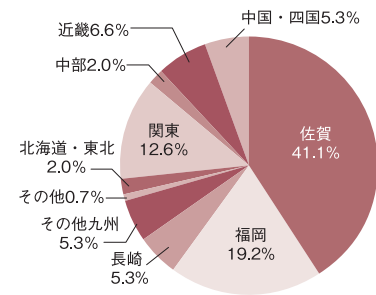
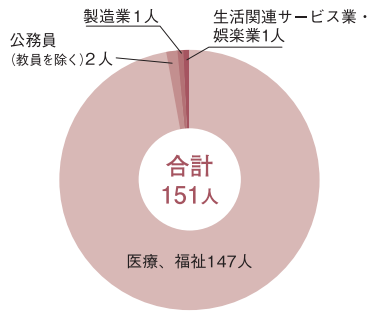
地域別就職状況



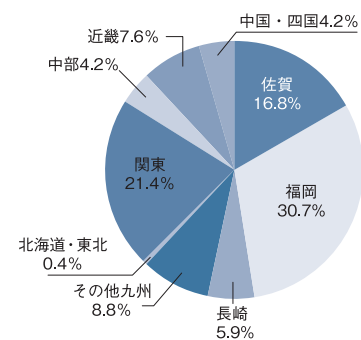
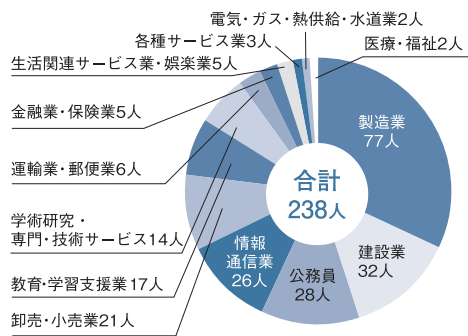
経済学部



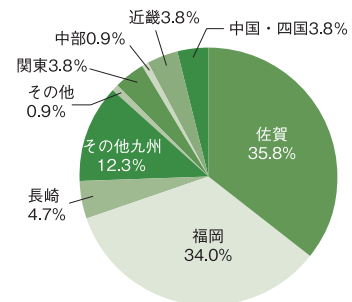
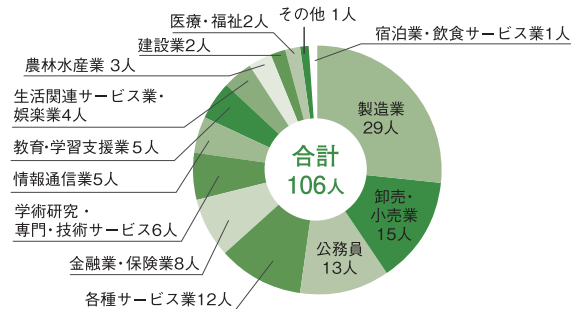
医学部



理工学部



農学部



キャンパスカレンダー

Campus calendar

大学の365日は、勉強・スポーツ・レクリエーションなど様々な活動にあふれています。
自由な時間を有意義に過ごし、充実した学生生活を送りましょう。



新入学生健康診断
入学式
学部オリエンテーション
学友会紹介
サークル紹介
前学期開講
在学生定期健康診断



April
4

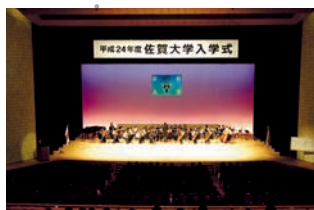
May
5

June
6

July
7

August
8

September
9



入学者選抜要項発表
(初旬)
学生募集要項(AO)発表
(上旬)
前学期定期試験

夏季休業

オープンキャンパス
本庄キャンパス
(文化教育・経済・理工・農)
鍋島キャンパス(医)

学生募集要項(推薦・帰国
子女)発表(初旬)



オープンキャンパス

平成24年度オープンキャンパスは、8月9日(木)に開催します。去年は約5000名の参加者で賑わいました。大学の雰囲気を感じ取る数少ないチャンスですので奮ってご参加ください。





後学期開講
 学生募集要項(私費外国人
 留学生)発表(上旬)
 解剖体慰靈式
 むつごろう祭(鍋島キャンパス)
 大学祭(本庄キャンパス)

October

10

学生募集要項(一般)発表(上旬)
 平成25年度推薦・帰国子女入試

November

11

December

12

平成25年度
 大学入試センター試験

January

1

後学期定期試験
 平成25年度
 一般入試
 「前期日程」

February

2

平成25年度
 一般入試
 「後期日程」
 学位記授与式

March

3

冬季休業



キャンパスカレンダー

サークル活動

Extracurricular activities



| 佐 | 大 | の | サ | ー | ク | ル | 活 | 動 |

女子サッカー部

こんにちは!!佐賀大学女子サッカー部です。現在は社会人・他大学・高校生・マネージャーを含めて約20人で楽しく活動しています。監督やコーチがないので日々の練習メニューは自分たちで考えていますが、初心者が多いのでパスやシュート練習など基礎的なメニューから応用まで練習しています。活動時間は週3回で2時間程度なので、バイトや勉強や遊びと両立して行うことができますと思います。試合日程としては、5月～10月に県リーグがあり、8・9・3月には九州大会へつながる県大会があります。また、もう1つの活動としてキッズサッカーのコーチをしています。主に小学校の低学年を対象としているので、コーチと言っても技術的なことを教えるわけでもなく、ボールを使って体を動かす簡単な楽しいメニューをしています。



サッカー初心者でも一緒に楽しくコーチをすることができるし、学生生活で子供たちと関わることもある人ない人共に貴重な経験になると思います。私たち女子サッカー部(ジョッカー)は、先輩・後輩が仲良くみんなで助け合いながらプレーしています。ぜひ、皆さんもその一員になりませんか。

| 佐 | 大 | の | サ | ー | ク | ル | 活 | 動 |

空手部

こんにちは、佐賀大学医学部空手部です!空手部は男子15人、女子13人の総勢28人で毎週火曜日、木曜日の17:30～19:30、土曜日の13:00～15:00に練習しています。部員のほとんどは未経験者で、運動経験の全くなかった人もたくさんいますが、先輩たちが一から教えてくれるので、誰でも黒帯がとれるまで上達できます。「空手」というと、もともとゴツい人がやるものとか、危ないものと言う印象を持つかもしれませんが、そんなことは決してありません。はじめは怪我しないための身体づくりや、受験でなまった体のリハビリから取り組んでいくため、元々運動のあまり得意でない人でも全く問題ありません。さらに、医学部では避けて通れない勉強面でも、同級生だけでなく、先輩達まで交えた勉強会を開いて部全体で取り組み、文字通り「文武両道」を目指して頑張っています。そのほかにも、部活での大会や合宿、学際の実験、キャンプなど様々な行事や



イベントが勉強漬けの学生生活に彩りを添えてくれます。そして何より、一番の魅力は「変わる」ということです。空手は自分自身の身体を使った武道であるため、自らの心身の弱さと真剣に向き合うこととなります。それを通じて、人間として成長することを何より大事にしているため、自分に自信のない人、人前で意見を言うのが苦手な人も、「私なんか…」と思わずに、良き医療者になれるよう一緒に頑張りましょう!

| 佐 | 大 | の | サ | ー | ク | ル | 活 | 動 |

茶道部

こんにちは!!佐賀大学医学部茶道部です!!現在茶道部は部員約40名で、火曜日と金曜日の週2回活動しており、月に一度は佐賀で裏千家No.1の先生をお呼びして、指導していただいています。茶道経験者が多いと思うかもしれませんが、大学から茶道を始めた人



の方が多く、アットホームな雰囲気の中でお点前(お茶をたてること)をすることが出来ます。男性部員も少人数ながら頑張っていますよ!茶道は日本の心ともいえる伝統文化の一つで、人を敬い、和みの世界と物事に動じない心を生み出していくものです。また茶道をするにあたり、忘れてはならないのはおもてなしの心です。このおもてなしの心は亭主(お茶をたてる人)の所作にも表れます。おもてなしの心をもてば、自分にも、お客様にも満足のいく空間や時間を作ることが出来るのです。また所作の他にも、茶道具や茶室に飾る美術品にも心が表れます。このようなお点前以外のことを学び、茶道に対する理解を深めていくことも日本人の心に触れる気がしてとても楽しいです。忙しい学生生活の中でほんの少しのまったり、ゆったりとした優しい時間…そんなひとときを一緒に作ってみませんか?

| 佐 | 大 | の | サ | ー | ク | ル | 活 | 動 |

混声合唱団

こんにちは!佐賀大学混声合唱団コーロ・カンフォードです。私たちのサークルは創立50年を超える歴史があり、現在は約50名の団員が所属している、とても賑やかなサークルです。合唱というと、あまり馴染みがなく、経験が無い人には疎遠がちかもしれませんが、実



は団員の半数以上が未経験者です。たくさんの人と、綺麗なハーモニーを奏でることを一度味わってみてください。きっと合唱の魅力にはまってしまいますよ。活動日は毎週月・木・金で、12月には1年間の集大成として発表会があります。ホールで歌うことは、普段の練習とはまた一味違った感覚です。また他にも、年4回九州内の大学の合唱サークルが集まる行事もあり、九州各地に友達ができます。春と夏には合宿があり、ここでは充実した練習ができるだけでなく、団員との絆をより一層深めることもできます。多人数でわいわいするのが好き、友達をたくさん作りたい、充実した4年間を過ごしたい、楽しいことが好きな方、大歓迎です。コーロに入団したら、絶対後悔はしません!!私たちと一緒に、人々に感動を与えませんか?そして、一生忘れられない時間を過ごしましょう!!

佐賀大学公認サークル

■本庄キャンパス

文化系(20)

アニメーション研究会/囲碁・将棋部/S.V.C/FMメディア研究会/演劇部/管弦楽団/クラシックギター
ハーモニー/K-net/混声合唱団/コンピューター研究会/茶道部/写真部/ジャズ研究会/吹奏楽団/ハワイアンミュージック研究会/美術部/フォークソング研究会/文芸部/漫画研究会/ユースホステルサークル

体育系(35)

アーチェリー部/合気道部/アイスホッケー部/アメリカンフットボール部/エアライフル射撃部/空手道部/弓道部/競技ダンス部/剣道部/硬式庭球部/サイクリング部/サッカー部(男子・女子)/自動車部/柔道部/準硬式野球部/少林寺拳法部/水泳部/スキー部/ソフトテニス部/ソフトボール部/卓球部/探検部/テコンドー部/熱気球部/バスケットボール部(男子・女子)/バドミントン部/バレーボール部(男子・女子)/ハンドボール部(男子・女子)/フットサル部/ラグビー部/陸上競技部

■鍋島キャンパス

文化系(21)

混声合唱部/現代音楽倶楽部/音楽鑑賞部/美術部/軽音楽部/茶道部/ESS/国際医療研究会/すずめの学校/天文学部/室内楽部/ケヤキの会/漢方研究会/SMILE/SILS(ACLSサークル)/写真部/IFMSA-Saga(イフムサ・サガ)/オレンジ/USGOS(ウスゴス)/LA部/書道部

体育系(27)

硬式テニス部/漕艇部/卓球部/準硬式野球部/空手部/バスケットボール部/剣道部/サッカー部/ラグビー部/バドミントン部/水泳部/馬術部/バレーボール部/柔道部/ヨット部/弓道部/ジャズダンス部/陸上競技部/ビリヤード部/チアリーディング部/フットサル部/ΩPOINT(オメガポイント:ウィンタースポーツ関係)/ソフトテニス部/ソフトボール部/モーターサイクル部/ダンス部/アーチェリー部

学生の活躍

Extracurricular activities

自ら企画、自ら実践。溢れるアイデアを形に変える佐賀大生たち

佐賀大学では、「何かをやりたい」という強い思いを持った学生が集って様々な団体を立ち上げています。

これらの団体は、誰から言われたからというわけではなく、自分たちの意志で集って行動している学生です。学生ならではのアイデアや行動力を武器に幅広い分野で活躍し、地域や社会に貢献しています。



■ U-Sagaとは

佐賀大学には大学の内外を問わずに、活動をしている団体があります。しかし、今までこれらの団体をいろんな人に知ってもらえるようなイベントがありませんでした。そして、残念なことに各団体同士で交流がほとんどなく、お互いのことをよく知らないという状態になっていました。

そこで今回から始動したのが『U-saga』です。このプロジェクトの中の一つのイベントでは佐賀大生たちの活動を広く内外に知ってもらえるようにと、プレゼンテーションや説明ブースの設置を行いました。今後も定期的に佐賀大生たちの取り組みを発信するイベントをしていきます。また、このプロジェクトをきっかけに団体間のつながりを生んで、各団体の特性を最大限に引き出すという役目も担っていきます。



√佐大

“佐賀には何も無い” “シャッター通り商店街” “若者がいない”

そんな街中の問題と向き合い、解決していく地域活性化団体、それが√佐大です。

『若者と街を繋ぐ架け橋となる』ことを活動理念に置き、商店街を中心に3つの活動を通して、街に活気を生みきっかけづくりを行っています。まず、『寺子屋ばるん』という小中学生の学習塾です。運営のすべてを大学生だけで行なっています。生徒とのコミュニケーションを充分に取り、わかるまで指導を行う中で、生徒と講師が共に成長できる空間作りをしています。次に、『街なか瓦版』というフリーペーパーの編集・発行です。お店などへの取材、記事の編集などを通して様々な人と出会い、街の良さを見つけることができます。そして、街なかでのイベントの企画・運営です。長期休みには学生を対象としたイベントや商店街の方々も参加できるイベントなどを企画することで、街に活気を生みきっかけづくりをしています。



JASP 佐賀

〈JASPホームページ〉 <http://watalucky.com/jasp/index.html>

“JASP-Japan All Student Project-は福島に「大震災3.11の日を最幸の日に変えよう!」、「全国の学生をつなげて、若者の力を見せつけよう!」というコンセプトのもとに発足しました。そして、JASPの最初の活動として「全国たすきリレー」というイベントが開催されました。「全国の想いを福島に」「全国の学生をつなげよう」をテーマに、全国各都道府県で47キロを47人で走り、たすきをつなぎました。このたすきをJASP福島支部のスタッフが車2台で、太平洋と日本海の2ルートにわたり日本を1周し、日本全国、各都道府県支部のJASPスタッフと協力して行いました。

これからの活動は、「きっかけ」、「つながり」を大切にしていこうというコンセプトのもとに、JASPが誰かの、何かのきっかけになるために活動を行っています。



NPO法人 佐賀大学スーパーネット

もともとは私たちの先輩方がベンチャー企業を立ち上げようとしていたが、産学・地域連携機構の佐藤先生と一緒に話を詰めていって、NPO法人ってこの大学にも無いから立ち上げてみよう!というのがきっかけで設立されました。

スーパーネットは3つの事業を柱として活動を行っています。

1、ふれあい農業体験事業部 2、キャリア教育事業部 3、PBR(ペットボトルリサイクル)事業部

「ふれあい農業体験事業部」では、佐賀市三瀬村に月一回行き、農家の方々のお手伝いをしています。

「キャリア教育事業部」では、佐賀市の小中学校、高校でキャリア教育をされているNPO法人鳳雛塾さんと連携をしながらキャリア教育のサポートをしています。「PBR事業部」では、佐賀大学内でゴミとして出されるすべてのペットボトルをキャップと本体に分ける作業を行い、キャップを回収し、リサイクルに出す。その後、リサイクルをして発生したお金をユニセフに寄付しワクチンに変え、発展途上国に送っています。今後は活動にスーパーネット以外の佐賀大学生に参加してもらい、他大学の学生、小中学生や高校生にも参加してもらえるように活動の幅を広げていきたいです。



SAS

佐賀芸術物語(Saga Art Story)とは主に佐賀大学美術・工芸課程の学生有志による、佐賀県内の文化芸術活動の普及・発展と芸術による社会貢献を行い、地域活動との連動による地域の活性化を図る団体です。2009年に創設されて以来街中や小学校で芸術活動を行ってきました。そして、私たちの活動の中で最も大きな企画となる“呉福万博”というイベントがあります。6年前に呉服町で行われた「呉楽横丁」、「アートコンプレックス」を経て、4年前から佐賀大学の美術・工芸課程の学生を中心にアートプロジェクト「呉福万博」が始まりました。今年SASを引き継いだ私達学生は、美術に触れることの楽しさ・面白さを広め、“美術は敷居が高い”という考えを払拭することを目的に活動します。個性や魅力の溢れる商店街・歴史的建造物が今も残る貴重な街が人々に知られずには廃れていくのはもったいないと考えていた私達は、芸術の面白さを知ってほしいという思いと、街の魅力を知ってほしいという思いを掛け合わせて、街と芸術を上手に結びつけ、アートの町として独自性を持った商店街として活気が戻ることを、そして美術の面白さに気づいてもらう事を目標に実行委員一同努力しています。



サガン鳥栖おもてなし大作戦

こんにちは。サガン鳥栖といえば、今シーズンからJ1に昇格した佐賀のプロサッカーチームです。J1に昇格したことをきっかけに、サガン鳥栖を盛り上げよう!そして鳥栖の町、そして佐賀県全体を盛り上げていこう!としているのが、サガン鳥栖おもてなし大作戦です。サガン鳥栖は2012年5月現在までホームでは負けなし。そしてサガン鳥栖の選手は日本代表候補やアンダー日本代表、韓国代表の選手が多数います。九州唯一のJ1のチームということもあり、とても盛り上がっています。私たちの活動は会議を行い、サガン鳥栖とのイベントプランの企画、実行を学生中心となって行動することです。普通の大学生活では関わることのできない社会人の方々やほかの大学の学生の方々と一緒に活動できるので、刺激を受けること間違いなしです!



チャリさがさいせい

チャリさがさいせいは、多くの大学内の放置自転車が捨てられている状況を変えようと2009年9月に発足しました。放置自転車を修理し販売するだけでなく、今乗っている自転車に長く乗ってもらおうと自転車修理活動も行っています。さらに、卒業生などから不要になった自転車を委譲していただき放置自転車になる自転車を防ぐという活動も行っています。再生活動、修理活動そして委譲を通して、放置され捨てられる自転車の無い世界(自転車再生循環の行き届いた状態)を目指しています。さらに、再生した自転車を地域の活性化につなげようと、観光に来られた方に駐車場で車から自転車に乗り換えてもらい、街の観光をしていただく「パーク&サイクル」の考え方を基にレンタサイクルも行っています。車では見落としがちな地域の良さを知ってもらうという狙いもあります。毎年、レンタサイクルは佐賀城下ひな祭りや、佐賀国際バルーンフェスタ等で行っています。



興佐醒學 ウェイク・プロジェクト

こんにちは、ウェイク・プロジェクト代表の富永です。みなさんウェイク・プロジェクトをご存知ですか？一言で言えば私たちは「交流」に重きを置いた「イベント屋」です。イベントは毎回2部構成で企画し、毎回社会のニーズを学生の力で解決していけるような取り組みを行います。例えば前は1部で佐賀市の愛敬町を中心とした佐賀の繁華街の清掃活動をアイスブレイクを兼ねて企画しました。雨天のため中止となりましたが、今回はぜひ成功させたいと思います。

2部では佐賀の企業である「らららグループ」の「Clotho」で、新しい自分を見つける、新しい友達を見つける、佐賀のおしゃれなお店を知るというコンセプトの元、100名規模の交流会を開きました。まだ駆け出しの学生団体ですが、みなさん一緒に楽しい企画、今までにないようなイベントを創り上げてみませんか？



有田地域活性化プランコンテスト実行委員会

私たち有田地域活性化プランコンテスト実行委員会は、佐賀県有田町をもっとワカモノの集うまちにするためのイベントの運営をやっています。そのイベントは2泊3日の泊まり込み形式で行うプランコンテストです。その3日間の中で全国から集まった参加学生にフィールドワークやヒアリングを通して、プランを練り上げ、プレゼンを行ってまいります。私たちのコンテストはプランを考えるだけでなく、そのプランを実行することに重点を置いています。活動のきっかけは他県でも行われている地域活性化プランコンテストを佐賀県でも行おうということで発足しました。現在は、第一回のコンテストであがったプラン実現に向けて活動しています。今後は若者のチカラで地域を盛り上げていく団体として、他大学の学生も含めたサークルを設立する予定です。そこでは佐賀県内でプランコンテストを行ったり、イベントを企画したり、お手伝いしたりと地域の人と一緒に活動できます。コミュニケーション能力などを高めることが出来、他ではできない実際に地域を動かす活動に参加して新しい世界を見ることが出来ます。一緒に地域社会に貢献して日本の未来を作っていく中で成長しませんか？



ソーシャルメディア研究会

私たちソーシャルメディア研究会はおもにfacebookというSNSを活用しながら活動を行っています。おもな活動内容としては、社会人と学生との交流会などを開催しております。もともと社会人の方々の間では交流会が行われていたのですが、前々から学生と社会人の方々が交流をするという機会がほとんどないと感じており、佐賀大学には熱意を持った学生がたくさんいるということ、また佐賀には素晴らしい社会人の方々がいらっしゃるということをお互いに知らないままではもったいないことだと思い、活動を始めました。この交流会を通して、学生と社会人による新しい動きなどもたくさん生まれました。またfacebookは基本的には実名主義であるため、その時一度限りの関係で終わるのではなく、繋がりが続くという点が大きな強みであると思います。そして近年では「ソー活」と呼ばれるような言葉も登場し、就職活動においてもソーシャルメディアの重要性は増えています。キャリア的な面においてもSNSに対するリテラシーを身につけることができます。しかしながらfacebookはあくまでツールであり、この繋がりを通して様々な新しいことを生み出していくことが重要です。大学生活が人生の中で一番自由に使える時間が多く、リスクを恐れずに行動できるのは今しかないと思います。大学という垣根を越えた広いコミュニティのなかで一緒に新しいことにチャレンジしていきましょう！



まちの間

- ①「まちの間」とは まちなかの空き家を学生向けのシェアハウスとして利用出来るよう、建築学生が主体となって改修工事をおこなった建物の名前です。まちの間1号は2010年12月に建物が完成して、現在は都市工学科の建築を学ぶ学生が3人でまちの間に居住しています。
- ②まちの間のきっかけ 佐賀のまちなか居住研究会が主催した「空き家に住もう実験」がきっかけで、当初はまちなかの空き家に住むことが目的でした。改修を進める過程で大学、行政、地元企業など多くの協力を得ることが出来、次第にプロジェクトが大きくなりました。まちの間プロジェクトとして、建物の改修だけではなく、現在は広い土間部分を利用して街づくりに関するイベントを行ったりしています。
- ③今後のまちの間 現在のまちの間は1号、2号と整備されており、今後も佐賀市の中心市街地において空き家を学生のシェアハウスとして利用出来るように整備を行います。多くの学生がまちの間に居住しながら、各々のサークル等の活動をまちなかで行うことで、まちなかが賑わえば良いと考えています。



Student Association of
Executive with Progressive Spirit
Faculty of Science & Engineering
SAGA UNIVERSITY

■ We're "STEPS" !!

こんにちは!! 私たちは「STEPS」です。「STEPS」は平成23年度に発足した、国際交流を推進する組織です。メンバーは佐賀大学理工学部学生表彰を受けた学生です。「STEPS」の特徴は"student-centric"（学生主体）であることです。今までは国際化の推進は先生方がリードして行うものと思っていました。しかし現在、世界的に国際交流の意識が高まっており、先生間の交流だけでなく学生が主体となった交流が求められていることが分かりました。そのため、私たち「STEPS」は、学生の目線で国際化を考え、私たち自身がリーダーシップを取り、今までにない組織的活動を行うことを目標にしています。私たちがここまで学生主体にこだわる理由は、昨年度の学生表彰受賞者海外研修での経験です。研修では、韓国の国立大学・私立大学・企業などを訪問しました。その時、韓国の学生と英語でコミュニケーションの中で、自分たちの英語力が国際的なレベルまで到達していないことに気づきました。また、国際化を進めるためには大学から与えられるものを待つのではなく、自分からチャンスを掴みにいく姿勢が必要だと感じました。昨年度は、「STEPS」の創立と佐賀大学に海外から来訪された先生や学生への対応を行いました。佐賀大学や「STEPS」の方針を英語で紹介したり、大学のキャンパスを案内したりすることによりホスピタリティの重要性を実感しました。今後の目標は、活動を通してグローバル感覚(国際交流)とコミュニケーション能力(会話)を磨き、人間性を向上させることのできる「STEPS」の輪を広げていくことです。

高校生のみなさんへ

佐賀大学は全学で国際化の推進に取り組んでいます。九州圏内でも留学生が最も多い大学であり、自然の美しさと人を大切にする文化に触れる機会が多いと思います。また、佐賀大学は頑張っている学生をしっかりと評価する大学です。例えば、「STEPS」のような学生主体の活動への支援や佐賀大学独自の返還義務なしの奨学金制度(かささぎ奨学金)も整っています。このようなチャンスをどう生かすかは、学生自身の日々の取り組みにあると私たち自身も感じています。We are looking forward to welcoming you to 「STEPS」!!そして、「STEPS」のロゴを見かけたら声をかけてください。



海外の先生に佐賀大学の紹介



海外の学生達にSTEPSの紹介



■ SMILEとは

SMILEは、病院の入院患者さんに楽しんでいただけるようなイベントを企画したり、学外のボランティア活動に積極的に参加しています。

7月には「ハワイアン・タベ」という催しを開催します。入院患者さんを招待してフラダンスや歌のショーでハワイの気分を楽しんでいただいています。フラダンスや歌を披露してくれるのは、ハワイ大学からの留学生。毎年、素敵なショーで会場全体が南国リゾートの雰囲気になる、患者のみならずご好評をいただいています。12月には、クリスマスの雰囲気を味わっていただけるように、「病院まるごとクリスマス」と題して病棟のクリスマスデコレーションをしたり、室内楽部や合唱部と協同で、クリスマスコンサートを開き、患者さんに少しでもクリスマスの気分を味わっていただけるよう工夫しています。クリスマスデコレーションは、病棟の談話室を中心に行いますが、「少しあるだけでも、雰囲気が変わっていいね。」などと、喜びの声をいただきました。クリスマスコンサートは、サンタやトナカイの格好をした室内楽部や合唱部のみなさんが素敵な演奏や合唱を披露し、会場全体が一つになって、「きよしこのよる」を合唱して会を締めくくります。昨年は、患者さまからのサプライズの花束贈呈もあり、大変盛り上がりました。また、学外の活動として、2か月に1回開かれる「ダウン症児の赤ちゃん体操会」にボランティアとして参加し、兄弟と一緒に遊んだり、お話をしたりといった活動をしています。ダウン症の赤ちゃんやそのご両親と触れ合える大変貴重な経験をさせていただいています。病気を治療しようと頑張っている患者さんに、私たちが何かできることはないかと考え、始まった活動です。これからも、患者のみならずほんの少しでも楽しいひとときを過ごしていただけるよう、私たちにできることは何かを考え、工夫し活動していきたいと思っています。

学生の1日

Campus Life

大学生はどんな1日を過ごしているの？

鍋島キャンパスと本庄キャンパスの一人暮らしをピックアップ!!



中村 有里

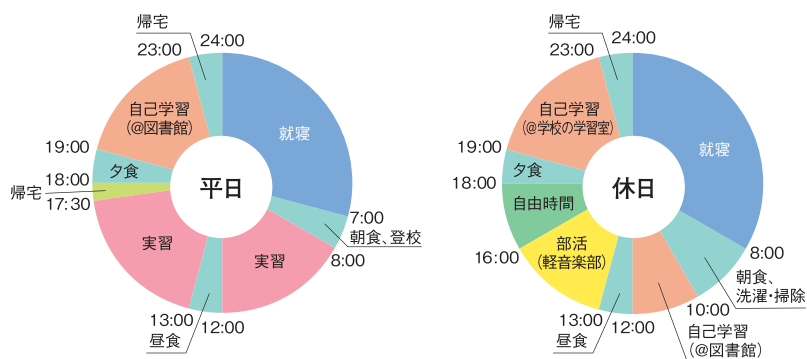
医学部医学科 6年 (長崎県青雲高等学校出身)



趣味は海外への一人旅。
料理教室にも通ってお弁当づくりが日課。

2年生までは下宿生活で、3年生になって一人暮らしを始めました。私にとって自宅はくつろぎの空間。あえて勉強机は置かず、土日以外は24時間開館している大学の図書館で勉強をしています。医学部を目指したのは、国境なき医師団の本を読んで国際保健医療に興味を持ったから。一人旅が好きで、これまでタイやベトナム、ニューヨーク、ヨーロッパなど巡りましたが、一ヵ月滞在したケニアでは、JICAの事務所を訪ねて医療現場を学びました。海外で働きたい夢は今も変わっていませんが、大学の幅広い学びのなかで将来への視野が広がり、悩んでいる最中です。まずは勉強をしっかり頑張って、医師になることを第一に考えています。現在、病院実習で忙しい日々ですが、料理教室に通っていて毎朝のお弁当作りがいい気分転換になっています。佐賀大学の魅力は、学内の雰囲気がとても温かいこと。先生や周りの友人はももちろん、地域の人々や町の雰囲気も温かいので住みやすく、学びやすい環境ですよ。

■ 中村さんの平日と休日の過ごし方



■ 1ヵ月生活費(例)

例:中村さんの生活費

収入		支出	
仕送り	50,000円	家賃・光熱費	70,000円
奨学金	100,000円	食費	30,000円
		携帯	7,000円
		交通費	3,000円
		趣味・娯楽・交際費	30,000円
		その他	10,000円
収入合計	150,000円	支出合計	150,000円



熊岡 秀幸

理工学部機能物質化学科 4年 (佐賀県立佐賀北高等学校出身)



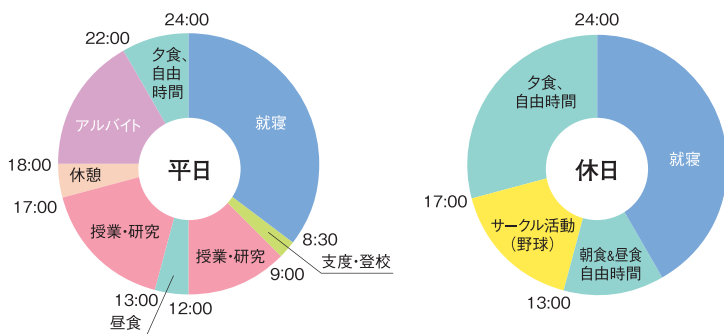
勉強も、サークルも、エンジョイ。
初志貫徹の精神で行こう！

2年生の時、以前から経験したいと思っていたひとり暮らしをはじめました。実は自宅も大学の近くですが、あくまでも生活の拠点はこのアパート。日々の生活では、何でもひとりでやることのたいへんさを実感しています。4年生になった今は研究室に配属され、「阻害剤」をテーマに物質の新しい可能性を探っています。研究室では自分専用の机をもらえるのですが、まるで第二の我が家のような新鮮な感覚です。来年は大学院に進む予定で、将来は理科の教師を目指しています。アルバイトで塾の講師をしています。担当は高校の化学で、将来に向けていい経験になっています。サークルは野球部とソフトボール部に所属し、土日の練習で心身ともにリフレッシュしています。サークル活動を通して先輩、後輩との交流が深められるのも楽しみのひとつです。大学生活は学年が上になるにつれ、いろんなことがルーズになりがちどころがあります。だからこそ、初志貫徹の精神が大切だと思います。



学生の1日

熊岡さんの平日と休日の過ごし方



1ヵ月生活費(例)

例：熊岡さんの生活費

収入		支出	
仕送り	80,000円	家賃	40,000円
アルバイト代	25,000円	食費	30,000円
		光熱費	7,000円
		教養娯楽費	9,000円
		書籍代	6,000円
		貯金・繰り越し	7,000円
		その他	6,000円
収入合計	105,000円	支出合計	105,000円

学生生活支援

Student life support

大学生活に必要なお金の話です。

授業料免除制度や奨学金制度について自宅通学与一人暮らしの違いについて事前に調べておくことは、これからの大学生活にとって大変重要です。

学費と奨学金制度

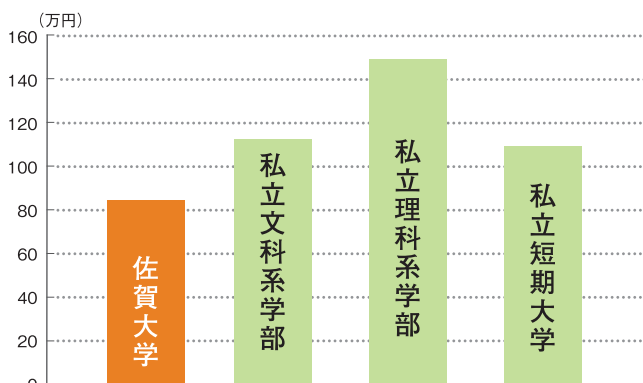
初年度納付金はこれだけ違う

佐賀大学の初年度納付金

817,800円

(入学金:282,000円、授業料:535,800円)

国立大学の学費は、私立大学の平均と比べ、文科系で約35万円、理科系で約70万円(医歯系は、約400万円)の開きがあります。



(資料)「平成22年度 私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額 (定員1人当たり)の調査結果」より作成

授業料免除制度

学費の納付が困難かつ学業優秀と認められる学生および入学料の納入が著しく困難と認められる学生について、本学では以下のような制度を設けています。

- 授業料免除制度: 授業料の全額または半額を免除します
- 入学料免除制度: 入学料の全額もしくは半額を免除します
- 入学料徴収猶予制度: 入学料の徴収を一定期間猶予します (免除ではありません)

授業料免除者、入学金免除者の実績

区分	学部			大学院			
	申請者数	免除者数	免除率(%)	申請者数	免除者数	免除率(%)	
授業料	全額免除	1,661	119	7.2	458	22	4.8
	半額免除		1,363	82.1	394	86.0	
入学料	全額免除	1	0	0	79	11	13.9
	半額免除		0	0	6	7.6	

奨学金貸与者の実績

奨学生数は、平成24年3月現在

区分	日本学生支援機構			地方公共団体 その他	合計
	第一種	第二種	小計		
文化教育学部	228	426	654	6	660
経済学部	243	476	719	18	737
医学部	214	311	525	20	545
理工学部	388	916	1,304	19	1,323
農学部	148	236	384	7	391
合計	1,221	2,365	3,586	70	3,656

奨学金制度

日本学生支援機構奨学金

区分	利子	貸与金額	特徴
第一種奨学金	無	自宅通学生/30,000円、45,000円	本人の成績および経済状況で選考される。
		自宅外通学生/30,000円、51,000円 の中から学生が選択	
第二種奨学金	有	30,000円、50,000円、80,000円、100,000円、120,000円 の中から学生が選択	第一種の選考基準よりも選考が緩やか。

かささぎ奨学金(予約型奨学金)

概要	佐賀大学独自の給付型の奨学金で返還不要のものです。入学を希望する優秀な学生に対して、奨学金を給付します
支給額	年間30万円×4年間(医学部医学科は6年間)ただし、在学中の成績が芳しくない場合は、受給資格を失うことがあります。
採用予定者数	12名程度
選考方法	[推薦入試]各学部ごとの推薦入試の成績上位者 [前期日程]各学部ごとのセンター試験の成績上位者

かささぎ奨学金の申請数と採用数(平成24年度入学者)

学部	文化教育学部	経済学部	医学部	理工学部	農学部	合計
申請数	185	148	118	461	145	1,057
採用数	2	3	2	3	2	12

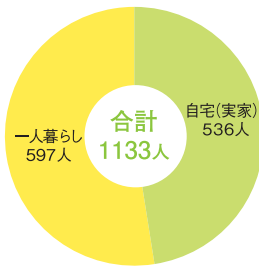
その他奨学金

地方公共団体及び民間育英団体の奨学金については、奨学生の募集がある場合に学内掲示板等で案内しますので、申請を希望する場合は、学生生活課に問い合わせください。

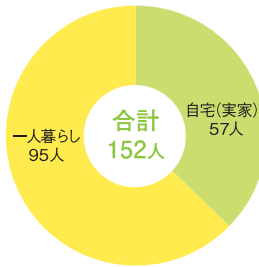
佐賀大生の生活 (平成23年度新入生アンケート調査より)

住まいについて

■ 本庄キャンパス

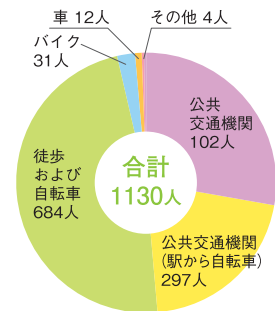


■ 鍋島キャンパス

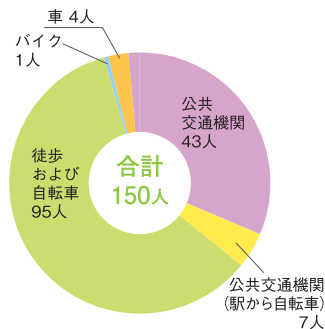


通学について

■ 本庄キャンパス



■ 鍋島キャンパス



通学に必要な費用および各駅の始発と終電

経路	手段	料金(一カ月)	時間	始発[平日]	最終[平日] 佐賀駅発
博多～佐賀	JR(普通)	13,230円	1時間	5:13	22:20
	JR(特急)	32,250円	34分	6:00	23:21
天神～佐賀	バス	25,440円	1時間9分	7:02	22:10
鳥栖～佐賀	JR(普通)	8,750円	23分	6:09	22:47
	JR(特急)	17,930円	15分	6:22	23:21
二日市～佐賀	JR(普通)	10,320円	44分	5:37	22:20
久留米～佐賀	JR(普通)	9,330円	40分	5:53	22:47

※料金は、学割適用価格。特急は、エクセルバスを使用した場合の金額
 ※上記データは、あくまでも参考データであるため、正確な情報を知りたい場合は、JR等にご確認ください。

一人暮らしについて

アパート等の紹介

佐賀市にはアパート等の斡旋業者がたくさんありますが、佐賀大学生協同組合でも学生向けアパートの紹介および斡旋を行っております。

例：アパートの相場(共益費込)

価格	条件
28,000円	和室6畳,風呂トイレ別(本庄キャンパスまで自転車で5分)
35,000円	洋室6畳+ロフト2.5畳,風呂トイレ別(鍋島キャンパスまで自転車で5分)
46,200円	洋室7畳(女性専用),風呂トイレ別(本庄キャンパスまで自転車で5分)

生活費

自宅生

収入		支出	
小遣い	12,900円	食費	8,020円
奨学金	19,670円	交通費	9,900円
アルバイト	23,750円	教養娯楽費	4,620円
その他	930円	書籍代	1,720円
		勉学費	1,400円
		日常経費	4,660円
		電話代	3,670円
		貯金	18,170円
		その他	5,090円
収入合計	57,250円	支出合計	57,250円

一人暮らし

収入		支出	
仕送り	46,840円	食費	18,000円
奨学金	34,280円	住居費	45,490円
アルバイト	24,450円	交通費	1,930円
その他	1,680円	教養娯楽費	8,320円
		書籍代	1,820円
		勉学費	1,430円
		日常費	6,450円
		電話代	3,860円
		貯金	12,910円
		その他	7,040円
収入合計	107,250円	支出合計	107,250円

佐賀大学生協同組合調べ(2011年学生生活実態調査より)

● JR佐賀駅から自転車を利用する場合

JRを利用する学生の多くが、JR佐賀駅周辺の市営の駐輪場(有料:1カ月1,010円)に自転車を置いて通学に利用しています。自転車は、キャンパス内の移動にも便利です。

● JR佐賀駅からバスを利用する場合

佐賀駅から各キャンパスまではバスも利用できます。本庄キャンパスまでは約13分(190円)、鍋島キャンパスまでは約26分(310円)かかります。ただし、渋滞で遅れたり、雨の日には利用者が多くなることがあります。

学生寮[楠葉寮]について

項目	概要
収容定員	男子100名 女子50名 (空き部屋に応じて入寮者数を募集)
費用	月額5,300円(共益費込) 別途,光熱費等で5,000円程度を自己負担
部屋の形態	洋式個室(約6畳)。各部屋には,ベッド,整理箱,机,椅子,本棚が設置 風呂およびトイレは共同。各階に,補食室,洗面所,洗濯室,トイレあり。
入寮期間	2年間
入寮条件	健康かつ自宅からの片道通学機関が公共交通機関で90分以上かかる人 上記該当者で家族状況および経済状況を勘案して入寮者を決定
場所	本庄キャンパス内

相談窓口

Student life support

大学生活に関する様々な相談窓口があります。

大学生活は、自分の勉強したいこと、やりたいことを主体的かつ自由に行うことができます。その反面、自分の居場所が見つからなかったり、自分のやりたいことと現実とのギャップで悩んだりすることが生じるかもしれません。一般的に、大学生が悩んだり、困ったりすることとして以下のようなものがありますが、こうした不安や悩みが生じた時、一人で悩まずに第三者に相談することも必要です。大学では様々な相談窓口を用意していますので、気軽に相談してください。

学生生活について

授業がわからない、ゼミで浮いている、サークルになじめない、相談するところがない。

進路について

就職活動をどうすればよいかわからない、自分の進路を決めきれない、社会に出るのが不安。

人間関係について

友人との関係がうまくいかない、恋愛のことで悩んでいる、コミュニケーションができない。

生活環境について

アルバイトがうまくいかない、経済的に困っている、家族との関係がうまくいかない。

その他

詐欺にあった、交通事故にあった、不審者に付きまとわれている。

学生なんでも相談窓口



「学生なんでも相談窓口」は、学生の皆さんのキャンパスライフにおける疑問や悩み、困っていることの内容に応じてアドバイスしたり、相談員(学内外の関係者)を紹介する窓口です。

キャンパス・ソーシャルワーカー



何らかの理由で大学の講義等に出席できない学生や特別に支援が必要な学生に対して、キャンパス・ソーシャルワーカーが積極的に連絡を取り合い、場合によっては直接向いて相談を受けるなどのアウトリーチ型の支援をします。

カウンセラー相談窓口



「カウンセラー相談窓口」は、学生の皆さんの心や身体の相談、キャンパスライフのあらゆる疑問や悩みなどについて、専門のカウンセラーに相談ができます。

学生アドバイザー

教職員やカウンセラー以外にも学生によるサポート(ピアサポート)も実施されています。

身体・精神面上の相談



保健管理センターでは、身体的な健康についてだけでなく、就学上の問題や対人関係上の問題など、心理的、精神的な健康についても相談ができます。

新入生アドバイザー

新入生が入学して感じる疑問について、新入生アドバイザーが相談に応じます。「履修の仕方が分からない」「面白い授業を教えてください」「建物が分からない」など気軽に相談することができます。

学習アドバイザー

授業で分からなかった点、自学自習のポイント、学習方法に関する悩みや疑問など学習上のさまざまな悩みや疑問について学習アドバイザー(大学院生)が相談に応じます。

チューター(担任)

各学部において学生ごとにチューター(担任)がつきます。修学、進路選択、心身の健康などについて、アドバイスが必要な場合は、気軽に相談してみてください。

ノートテイク・手話通訳

支援を希望する聴覚障がい学生等に対し、ノートテイク、手話通訳等のサポートが受けられます

佐賀大学 生協

【URL】 <http://kyushu.seikyoku.ne.jp/scoop/>

【お問い合わせ先】 Tel. 0952-25-4450

学生を福利厚生面でサポートする大学生生活協同組合

佐賀大学には学生を福利厚生面でサポートする大学生生活協同組合(大学生協)があります。(現時点では本庄キャンパス内のみ)大学生協は食堂・売店・書籍部等の営業の他にアパート斡旋や管理、受託共済業務を行っています。近年特に学びと就職対策面で佐賀大生をサポートするために各種対策講座の学内での運営にも力を入れています。先輩と後輩のつながりによる、合格者によるサポーター制度などにより公務員試験、教員採用試験ともに年々合格者が増加しています。食事面では栄養バランスが偏りがちな大学生にきちんと食べて学んでいただきたい目的で「ミールカード」システムを2004年から導入して好評をいただいています。自動車学校の組合員割引やJR、高速バスなどの安価なチケットの取り扱いなどのサービスも充実しています。



大学会館店



かささぎホール

学びのサポート

学内実施の公務員試験対策講座、教員試験対策講座、TOEIC 入門講座などで佐賀大生の学びとキャリア、成長をサポートします。先輩が後輩をアドバイスするサポーター制度も確立しています。



公務員試験対策講座



TOEIC入門講座



講座担当職員による面談



専門書・就活書の品揃え(大学会館)



食のサポート

バランスがとれて安全で安心な食事を3食利用いただけます。年間前払いの食堂利用システム(ミールカード)は自宅外生の6割以上に利用いただいています。



大学会館食堂
おかず・ごはん・サラダ・味噌汁の
セットがほとんど400円以下です。



食品店パウゼ



大学会館店(文教・経済地区)

情報機器、ソフトウェア、旅行チケット、文具、書籍、自動車学校、各種講座受付、すまい・共済の相談窓口

かささぎ購買店(理工・農地区)

パン弁当、食品飲料、文具、日用品、理工専門書など



佐賀大学オリジナル品

佐賀大学のお酒悠々知酔(ゆうゆうちすい)、マグカップ、ペンなど各種オリジナルグッズを各店舗に揃えています。



理容室 かささぎホール1F



銀行ATM

ゆうちょ銀行ATMが大学会館店前、佐賀銀行ATMが大学会館内、東京スター銀行ATMがかささぎホール内に設置されています。

入試情報

Entrance examination information

平成24年度 入試実績

学部	学科・課程・選修	募集人数					志願者数					受験者数					合格者数					入学者数									
		前期	後期	推薦	AO	依託機関推薦	計	前期	後期	推薦	AO	依託機関推薦	計	前期	後期	推薦	AO	依託機関推薦	計	前期	後期	推薦	AO	依託機関推薦	計						
文化教育学部	教育学・教育心理学選修	14	6	-	-	-	20	70	45	-	-	-	115	69	26	-	-	-	95	17	9	-	-	-	26	14	8	-	-	-	22
	障害児教育選修	6	3	-	-	-	9	19	42	-	-	-	61	18	22	-	-	-	40	7	3	-	-	-	10	7	3	-	-	-	10
	教科教育選修	23	8	11	-	-	42	101	88	33	-	-	222	100	43	33	-	-	176	25	8	11	-	-	44	25	6	11	-	-	42
	理科選修	5	2	-	-	-	7	15	23	-	-	-	38	15	12	-	-	-	27	6	2	-	-	-	8	6	1	-	-	-	7
	数学選修	5	2	-	-	-	7	22	19	-	-	-	41	22	11	-	-	-	33	7	2	-	-	-	9	7	1	-	-	-	8
	音楽選修	-	3	-	2	-	5	-	26	-	8	-	34	-	9	-	7	-	16	-	3	-	3	-	6	-	3	-	3	-	6
	国際文化課程	40	14	6	-	-	60	89	86	18	-	-	193	88	35	18	-	-	141	48	17	6	-	-	71	44	13	6	-	-	63
	人間環境課程	35	12	10	3	-	60	57	43	39	20	-	159	54	11	39	20	-	124	48	10	13	3	-	74	40	7	13	3	-	63
	美術・工芸課程	19	7	4	-	-	30	52	69	28	-	-	149	51	40	28	-	-	119	19	13	4	-	-	36	15	11	4	-	-	30
小計	147	57	31	5	-	240	425	441	118	28	-	1012	417	209	118	27	-	771	177	67	34	6	-	284	158	53	34	6	-	251	
経済学部	経済システム課程	100	40	-	-	-	140	236	329	42	-	-	607	225	115	42	-	-	382	123	44	23	-	-	190	91	38	23	-	-	152
	経営・法律課程	95	40	60	-	-	135	128	209	72	-	-	409	124	66	72	-	-	262	90	55	39	-	-	184	67	36	39	-	-	142
	小計	195	80	60	-	-	275	364	538	114	-	-	1016	349	181	114	-	-	644	213	99	62	-	-	374	158	74	62	-	-	294
医学部	医学科	51	20	33	-	2	106	196	461	101	-	15	773	181	240	101	-	9	531	51	21	33	-	2	107	51	20	33	-	2	106
	看護学科	32	5	23	-	60	114	63	65	-	-	242	112	29	65	-	-	206	34	7	23	-	-	64	31	6	23	-	-	60	
	小計	83	25	56	-	2	166	310	524	166	-	15	1015	293	269	166	-	9	737	85	28	56	-	2	171	82	26	56	-	2	166
理工学部	数理科学科	24	6	-	-	-	30	86	28	-	-	-	114	84	10	-	-	-	94	30	6	-	-	-	36	29	2	-	-	-	31
	物理科学科	32	8	-	-	-	40	94	31	-	-	-	125	93	17	-	-	-	110	40	11	-	-	-	51	34	9	-	-	-	43
	知能情報システム学科	48	10	2	-	-	60	162	53	10	-	-	225	158	32	10	-	-	200	55	10	4	-	-	69	54	6	4	-	-	64
	機能物質化学科	62	16	12	-	-	90	196	74	22	-	-	292	192	39	22	-	-	253	75	16	13	-	-	104	71	10	13	-	-	94
	機械システム工学科	68	17	5	-	-	90	173	53	7	-	-	233	170	27	7	-	-	204	82	20	5	-	-	107	77	13	5	-	-	95
	電気電子工学科	69	17	4	-	-	90	192	89	8	-	-	289	192	34	8	-	-	234	82	17	4	-	-	103	79	14	4	-	-	97
	都市工学科	61	15	14	-	-	90	226	63	35	-	-	324	220	33	35	-	-	288	70	15	19	-	-	104	66	11	19	-	-	96
小計	364	89	37	-	-	490	1129	391	82	-	-	1602	1109	192	82	-	-	1383	434	95	45	-	-	574	410	65	45	-	-	520	
農学部	応用生物科学科	25	10	10	-	-	45	75	98	35	-	-	208	72	56	35	-	-	163	32	11	10	-	-	53	30	9	10	-	-	49
	生物環境科学科	30	15	15	-	-	60	93	113	27	-	-	233	92	53	27	-	-	172	40	15	15	-	-	70	38	8	15	-	-	61
	生命機能科学科	30	5	5	-	-	40	145	132	25	-	-	302	137	73	25	-	-	235	35	7	5	-	-	47	32	5	5	-	-	42
	小計	85	30	30	-	-	145	313	343	87	-	-	743	301	182	87	-	-	570	107	33	30	-	-	170	100	22	30	-	-	152
合計	814	281	214	5	2	1316	2541	2237	567	28	15	5388	2469	1033	567	27	9	4105	1016	322	227	6	2	1573	908	240	227	6	2	1383	

※帰国子女入試、社会人入試は除く。

※経済学部の前期日程195名には、60名の推薦入試による募集人員を含みます。

平成24年度 一般入試における合格者のデータ

学部	学科・課程(専修)	前期日程				後期日程				
		センター・個別試験 配点比	センター平均点 (得点率)	個別試験平均点 (得点率)	合格最低点 (得点率)	センター・個別試験 配点比	センター平均点 (得点率)	個別試験平均点 (得点率)	合格最低点 (得点率)	
文化教育学部	教育学・教育心理学選修	900 : 200	619(68.8%)	119(59.4%)	709(64.4%)	1000 : 200	-	-	-	
	障害児教育選修		-	-	-		-	-	-	
	教科教育選修	1000 : 300	690(69.0%)	196(65.4%)	848(65.3%)		-	-	-	
	理科選修	825 : 100	-	-	-		925 : 100	-	-	-
	数学選修	1000 : 400	-	-	-		1100 : 200	-	-	-
	音楽選修	-	-	-	-		700 : 500	-	-	-
経済学部	国際文化課程	1200 : 800	809(67.4%)	529(66.2%)	1238(61.9%)	1200 : 300	873(72.8%)	215(71.8%)	1034(68.9%)	
	人間環境課程	1400 : 200	930(66.4%)	105(52.7%)	882(55.1%)	1400 : 200	997(71.2%)	163(81.5%)	1005(62.8%)	
	美術・工芸課程	600 : 500	424(70.7%)	351(70.3%)	709(64.5%)	600 : 600	351(58.5%)	417(69.5%)	713(59.4%)	
	経済システム課程	700 : 100	472(67.5%)	72.5(72.5%)	514(64.2%)	700 : 100	497(71.0%)	54.3(54.3%)	522(65.3%)	
	経営法律課程		480(68.5%)	73.4(73.4%)	512(64.1%)	502(71.7%)	54.2(54.2%)	516(64.5%)		
医学部	医学科	630 : 400	532(84.4%)	285(71.3%)	790(76.7%)	630 : 280	-	-	774(85.1%)	
	看護学科	650 : 260	478(73.6%)	214(82.3%)	670(73.6%)	590 : 280	-	-	-	
理工学部	数理科学科	900 : 600	587(65.3%)	377(62.8%)	896(59.7%)	1000 : 0	-	-	-	
	物理科学科		561(62.4%)	325(54.1%)	803(53.5%)		756(75.6%)	-	670(67.0%)	
	知能情報システム学科		561(62.4%)	334(55.6%)	830(55.3%)		756(75.6%)	-	735(73.5%)	
	機能物質化学科		573(63.7%)	342(57.0%)	845(56.3%)		750(75.0%)	-	706(70.6%)	
	機械システム工学科		552(61.3%)	299(49.8%)	785(52.4%)		714(71.4%)	-	613(61.3%)	
	電気電子工学科		573(63.7%)	305(50.8%)	801(53.4%)		741(74.1%)	-	712(71.2%)	
農学部	都市工学科	542(60.2%)	301(50.2%)	782(52.1%)	702(70.2%)	-	622(62.2%)			
	応用生物科学科	600 : 400	426(71.1%)	232(58.1%)	624(62.4%)	550 : 200	445(81.0%)	164(82.2%)	588(78.4%)	
	生物環境科学科		404(67.3%)	231(57.7%)	592(59.2%)	424(77.1%)	144(71.9%)	535(71.4%)		
生命機能科学科	431(71.8%)		257(64.2%)	652(65.2%)	-	-	-			

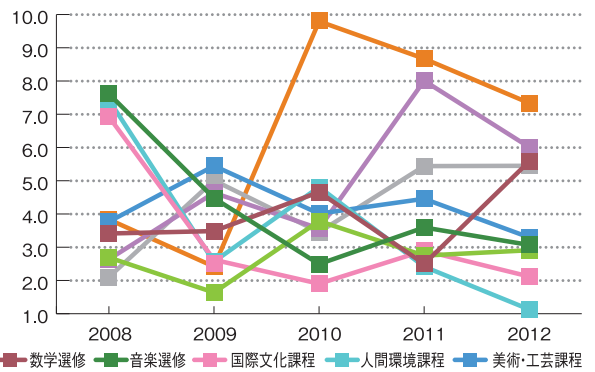
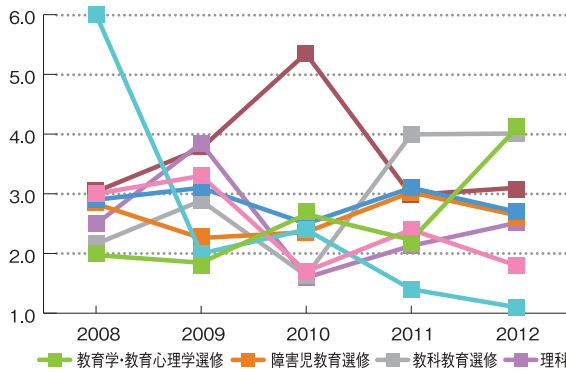
●合格者が10名未満のデータについては公表していません。

過去5年間における一般入試の実質倍率(受験者数÷合格者数)

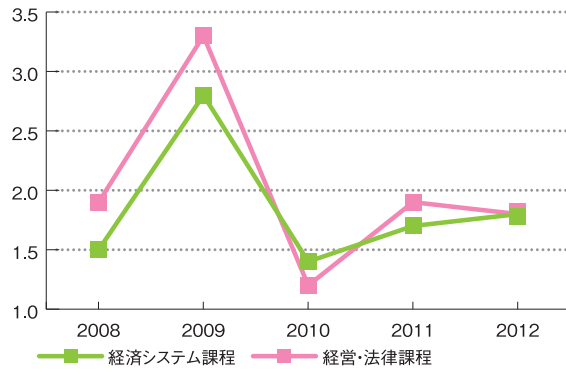
(前期)

(後期)

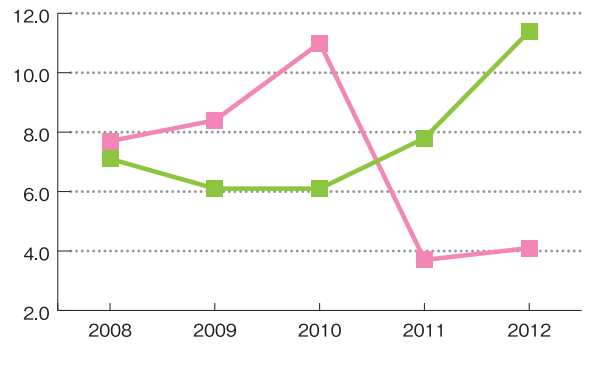
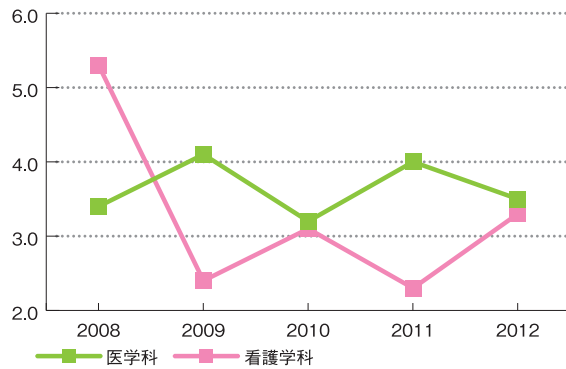
文化教育学部



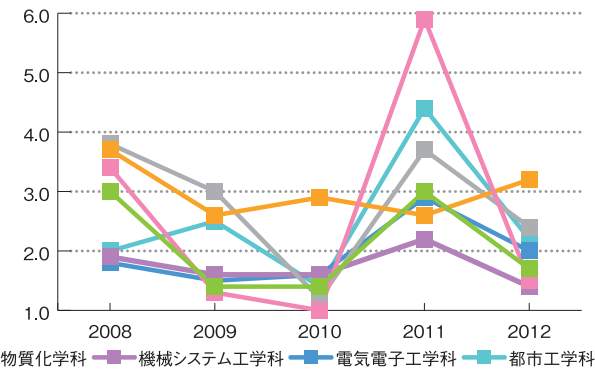
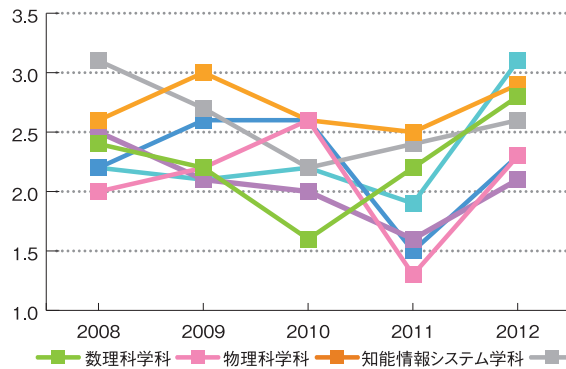
経済学部



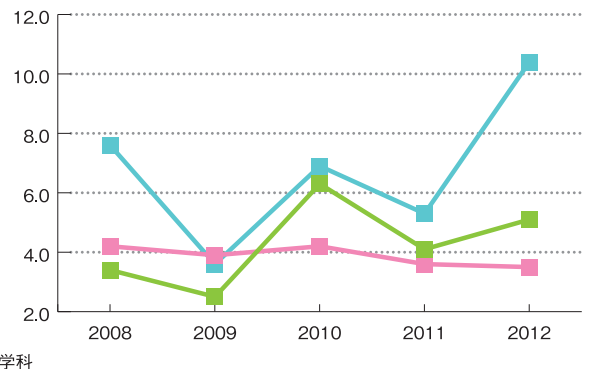
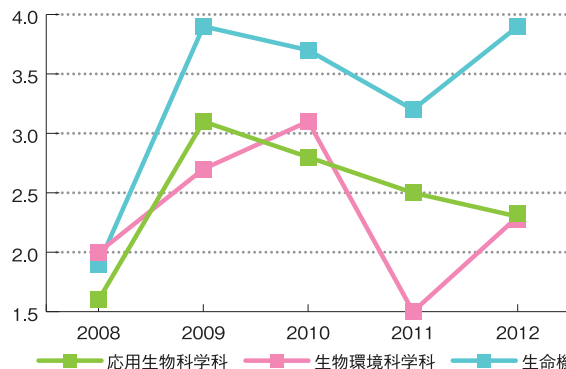
医学部



理工学部



農学部



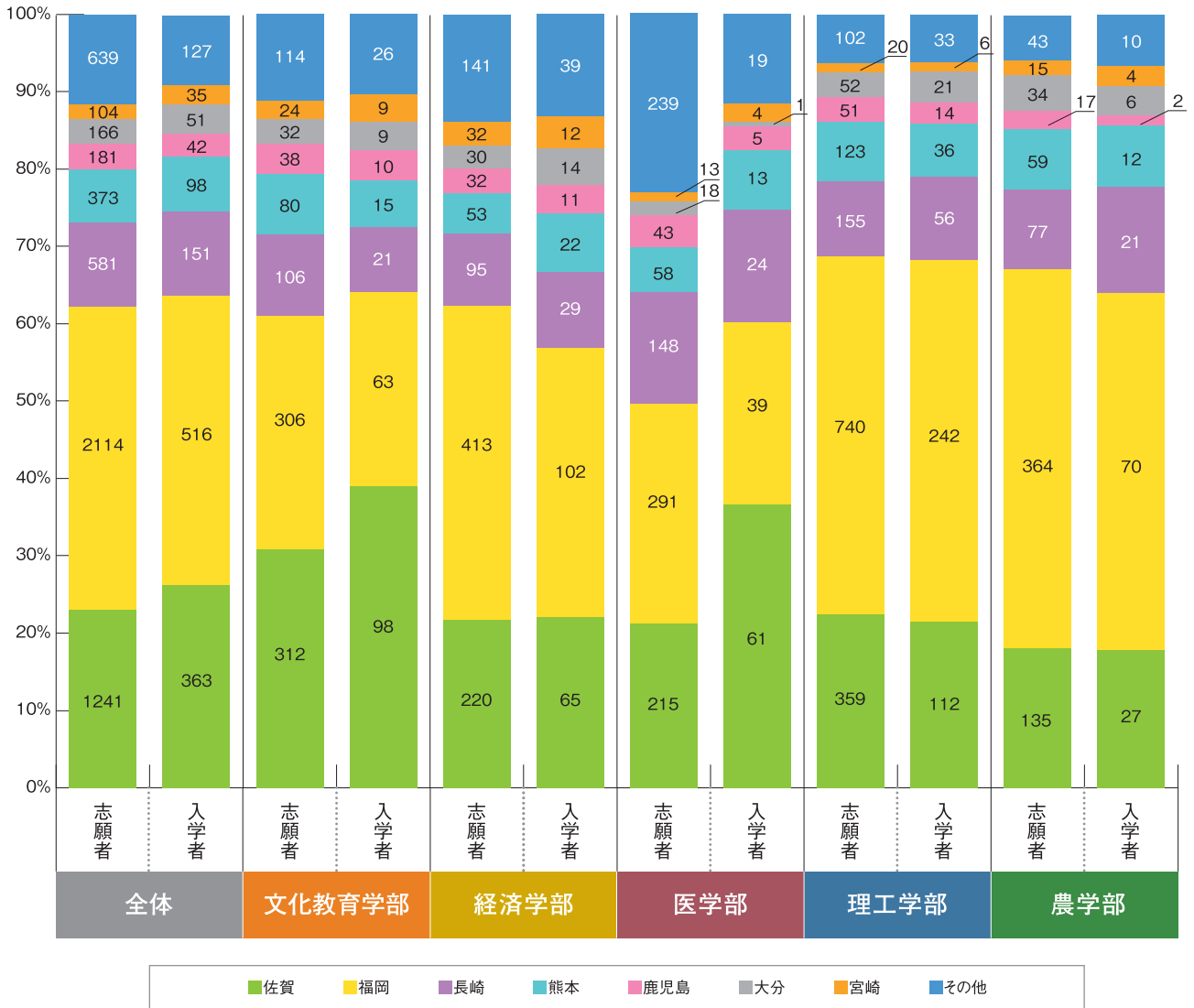
過去3年間の推薦入試実績

課程・専修	年度	募集人数	志願者数	第一次選考合格	第二次選考合格	入学者
学校教育課程 教科教育選修(全科)	H24	11	33	33	11	11
	H23		20	20	11	11
	H22		22	22	11	11
国際文化課程(全科)	H24	6	18	18	6	6
	H23		29	29	6	6
	H22		18	18	6	6
人間環境課程 生活・環境・技術選修(全科)	H24	2	5	5	2	2
	H23		2	2	2	2
	H22		5	5	3	3
人間環境課程 生活・環境・技術選修(総合学科)	H24	1	1	1	1	1
	H23		0	0	0	0
	H22		1	1	1	1
人間環境課程 健康福祉・スポーツ選修(全科)	H24	7	33	33	10	10
	H23		10	10	9	9
	H22		12	12	8	8
美術・工芸課程(全科)	H24	4	28	28	4	4
	H23		41	30	4	4
	H22		22	22	4	4
経済システム課程(普通科)	H24	30 (2課程合わせて)	30	30	15	15
	H23		36	36	15	15
	H22		47	47	17	17
経営・法律課程(普通科)	H24	30 (2課程合わせて)	36	36	17	17
	H23		34	34	17	17
	H22		47	47	13	13
経済システム課程(商業科・総合学科)	H24	30 (2課程合わせて)	12	12	8	8
	H23		7	7	4	4
	H22		4	4	4	4
経営・法律課程(商業科・総合学科)	H24	30 (2課程合わせて)	36	36	22	22
	H23		40	40	28	28
	H22		39	39	26	26
医学科(全科)	H24	33	101	101	33	33
	H23		96	96	33	33
	H22		71	71	28	28
看護学科(全科)	H24	23 (衛生看護科・総合学科と合わせて)	61	61	23	23
	H23		53	53	23	23
	H22		51	51	23	23
看護学科(衛生看護科・総合学科)	H24	23 (衛生看護科・総合学科と合わせて)	4	4	0	0
	H23		2	2	0	0
	H22		3	3	0	0
医学科(全科)[佐賀県推薦入学試験]	H24	2	15	9	2	2
	H23		17	8	2	2
	H22		30	6	2	2
知能情報システム学科(情報系の科・総合学科)	H24	2	10	10	4	4
	H23		4	4	3	3
	H22		12	12	4	4
機能物質化学科(普通科・理数科・総合学科)	H24	10	18	18	11	11
	H23		23	23	11	11
	H22		19	19	12	12
機能物質化学科(工業系の科・総合学科)	H24	2	4	4	2	2
	H23		3	3	1	1
	H22		3	3	2	2
機械システム工学科(機械系の科・総合学科)	H24	5	7	7	5	5
	H23		7	7	5	5
	H22		12	12	6	6
電気電子工学科(電気・電子・情報系の科・総合学科)	H24	4	8	8	4	4
	H23		10	10	4	4
	H22		15	15	5	5
都市工学科(普通科・数理科・総合学科)	H24	10	28	28	14	14
	H23		41	41	12	12
	H22		19	19	12	12
都市工学科(土木・建築系の科・総合学科)	H24	4	7	7	5	5
	H23		7	7	7	7
	H22		8	8	5	5
応用生物科学科(全科)	H24	7	28	28	7	7
	H23		26	26	7	7
	H22		22	22	7	7
応用生物科学科(専門系の科および総合学科)	H24	3	7	7	3	3
	H23		7	7	3	3
	H22		7	7	3	3
生物環境科学科(全科)	H24	12	21	21	12	12
	H23		30	30	12	12
	H22		26	26	15	15
生物環境科学科(専門系の科および総合学科)	H24	3	6	6	3	3
	H23		7	7	3	3
	H22		2	2	2	2
生命機能科学科(全科)	H24	4	22	22	4	4
	H23		19	19	5	5
	H22		31	31	5	5
生命機能科学科(専門系の科および総合学科)	H24	1	3	3	1	1
	H23		1	1	1	1
	H22		1	1	1	1

過去3年間のAO入試実績

課程・専修	年度	募集人数	志願者数	第一次選考合格	第二次選考合格	入学者
学校教育課程 音楽選修(全科)	H24	2	8	7	3	3
	H23		12	8	3	3
	H22		10	8	3	3
人間環境課程 健康福祉・スポーツ選修(全科)	H24	3	20	20	3	3
	H23		24	24	3	3
	H22		22	22	3	3

平成24年度 都道府県別志願・入学状況



大学

基本用語辞典

高校と大学では学習内容も生活も大きく変わり、初めて聞く言葉も多くあるはずです。ここでは主な基本用語をご紹介します。(50音順)

【インターンシップ】

「体験就業」とも呼ばれ、学生が企業などで一定期間、仕事をしながら研修する制度のことです。学部によってはインターンシップが一部単位として認められるところもあります。

【オープンキャンパス】

高校生や保護者を対象に大学のキャンパスを開放して実施されるイベントです。キャンパス内の施設や設備の案内をはじめ、学部・学科の説明、入試制度や入試実績を聞くことができます。大学の雰囲気を実際に確かめるだけでなく、正確な情報を得ることができる貴重な機会です。

【オフィスアワー】

学生が気軽に出入りできるように研究室を開放し、学業に関する質問や進路等の相談が出来る時間のことです(大学教員は、学内に自分の研究室を持っています)。この時間帯には原則として教員が研究室等に待機して学生の相談に応えることになっています。

【オリエンテーション】

学期の始めに行われる説明会のことで、授業日程、成績評価、履修上の注意事項などの連絡が行われます。特に、入学式から授業開始日までに新入生を対象に実施するオリエンテーションは学生生活を送る上での心構えや大学施設の利用方法、授業科目の履修登録方法などが説明されます。

【休講】

先生の出張等で不在になる場合に、講義が休みになることです。休講の代替措置として補習講義やレポートなどが課されるのが一般的です。

【教員】

教員の役職は、「教授」、「准教授」、「講師」、「助教」の4段階に分かれています。

【教職課程】

「教育職員免許法」に基づいて、学校教員になるための免許状(教育職員免許状)を取得する課程のことです。取得

できる免許状の種類は、学部・学科・課程によって異なります。将来の職業として教員を志望する人は、所定の単位を修得し、教員免許状を取得したうえで、全国の都道府県の教育委員会が実施する「教員採用試験」を受けなければなりません。この試験に合格すれば教師として勤務することができます。(私立学校は除く)

【サークル】

大学のサークルは自由参加であり掛け持ちもできます。気の合う仲間がいればサークルを新たに作ることも可能です。サークルは大学に認められた公認サークルとそれ以外のサークルに分かれます。大学案内等に掲載されているサークルは公認サークルのみですが、それ以外のサークルもたくさん存在しています。

【再履修】

履修科目が不合格となり単位を落とした場合、翌年度に再度同じ授業を履修することです。4年生で必修科目の単位を落とせば、翌年度に再履修が必要となり卒業できないという事態も生じます。

【実習・フィールドワーク】

現場に出て体験をしながら学ぶという授業形態のことです。例えば、企業での職場体験や地域貢献活動等を通して学んだ事をレポートにまとめたりするものです。こうした実習・フィールドワークは、教室でテキストを手を受講する受身的なものとは異なり、学生の主体的な活動が求められます。

【GPA】

Grade Point Average の略で成績評価方法の1つです。5段階の成績評価に対応するGPというポイントで算出した1単位当たりの成績平均値のことを示します。GPAは、ゼミや研究室の振り分け、留学の審査などに用いられることがあります。

成績評価	GP	合否
秀(90~100点)	4.0	合格
優(80~89点)	3.0	合格
良(70~79点)	2.0	合格
可(60~69点)	1.0	合格
不可(60点未満)	0	不合格

【シラバス】

講義のメニュー表のようなものです。講義の内容や進め方、担当教員、成績の評価方法などが記載されたものであり、学生はシラバスを参考に履修登録していきます。

【生協】

「生活協同組合」の略で、学生からの出資金を基に食堂やお店を運営している非営利組織団体のことです(出資金は、卒業時に返還)。キャンパス内にあるため多くの学生が利用します。

【ゼミナール(演習)】

大学に特徴的な少人数制の学習スタイルです。教員が一方的に学生に教えるというようなものではなく、特定のテーマについて各自で調べ、先生やメンバーの前でプレゼンテーションしたり、他のメンバーとのグループ作業を通して議論を深めるものです。そのため、学生の自主性や積極性が求められます。ゼミは、それまで学んできた知識や技術などを活かす学習の場であり、学問や研究の楽しさに気づききっかけになるものです。

【ゼロ免課程】

教員養成課程とは異なり、教員免許状を取得しなくても卒業できる課程のことです。佐賀大学では、文化教育学部の学校教育課程以外の3課程が該当します。

【第二外国語】

一般的に、大学では英語を第一外国語として学び、英語の他にさらに学ぶ外国語を第二外国語と言います。佐賀大学では、第二外国語として、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語から選択することができます。

【総合大学】

総合大学とは、一つの大学で様々な学部から構成される大学のことで(佐賀大学はこれに当たります)。一方、単科大学とは一つの学部・学科で構成される大学のことで。

【卒業論文・卒業研究・卒業制作】

4年次に行われる総仕上げの取り組みです。所属するゼミ(研究室)によって、自分でテーマを決めて行う場合もあれば、教員によってテーマを指定されることもあります。具体的なテーマ等は、各学科の卒論テーマを参考にしてください。

【単位】

大学の科目には、4単位とか2単位といった単位数が決まっています。単位数は、科目ごとに勉強するのにかかる時間を示しており、4単位科目が通年科目(約30コマ)、2単位科目が半期科目(約15コマ)に設定されているのが一般的です。各科目の試験等に合格すると単位取得が認められ、学部が指定する卒業単位数を満たすことで卒業認定となります。

【単位互換】

自分が所属する大学以外で取得した単位を自分の卒業単位数に振り替える制度のことです。どの科目を何単位まで認定するかは大学によって異なります。自分の所属大学が協定を結んだ学校の単位のみが対象であるため、どの大学でも単位が認められるわけではありません。また国内だけでなく、海外の提携大学に留学した場合、取得した単位を一定の範囲内で卒業単位として認められることもあります。

【必修科目・選択科目】

「必修科目」とは卒業要件として履修が義務づけられている科目で、必修科目の単位を取得しなければ卒業できません。そのため、履修登録には十分な注意を払う必要があります。「選択科目」とは、対象となる科目群から自分の意志で自由に選択履修できる科目のことです。卒業要件の単位は、「必修科目」と「選択科目」の単位数を合わせたものになります。

【履修登録】

入学時や進級時および学期開始毎に、自分の履修する科目を大学へ登録する手続きのことです。履修登録を行い、授業や試験を受け合格することにより単位が認められます。基本的には自分の受講したい授業を選べますが、学部や学年によって履修できる範囲や時間帯が限定されており、同じ時間に複数の科目を登録するといったことはできない仕組みになっています。

【レポート】

授業や演習で出される課題のことです。例えば、自分で調べたことや考えたこと、実験の結果などを文章にまとめる作業のことです。

Dictionary of basic terms of the University

全体

Q 授業時間と時間割について教えてください

A 授業時間は1コマ90分です。

1限目: 8:50~10:20 4限目: 14:40~16:10
2限目: 10:30~12:00 5限目: 16:20~17:50
3限目: 13:00~14:30

Q 他学部や他学科の授業を聴講することはできますか

A 聴講することは、可能です。ただし、卒業単位には算入されない場合や、担当教員の下承が必要となることもあります。

Q 海外留学したいのですが、4年間で卒業することは可能ですか？

A 不可能ではありませんが、年間で修得できる単位の上限等があり、また、海外留学期間にもよりますので、留学される際には、指導教員の所属する学部の教務担当者、国際課に相談の上、行ってください。

Q 入学後、学部や学科を変更できますか

A 入学後、進路変更を希望する学生のため、転学部(学部の変更)・転学科(同一学部内での学科変更)の制度があります。転学部および転学科の受験資格等については、転入学部、転入学科が定めます。一般的には、様々な条件を満たさなければ利用するのは難しい制度です。

文化教育学部

Q 各課程における選修やコースの振り分け方は、どのようになされますか。

A <<学校教育課程>>

●教育学選修と教育心理学選修

入学試験ではまとめた定員ですが、入学前に希望を取り成績を加味して入学後に振り分けます。

●教科教育選修

教科ごとに10の分野(国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、造形教育、体育教育、家政教育、情報技術教育、英語教育)に分かれます。一般入試(前期、後期)による入学生については、志望順位の分野ごとに入試の成績と各分野の人数のバランスを考慮して入学後に振り分けます。

<<国際文化課程>>

2年進級時において、「日本・アジア文化選修」と「欧米文化選修」に希望別に分かれます。選修ごとの定員はなく、自由に選択できます。

<<人間環境課程>>

「生活・環境・技術選修」には、「地域・生活文化分野」と「環境・技術分野」、「健康福祉・スポーツ選修」には、「健康福祉分野」と「スポーツ分野」があります。分野の選択は、入学前に希望を取りそのまま入学時に分かれますが、入学時の説明を聞いた後での変更もできます。また、2年進級時にも分野の変更が可能です。

<<美術・工芸課程>>

1年次に「日本画」「西洋画」「彫刻」「デザイン」「窯芸」「木工工芸」「染織工芸」「美術理論・美術史」「美術工芸科教育」の基礎的な科目を一通り履修した上で、1年次末に希望する専攻分野を調査し、面談等を経て2年次から各専攻に分かれます。なお、その後も他の専攻分野の科目を自由に履修することができます。

Q 高校の教員免許を取りたいのですが可能ですか

A 取得可能です。

詳細は、各課程で取得できる資格一覧をご覧ください

Q 学校教育課程では、教員免許を取得しなくても卒業は可能ですか。

A 小学校教諭1種免許状取得を卒業要件とする教員養成課程ですので、取得しない場合は卒業できません。

Q 教育実習というのは、何年生でどれくらいの期間、どこで行うのでしょうか。

A 各課程で実施の時期、期間が異なります。学校教育課程の必修である「小学校教育実習」は原則3年次の夏休みに附属小学校等で4週間行われます。その他の教育実習の実施時期等は以下の通りです。

●中学校教育実習の場合、時期は4年生の時に3週間、主に附属中学校及び佐賀市内中学校で実施されます。

●高等学校教育実習の場合、時期は4年生の時に2週間、出身高校で実施されます。

●特別支援学校教育実習の場合、時期は4年生の時に2週間、附属特別支援学校等で実施されます。

●幼稚園教育実習の場合、時期は4年生の時に4週間、附属幼稚園で実施されます。

Q 音楽選修と教科教育選修の音楽分野との違いは？

A 音楽選修と教科教育音楽教育分野は、それぞれ別のカリキュラムを持っています。音楽選修は理論と実技を、教科教育音楽教育分野は音楽科の授業づくりを中心としたカリキュラムです。学生は教員免許取得を目指す中で、双方のカリキュラムから必要な科目を受講することになります。また入試の形態や入学後のことに関し違いがあります。音楽選修はAO入試(実技)と一般入試(実技)があり、卒業研究には卒業論文と卒業演奏が課されます。教科教育音楽教育分野は推薦入試(実技あり)と一般入試(実技なし)があり、一般入試で入った学生の音楽教育分野への振り分けは入学後希望を取り行われます。(人数の関係で希望に添えないこともあります)卒業研究には卒業論文が課されます。詳しいことは音楽選修のホームページをご覧ください。

Q 理科選修と教科教育選修の理科分野との違いは？

A どちらも小学校教員養成コースで、選択として中学校教諭、高等学校教諭の普通免許(理科)を取得することもできますが、教科教育選修の理科分野は、附属学校等の授業研究などを通して理科をよりよく教えるための基本を身につけることに力点を置いているのに対し、理科選修では、物理・化学・生物・地学のより専門的な教養ならびに観察・実験の技能の修得を重視しているのが特徴です。

Q 人間環境課程の「生活・環境・技術選修」のイメージができません。具体的にどのようなことを勉強するのでしょうか。

A 「生活・環境・技術選修」は、大きく「地域・生活文化分野」と「環境・技術分野」とに分かれています。「地域・生活文化分野」は、さらに「地域社会」(コミュニティ)を中心とした地理的・歴史的・文化的・社会的諸問題について探究し、「現状分析—原因解明—改善提案」などに取り組んでいます。また「衣食住」を中心とした生活文化や生活福祉など「生活科学」のあり方について探究し、そのさまざまな問題解決に向けた取り組みを勉強することができます。また「環境・技術分野」は、自然環境や地球環境に関する科学的分析と未来予測を行い、その環境問題解決のための具体的方策を探り、行政や企業への建設的な政策提言などに取り組んでいます。特に最近の地震、津波、原発問題等、非常にホットな今日の問題が次々と発生しており、「自然環境と人間」、「科学技術と人間」のあり方が改めて切実に問われています。「環境と人間の共生」はいかにして可能なのか、その条件は何か等、こうした課題解決に向けた取り組みを勉強することができます。

Q 文学部を目指していますが、一般的な文学部と国際文化課程の違いは、どのようなところですか。

A 国際文化課程は他大学の文学部とは少し異なり、地理学・社会学・心理学・考古学等を専門的に学ぶコースはありませんが、経済学・政治学・法学といった社会科学を含む広い国際的・学際的視野に立って個別地域の言語・文学・歴史・思想などを比較しながら学びます。そして、その知識や言語能力を基に、自分を表現・伝達し、社会の中で主体的に活躍できる人材を育てることを目標にしています。

Q 美術・工芸課程に進学したいと考えています。入学試験には実技検査がありますが、高校時代に何か特別なことを行う必要はありますか。

A 数多くのデッサンをこなして基礎的な表現力を身につけてください。専門の先生や学外での指導・評価も積極的に得て、単なる入試対策ではなく、豊かな表現力につながる知識・技術・経験を積んでください。学力やものごとを見る眼もしっかり伴っていることが大切です。

経済学部

Q 経済学部独自の英語プログラムについて教えてください

A 実践的で全般的な英語力を身につけるために、特別に開発された2年生以上を対象とする英語プログラム(Integrated Skills Program)です。このプログラムは、英語に必要なリスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4つの能力のそれぞれに重点を置いた4種類のクラスを開講し、統合された英語力を最大限に伸ばそうとするものです。これらのクラスはTOEICや英語検定受験のための基礎学力にもなります。また、これら4種のクラスに加えて、上級者にはTOEFLやIELTS受験準備のためのクラス(上級クラス)もあります。セルフアクセスセンターがあり、個人に合った学習ができるように、自習用の教材がそろっています。

Q 公務員になりたいのですが、どのような勉強が役立ちますか

A 大学卒業程度の地方公務員試験などでは、教養試験に加え専門科目があります。専門科目は、一般的に行政系科目(政治学、行政学、社会学、国際関係)、法律系科目(憲法、行政法、民法、商法、刑法、労働法)、経済系科目(ミクロ・マクロ経済学、財政学、経営学、会計学)に分けられ、経済学部で学ぶ学問分野と重複する分野が多くあります。ただし、経済学部で学ぶことは、公務員試験の勉強とは異なりますので、試験対策は別に考える必要があります。

Q これまで、経済学部から法科大学院に進学された方はいらっしゃいますか？

A 卒業後、国立・私立の法科大学院に合格、進学した人たちがいます。その中には、すでに新司法試験に合格して、弁護士として活躍されている方もいます。経済学部では法律の授業も充実しており、経済学部としてはユニークな点です。

Q ゼミはどのようにして決定されるのですか

A コース所属の教員の中から選べますが、演習は10名程度と少人数制になっています。希望するゼミの教員プロフィールは、大学入門科目と1、2年生の授業で分かるようになっていますが、自分で学生間の情報をしっかりと入手することも大切です。

Q 経済や法律に関する資格を取得することはできますか

A 受験が多い日商簿記などの一部の資格取得に関するサポートは行っておりますが、基本的に資格取得を目指す学生が自分で勉強することになっています。数年前には、現役で超難関資格の1つである「公認会計士」にも現役で合格しました。

Q 商業系の科・情報系の科・総合学科の推薦入試における資格取得状況の評価方法を教えてください

A 英語・簿記・情報・商業経済の4つの分野ごとに点数化しています。一つの分野でひとつの資格しか評価しませんが、より上位の資格を評価します。

医学部

Q 医師になるためには、どのような過程が必要ですか

A 大学の医学部で6年間の教育を受け卒業した後、医師国家試験に合格すると医師資格が得られます。大学6年間のうち最初の4年間で教養教育科目と専門科目(専門基礎、基礎医学、機能・系統別PBL)を学び、4年次に共用試験CBT・OSCE(知識と実技の試験)に合格すると5・6年次に臨床実習に参加することができます。その後は2年間の臨床研修を行います。これは、従来は努力規定でしたが平成16年より医師法の一部が改正され、診療に従事しようとするすべての医師に臨床研修が義務付けられました。2年間の研修修了後は各自の志望により、プライマリ・ケアプライマリ・ケア医、あるいは臓器・系統別の専門医としてとなるための後期研修を受けたり、研究者への道を進んだりするなど様々です。

Q 救命救急医になりたいのですが、今のうちから考えておくことはありますか。

A 救命救急医に限るものではありませんが、医師の勉強は生涯のものであり、学生時代の勉強は単にそのスタートにすぎません。大学で医学を学び、将来、信頼される心と力量を備えた医師になるためには、高等学校の段階から理数系に偏った学習をすることなく、幅広い教科について十分な基礎学力を身につけておくことが必要でしょう。また、病める人の立場にたつて物事を考えることのできる「人間性」も求められますので、受験に向けた高校生活だけでなく学業も含めた様々な活動や幅広い生活を通じて培われる豊かな心も育ててください。自ら適性の有無を見極め、早い時期から将来に向けて問題意識を持ち、適切な判断と処理のできる能力を養っておくことが望まれます。

Q 看護師と保健師の資格を4年間でとることはできますか

A 可能です。本学では、看護師教育課程を基盤に、保健師教育課程(公衆衛生看護コース)や助産師教育課程(助産コース)を選択し学習するカリキュラムが導入されました。看護師の資格は、本学看護学科において、4年間看護に関する教育を受け卒業すると、看護師国家試験受験資格が得られ、看護師国家試験に合格すれば看護師資格が得られます。また、保健師資格は、本学科の公衆衛生看護コースを選択し、公衆衛生看護に関する選択科目を履修した人に保健師の国家試験受験資格が与えられます。

Q 日本で医師の資格をとれば、外国で医療を行うことはできますか

A 原則として日本の医師資格は日本でのみ有効です。しかし、国や施設によって条件付きでの医師資格が認められるところもあるようです。また、災害など緊急時の支援のために派遣される場合など、医療行為が認められる場合もあります。

Q 医師になるよりも研究者になりたいのですが、特別なコースがありますか

A 米国など諸外国には医師と研究者でコースを区別しているところもありますが、本学にはありません。研究者になるには6年次の選択コースにおいて当該分野を重点的に選択し、卒業後に大学院へと進学することになります。

Q 看護師を目指してます。看護専門学校ではなく、大学で勉強することのメリットとは何ですか。

A 近年、日本の高齢化・国際化社会の中で、医療のめざましい発展や保健・福祉の複雑化により、医療従事者の果たす役割は極めて大きく重要なものとなっています。このような社会情勢の中で、看護職者には高度化、多様化した医療内容に対応できる高い専門知識・技術、さらには幅広い視野、豊かな感性が要求されています。看護系大学では、4年間に大学としての独自の教育も盛り込みますから、看護学の教育の中でより深い知識と広い視野、指導能力を養うことができるとともに研究能力の基礎を築き、学士(看護学)の学位を得ることができます。また、本学においては看護師教育に加え、保健師や助産師への道を開くための教育が4年間のカリキュラムの中で一貫して受けることが出来るよう工夫されています。さらに、大学院へ進学し、研究者、高度専門職者へ進み道もあります。

Q 助産師の資格を取得したいのですが、人数制限があると聞いています。入学後の成績が優秀でないと取得するのは難しいですか。

A 助産師コースは、実習施設等の制約から選択できる人数は、6名程度です。3年次に学業成績や面接などにより学内選考が行われますが、1年次から目的意識をもって計画的に学習することが肝要です。

理工学部

Q 理学系と工学系が一緒になっている学部の強みを教えてください。

A 理工学部は理学と工学の融合をテーマとし、「基礎に強い工学系人材」、「応用に強い理学系の人材」の育成を教育目標にしています。本学部では専門周辺科目が用意され、理学系の学生には工学系の講義の受講を、工学系の学生にはサイエンスに関する講義の受講を、といったクロス履修を義務付けられています。専門周辺科目によって、学生は偏ることのない知識を身につけ、多角的な専門知識を習得できます。

Q 技術者教育プログラム(JABEE)について教えてください

A 日本技術者認定機構より、学科の教育プログラムが社会の要求水準を満たしていると認められたものです。JABEEに認定されたプログラムの修了生は国家資格である「技術士」の1次試験を免除されるなどのメリットがあり、将来幅広い分野で国際的に活躍することが可能です。

Q 実業系高校出身ですが、入学後の勉強についていけるか不安です。高校生時代に何をやっておけば良いでしょうか。

A 理工学部の多くの学科では、前期日程の学力試験で課したセンター試験・個別試験科目の出題範囲を、修得したものと教育を始めます。したがって、例えば実業系高校出身で推薦入学する学生には、修得していない範囲について、入学時までには高校において、または独習で補習しておくことを望みます。特に、本学部では数学は重要であり、数IIIなどの補習は不可欠です。実業系高校出身であっても、優秀な成績で卒業した学生は数多くいます。

Q 普通科高校の教師になりたいと考えています。教育学部で教員免許を取得する場合と比べて理工学部で教員免許を取得することのメリットとは何ですか。

A 理工学部では、高校の数学(数理科学科、知能情報システム学科)、理科(物理科学科、機能物質化学科)、情報(知能情報システム学科)の教員免許が、対応する学科で所定の単位を取ることで取得できます。それぞれの学科では、数学、物理、化学、情報科学の専門分野をしっかりと勉強しますので、免許を取得して教師になれば、深い専門知識・専門能力を持った高校教師として活躍できます。

Q 佐賀大学理工学部の特徴的な研究は何ですか。

A 理工学部・大学院工学系研究科では、研究の発展として設立された研究センター(海洋エネルギー研究センター、低平地沿岸海域研究センター、シンクロトン光応用研究センターなど)と連携して、エネルギー、環境、応用工学などの分野で先進的研究を行っています。さらに、先端融合工学専攻では、医工学、機能材料工学の研究を行っています。他にも、各専攻(学科)には、専門分野で高い評価を得た研究が数多く存在します。

Q 宇宙について勉強したいのですが、どのような勉強ができますか。

A 講義でビッグバン宇宙論について、卒業研究で一般相対論と宇宙論を学ぶ機会があります。講義によって、宇宙の膨張則と最新の観測結果を合わせてダークエネルギーやダークマターが存在することが分かります。卒業研究では、ブラックホール解、元素合成、インフレーションなどの初歩的なことを勉強できます。

Q 自分が所属する研究室は、どのように決めるのですか。

A 卒業研究等での所属研究室は、おもに学生の希望にもとづいて決められます。卒業研究等の着手資格を得た学生に対して、各研究室の教員が研究テーマを提示して説明を行います。提示された研究テーマを参考にして、学生は所属研究室の希望を申請します。ただし、研究室の定員を越える希望があった場合は、希望学生の成績に従って所属学生が決定されます。

Q 大学院に進学したいと考えています。どのように勉強すればよいですか

A 大学院に進学する場合、一般的には学力試験を受けます。試験科目は、英語に加え、大学で習得した専門科目(学科によっては数学を含む)があります。したがって、試験科目に指定された重要な科目を十分に復習することが受験準備になります。別の入学方法として、推薦入学があります。各学科において成績が上位の学生に、推薦入学試験に出願する許可が与えられます。上位の成績を得るには、毎学期の試験に優秀な成績をあげる必要があります。

Q 就職活動において、企業から研究室への推薦依頼はどれくらいあるのでしょうか。

A 各学科には、数十社から数百社の企業より、卒業予定学生の推薦依頼があります。依頼があった企業への推薦学生は、学科の就職担当の教員が希望する学生から選びます。推薦でも自由応募でも、数段階の採用試験や面接を受けて、企業の内定を得ます。推薦希望だけでなく、就職活動に関する相談は、就職担当の教員が応じます。また、大学のキャリアセンターにも、企業からの推薦学生の依頼があります。

農学部

Q バイオテクノロジーについて勉強したいのですが、どの学科を選んだら良いでしょうか。

A バイオテクノロジー(生物工学)は技術ですので、全ての学科の幾つかの分野で行われています。どのような動物や植物を対象としたかで、学科や分野を決めるのが良いでしょう。

Q 文系クラスにいるのですが、農学部に入學してもついていけますか。

A 農学の研究と学習に必要な基礎学力を養う科目が1年次に整備されていますので、それらの科目を受講すればスムーズに農学の専門分野を学ぶことができます。また、生物環境科学科には、農業経済、農産物貿易、地域活性化、循環型社会、環境衛生、農村開発など文系分野の教育研究を行う地域社会開発学コースが設けられています。

Q 化粧品会社に就職したいのですが、どの学科が有利ですか

A 化粧品会社で何をしたいかで学ぶ学科を決めるのが良いと思います。開発ならさらに大学院に行く必要があるでしょうし、総合職なら特にどの学科が有利ということは言えないかも知れません。

Q 農作業等の実習には、どのようなものがあるのでしょうか。

A 果樹(みかん/茶など)・花卉(シクラメン/カーネーションなど)・野菜(かぼちゃ/さつまいもなど)園芸はもとより、水稲は地域の棚田も利用して1年のサイクルで実習できますし、家畜(牛や豚など)の飼育や管理実習も行なっています。

Q 農学部における食品関係の研究と家政学系の食物学科での研究の違いはどこですか。

A 農学部における食品関係の研究は、食品成分の生体・細胞への影響、健康・病気との関係や化学的構造と機能などについて分子レベルまで掘り下げて詳しく行われます。一方、家政学系の食物学科では、食品や食物の栄養学的、調理学的研究が中心になるかと思われます。

Q 公務員として活躍されている農学部卒業生には、どのような仕事をされている方がいますか。

A 農学職・農業職の公務員には(国I・国II・地方上級)の区別があります。近年の就職難から、このような公務員を受験する人が多くなっていますが、難関であることは間違いありません。これらの職に就いた先輩が、それぞれが扱う地域の農業や農業政策をリードしていることは言うまでもありません。

ロケーション

Location

佐賀大学は、歴史と文化と自然の漂う佐賀県の有明海に近い佐賀市内にキャンパスを構えます。県内には、吉野ヶ里遺跡や色々な史跡・観光・レクリエーション施設があります。ぜひ、「肥前佐賀」の風土に触れてみてください。

玄海・唐津

虹の松原



唐津湾の海浜に続く虹の松原は、三保の松原、気比の松原とともに日本三大松原のひとつ。

唐津城



初代唐津藩藩主・寺沢志摩守広高が、慶長7(1602)年から7年の歳月をかけて築城。

伊万里・有田

伊万里・有田焼



日本最初の磁器で日本初の色絵磁器を生み出したとされています。

嬉野・武雄・鹿島

嬉野・武雄温泉



温泉の歴史は古く「肥前風土記」(712年)に記されています。

佐賀県立宇宙科学館



「宇宙から地球・佐賀を発見する。佐賀から地球・宇宙を発見する。」のテーマを体感できる施設

祐徳稲荷神社



伏見稲荷と笠間稲荷とともに日本三大稲荷に数えられる神社。

●福岡方面からのアクセス

佐大(本庄)キャンパス	自転車 約15分	JR佐賀駅	電車(特急) 約40分	JR博多駅
	自転車 約15分	佐賀駅 バスセンター	西鉄高速バス 約1時間20分	天神
	自転車 約15分	JR佐賀駅	電車(普通) 約1時間	JR久留米駅
	自転車 約15分	佐賀駅 バスセンター	西鉄バス 約1時間30分	西鉄久留米



福岡県

佐賀

【佐賀大学近郊 MAP】



■佐賀大学本庄キャンパス

佐賀駅バスセンターからバスで約20分
「4番のりば」から市営バス11番 相応行
又は12番 東与賀行で「佐大前」下車
「4番のりば」から市営バス63番
佐賀大学・女子短大前行で「佐大前」下車

■佐賀大学鍋島キャンパス

佐賀駅バスセンターからバスで約25分
「2番のりば」から市営バス50番又は51番で
「佐大医学部」下車



天山スキー場



佐賀県唯一の人工スキー場、スノーボードもOK。

佐賀インターナショナルバルーンフェスタ



毎年11月上旬、佐賀市嘉瀬川(かせがわ)河川敷で開催されるアジア最大級の熱気球の大会。

大分県

鳥栖

鳥栖スタジアム(ベストアメニティスタジアム)



J1リーグ サガン鳥栖のホームスタジアム。

吉野ヶ里

吉野ヶ里遺跡



推定延長2.5kmの壕に囲まれた日本最大級の規模の弥生時代の環壕集落跡です。

熊本県

1 佐賀市歴史民俗館



長崎街道沿いレトロ調の建物の中には、明治、大正期の佐賀の歴史、民俗資料が展示。

2 佐賀城本丸歴史館



佐賀城跡に、幕末期の佐賀城本丸御殿の一部を忠実に復元し建てられた歴史博物館です。

3 筑後川昇開橋



九州一の大河・筑後(ちくご)川に架かる世界でも有数の昇降式可動鉄橋です。

入試日程等のお知らせ

① 平成25年度学部入試日程予定

出願、受験に際しては、必ず本学が配布している選抜要項及び各募集要項を請求し内容を確認してください。

選抜種別	学 部	出願期間	試験日	合格者発表日	
一般入試	前期日程	平成25年 1月28日(月)～ 2月6日(水)	平成25年2月25日(月)	平成25年3月7日(木)	
			平成25年2月25日(月) 平成25年2月26日(火)		
	後期日程		平成25年3月12日(火)	平成25年3月21日(木)	
			平成25年3月12日(火) 平成25年3月13日(水)		
特別入試	推 薦	平成24年 11月1日(木)～ 11月6日(火)	平成24年11月30日(金)	平成24年12月17日(月)	
			平成24年12月1日(土)	平成25年2月13日(水) 平成24年12月17日(月)	
			平成24年11月30日(金)	平成24年12月17日(月)	
	帰国子女		平成25年2月25日(月) 平成25年2月26日(火)	平成25年3月7日(木)	
			医学部	平成24年12月1日(土)	平成24年12月17日(月)
	社会人		医学部	平成24年12月1日(土)	平成24年12月17日(月)
	佐賀県 推薦入学		医学部 (右記出願期間はあらかじめ行われる佐賀県の選抜を経た上での出願期間)	平成24年 11月22日(木)～ 11月27日(火)	平成24年12月1日(土)
A O		平成24年 8月14日(火)～ 8月21日(火)	平成24年9月27日(木) 平成24年9月28日(金)	平成24年10月5日(金)	
	文化教育学部 人間環境課程 健康福祉・スポーツ選修	平成24年9月20日(木)			
私費外国人 留学生入試	文化教育学部、経済学部、 理工学部、農学部	平成25年 1月24日(木)～ 1月31日(木)	平成25年3月4日(月)	平成25年3月7日(木)	
	医学部		平成25年2月25日(月) 平成25年2月26日(火)		

② 募集要項等の発表時期

要項の種別	冊子の配布時期
平成25年度入学者選抜要項 入学者選抜要項は、入学試験等に関する基本的な事項 (出願受付期間、試験日程及び募集人員等)について記載したもので、 入学志願票は入っておりません。	平成24年7月初旬
平成25年度AO入試学生募集要項	平成24年7月中旬
平成25年度社会人特別入試募集要項	平成24年9月上旬

要項の種別	冊子の配布時期
平成25年度推薦入試募集要項 平成25年度帰国子女特別入試募集要項	平成24年9月上旬
平成25年度佐賀県推薦入学特別入試募集要項	平成24年9月上旬
平成25年度私費外国人留学生募集要項	平成24年10月上旬
平成25年度一般入試募集要項	平成24年11月上旬

③ 募集要項等の請求方法

テレメールから請求する方法
テレメールで請求すれば2～3日程で届きます (発送開始前の請求を除く)
 インターネット <http://telemail.jp>
(パソコン・ケータイ・スマホ)
 自動音声応答電話なら [IP電話] **050-8601-0101** (24時間受付)



ケータイ・スマホ用
バーコード

資料請求番号

(送料は予定額)

大学案内(2013年度版)	567482	290円
入学者選抜要項	587482	180円
入学者選抜要項+大学案内	567452	340円
一般入試募集要項	587452	290円
一般入試募集要項+大学案内	547552	340円
推薦入試・帰国子女特別入試募集要項	587462	290円
佐賀県推薦入学特別入試募集要項	587492	290円
AO入試募集要項	547562	180円
私費外国人留学生入試募集要項	587472	180円

■ 郵送により請求する方法

本学あての封筒の表面に希望する学部・要項「○○学部」、「平成25年度○○要項請求」と朱書き、返信用封筒(角型2号封筒に郵送先を明記し340円切手を貼付したものを)同封の上、下記のとおりへ請求してください。請求のあった要項と大学案内を送付します。

■ 宅配便による配達を希望する請求方法(料金受取人払い)

1.「ファックス」により、請求する要項の種類、希望する学部名、受取人の郵便番号、住所、氏名、電話番号等を記入し申し込んでください。請求のあった要項と大学案内を送付します。申込受付後の取消しはできませんので注意してください。
 配達は、申込者の住所によって異なりますが、申込書受付後、2～4日後となります。
 (注)ファックスの受付は、平日の8時30分～17時の間に行います。
 2.受領の際は、中身を確認後、料金を宅配業者に直接支払ってください。

■ 大学窓口での配布

平日の8時30分から17時まで、佐賀大学学務部入試課で配布します。

お問合せ先 テレメールカスタマーセンター [IP電話] **050-8601-0102** (9:30～18:00)

「きっかけ」を「力」に。 佐賀大学オープンキャンパス2012

■本庄キャンパス：文化教育学部, 経済学部, 理工学部, 農学部

■鍋島キャンパス：医学部

【開催日】 **8月9日(木)**



【開催内容】

- ◆ 学部・学科・課程紹介, 入試概要説明
 - ◆ 模擬授業, 研究室訪問, 体験実習, 施設見学
 - ◆ 保護者様向け説明会および個別相談会
 - ◆ 在学生による個別相談会
 - ◆ 進路指導担当教諭との懇談会
 - ◆ 九州地区国立大学進学説明会
 - ◆ スマートフォンを利用した「動くポスター展」…など
- ※スマートフォンをお持ちの方は, ご持参ください。



このパンフレットの動画はYou tubeでご覧いただけます。



← 佐賀大学入試案内のトップページ
<http://www.sao.saga-u.ac.jp/>





佐賀大学
SAGA UNIVERSITY

お問い合わせ

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学 学務部入試課
TEL 0952-28-8178  nyushi@mail.admin.saga-u.ac.jp

<http://www.saga-u.ac.jp/>



佐賀大学携帯サイト

<http://daigakuic.jp/saga-u/>

本学の情報を携帯電話で見ることができます。